

平成30年度 子ども未来局決算概要

I 主要事業の取組

(1) 乳幼児期の教育・保育の充実

- ① 保育を希望される方が1人でも多く保育施設を利用できるよう、保育所等を16施設整備し、定員を1,270人増やしました。
- ② 「子育て支援型幼稚園」の認定制度を創設し、普及に向けて制度周知のポスターやリーフレット等を作成し配布する等、子育て家庭へPRを行いました。
- ③ 特定教育・保育施設（私立認可保育所152園、認定こども園9園、私立幼稚園7園）及び特定地域型保育事業者（小規模保育事業所等131園）に対し、運営費等の助成を行いました。
- ④ 保育の質の更なる向上のため、事故防止に関する研修や勉強会を実施するとともに、保育施設への立入調査等を行いました。
- ⑤ 保育者の資質向上のための研修を実施するとともに、私立幼稚園等91園に対し、幼児教育環境の向上に向けた取組に要する経費の一部を補助しました。
- ⑥ 指定保育士養成施設や保育士試験、幼稚園教諭免許状特例制度により保育士資格を取得し、市内の保育所等に勤務した16人に対し、資格取得に要した費用の一部を補助しました。
- ⑦ 保育士の就業促進や離職防止のため、雇用する保育士用の宿舍の借上げを行う民間事業者に対し、経費の一部を助成しました。
- ⑧ 保育士の人材確保のため、保育士養成施設の学生を対象とした採用に関するプロモーション活動や首都圏への就職を希望する地方の学生等を対象とした本市の保育を体感するツアー等就職支援の取組を実施しました。

(2) 地域における子育て支援の充実

- ① 子どもたちの発想で仮想のまちをつくり、様々な体験をすることができる「子どもがつくるまちミニ〇〇（区）」を全区で実施しました。
- ② 子どもの地域における居場所づくりの一環として、多世代交流会食に取り組む団体等に対し、経費の一部を補助しました。
- ③ 各区の単独型子育て支援センターにおいて、平日及び土曜日の開所に加えて月2回日曜日に開所し、父親向けの講座・イベント等を開催するとともに、2か所で一時預かりを実施しました。
- ④ 保育所等の利用に関する相談受付や保育所等利用保留児童の保護者に対するアフターフォロー、個別のニーズに合った保育サービスや保育施設の情報提供を行う保育コンシェルジュを各区支援課に配置しました。
- ⑤ 適切な遊び及び生活の場を提供することにより、放課後等に保護者が労働等で家庭にいない児童の健全な育成を図るため、放課後児童クラブ257か所（公設74か所、民設183か所）の運営・管理を行いました。
- ⑥ 民設放課後児童クラブの新規開設を15か所、移転を4か所、環境整備を5か所実施しました。また、大成小学校及び大宮小学校の余裕教室を活用し、放課後児童クラブ施設の整備を実施しました。

(3) 専門的な知識・技術を要する支援の充実

- ① 子ども・家庭をとりまく課題に総合的に取り組み、子ども・家庭、地域の子育て機能を総合的に支援する子ども家庭総合センターの運営を実施しました。
- ② 多様化する、児童を取り巻く諸問題に対応するため、職員の専門性の強化を行うほか、法的対応、未成年後見人や身元保証人の配置支援、24時間通告電話等の事業を実施しました。
- ③ 里親応援の集いや各種研修を通じ、里親制度に対する理解を深めるとともに、里親を育成し支える体制の整備推進を行いました。
- ④ 障害児等の就園を促進するため、私立幼稚園等48園に対し、特別支援事業に要する経費の一部を補助しました。
- ⑤ 障害児等の受入れを行っている私立認可保育所等に対し、保育士を加配するための経費の助成を行いました。
- ⑥ 総合療育センターの診察の待ち期間を短縮するため、執務室を改修して診察室1室を増設し診察回数を確保しました。また、乳幼児や児童の視機能障害に適切に対応するため、眼科診療を開始しました。
- ⑦ 発達障害がある幼児や児童が地域生活を円滑に送れるようにするため、障害児の発達支援及び保護者支援を実施し、障害への理解と受容を促しました。
また、専門職が保育所・幼稚園等を訪問し、職員等に対して有効な支援体制や支援方法の普及に取り組みました。

(4) ひとり親家庭等への支援の充実

- ① ひとり親家庭の経済的自立と生活の安定のため、高等職業訓練促進給付金（支給期間3年）等を支給しました。
- ② ひとり親家庭等を経済的に支援するため、ファミリー・サポート・センター及び子育て緊急サポート事業を利用した場合に、2万円を上限に利用料の半額を助成しました。

(5) 青少年への支援の充実

- ① 社会生活を営む上で困難を抱える若者の自立を目的とした若者自立支援ルームの管理運営を行いました。
- ② 若者自立支援ルーム利用者の増加を受け、受入れ体制の拡充のため、新たな若者自立支援ルームを運営する建物の建設工事を着工しました。また、現在運営する若者自立支援ルームは、大宮駅西口第3-B地区市街地再開発事業の施行地区内にあり移転が必要のため、引き続き事業を実施できるよう、移転先用地を検討し、同地区内に運営する仮設建物を建設しました。

Ⅱ 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
15款	4,127,460,000	0	0	4,127,460,000	4,307,740,513	4,145,351,095	17,622,983	144,766,435
16款	2,275,299,000	11,116,000	0	2,286,415,000	2,254,395,181	2,197,535,981	0	56,859,200
17款	28,225,285,000	△ 339,656,000	0	27,885,629,000	28,128,234,623	28,128,234,623	0	0
18款	8,572,328,000	△ 36,704,000	0	8,535,624,000	8,333,987,040	8,333,987,040	0	0
19款	6,255,000	7,231,000	0	13,486,000	14,240,615	14,240,615	0	0
20款	0	0	0	0	33,000	33,000	0	0
23款	541,439,000	△ 334,680,000	0	206,759,000	493,327,919	477,400,029	1,651,750	14,282,140
合計	43,748,066,000	△ 692,693,000	0	43,055,373,000	43,531,958,891	43,296,782,383	19,274,733	215,907,775

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
3款	68,488,650,000	△ 1,051,973,000	142,966,000	0	67,579,643,000	65,500,513,812	275,774,000	1,803,355,188
合計	68,488,650,000	△ 1,051,973,000	142,966,000	0	67,579,643,000	65,500,513,812	275,774,000	1,803,355,188

2 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	37,056,000	0	0	37,056,000	33,413,628	33,413,628	0	0
2款	1,000	0	0	1,000	5,751,850	5,751,850	0	0
3款	32,881,000	0	0	32,881,000	60,528,060	32,470,512	1,352,535	26,705,013
4款	50,062,000	0	0	50,062,000	50,062,000	50,062,000	0	0
合計	120,000,000	0	0	120,000,000	149,755,538	121,697,990	1,352,535	26,705,013

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	120,000,000	0	0	0	120,000,000	83,922,150	0	36,077,850
合計	120,000,000	0	0	0	120,000,000	83,922,150	0	36,077,850

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 15款 分担金及び負担金/1項 負担金/1目 民生費負担金	当 初 予 算 額 3,780,899,000
歳入名称 私立保育所保護者負担金	補 正 予 算 額 0
局/部/課 子ども未来局/幼児未来部/保育課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 児童福祉法に規定する私立認可保育所等において、保育の実施を受けた児童の保護者負担金で、前年度又は当該年度の市民税額等に応じて、階層別に規定された徴収基準に基づき収納しました。	予 算 現 額 3,780,899,000
	調 定 額 3,941,498,699
	収 入 済 額 3,809,724,447
	不 納 欠 損 額 15,623,090
	収 入 未 済 額 116,151,162
	前年度収入済額 3,381,887,600
	増 減 427,836,847

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 17款 国庫支出金/1項 国庫負担金/1目 民生費国庫負担金	当 初 予 算 額 14,141,488,000
歳入名称 児童手当負担金	補 正 予 算 額 0
局/部/課 子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 児童手当法に基づき、市が支給した手当に対する交付金で、区分に応じた負担率で交付されました。	予 算 現 額 14,141,488,000
	調 定 額 14,009,147,666
	収 入 済 額 14,009,147,666
	不 納 欠 損 額 0
	収 入 未 済 額 0
	前年度収入済額 14,091,000,666
	増 減 △ 81,853,000

手当区分	支給対象児童（被用区分）	割合
児童手当	0歳～3歳未満（被用者）	37/45
	3歳以上～中学校修了前（被用者）	2/3
	0歳～中学校修了前（非被用者）	2/3
特例給付	0歳～中学校修了前（被用者・非被用者）	2/3

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 17款 国庫支出金/1項 国庫負担金/1目 民生費国庫負担金	当 初 予 算 額 7,729,220,000
歳入名称 子どものための教育・保育給付費負担金	補 正 予 算 額 0
局/部/課 子ども未来局/幼児未来部/保育課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 子ども・子育て支援法の規定に基づき、市が支弁した施設型給付費等に対する負担金で、負担率1/2で交付されました。	予 算 現 額 7,729,220,000
	調 定 額 8,335,782,035
	収 入 済 額 8,335,782,035
	不 納 欠 損 額 0
	収 入 未 済 額 0
	前年度収入済額 6,645,599,707
	増 減 1,690,182,328

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 18款 県支出金/1項 県負担金/2目 民生費県負担金	当 初 予 算 額 3,047,413,000
歳入名称 児童手当負担金	補 正 予 算 額 0
局/部/課 子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 児童手当法に基づき、市が支給した手当に対する交付金で、区分に応じた負担率で交付されました。	予 算 現 額 3,047,413,000
	調 定 額 3,010,801,166
	収 入 済 額 3,010,801,166
	不 納 欠 損 額 0
	収 入 未 済 額 0
	前年度収入済額 3,028,382,166
	増 減 △ 17,581,000

手当区分	支給対象児童（被用区分）	割合
児童手当	0歳～3歳未満（被用者）	4/45
	3歳以上～中学校修了前（被用者）	1/6
	0歳～中学校修了前（非被用者）	1/6
特例給付	0歳～中学校修了前（被用者・非被用者）	1/6


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 青少年事業			当初予算額	233,539,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/青少年育成課		補正予算額	△ 1,000,000
款/項/目	3款 民生費/1項 社会福祉費/4目 青少年費	概要(当初)P. 221	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 青少年の健全育成・非行防止を目的とした事業を実施するとともに、地域の関係団体などと連携し、非行のない社会環境を創るため意識啓発活動を実施します。また、困難を抱える若者に対し、社会的自立を支援する若者自立支援ルーム運営事業を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	232,539,000
			支出済額	99,887,517
			翌年度繰越額	126,695,000
<不用額の理由> 成人式実行委員会への補助金について、補助額が当初見込みを下回ったため。			不 用 額	5,956,483
			前年度支出済額	79,190,627
			増 減	20,696,890
<主な事業の成果>				
1 成人式		33,482,138	4 青少年健全育成巡回活動	737,000
<ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成31年1月14日 場所：さいたまスーパーアリーナ 参加人数：新成人10,368人 			青少年の非行防止と安全確保及び地域環境浄化を図るため、地域巡回活動を実施しました。	
2 若者自立支援ルーム運営事業		61,286,159	5 いじめのないまちづくり推進事業	439,712
困難を抱える若者の自立を目的とした若者自立支援ルームの管理運営を行いました。また、新たな若者自立支援ルームを運営する建物の建設工事、現若者自立支援ルームの移転先仮設建物の建設工事を行いました。			さいたま市いじめ防止対策推進条例に基づき設置した、さいたま市いじめのないまちづくりネットワークを活用し、いじめ防止等の啓発活動の実施、関係機関等の連携強化や、いじめの防止などに取り組みました。	
3 青少年の主張大会		666,275	6 青少年による郷土芸能伝承活動支援その他	3,276,233
市内の小・中・高校生が家庭・友達・環境等、日頃考えていることを作文にまとめて発表する、青少年の主張大会を開催しました。			青少年による郷土芸能伝承活動補助金及び子ども自然体験村参加事業補助金を交付しました。また、青少年育成推進大会や非行防止キャンペーン等を開催しました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 青少年活動施設運営事業			当初予算額	9,723,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/青少年育成課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/1項 社会福祉費/4目 青少年費	概要(当初)P. 221	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 青少年の健全育成及び青少年関係団体活動の充実を図るため、団体活動拠点の管理・運営を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	9,723,000
			支出済額	8,461,027
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果>			不 用 額	1,261,973
			前年度支出済額	7,657,089
			増 減	803,938
1 グリーンライフ猿花キャンプ場管理運営 8,461,027				
自然の中での集団宿泊及び野外レクリエーションを通じ、青少年の健全育成に資することを目的とした猿花キャンプ場の管理運営を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 開場期間：平成30年4月1日～11月30日 利用者数：2,341人 				
			[参考]  グリーンライフ猿花キャンプ場	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 青少年関係団体指導育成事業			当初予算額	23,042,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/青少年育成課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/1項 社会福祉費/4目 青少年費	概要(当初)P. 222	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 青少年活動の指導者やリーダーの養成を図り、地域の青少年健全育成活動を活性化させるため、青少年の健全育成に関わる団体を支援します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	23,042,000
			支出済額	21,769,913
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	1,272,087
			前年度支出済額	19,948,786
			増 減	1,821,127
<主な事業の成果>				
1 青少年関係団体への支援			21,769,913	
(1) 青少年育成さいたま市民会議 (2) さいたま市子ども会育成連絡協議会 (3) さいたま市ボーイスカウト協議会 (4) さいたま市ガールスカウト連絡協議会				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童福祉執行管理事業（子育て支援政策課）			当初予算額	198,436,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課 子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 222	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 児童福祉業務全般の効率的な運営を図り、適切な執行管理を行うとともに、児童系業務システムの管理、運用を行います。 また、社会福祉審議会児童福祉専門分科会や児童養護審査部会、子ども未来局指定管理者審査選定委員会等を開催します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	198,436,000
			支出済額	192,198,801
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	6,237,199
			前年度支出済額	232,588,651
			増 減	△ 40,389,850
<主な事業の成果>				
1 児童系業務システムの運用及び機器等賃貸借			181,312,472	
保育料、放課後児童クラブ、児童手当及び児童扶養手当業務に係るシステム機器の賃借、各手当システムの運用保守を行いました。				
2 児童福祉専門分科会等の開催			694,840	
児童福祉専門分科会を開催し、「さいたま子ども・青少年のびのび希望（ゆめ）プラン」の進行管理を行いました。また、児童養護審査部会を開催し、里親の認定等について審議を行いました。				
3 児童虐待検証専門分科会等の開催			269,475	
児童虐待検証専門分科会を開催し、重篤な児童虐待事例の検証を行いました。また、特定教育・保育施設等重大事故検証専門分科会において市長に答申するとともに、答申後の対応について報告を受け、確認しました。				
4 子ども未来局指定管理者審査選定委員会の開催			87,136	
子ども未来局指定管理者審査選定委員会を開催し、指定管理者の選考方法案と指定管理者の候補者案の選定について審査を行いました。				
5 さいたま市子ども・子育て支援事業計画（第2期）基礎調査業務			7,594,075	
さいたま市子ども・子育て支援事業計画（第2期）の策定に向けた基礎調査を行いました。				
6 庶務事務			2,240,803	
局内調整、部内調整及び課内事務の遂行に当たり、必要な庶務を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童福祉執行管理事業（子ども総合センター開設準備室）			当初予算額	340,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課子ども総合センター開設準備室)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 223	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 児童福祉業務の効率的な運営を図り、適切な執行管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	340,000
			支出済額	202,250
			翌年度繰越額	0
			不用額	137,750
			前年度支出済額	264,622
			増減	△ 62,372
<主な事業の成果>				
1 庶務事務			202,250	
関係部局との連絡調整や室内事務の遂行に当たり、必要な旅費の支給や消耗品の購入を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童福祉執行管理事業（幼児政策課）			当初予算額	455,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/幼児政策課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 223	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 児童福祉業務全般の効率的かつ適切な執行管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	455,000
			支出済額	424,260
			翌年度繰越額	0
			不用額	30,740
			前年度支出済額	420,219
			増減	4,041
<主な事業の成果>				
1 課内庶務に関する事務			424,260	
部内調整及び課内事務の遂行に当たり、必要な庶務を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童福祉執行管理事業（のびのび安心子育て課）			当初予算額	254,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/のびのび安心子育て課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 224	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 児童福祉業務全般の効率的かつ適切な執行管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	254,000
			支出済額	227,872
			翌年度繰越額	0
			不用額	26,128
			前年度支出済額	226,220
			増減	1,652
<主な事業の成果>				
1 課内庶務に関する事務			227,872	
課内事務の遂行に当たり、必要な庶務を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童福祉執行管理事業（保育課）			当初予算額	43,799,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/保育課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 224	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 保育業務全般の効率的かつ適切な執行管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	43,799,000
			支出済額	43,172,488
			翌年度繰越額	0
			不用額	626,512
			前年度支出済額	29,879,375
			増減	13,293,113
<主な事業の成果>				
1 保育料等に関する事務			43,172,488	
保育料の賦課徴収業務等を行いました。 ・職員旅費、消耗品購入等の事務経費 1,769,178円 ・児童系業務（保育料）システムの管理 41,403,310円				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 総合相談事業			当 初 予 算 額	12,607,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課子ども総合センター開設準備室)		補 正 予 算 額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 225	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 悩みがある子どもや家族が、どのようなことでも相談できる窓口を開設します。非常勤職員である「総合相談員」を配置し、電話や来所による相談をワンストップで対応します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	12,607,000
			支 出 済 額	11,657,329
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	949,671
			前年度支出済額	0
			増 減	11,657,329
<主な事業の成果>				
1 事業環境整備		233,297		
事業実施に必要なファイリング用品・文具等消耗品を購入しました。				
2 専門職育成等		674,708		
事業の参考となる研修への参加や視察等を実施しました。(外部研修19回)				
3 非常勤職員雇用		10,749,324		
非常勤職員として総合相談員を雇用し、窓口相談と電話相談を実施しました。 (窓口相談件数1,593件、電話等相談件数648件)				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 インクルーシブ子育て支援事業			当 初 予 算 額 3,944,000	
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/子ども家庭支援課(子ども育成部/子育て支援政策課子ども総合センター開設準備室)		補 正 予 算 額 0	
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 225	前年度繰越額 0	
<事業の目的・内容> 発達障害児を含む子どもの支援として、従来の「スクリーニング・モデル」に加えて、「保護者の心配事」に対応する相談・支援システムを子育て支援の延長上に構築し、普及、啓発します。			流 用 額 0	
			予備費充用額 0	
			予 算 現 額 3,944,000	
			支 出 済 額 2,601,779	
			翌年度繰越額 0	
			不 用 額 1,342,221	
			前年度支出済額 2,417,603	
			増	減 184,176
<主な事業の成果>				
1 事業活動 559,440		4 事業環境整備 582,587		
子育て支援プログラムの冊子、絵カードの内容を見直し、新たに20種類の絵カードを作成しました。		事務用品や衛生用消耗品等の管理を行いました。		
2 専門職育成 596,552		5 備品管理 583,200		
事業で取り組むプログラムの実施に必要な知識や資格等の取得のため外部の研修に参加し、その内容を反映した研修(インクルパートナー養成研修)を実施しました。その結果241名の支援者を養成しました。		検査用品や検査機器を購入しました。		
3 研修講師の招へい 280,000				
先駆的な研究や取組を実践している助言者を招へいし、事業内容を検討しました。また支援者向けの研修も実施し、インクルーシブな子育て支援の普及啓発を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童相談所運営事業			当初予算額	17,096,000	
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/児童相談所(子ども育成部/児童相談所)		補正予算額	0	
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 226	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 児童相談所は、児童に関する様々な問題について、相談に応じ、児童が抱える問題あるいは真のニーズ、置かれた環境等を的確に捉え、個々の児童や家庭に効果的な支援を行うことによって、児童の福祉の向上を図るとともにその権利を保護します。			流 用 額	101,000	
			予備費充用額	0	
			予算現額	17,197,000	
			支出済額	15,517,401	
			翌年度繰越額	0	
			不 用 額	1,679,599	
			前年度支出済額	19,498,879	
			増 減	△ 3,981,478	
<主な事業の成果>					
1 児童相談所運営事業		15,517,401	[参考] 平成30年度児童相談種類別受付件数		
児童相談所を円滑に運営するため、職員の専門性の強化及び児童相談所情報システム、公用車等の維持管理を実施しました。また、児童を措置するための経費を管理しました。			相談項目		件数
			養護相談		3,351
			保健相談		3
			障害相談		1,188
			非行相談		168
			育成相談		490
			その他相談		756
			計		5,956

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童相談等特別事業		当初予算額	32,783,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/児童相談所(子ども育成部/児童相談所)	補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 226	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 児童や家庭を取り巻く環境の変化により児童虐待を始め、少年非行、ひきこもり等、複雑化・深刻化が進む児童問題に適切に対応するため、24時間・365日体制強化事業、法的対応機能強化事業等を実施します。		流 用 額	△ 483,000
		予備費充用額	0
		予算現額	32,300,000
		支出済額	28,165,943
		翌年度繰越額	0
		不 用 額	4,134,057
		前年度支出済額	28,824,140
		増 減	△ 658,197
<主な事業の成果>			
1 24時間・365日体制強化事業 14,072,863 24時間虐待通告電話相談員（非常勤職員）を配置し、夜間・休日を問わず児童虐待の通告に応じ、児童虐待の早期発見・早期対応を図りました。		4 スーパーバイズ・権利擁護機能強化事業 794,000 専門家から、被虐待児を理解するための講義や虐待の事例検討等の研修を受け、職員の専門性を強化しました。	
2 法的対応機能強化事業 2,382,000 国籍の無い児童や親権停止、家庭裁判所の審判申立て等、複雑困難なケースについて、法的対応を求められるため、弁護士への法律相談や審判の依頼（委託）を実施しました。		5 専門性強化事業 984,494 児童虐待に関する専門性を強化するために、各種研修等への参加を促進しました。	
3 未成年後見人支援事業 2,718,060 親権を行う者がいない児童に対して、未成年後見人を選任した場合に必要な報償費と、損害賠償保険加入料を支援しました。		6 その他事業 7,214,526 児童相談所と地域の主任児童委員との連携、協力体制構築、施設長等が行う身元保証の支援、ひきこもり等児童の社会性向上等のための支援、児童虐待を引き起こしてしまう保護者に対する心理面のケアを実施しました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 里親支援機関事業			当初予算額	7,666,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/児童相談所(子ども育成部/児童相談所)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/1目 児童福祉総務費	概要(当初)P. 227	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 里親制度は、保護者のない児童又は保護者に監護させることが不適当と認められる児童の養育を里親に委託する制度です。この制度の委託推進と、里親及び里親希望者に対する研修の実施、養育里親及びさいたま市里親会への補助を行います。			流 用 額	382,000
			予備費充用額	0
			予算現額	8,048,000
			支出済額	5,883,327
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 里親制度推進事業補助金について、実対象人数が当初見込みを下回り、交付額が減少したため。			不 用 額	2,164,673
			前年度支出済額	5,445,229
			増 減	438,098
<主な事業の成果> 1 里親制度普及促進事業 3,615,844 里親及び里親希望者に対する研修の実施、里親応援の集いや里親サロンの開催、里親手当の支給及びさいたま市里親会に対する運営費用等の補助を行いました。				
			[参考] 登録里親数及び委託児童数 (平成31年3月31日現在)	
			里親登録数	179組
			委託児童数	110人
			里親委託率	40.00%
2 里親委託推進事業 2,267,483 里親委託を推進するために、委託里親の選定・調整、里親や関係機関との連携・調整、児童の養育に関する里親への支援を総合的に行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 子育て支援推進事業			当初予算額	226,601,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課 子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 227	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 社会全体で子どもを育てていく意識や子どもの社会参画意識を醸成し、また、親の子育ての負担感、不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するため、各種子育て支援事業を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	226,601,000
			支出済額	214,964,609
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 子育て支援センター(単独型)の事業者公募において、新規事業者の参入がなく、新規開設補助金等の執行がなかったため。			不 用 額	11,636,391
			前年度支出済額	213,962,280
			増 減	1,002,329
<主な事業の成果> 1 子育て支援センター(単独型)事業 154,984,457 子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するため、親子の交流の場の提供や育児相談等を実施しました。また、父親や祖父母の育児参加を推進するため、パパサンデーや孫育て講座を実施しました。				
			4 子どもの居場所づくり事業(多世代交流会食) 878,219 地域社会の中で、子どもが様々な世代との交流を通じて健全に成長できる環境づくりを推進するため、多世代交流会食に取り組む団体等へ支援を行いました(11団体)。	
2 のびのびルーム事業 22,090,485 子育て家庭の孤立化を防止するため、放課後児童クラブの空き時間を活用した「のびのびルーム」を31か所開室し、子育て中の親子に遊び場・交流の場を提供しました。			5 子育て支援情報の提供 16,522,928 子育て支援総合コーディネーターによる子育て応援ダイヤルの実施、情報誌の発行、「さいたま子育てWEB」の運営など、人・紙・ITを活用し、市内の子育てに関する情報を集約し、広く提供しました。	
3 子どもの社会参画推進事業 11,093,104 子どもの社会参画意識や自己肯定感を育むため、子どもたちの発想で仮想のまちをつくり、様々な体験をすることができる「子どもがつくるまち ミニ〇〇(区)」を全区で実施しました。			6 ブックスタート事業その他 9,395,416 子育て家庭への支援策として、ブックスタート事業、子育てヘルパー派遣事業、子どもショートステイ事業、父子手帖及び祖父母手帳の作成、さいたまキッズなCity大会宣言に係る啓発活動を行いました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 助産施設入所委託事業			当初予算額	900,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 228	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由で入院助産を受けられない妊産婦を支援します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	900,000
			支出済額	779,630
			翌年度繰越額	0
			不用額	120,370
			前年度支出済額	0
			増減	779,630
<主な事業の成果>				
1 助産施設入所委託事業			779,630	
保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由で入院助産を受けられない妊産婦を、助産施設に入所させ、助産を実施しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 ひとり親家庭等福祉事業			当初予算額	101,808,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課		補正予算額	33,620,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 228	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> ひとり親家庭等の生活基盤の一層の安定を図るため、母子及び父子並びに寡婦福祉法等に基づき、各種支援を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	135,428,000
			支出済額	88,405,864
			翌年度繰越額	41,120,000
			不用額	5,902,136
			前年度支出済額	77,879,753
			増減	10,526,111
<主な事業の成果>				
1 ひとり親家庭等総合支援事業			23,928,602	
ひとり親家庭の父、母等を対象に、生活相談・就業相談・弁護士による法律相談や就業支援講習会を実施しました。				
2 ひとり親家庭児童就学支度金の支給			2,980,000	
中学校に入学予定の児童を養育している市町村民税非課税世帯のひとり親家庭の養育者に対し、入学準備に必要な経費の一部を助成しました。				
3 ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等の支給			60,170,000	
一定の資格を取得するため、1年以上養成機関に通うひとり親家庭の父又は母に対し、高等職業訓練促進給付金を支給しました。				
4 ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金の支給			1,110,534	
ひとり親家庭の父又は母が就業に向けた教育訓練講座を受講した経費の一部を助成しました。				
5 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業				
ひとり親家庭の父、母又はその子が高等学校卒業程度認定試験の受験対策として受講した講座の経費の一部を助成する制度です。平成30年度は支給実績はありませんでした。				
6 母子父子寡婦団体への補助			216,728	
母子及び父子並びに寡婦の福祉の増進と自立のために活動している「さいたま市母子寡婦福祉会」へ補助金を交付しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 家庭児童相談事業			当初予算額	23,606,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 229	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 一般家庭における児童の諸問題について、市民からの相談に応じ、指導等を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	23,606,000
			支出済額	23,022,632
			翌年度繰越額	0
			不用額	583,368
			前年度支出済額	21,970,618
			増減	1,052,014
<主な事業の成果>				
1 家庭児童相談事業			23,022,632	
家庭における子どものしつけ、性格、生活習慣、言語、発達、発育、学校生活、非行、児童虐待等の相談等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童手当給付事業			当初予算額	20,211,010,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 229	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 次代の社会を担う児童の健やかな育ちを支援するため、中学校修了前の児童を養育している者に児童手当を支給します。			流用額	△ 6,815,000
			予備費充用額	0
			予算現額	20,204,195,000
			支出済額	20,045,022,118
			翌年度繰越額	0
			不用額	159,172,882
			前年度支出済額	20,165,335,917
			増減	△ 120,313,799
<主な事業の成果>				
1 児童手当給付事業			20,045,022,118	
中学校修了前の児童を養育している者への児童手当の支給を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童扶養手当事務事業			当初予算額	3,409,891,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 230	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当を支給します。			流用額	6,815,000
			予備費充用額	0
			予算現額	3,416,706,000
			支出済額	3,271,371,048
			翌年度繰越額	0
			不用額	145,334,952
			前年度支出済額	3,348,913,377
			増減	△ 77,542,329
<主な事業の成果>				
1 児童扶養手当事務事業			3,271,371,048	
父母の離婚等により父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等への児童扶養手当の支給を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 ファミリー・サポート・センター運営事業			当初予算額	33,133,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 230	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 働く親たちが仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、会員相互の援助活動による地域の子育て支援の推進を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	33,133,000
			支出済額	31,985,261
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,147,739
			前年度支出済額	31,278,250
			増減	707,011
<主な事業の成果>				
1 ファミリー・サポート・センター運営事業			31,278,250	
育児の援助が必要な人と育児の援助を行いたい人を組織化し、会員相互の援助活動として預かりや送迎を行うファミリー・サポート・センター事業及び病児の預かり等を行う子育て緊急サポート事業を実施しました。 ファミリー・サポート・センター ・平成31年3月31日現在 会員数：6,447人 ・平成30年度 援助件数（延べ）：16,547件 子育て緊急サポート ・平成31年3月31日現在 会員数：4,160人 ・平成30年度 援助件数（延べ）：1,143件				
2 ファミリー・サポート・センターひとり親家庭支援事業			707,011	
ひとり親家庭等を経済的に支援するため、ひとり親家庭等がファミリー・サポート・センター事業及び子育て緊急サポート事業を利用した場合に、利用料の半額を助成しました（52件）。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童虐待防止対策事業			当初予算額	27,267,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課 子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 231	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応、保護・支援、家族の再統合までの切れ目ない総合的な支援を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	27,267,000
			支出済額	24,737,516
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> ハローエンゼル訪問事業において、訪問件数が当初の見込みを下回ったため。			不用額	2,529,484
			前年度支出済額	25,095,955
			増減	△ 358,439
<主な事業の成果>				
1 要保護児童対策地域協議会事業		600,727		
児童虐待の発生予防から家族の再統合に至るまでの切れ目のない総合的な支援を行うため、「要保護児童対策地域協議会代表者会議及び区会議」などを開催し、関係機関の連携強化を図りました。				
2 児童虐待防止啓発事業		5,731,114		
児童虐待を未然に防止するため、市報、ホームページなどを通じての広報啓発やオレンジリボンキャンペーンの実施など、様々な機会を通して虐待防止の啓発を図りました。				
3 ハローエンゼル訪問事業		18,405,675		
地域の子育て支援経験者が乳児のいる家庭を訪問し、誕生記念品の贈呈や子育て支援に関する情報提供などを行い、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会を提供しました（訪問件数：3,238件）。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 放課後児童健全育成事業			当初予算額	2,881,940,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/青少年育成課		補正予算額	△ 118,512,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 231	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 労働等により保護者が昼間家庭にいない児童に対して、公設・民設の放課後児童クラブにおいて放課後児童支援員の下、遊びや生活の場を提供することで、放課後等における児童の健全育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	2,763,428,000
			支出済額	2,665,908,309
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果>			不 用 額	97,519,691
			前年度支出済額	2,525,755,615
			増 減	140,152,694
<主な事業の成果>				
1 民設放課後児童クラブの運営委託		1,708,561,610	4 公設放課後児童クラブの運営委託	
NPO法人、社会福祉法人等との委託契約により、民設放課後児童クラブ183か所の運営を実施しました。			指定管理者制度により、公設放課後児童クラブ74か所の運営及び施設管理を実施しました。	
2 民設放課後児童クラブ支援員の処遇改善		47,220,000	5 支援員研修会、放課後子ども総合プラン推進委員会の実施	
民設放課後児童クラブに勤務する放課後児童支援員の処遇改善を図るため、クラブの運営事業者に対し、支援員の経験年数等に応じた補助金を交付しました。			放課後児童支援員の専門性向上のため、研修会を7回実施しました。また、放課後子ども総合プラン推進委員会を開催し、放課後対策事業の総合的なあり方と円滑な実施について協議しました。	
3 民設放課後児童クラブ保護者助成金		13,279,000	6 放課後児童クラブに関する事務、維持管理	
民設放課後児童クラブに入室している児童の保護者に対し、所得に応じた助成金を交付しました。			放課後児童クラブに係るシステム再構築、放課後児童クラブ3か所の施設修繕、公共建築物定期点検、次年度入室案内の作成等を行いました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童福祉施設入所措置等事業				当 初 予 算 額 1,645,049,000																																		
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/児童相談所(子ども育成部/児童相談所)			補 正 予 算 額 0																																		
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 232		前年度繰越額 0																																		
<事業の目的・内容> 児童養護施設等の入所措置若しくは一時保護を委託した場合、又は、里親に委託措置した場合に、措置委託後の養育費につき、児童福祉法第45条の最低基準を維持するために要する入所児童処遇費、職員処遇費及び施設の維持管理費を支弁します。				流 用 額 1,869,000																																		
				予備費充用額 0																																		
				予 算 現 額 1,646,918,000																																		
				支 出 済 額 1,621,976,972																																		
				翌年度繰越額 0																																		
				不 用 額 24,941,028																																		
				前年度支出済額 1,486,726,196																																		
				増 減 135,250,776																																		
<主な事業の成果>																																						
1 児童保護措置費		1,547,997,121		3 審査支払委託事業 475,276																																		
[参考]		<table><tr><td>施設種別</td><td>年度末在籍</td><td>措置費等(円)</td></tr><tr><td>乳児院</td><td>26人</td><td>369,036,447</td></tr><tr><td>児童養護施設</td><td>148人</td><td>601,358,491</td></tr><tr><td>児童自立支援施設</td><td>6人</td><td>36,316,134</td></tr><tr><td>児童心理治療施設</td><td>6人</td><td>18,096,805</td></tr><tr><td>自立援助ホーム</td><td>4人</td><td>35,276,689</td></tr><tr><td>里親</td><td>68人</td><td>127,932,823</td></tr><tr><td>ファミリーホーム</td><td>50人</td><td>197,004,617</td></tr><tr><td>一時保護委託</td><td>20人</td><td>66,181,677</td></tr><tr><td>障害児入所施設</td><td>23人</td><td>96,793,438</td></tr><tr><td>合計</td><td>351人</td><td>1,547,997,121</td></tr></table>		施設種別	年度末在籍	措置費等(円)	乳児院	26人	369,036,447	児童養護施設	148人	601,358,491	児童自立支援施設	6人	36,316,134	児童心理治療施設	6人	18,096,805	自立援助ホーム	4人	35,276,689	里親	68人	127,932,823	ファミリーホーム	50人	197,004,617	一時保護委託	20人	66,181,677	障害児入所施設	23人	96,793,438	合計	351人	1,547,997,121	給付費及び医療費の審査事務費を、国民健康保険団体連合会と社会保険診療報酬支払基金に支払いました。	
施設種別	年度末在籍	措置費等(円)																																				
乳児院	26人	369,036,447																																				
児童養護施設	148人	601,358,491																																				
児童自立支援施設	6人	36,316,134																																				
児童心理治療施設	6人	18,096,805																																				
自立援助ホーム	4人	35,276,689																																				
里親	68人	127,932,823																																				
ファミリーホーム	50人	197,004,617																																				
一時保護委託	20人	66,181,677																																				
障害児入所施設	23人	96,793,438																																				
合計	351人	1,547,997,121																																				
2 障害児施設給付費		71,376,370		4 社会的養護自立支援事業 259,400																																		
[参考]		<table><tr><td>施設種別</td><td>年度末在籍</td><td>給付費等(円)</td></tr><tr><td>知的障害児施設</td><td>6人</td><td>26,171,939</td></tr><tr><td>重症心身障害児施設</td><td>13人</td><td>21,981,790</td></tr><tr><td>肢体不自由児施設</td><td>8人</td><td>23,222,641</td></tr><tr><td>合計</td><td>27人</td><td>71,376,370</td></tr></table>		施設種別	年度末在籍	給付費等(円)	知的障害児施設	6人	26,171,939	重症心身障害児施設	13人	21,981,790	肢体不自由児施設	8人	23,222,641	合計	27人	71,376,370	措置解除後も児童福祉施設に入所する児童等の自立を支援するために、当該児童の生活費分として給付費を受入施設へ支払いました。																			
施設種別	年度末在籍	給付費等(円)																																				
知的障害児施設	6人	26,171,939																																				
重症心身障害児施設	13人	21,981,790																																				
肢体不自由児施設	8人	23,222,641																																				
合計	27人	71,376,370																																				
		5 国への償還金 1,868,805		平成29年度に国から概算交付された障害児入所医療費等の国庫負担金に超過交付が生じたため、当該超過交付分を返還しました。																																		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童自立支援総合対策事業			当初予算額	26,665,000	
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/児童相談所(子ども育成部/児童相談所)		補正予算額	0	
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 232	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 施設に委託されている児童の生活環境改善や施設の専門性向上、児童の資格取得への補助を行うことで、児童の処遇改善や自立支援を行います。			流用額	△ 1,869,000	
			予備費充用額	0	
			予算現額	24,796,000	
			支出済額	14,833,657	
			翌年度繰越額	0	
			不用額	9,962,343	
			前年度支出済額	15,562,865	
<不用額の理由> 子どもの暮らし応援事業補助金において、単価及び補助対象人数が見込みを下回ったことにより、支給額が見込みを下回ったため。			増	減	△ 729,208
			<主な事業の成果>		
1 子どもの暮らし応援事業補助金の支給 14,578,447					
さいたま市の児童が措置されている施設に対し、施設入所児童の処遇改善費及び施設機能強化の経費について、埼玉県と協議して補助を行いました。					
2 自立援助ホーム入所児童補助金の支給 239,210					
自立援助ホームに入所している児童に対して、普通自動車運転免許等の就職に役立つ資格取得に要する経費を補助しました。					
3 キャリアアップ支援補助金の支給 16,000					
施設を運営する社会福祉法人等が、職員の研修費用を負担した際に、その費用の一部を補助しました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計繰出金			当初予算額	37,056,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/2目 児童福祉費	概要(当初)P. 233	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 母子父子寡婦福祉資金の貸付事業の実施に必要な財源を確保するため、母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計への繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	37,056,000
			支出済額	33,413,628
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 業務システムの更改にあたり開発費用が当初見込みを下回ったことで、賃借料充当分が見込みを下回ったため。			不用額	3,642,372
			前年度支出済額	15,729,791
			増減	17,683,837
<主な事業の成果> 1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計への繰出し 33,413,628 母子父子寡婦福祉資金の貸付事業に係る事務費及び貸付金に充当するため、母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計への繰出しを行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 母子生活支援施設管理運営事業			当初予算額	69,252,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 233	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 配偶者のない女子とその監護すべき児童を入所させて保護する施設である母子生活支援施設の管理運営を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	69,252,000
			支出済額	53,337,836
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 委託料について、母子生活支援施設の利用世帯数のうち、他市の母子生活支援施設で保護する世帯数が当初の見込みを下回ったため。			不用額	15,914,164
			前年度支出済額	57,790,136
			増減	△ 4,452,300
<主な事業の成果> 1 母子家庭世帯の保護と自立支援 53,337,836 配偶者のない女子とその監護すべき児童を入所させて保護するとともに、自立の促進のためにその生活を支援しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童養護施設等管理運営事業			当初予算額	222,531,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/総務課(子ども育成部/子育て支援政策課)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 234	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 保護者がいない・養育能力がない等の家庭環境上の問題を抱える18歳未満の児童を保護、養育し、家庭復帰、社会的自立を支援する児童養護施設の管理運営を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	222,531,000
			支出済額	219,442,880
			翌年度繰越額	0
			不用額	3,088,120
			前年度支出済額	211,439,520
<主な事業の成果>			増減	8,003,360
1 保護者のない児童等の養護及び自立支援 211,442,880 保護者がいない児童、虐待されている児童、その他環境上養育を要する児童を入所させ、これを養護し、あわせてその自立を支援しました。				
2 児童養護施設等環境改善事業 8,000,000 自立援助ホームを改修するため、児童養護施設等環境改善事業補助金を交付しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 子ども家庭総合センター管理運営事業			当初予算額	566,126,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/総務課 子ども家庭支援課(子ども育成部/子育て支援政策課子ども総合センター開設準備室)		補正予算額	△ 135,061,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 234	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 子ども・家庭を取り巻く課題に総合的に取り組み、子ども・家庭、地域の子育て機能を総合的に支援する、子ども家庭総合センターの管理運営を行います。			流用額	△ 6,032,000
			予備費充用額	0
			予算現額	425,033,000
			支出済額	318,048,330
			翌年度繰越額	0
			不用額	106,984,670
			前年度支出済額	4,243,030,112
<不用額の理由> 建物総合管理業務及び清掃業務について、入札による契約差額が生じたため。			増減	△ 3,924,981,782
<主な事業の成果>				
1 指定管理者による管理 132,297,000 指定管理者による施設の運営を行いました。 (来館者延べ人数186,849人)		4 執務室等の管理 21,574,765 執務室内における必要な消耗品の購入や、プリンター及び公用車の賃借料の支払いを行いました。		
2 冒険はらっぱ等の運営 7,896,000 常設のプレイパークである冒険はらっぱ業務を実施しました。(来園者延べ人数21,089人) また、子ども家庭総合センターの連携強化を図るため、運営委員会を開催しました。		5 家屋事後調査 12,941,873 建設工事に伴う家屋事後調査及び家屋被害者への補償を行いました。		
3 施設維持管理 136,857,702 建物総合管理業務及び清掃業務等、施設に必要な維持管理業務を行いました。		6 子ども家庭総合センター内診療室運営事業 6,480,990 児童の精神面の医学的支援を行うことを目的に、基本的な医学的検査や治療薬の処方などの保険診療を行いました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 子どもケアホーム運営事業			当初予算額	80,557,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/子ども家庭支援課(子ども育成部/子育て支援政策課子ども総合センター開設準備室)		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 235	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 虐待や発達障害などにより、心理的困難を抱え、生きづらさを感じている子どもに、心理的ケアや進学・復学・就労準備など自立に向けた支援を総合的にを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	80,557,000
			支出済額	54,867,604
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 入・通所措置児童数が当初の見込みを下回り、児童の生活・学習等に要する経費が減少したため。			不用額	25,689,396
			前年度支出済額	0
			増減	54,867,604
<主な事業の成果> 1 生活支援事業 46,901,466 入・通所児童の基本的な生活習慣取得のための指導や給食の提供、通学に関する支援及び健康管理等を行いました。				
2 学習・治療・就労準備支援事業 4,958,162 入・通所児童の学習、就労準備及び心理面の治療支援を行いました。				
3 施設運営事業 3,007,976 施設運営に必要な人材育成のため、研修や実習に参加し、処遇に関する技術の向上を図りました。そのほか、入・通所児童の生活用品として必要な消耗品を購入しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童センター管理運営事業			当初予算額	576,484,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/青少年育成課		補正予算額	△ 4,000,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 235	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 児童が健全な遊びを通して、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とした児童センターの管理運営を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	572,484,000
			支出済額	571,050,948
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果> 1 児童センターの運営 554,457,000 指定管理者制度により、児童センター18館の運営を行いました。			不用額	1,433,052
			前年度支出済額	660,434,623
			増減	△ 89,383,675
2 児童センター施設修繕・工事設計等 12,847,788 児童センターの施設修繕を行いました。また、公共施設マネジメント計画・第1次アクションプランに基づく修繕や改修に向け、設計業務等を行いました。				
3 児童センター管理運営業務その他 3,746,160 児童センター13館の建築設備定期点検等を実施しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 放課後児童健全育成施設整備事業		当初予算額	52,497,000
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/青少年育成課	補正予算額	△ 3,025,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 236	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 民設放課後児童クラブの新設、移転、分離を促進することにより、待機児童の解消及び育成支援の環境改善を図るとともに、学校施設を活用した施設整備を行います。			0
			流用額
			0
			予備費充用額
			0
<不用額の理由> 民設放課後児童クラブの整備促進事業において、新規開設に係る施設改修費等の補助が見込額を下回ったため。			予算現額
			49,472,000
			支出済額
			37,057,418
			翌年度繰越額
<主な事業の成果> 1 民設放課後児童クラブの整備促進事業 23,411,618 (1) 新規開設 15か所 17,312,032円 (2) 移転 4か所 4,634,600円 (3) 環境整備 5か所 1,464,986円 2 学校施設を活用した放課後児童クラブ整備事業 13,645,800 大成小学校及び大宮小学校の余裕教室を活用し、放課後児童クラブ施設の整備を実施しました。			不用額
			12,414,582
			前年度支出済額
			83,228,110
			増減
			△ 46,170,692

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 一時保護所管理運営事業		当初予算額	41,280,000
局/部/課	子ども未来局/子ども家庭総合センター/児童相談所(子ども育成部/児童相談所)	補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 236	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 棄児・家出児童などで宿所がない場合や虐待・放任などの理由により児童を家庭から一時的に引き離す必要があるときなど、緊急に保護を必要とする児童の一時的な保護を行います。			0
			流用額
			6,032,000
			予備費充用額
			0
<不用額の理由> 臨時職員の賃金について、加配が必要な児童の回復が早く施設入所の時期が早まり、加配が不要となった結果、執行見込額を下回ったため。			予算現額
			47,312,000
			支出済額
			30,215,416
			翌年度繰越額
<主な事業の成果> 1 入所児童の処遇に係る運営事業 30,215,416 入所児童の生活や学習の指導等を行うため、学習指導員の配置やレクリエーションを実施しました。また、児童の行動観察を行い処遇を決定しました。			不用額
			17,096,584
			前年度支出済額
			66,069,814
			増減
			△ 35,854,398

[参考] 一時保護所入所状況(平成31年3月31日現在)

保護人数	250人
延べ保護人数	12,340人
1日平均保護人数	33.8人
平均保護日数	50.3日

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 特定教育・保育施設等整備事業（幼児政策課）			当初予算額	30,714,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/幼児政策課		補正予算額	3,443,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 237	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容>		概要(6補)P. 7	流用額	0
<p>保育を希望する方や保育所等を利用できなかった方に、ニーズに合った保育サービスや保育施設の情報を提供し、実際の利用につなげることで、保育所等の待機児童の解消を図ります。また、保育士資格の取得支援を行うことで、保育所等の保育環境向上や保育士不足解消につなげます。</p> <p><不用額の理由></p> <p>事故防止のための備品購入を見送った施設や、保育士資格取得に至らなかった方等が存在したことにより、当初の見込みを下回ったため。</p> <p><主な事業の成果></p>			予備費充用額	0
			予算現額	34,157,000
			支出済額	30,042,845
			翌年度繰越額	0
			不用額	4,114,155
			前年度支出済額	26,755,450
			増減	3,287,395
<p>1 保育コンシェルジュ事業 25,171,023</p> <p>保育所等の利用に関する相談受付や保育所等利用保留児童の保護者に対するアフターフォロー、個別のニーズに合った保育サービスや保育施設の情報提供を行い、待機児童の解消を図りました。</p> <p>2 保育士資格取得支援事業 1,340,822</p> <p>指定保育士養成施設や保育士試験、幼稚園教諭免許状特例制度により保育士資格を取得し、市内の保育所等に勤務した者に対し、資格取得に要した費用の一部を補助しました。・交付人数 16人</p> <p>3 認可外保育施設における事故防止推進事業 1,282,000</p> <p>認可外保育施設に対して、重大事故が発生しやすい場面等の安心・安全な保育環境を確保するために必要な備品の購入に要した費用の一部を補助しました。・交付施設数 15施設</p>			<p>4 国への償還金 2,249,000</p> <p>平成29年度に国から交付された保育対策総合支援事業費補助金及び子ども・子育て支援交付金について、超過交付分を償還しました。</p>	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 特定教育・保育施設等整備事業（のびのび安心子育て課）			当初予算額	3,307,549,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/のびのび安心子育て課		補正予算額	△ 608,257,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 237	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容>		概要(9補)P. 21	流用額	0
<p>待機児童の解消を図るとともに、保育を希望される方が1人でも多く保育施設を利用できるよう、保育の受け皿を確保します。</p> <p><主な事業の成果></p>			予備費充用額	0
			予算現額	2,699,292,000
			支出済額	2,646,721,226
			翌年度繰越額	0
			不用額	52,570,774
			前年度支出済額	3,238,935,592
			増減	△ 592,214,366
<p>1 特定教育・保育施設の整備 2,618,692,000</p> <p>保育所等利用待機児童を解消するため、保育所等を整備する社会福祉法人等に対して補助金を交付し、定員を1,270人増やしました。</p> <p>(1) 民間認可保育所等</p> <p>・新設整備補助 10施設 2,474,692,000円</p> <p>(2) 賃貸物件による保育所整備</p> <p>・新設（改修費）補助 6施設 144,000,000円</p>			<p>3 認定こども園設置認可等審査部会 52,000</p> <p>幼保連携型認定こども園の設置認可等に関する事項を調査審議しました。</p>	
<p>2 独立行政法人福祉医療機構借入金利子補助金 8,671,226</p> <p>保育所整備を促進するため、独立行政法人福祉医療機構から施設整備資金を借り入れた民間法人（62施設）に対して、借入金に係る利子の2分の1を補助しました。</p>			<p>4 病児保育室整備補助金 4,000,000</p> <p>北区における病児保育室の設置に当たり、開設準備経費の一部を補助しました。</p>	
<p>5 国への償還金 15,306,000</p> <p>平成29年度に国から交付された保育所等整備交付金及び保育対策総合支援事業費補助金について、超過交付分を償還しました。</p>				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 幼稚園就園奨励事業			当初予算額	2,579,774,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/幼児政策課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 238	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 幼稚園への就園を奨励するため、各種補助制度を通じて保護者の経済的負担を軽減するなど、子育て世代を支援します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	2,579,774,000
			支出済額	2,475,369,215
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	104,404,785
			前年度支出済額	2,570,089,125
			増 減	△ 94,719,910
<主な事業の成果>				
1 幼稚園就園奨励費補助金の交付 1,915,427,050		4 幼稚園満3歳児入園促進事業費補助金の交付 474,300		
幼稚園就園を奨励するため、国の制度に基づき、世帯の課税状況及び子どもの人数に応じた補助金を交付しました。 ・減免対象者数 13,927人分		多子世帯における満3歳児の幼稚園就園を促進するため、さいたま市独自の制度による補助金を交付しました。 ・減免対象者数 6人分		
2 私立幼稚園園児教育費助成金の交付 550,758,600		5 幼稚園魅力発信支援事業の実施 4,904,172		
私立幼稚園に在園している園児の保護者の経済的負担を軽減するため、さいたま市独自の制度による助成金を交付しました。 ・減免対象者数 17,446人分		幼児教育の魅力を生きて世代や幼稚園教諭志望者へ効果的に発信するため、専門家派遣を通じた幼稚園の情報発信の支援や就職説明会等開催の支援を行うとともに、幼稚園教諭を対象とした研修会などを実施しました。		
3 被災幼児就園支援事業費補助金の交付		6 幼稚園就園奨励事業実施に関する事務経費 3,805,093		
東日本大震災で被災し、さいたま市へ避難している幼児の幼稚園就園を支援するために、幼稚園就園奨励費補助金と同様の補助事業を実施するものですが、平成30年度は申請がありませんでした。		幼稚園就園奨励費補助金等の交付に係る事務を円滑に執行するため、幼稚園助成金システムの運用等を行いました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 私立幼稚園等預かり保育促進事業			当初予算額	297,323,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/幼児政策課		補正予算額	△ 9,350,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 238	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 私立幼稚園等における預かり保育事業を促進することで、多様な保育ニーズに対応した子育て支援を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	287,973,000
			支出済額	247,454,548
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	40,518,452
			前年度支出済額	155,239,000
			増 減	92,215,548
<主な事業の成果>				
1 預かり保育事業に対する補助金の交付 201,124,000		3 国への償還金 45,636,000		
多様な保育ニーズに対応した子育て支援として、私立幼稚園等における預かり保育事業に対して補助を行いました。 ・幼稚園型一時預かり事業費補助金 27件 103,056,000円 ・預かり保育事業費補助金 49件 98,068,000円		平成29年度に国から概算交付された子ども・子育て支援交付金に超過交付が生じたため、当該超過交付分を返還しました。		
2 子育て支援型幼稚園に関する情報発信 694,548				
子育て支援型幼稚園の普及に向けて、制度周知のポスターやリーフレット等を作成し配布する等、子育て家庭へPRを行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 幼児教育推進事業		当初予算額	107,818,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/幼児政策課	補正予算額	△ 2,800,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 239	
<事業の目的・内容> 幼児の健やかな育成を図るため、「さいたま市幼児教育のあり方検討会議」からの提言を踏まえ、より良い幼児教育に資する各種事業を実施します。		前年度繰越額	0
		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	105,018,000
		支出済額	83,954,815
		翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 幼児教育振興補助金対象事業の実施園数及び補助金交付額が見込みを下回ったため。		不用額	21,063,185
		前年度支出済額	3,491,560
		増減	80,463,255
<主な事業の成果>			
1 幼児教育のための有識者会議 1,386,664		4 保育者小学校等体験研修事業 126,372	
「さいたま市幼児教育のあり方検討会議」から提言された事項について、定期的に実施状況を報告し、評価・助言を受ける有識者会議を開催しました。		幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携を深め、小学校への円滑な接続を図るために、保育者の小学校等体験研修を実施しました。	
2 公開保育研究推進事業 531,564		5 保育者資質向上研修事業 208,500	
保育者の資質の向上と保育の充実を図るため、幼稚園・保育所等が保育実践を相互に公開し、協議する公開保育研修会を開催しました。		保育者の資質向上を図るため、運動や芸術、食物アレルギー対応に関する研修会を実施しました。	
3 園児の豊かな体験の充実を支援する事業 331,715		6 幼児教育振興補助金の交付 81,370,000	
園児が草花等の自然に触れる体験を充実するために、植物の栽培セットを配布しました。また、保育者の資質向上を図るため、自然体験研修を実施しました。		本市における幼児教育の質の確保・充実を図るため、私立幼稚園等による幼児教育環境の向上に向けた取組に対し、補助金を交付しました。 ・交付対象園数 91園	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 私立幼稚園等特別支援促進事業		当初予算額	74,544,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/幼児政策課	補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 239	
<事業の目的・内容> 心身に障害等のある幼児の幼稚園への就園を促進するため、幼稚園における特別支援教育の充実を図ります。		前年度繰越額	0
		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	74,544,000
		支出済額	67,278,000
		翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 私立幼稚園等特別支援事業費補助金の補助金交付額が見込みを下回ったため。		不用額	7,266,000
		前年度支出済額	64,742,000
		増減	2,536,000
<主な事業の成果>			
1 私立幼稚園等特別支援巡回相談員派遣事業 1,360,000			
特別な支援を要する幼児の就園を促進するため、私立幼稚園等へ特別支援巡回相談員を派遣しました。			
2 私立幼稚園等特別支援事業費補助金の交付 65,618,000			
特別な支援を要する幼児の就園を促進するため、私立幼稚園等が実施する特別支援事業に要する経費の一部を補助しました。 ・交付対象園数 48園			
3 私立幼稚園協会特別支援教育研修補助金の交付 300,000			
私立幼稚園における特別支援教育の充実及び振興を図るため、さいたま市私立幼稚園協会が実施する特別支援教育に係る研修に要する経費の一部を補助しました。			

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 公立保育所管理運営事業			当初予算額	4,162,255,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/保育課		補正予算額	△ 142,406,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 240	前年度繰越額	142,966,000
<事業の目的・内容> 児童福祉法第24条及び子ども・子育て支援法第19条に基づき、保育を必要とする児童の保育を実施するとともに、公立保育所の安心・安全な環境を維持するため、適切な管理運営を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	4,162,815,000
			支出済額	3,853,564,178
			翌年度繰越額	107,959,000
			不 用 額	201,291,822
			前年度支出済額	3,769,263,195
<主な事業の成果>			増 減	84,300,983
1 公立保育所の管理運営に関する事業			3,091,049,231	
公立保育所61園に係る人事管理や保育用品の購入、施設や設備の保安全管理、給食の提供等、公立保育所の管理運営を行いました。				
2 育成支援制度実施事業			5,070,000	
育成支援対象児童が在園する公立保育所に対し、心理相談員等による巡回保育相談を実施し、障害児保育の充実を図りました。				
3 公立保育所職員等の育成に係る研修事業			4,684,890	
入所児童の安心・安全な保育を継続的に実施するため、危機管理や虐待予防等の課題別研修、育成支援や発達支援相談等の担当別研修を通じて、職員等の保育の質の向上とスキルアップを図りました。				
4 公立保育所老朽化対策事業			751,883,708	
老朽化した公立保育所について、中長期的な観点で効果的・効率的な整備・管理運営を行うため、施設の建替、改修に係る設計・工事等を実施しました。				
5 食物アレルギー対策事業			876,349	
食物アレルギーのある児童への適切な対応を行うため、食物アレルギー疾患生活管理指導表の活用を図るとともに、保育施設職員を対象としたアレルギー疾患に対する理解と対応能力向上のための研修を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 特定教育・保育施設等運営事業			当初予算額	24,871,763,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/保育課		補正予算額	122,616,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 240	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 特定教育・保育施設（私立認可保育所、認定こども園、私立幼稚園）及び特定地域型保育事業（小規模保育等）の安定した運営及び入所児童の処遇向上を図るため、保育の実施に係る経費の給付及び多様な保育ニーズに対応した各種補助事業に係る経費の助成を行います。			流 用 額	4,316,000
			予備費充用額	0
			予算現額	24,998,695,000
			支出済額	24,514,537,138
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	484,157,862
			前年度支出済額	21,406,621,031
<主な事業の成果>			増 減	3,107,916,107
1 特定教育・保育施設等の運営費給付事業			22,143,064,808	
国が定める保育単価により、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者が受け入れた児童数等に応じ、施設型給付費等を支給しました。また、多子世帯の保育料について、軽減を行いました。				
2 特定教育・保育施設等に対する補助事業			1,910,685,156	
多様な保育ニーズに対応するため、私立認可保育所等が行う各種保育事業に対し、助成を行いました。				
3 障害児保育事業			141,842,388	
障害児保育の推進を図るため、医師の診断書等により、障害を有すると診断された児童の私立認可保育所等への入所に対し、助成を行いました。				
4 保育の安心・安全対策推進事業			8,052,887	
保育の質の更なる向上のため、安心・安全な保育環境を整える取組として、事故防止に関する研修や勉強会、保育施設への立入調査等を実施しました。				
5 病児保育運営事業			99,647,772	
認可保育所等に通所中の児童が病気又は病気回復期にあって、保育施設での集団保育が困難な期間に、医療機関等に併設した専用スペースにおいて、一時的に保育を行いました。				
6 保育人材確保対策事業その他			211,244,127	
保育人材確保を図るため、潜在保育士の復職支援、保育士養成施設へのプロモーション活動、保育事業者に対する保育士の宿舍借上げ支援事業等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 認可外保育施設運営事業			当初予算額	1,691,583,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/幼児政策課(保育課)		補正予算額	△ 171,602,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 241	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 待機児童解消を目的に、市が定める基準を満たす認可外保育施設として認定したナーサリールーム、家庭保育室及び地域型事業所内保育施設に対し、安定した施設運営を支援するため、保育の実施に係る経費等の支給を行います。			流用額	△ 4,316,000
			予備費充用額	0
			予算現額	1,515,665,000
			支出済額	1,318,687,135
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 市が定める基準を満たす認可外保育施設への入所児童数が当初の見込みを下回ったため。			不用額	196,977,865
			前年度支出済額	1,783,859,734
			増減	△ 465,172,599
<主な事業の成果> 1 認可外保育施設の運営に対する事業 1,253,835,685 市が認定したナーサリールーム、家庭保育室、地域型事業所内保育施設において保育を実施した児童数等に応じて算定した運営費等を支給しました。また、多子世帯の保育料について、軽減を行いました。				
2 認可外保育施設に対する補助事業 64,851,450 市が認定したナーサリールーム、家庭保育室、地域型事業所内保育施設が行う常勤職員の給与改善に対し、助成を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 のびのびプラザ大宮管理運営事業			当初予算額	67,841,000
局/部/課	子ども未来局/幼児未来部/保育課		補正予算額	△ 6,247,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/3目 児童福祉施設費	概要(当初)P. 241	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 保育・子育て支援を主な目的とした複合施設「のびのびプラザ大宮」の管理業務を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	61,594,000
			支出済額	56,034,906
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 施設点検にかかる手数料について、点検項目等の精査の結果、執行見込額を下回ったため。			不用額	5,559,094
			前年度支出済額	52,097,138
			増減	3,937,768
<主な事業の成果> 1 のびのびプラザ大宮の維持管理業務 56,034,906 施設を適切に維持管理するため、建物内の清掃、警備、設備の保守点検等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 障害児総合療育施設維持管理事業			当初予算額	70,551,000
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/総務課		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	概要(当初)P. 242	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> ひまわり学園の円滑かつ効果的な管理運営を図り、利用者に対する安全と快適性を確保するための施設維持管理を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	70,551,000
			支出済額	67,990,695
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	2,560,305
			前年度支出済額	79,673,924
<主な事業の成果>			増 減	△ 11,683,229
1 総合療育センターの機能の拡充 784,296 早期診断・早期治療を実施するため、診察室1室を増設し、診察回数を拡大しました。			4 施設修繕 2,539,032 施設の安心・安全な利用のため、修繕を行いました。	
2 施設維持管理 11,020,644 施設を適切に維持管理するため、施設・設備の保守、点検等を行いました。			5 光熱水費、通信運搬費の支払 11,991,151 施設で使用する電気、ガス、水道の光熱水費及び電話料等の通信運搬費の支払を行いました。	
3 施設内機器類の賃借、管理 38,629,466 施設内で使用する機器類の賃借、管理を行いました。			6 旅費その他 3,026,106 職員の旅費・研修費、消耗品費、備品購入費、施設利用者の保険料の支払を行いました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 診療検査事業			当 初 予 算 額 79,037,000						
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/総務課		補 正 予 算 額 △ 2,684,000						
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	概要(当初)P. 242	前年度繰越額 0						
<事業の目的・内容> 成長や発達に心配のある乳幼児・児童に対する早期診断・早期治療を実施するため、ひまわり学園内に設置している診療所の運営を行います。			流 用 額 0						
			予備費充用額 0						
			予 算 現 額 76,353,000						
			支 出 済 額 73,263,223						
			翌年度繰越額 0						
			不 用 額 3,089,777						
			前年度支出済額 71,032,888						
			増 減 2,230,335						
<主な事業の成果>									
1 総合療育センターの機能の拡充 1,666,103		4 医療機器等の賃借 6,452,964							
初診の待ち期間を短縮するため、非常勤医師の診察回数を拡大しました。また、より専門的な診療を行うため、眼科の診療を開始しました。		診療を適切に実施するため、診療に必要な医療機器等の賃借を行いました。							
2 診療業務 18,900,000		5 医薬品、医事関連消耗品・備品の購入 15,659,629							
早期診断・早期治療を実施するため、非常勤医師による診察を行いました。 [参考] 外来診療実績		診療を適切に実施するため、医薬品、診療業務に必要な消耗品・備品を購入しました。							
<table border="1"><tr><td rowspan="2">診療受診件数 (延べ)</td><td>内科</td><td>21,814件</td></tr><tr><td>歯科</td><td>217件</td></tr></table>		診療受診件数 (延べ)	内科	21,814件	歯科	217件			
診療受診件数 (延べ)	内科		21,814件						
	歯科	217件							
3 診療に付随する業務・機器管理委託等 30,236,866		6 旅費その他 347,661							
診療を適切に実施するため、医事業務(受付、会計等)、医療機器類の保守点検、感染性廃棄物処理の委託等を行いました。		職員の旅費・研修費を支払いました。							

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 外来療育事業		当 初 予 算 額	5,063,000
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/総務課	補 正 予 算 額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 成長や発達に心配のある乳幼児・児童が地域生活を円滑に送ることができるように、早期療育を実施するとともに、家族支援や保育所・幼稚園等への地域支援を行います。		流 用 額	0
		予備費充用額	0
		予 算 現 額	5,063,000
		支 出 済 額	4,786,094
		翌年度繰越額	0
		不 用 額	276,906
		前年度支出済額	5,081,201
		増 減	△ 295,107
<主な事業の成果>			
1 個別及び集団的技法を用いた訓練・指導 2,213,892		2 療育講座の開催 61,445	
成長や発達に心配のある乳幼児・児童に対し、社会的に自立することを目的として、理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心理指導等の訓練を行いました。		地域療育支援の一環として、市内の保育所、幼稚園等児童関連施設の職員を対象に、発達に心配のある子どもに対する考え方や療育のあり方をテーマにした講座を11月10日に開催しました。	
[参考] 外来療育利用実績 (延べ)		3 療育指導員の設置 2,510,757	
理 学 療 法 5,608件		在宅の重度心身障害児・者の福祉増進のため、家庭訪問による訪問指導、生活相談、家庭環境の調整等を行いました。	
作 業 療 法 3,624件		[参考] 療育指導員活動実績	
言 語 聴 覚 療 法 2,246件		家 庭 訪 問 99件	
心 理 指 導 1,974件		関係機関との連絡調整 268件	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 児童発達支援センター運営事業		当初予算額	40,573,000	
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/総務課	補正予算額	0	
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	概要(当初)P. 243	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 児童発達支援センターに通う児童の状態に合わせて、生活指導、保育指導、保護者支援等を行います。 また、障害児が集団生活に適応できるよう保育所・幼稚園等へ訪問支援を行うほか、障害児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援を行います。		流 用 額	0	
		予備費充用額	0	
		予算現額	40,573,000	
		支出済額	38,766,037	
		翌年度繰越額	0	
		不 用 額	1,806,963	
		前年度支出済額	38,553,013	
		増 減	213,024	
<主な事業の成果>				
1 児童発達支援センターの運営等業務 38,766,037		[参考] 保育所等訪問支援実績（延べ）		
通所児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう児童発達支援センターの運営を行いました。また、通所児の食育・療育として給食の提供を行いました。		保 育 園	27件	
		幼 稚 園	18件	
		そ の 他	1件	
		[参考] 児童発達支援利用契約人数（平成31年3月現在）		
つ ぼ み 34人		[参考] 相談支援利用契約件数（平成31年3月現在）		
め ぶ き 80人		契 約 件 数 219件		
わ か ば 34人				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 発達障害児支援事業		当初予算額	20,264,000		
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/総務課	補正予算額	△ 2,400,000		
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	概要(当初)P. 244			
<事業の目的・内容> 発達障害がある幼児及び児童が地域生活を円滑に送ることができるように、発達支援を実施するとともに、家族支援や保育所・幼稚園等への地域支援を行います。		前年度繰越額	0		
		流 用 額	0		
		予備費充用額	0		
		予算現額	17,864,000		
		支出済額	15,534,086		
		翌年度繰越額	0		
		不 用 額	2,329,914		
<不用額の理由> 賃金等について、臨時職員の採用が定員に達しなかったことにより、当初の見込を下回ったため。		前年度支出済額	14,483,736		
		増 減	1,050,350		
<主な事業の成果>					
1 発達障害児に対する支援		14,834,086	2 音楽療法の実施	700,000	
保育所・幼稚園等の職員が発達障害等について理解を深め、適切な支援の実施を図るため、専門職を派遣し、指導上の助言を行いました。また、保護者支援の勉強会等を開催しました。		発達障害児の心と身体の発達を促すため、音楽を媒体としたコミュニケーションを促進する療法を行いました。			
[参考] 発達障害児支援実績					
グループ指導		26回	[参考] 音楽療法実施状況		
保護者向け勉強会		7回			
ペアレントトレーニング		16組			
保健センター連携協力		8回			
出張カンファレンス		40回			
小・中学校支援		20回			
保育課連携協力		11回	実 施 回 数		35回
			実施人数（延べ）		150人

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 療育センター維持管理事業		当初予算額	34,353,000
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/療育センターさくら草	補正予算額	△ 4,308,000
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	概要(当初)P. 244	
<事業の目的・内容> 療育センターさくら草の円滑かつ効果的な管理運営を図り、利用者に対する安全と快適性を確保するための施設維持管理を行います。		前年度繰越額	0
		流 用 額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	30,045,000
		支出済額	29,117,295
		翌年度繰越額	0
		不 用 額	927,705
<主な事業の成果>		前年度支出済額	31,272,632
		増 減	△ 2,155,337
1 施設維持管理 15,227,869		4 光熱水費・通信運搬費の支払 9,186,209	
施設を適切に維持管理するため、施設・設備等の保守、点検等を行いました。		施設で使用する電気、ガス、水道の光熱水費及び電話料等の通信運搬費の支払を行いました。	
2 施設内機器類の賃借、管理 2,329,289		5 旅費その他 469,024	
施設内で使用する機器類の賃借、管理を行いました。		職員の旅費・研修費、消耗品費、燃料費、施設利用者の保険料の支払を行いました。	
3 施設修繕 1,904,904			
施設の安心・安全な利用のため、修繕を行いました。			

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 療育センター診療所運営事業			当 初 予 算 額	36,535,000
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/療育センターさくら草		補 正 予 算 額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	概要(当初)P. 245	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 成長や発達に心配のある乳幼児・児童に対する早期診断・早期治療を実施するため、療育センターさくら草内に設置している診療所の運営を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	36,535,000
			支 出 済 額	35,243,624
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	1,291,376
			前年度支出済額	33,437,765
			増 減	1,805,859
<主な事業の成果>				
1 診療業務		23,470,000	3 医療機器等の賃借	4,690,224
早期診断・早期治療を実施するため、非常勤医師による診察を行いました。			診療を適切に実施するため、診療に必要な医療機器等の賃借を行いました。	
[参考] 外来診療実績			4 医薬品、医事関連消耗品・備品の購入	
診療受診件数 (延べ)		医科	16,930件	2,492,265
			診療を適切に実施するため、医薬品、診療業務に必要な消耗品・備品を購入しました。	
2 診療に付随する業務・機器管理委託等		4,172,977	5 旅費その他	418,158
診療を適切に実施するため、医療機器類の保守点検、感染性廃棄物処理の委託等を行いました。			職員の旅費・研修費、診療所等の保険料を支払いました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 療育センター外来・地域療育事業			当 初 予 算 額	6,977,000
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/療育センターさくら草		補 正 予 算 額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	概要(当初)P. 245	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 成長や発達に心配のある乳幼児・児童が地域生活を円滑に送ることができるように、早期療育を実施するとともに、家族支援や保育所・幼稚園等への地域支援を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	6,977,000
			支 出 済 額	6,320,657
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	656,343
			前年度支出済額	5,781,721
			増 減	538,936
<主な事業の成果>				
1 個別及び集団的技法を用いた訓練・指導		1,753,927	2 発達障害児支援事業 4,566,730	
成長や発達に心配のある乳幼児・児童に対し、社会的に自立することを目的として、理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心理指導等の訓練を行いました。			保育所・幼稚園等の職員が発達障害等について理解を深め、適切な支援の実施を図るため、専門職を派遣し、指導上の助言を行いました。また、保護者支援の勉強会等を開催しました。	
[参考] 外来療育利用実績 (延べ)			[参考] 発達障害児支援実績	
理 学 療 法	4,375件		グ ル ー プ 指 導	15回
作 業 療 法	2,229件		保 護 者 向 け 勉 強 会	6回
言 語 聴 覚 療 法	1,806件		ペアレントトレーニング	8組
心 理 指 導	2,208件		保健センター連携協力	2回
			出張カンファレンス	39回
			小・中学校支援	20回
			保 育 課 連 携 協 力	18回

事務事業名 療育センター児童発達支援センター運営事業			当初予算額	186,796,000
局/部/課	子ども未来局/総合療育センターひまわり学園/療育センターさくら草		補正予算額	0
款/項/目	3款 民生費/4項 児童福祉費/4目 障害児総合療育施設費	概要(当初)P. 246	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 児童発達支援センターに通う児童の状態に合わせて、生活指導、保育指導、保護者支援等を行います。 また、障害児が集団生活に適応できるよう保育所・幼稚園等へ訪問支援を行うほか、障害児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	186,796,000
			支出済額	185,236,512
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,559,488
			前年度支出済額	183,413,205
			増減	1,823,307
<主な事業の成果>				
1 児童発達支援センターの運営等業務		185,236,512		
通所児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう児童発達支援センターの運営を行いました。また、通所児が安全に通えるよう送迎バスの運行や食育・療育として給食の提供を行いました。				
[参考] 児童発達支援利用契約人数 (平成31年3月現在)				
すみれ園		35人		
たんぽぽ園		50人		

[参考] 保育所等訪問支援実績 (延べ)

保 育 園	42件
幼 稚 園	27件
そ の 他	2件

[参考] 相談支援利用契約件数 (平成31年3月現在)

契 約 件 数	319件
---------	------

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	当 初 予 算 額	37,056,000
款/項/目	1款 繰入金/1項 一般会計繰入金/1目 一般会計繰入金	補 正 予 算 額	0
歳入名称	一般会計繰入金	繰越財源充当額	0
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課	予 算 現 額	37,056,000
<主な成果> 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計への繰入金であり、母子父子寡婦福祉資金貸付事業に係る事務費及び貸付金の財源として繰り入れました。		調 定 額	33,413,628
		収 入 済 額	33,413,628
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	15,729,791
		増 減	17,683,837

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目	2款 繰越金/1項 繰越金/1目 繰越金	補 正 予 算 額	0
歳入名称	前年度繰越金	繰越財源充当額	0
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課	予 算 現 額	1,000
<主な成果> 前年度の繰越金を歳入として受け入れました。		調 定 額	5,751,850
		収 入 済 額	5,751,850
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	3,396,299
		増 減	2,355,551

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	当 初 予 算 額	30,370,000
款/項/目	3款 諸収入/1項 貸付金元利収入/1目 母子福祉資金貸付金元利収入	補 正 予 算 額	0
歳入名称	母子福祉資金貸付金元利収入	繰越財源充当額	0
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課	予 算 現 額	30,370,000
<主な成果> 経済的に厳しい状況にある母子家庭の経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付けを行った母子福祉資金貸付金の元金及び利子を収納しました。		調 定 額	47,540,141
		収 入 済 額	30,197,740
		不 納 欠 損 額	430,000
		収 入 未 済 額	16,912,401
		前年度収入済額	28,567,314
		増 減	1,630,426

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	当 初 予 算 額	287,000
款/項/目	3款 諸収入/2項 違約金/1目 母子福祉資金貸付金違約金	補 正 予 算 額	0
歳入名称	母子福祉資金貸付金違約金	繰越財源充当額	0
局/部/課	子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課	予 算 現 額	287,000
<主な成果> 納付期限を経過しても納付されない場合に、母子及び父子並びに寡婦福祉法の規定により発生した母子福祉資金貸付金に係る違約金を収納しました。		調 定 額	10,610,831
		収 入 済 額	251,492
		不 納 欠 損 額	922,535
		収 入 未 済 額	9,436,804
		前年度収入済額	784,209
		増 減	△ 532,717

会計名		母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		当 初 予 算 額		120,000,000			
局/部/課		子ども未来局/子ども育成部/子育て支援政策課		補 正 予 算 額		0			
概要(当初)P. 247				前年度繰越額		0			
<事業の目的・内容> 経済的に厳しい状況にある母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の方の経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付けを行います。				流 用 額		0			
				予 備 費 充 用 額		0			
				予 算 現 額		120,000,000			
				支 出 済 額		83,922,150			
				翌年度繰越額		0			
<不用額の理由> 貸付申請件数の増加による貸付金額の増加を見込んだものの、申請件数が見込みを下回り、貸付金額が見込みを下回ったため。				不 用 額		36,077,850			
				前年度支出済額		69,747,853			
				増 減		14,174,297			
<主な事業の成果>									
[1款:母子父子寡婦福祉資金貸付事業費]		83,922,150		[参考] 貸付けの実績					
配偶者のない女子、男子が現に扶養している児童を高等学校、大学等に就学させるために必要な授業料、書籍代等に充てる「修学資金」等の貸付けを行いました。 また、返済対象者についての償還指導を行いました。				貸付区分		件数(件)		金額(円)	
				修学資金		82		63,096,092	
				就学支度資金		13		6,158,430	
				技能習得資金		7		4,592,800	
				生活資金		2		1,604,400	
				転宅資金		1		87,800	
				合計		105		75,539,522	

平成30年度 環境局決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 再生可能エネルギー等の導入促進
 - ① 太陽光発電設備等を設置する市民及び団体に対し、設置費用の一部を補助しました。
 - ② 市有施設に太陽光発電設備等を設置し、再生可能エネルギーの導入を推進しました。
- (2) 地球温暖化対策の推進
 - ① 「さいたま市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、環境負荷低減計画制度や地球温暖化対策に関する啓発活動など市域の温室効果ガス排出量削減に係る事業を実施しました。
 - ② 「さいたま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、市役所自らの事務・事業により発生する温室効果ガス排出量削減に係る事業を実施しました。
- (3) 「環境未来都市」実現に向けた「スマートシティ」への取組
 - ① 平時の低炭素化と災害時のエネルギーセキュリティの確保に向けて、「E-K I Z U N A Project」を推進し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会時における会場間アクセスの確保のため、次世代バス導入に向け、民間事業者主体による車両の調達、次世代バス単体での走行試験を実施しました。また、新設小学校へのハイパーエネルギーステーションの整備を実施しました。
 - ② 良好な街並み・コミュニティ形成・平時の低炭素化・災害時の安全性（レジリエンス性）の確保に向け、電力融通システムを備えたスマートホーム・コミュニティ先導的モデル街区（第2期）の整備を開始するとともに、先導的モデル街区（第3期）の構想について検討を実施しました。
 - ③ 用途や人数、天候、その時の状況に応じ、最適なモビリティが選べる「複合型モビリティシェアリング実証事業」の他、EVバイクのモニター実証を民間事業者と連携して実施しました。
- (4) さいたま市水環境プランの推進
 - ① 水辺のサポート制度で市と協定を結んだ団体に対し、傷害保険、消耗品等を提供するなど、水辺の環境美化活動の支援を実施しました。
 - ② 市内小学校3校の雨水貯留タンクを修繕するとともに、設置校を対象に水の大切さを学ぶ環境学習会を実施しました。また、雨水貯留タンクを設置する市民に対し、設置費用の一部を補助し、雨水の有効利用等を推進しました。
- (5) 自動車からの環境負荷の低減
 - ① 全区役所で、モビリティマネジメントを推進するための啓発冊子と、バスマップ及び駐輪場マップ等を市内転入者に配布しました。
 - ② 自動車から排出される大気汚染物質や二酸化炭素の削減のため、さいたま市交通環境プランに基づき、エコドライブ講習会、ショッピングモールでのイベント開催等の啓発活動を実施しました。
- (6) 空き家対策の推進
 - ① 管理不全な空き家等の所有者等に対して、空家特措法又は条例に基づく指導等を行いました。また、空き家等対策計画に基づき、空き家等の発生予防を目的としたセミナーや相談会を実施するとともに、埼玉司法書士会と協定を締結し、所有者不明・不在の空き家等への対応に向けた、法務の専門的な知識等を要する業務について協力体制を構築しました。
- (7) ごみ減量・リサイクルの推進
 - ① 第4次一般廃棄物処理基本計画に基づき、「食品ロス削減」によるごみ減量施策を推進するため「おいしく減らす、食品ロス」をコンセプトにした動画再生マーカー付きパンフレット「Saitama Sunday Soup」を制作しました。
- (8) 市内高濃度ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の処理
 - ① 市が保有する高濃度PCB廃棄物の一部（5,729.5kg）を集約し、PCB廃棄物処理施設にて処分しました。
- (9) 一般廃棄物の安定処理
 - ① サーマルエネルギーセンター整備事業に係るアドバイザリー業務を実施し、DBO事業の要求水準書等を策定するとともに、入札公告を実施しました。

Ⅱ 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
16款	2,215,511,000	△ 20,400,000	0	2,195,111,000	2,169,092,417	2,153,070,067	2,626,550	13,395,800
17款	10,741,000	0	0	10,741,000	9,504,640	9,504,640	0	0
18款	984,000	0	0	984,000	844,600	844,600	0	0
19款	22,657,000	0	0	22,657,000	22,509,876	22,509,876	0	0
21款	37,827,000	△ 2,101,000	0	35,726,000	33,376,951	33,376,951	0	0
23款	1,341,802,000	△ 227,422,000	0	1,114,380,000	1,165,804,490	1,164,778,289	0	1,026,201
合計	3,629,522,000	△ 249,923,000	0	3,379,599,000	3,401,132,974	3,384,084,423	2,626,550	14,422,001

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
4款	15,003,664,000	△ 192,850,000	7,862,000	0	14,818,676,000	13,979,381,388	393,727,200	445,567,412
合計	15,003,664,000	△ 192,850,000	7,862,000	0	14,818,676,000	13,979,381,388	393,727,200	445,567,412

2 用地先行取得特別会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	30,574,000	0	0	30,574,000	30,572,957	30,572,957	0	0
合計	30,574,000	0	0	30,574,000	30,572,957	30,572,957	0	0

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	30,574,000	0	0	0	30,574,000	30,572,957	0	1,043
合計	30,574,000	0	0	0	30,574,000	30,572,957	0	1,043

※ P. 66を参照

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/2項 手数料/3目 衛生手数料	当 初 予 算 額	571,471,000
歳入名称 塵芥処理手数料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 環境局/施設部/環境施設管理課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 事業者及び家庭から排出された一般廃棄物と処理困難物の自己搬入に伴う処理手数料を収納しました。 [参考] 一般廃棄物 31,019.20 t 558,219,260円 処理困難物 1,568件 2,635,740円	予 算 現 額	571,471,000
	調 定 額	560,855,000
	収 入 済 額	560,855,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	564,294,740
	増 減	△ 3,439,740

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/2項 手数料/3目 衛生手数料	当 初 予 算 額	457,332,000
歳入名称 塵芥処理手数料	補 正 予 算 額	△ 22,000,000
局/部/課 環境局/施設部/西部環境センター	繰越財源充当額	0
<主な成果> 事業者及び家庭から排出された一般廃棄物と処理困難物の自己搬入に伴う処理手数料を収納しました。 [参考] 一般廃棄物 24,152.62 t 428,322,690円 処理困難物 1,457件 2,430,540円	予 算 現 額	435,332,000
	調 定 額	430,753,230
	収 入 済 額	430,753,230
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	438,349,370
	増 減	△ 7,596,140

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/2項 手数料/3目 衛生手数料	当 初 予 算 額	613,422,000
歳入名称 塵芥処理手数料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 環境局/施設部/クリーンセンター大崎	繰越財源充当額	0
<主な成果> 事業者及び家庭から排出された一般廃棄物と処理困難物の自己搬入に伴う処理手数料を収納しました。 [参考] 一般廃棄物 33,303.32 t 591,780,270円 処理困難物 2,219件 3,465,180円	予 算 現 額	613,422,000
	調 定 額	595,245,450
	収 入 済 額	595,245,450
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	590,834,000
	増 減	4,411,450

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	696,216,000
歳入名称 資源物収集売払収入	補 正 予 算 額	△ 68,110,000
局/部/課 環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 古紙・古繊維・びん等の資源物を売却しました。 [参考] ・古紙 278,798,727円 ・古繊維 30,542,553円 ・びん 70,589円 ・かん 213,748,330円 ・ペットボトル 131,085,271円 合計 654,245,470円	予 算 現 額	628,106,000
	調 定 額	654,245,470
	収 入 済 額	654,245,470
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	691,356,230
	増 減	△ 37,110,760

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 浄化槽管理運営事業			当初予算額	20,833,000
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 261	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 河川等の水質保全の観点から、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、浄化槽による生活排水の適正処理を推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	20,833,000
			支出済額	18,376,672
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 浄化槽設置整備事業補助金について、申請件数が見込みを下回ったため。			不用額	2,456,328
			前年度支出済額	18,074,392
			増減	302,280
<主な事業の成果>				
1 合併処理浄化槽の設置に対する支援		15,766,000	4 浄化槽保守点検業者に対する指導	
浄化槽整備区域内において単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、設置者に対し、設置費用の一部を補助することにより生活排水対策に寄与しました(23件)。			浄化槽保守点検業者の営業所等に対して立入検査を行い、点検器具の確認や標識の掲示等の指導を行いました(13件)。	
2 浄化槽設置状況等の管理		1,097,987	5 清掃業者の許可及び保守点検業者の登録	
浄化槽法に基づく設置届出書等を受理し、浄化槽の設置や維持管理状況について、管理・指導しました(浄化槽設置届出件数 26件)。			浄化槽法に基づく清掃業者の許可審査を行いました(清掃業者更新許可件数23件)。また、条例に基づく保守点検業者の登録を行いました(保守点検業者登録件数103件)。	
3 市民に対する啓発、指導		1,456,527		
浄化槽法に基づく法定検査を受検していない浄化槽管理者(対象2,047件)に対し、受検促進のための啓発・指導文書の送付や訪問指導を行いました。また、市民向け浄化槽維持管理講習会を1回開催しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 環境美化推進事業			当初予算額 82,498,000																											
局/部/課	環境局/資源循環推進部/資源循環政策課		補正予算額 △ 464,000																											
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 261	前年度繰越額 0																											
<事業の目的・内容> 「さいたま市路上喫煙及び空き缶等のポイ捨ての防止に関する条例」に基づき、環境美化重点区域及び路上喫煙禁止区域に指定した7駅周辺の路上喫煙、ポイ捨ての防止を図るため、より一層の広報・啓発活動を行います。 また、環境美化に対する市民意識の一層の向上を図るため、ポイ捨て防止対策及び市民参加による清掃活動を継続的に実施します。			流用額 0																											
			予備費充用額 0																											
			予算現額 82,034,000																											
			支出済額 79,099,605																											
			翌年度繰越額 0																											
			不用額 2,934,395																											
			前年度支出済額 76,542,674																											
<主な事業の成果>			増 減 2,556,931																											
1 路上喫煙及びポイ捨て防止の推進 77,583,065			[参考]																											
路上喫煙禁止区域及び環境美化重点区域の市内7駅周辺で、環境美化指導員による巡回パトロールを実施するとともに、路面シートを更新しました。			<div>路上喫煙禁止区域における路上喫煙率の推移</div> <table border="1"><caption>路上喫煙率の推移 (推定値)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>路上喫煙率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19</td><td>1.2</td></tr><tr><td>H20</td><td>0.6</td></tr><tr><td>H21</td><td>0.5</td></tr><tr><td>H22</td><td>0.4</td></tr><tr><td>H23</td><td>0.45</td></tr><tr><td>H24</td><td>0.3</td></tr><tr><td>H25</td><td>0.2</td></tr><tr><td>H26</td><td>0.3</td></tr><tr><td>H27</td><td>0.2</td></tr><tr><td>H28</td><td>0.15</td></tr><tr><td>H29</td><td>0.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>0.1</td></tr></tbody></table> <p>※平成23年度 3→7駅周辺に区域を追加指定</p>		年度	路上喫煙率 (%)	H19	1.2	H20	0.6	H21	0.5	H22	0.4	H23	0.45	H24	0.3	H25	0.2	H26	0.3	H27	0.2	H28	0.15	H29	0.1	H30	0.1
年度	路上喫煙率 (%)																													
H19	1.2																													
H20	0.6																													
H21	0.5																													
H22	0.4																													
H23	0.45																													
H24	0.3																													
H25	0.2																													
H26	0.3																													
H27	0.2																													
H28	0.15																													
H29	0.1																													
H30	0.1																													
2 市民清掃活動の推進 1,516,540																														
環境美化意識の向上を図るため、市民参加による「ごみゼロキャンペーン市民清掃活動」を実施しました。																														
<table border="1"><tr><th colspan="4">平成30年度ごみゼロキャンペーン市民清掃活動実績</th></tr><tr><td>参加団体数</td><td>825団体</td><td>可燃ごみ</td><td>43,810kg</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>98,996人</td><td>不燃ごみ</td><td>4,810kg</td></tr><tr><td colspan="2">収集量合計</td><td colspan="2">48,620kg</td></tr></table>			平成30年度ごみゼロキャンペーン市民清掃活動実績				参加団体数	825団体	可燃ごみ	43,810kg	参加人数	98,996人	不燃ごみ	4,810kg	収集量合計		48,620kg													
平成30年度ごみゼロキャンペーン市民清掃活動実績																														
参加団体数	825団体	可燃ごみ	43,810kg																											
参加人数	98,996人	不燃ごみ	4,810kg																											
収集量合計		48,620kg																												

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 廃棄物処理対策事業（資源循環政策課）			当初予算額	84,812,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/資源循環政策課		補正予算額	△ 1,192,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 262	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 一般廃棄物処理基本計画に基づき、広く市民や事業者にごみ減量・リサイクルの推進及び啓発を図ります。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	83,620,000
			支出済額	81,622,628
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	1,997,372
			前年度支出済額	90,277,626
			増 減	△ 8,654,998
<主な事業の成果>				
1 一般廃棄物減量施策の推進	6,471,000	4 3Rの普及・啓発	1,582,002	
「食品ロス削減」によるごみ減量施策を推進するため、「おいしく減らす、食品ロス」をコンセプトにした動画再生マーカー付きパンフレットを制作しました。また、フードドライブ事業を開始しました。		ごみ減量に関する3R（発生抑制・再利用・再生利用）をPRするため、ごみスクールリーフレット、チラシ等を作成し、イベント等で啓発を行いました。		
2 クリーンさいたま推進員の活動支援	1,835,982	5 衛生協力助成金の交付	65,502,286	
ごみの減量及び適正処理を推進するため、行政と市民をつなぐ地域のリーダーの役割を担う「クリーンさいたま推進員」の委嘱状交付式を行いました。また、ごみ減量施策について講習会を行いました。（1,499人）		ごみ収集所の管理、清潔保持等を行う自治会に対し、ごみの散乱防止、広報・看板の作成、清掃用具の購入等にかかる経費の一部として助成金を交付しました。 ・交付団体数 822自治会		
3 ごみ分別アプリの配信	1,166,400	6 諸会議への参加等	5,064,958	
ごみの分別排出を促進するため、日本語版のごみ分別アプリの配信を行うとともに、外国人向けに、英語、中国語など外国語版アプリを配信し、分別に対する意識の啓発を図りました。		全国都市清掃会議、九都県市廃棄物問題検討委員会、埼玉県清掃行政研究協議会等への負担金を支出しました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 廃棄物処理対策事業（廃棄物対策課）			当初予算額	38,894,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 262	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 一般廃棄物処理実施計画に基づき、広く市民や事業者にごみの発生抑制やリサイクルを周知し、ごみの減量、分別を推進し資源循環型社会の構築を図ります。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	38,894,000
			支出済額	36,225,420
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	2,668,580
			前年度支出済額	34,818,702
			増 減	1,406,718
<主な事業の成果>				
1 家庭ごみの分別及び適正排出の啓発	13,115,690	4 ごみ収集所等における分別の啓発	2,718,834	
「家庭ごみの出し方マニュアル」を作成し、全戸配布や転入時の窓口配布等を行うことにより、家庭ごみの分別、適正排出の周知徹底を図りました。		家庭ごみ収集所看板、ごみ収集所警告シール等を作成し、分別方法や収集曜日を周知しました。		
2 粗大ごみ等処理手数料の納付券制度の推進	7,068,966	5 諸会議への参加等	827,076	
粗大ごみや特定適正処理困難物の戸別収集の手数料について、コンビニエンスストア等で事前に納付券を購入することで収集時の立会いを不要とする制度を推進しました。		廃棄物の適正処理推進のため、大都市清掃事業協議会への出席、廃棄物処理法に基づく委託施設現地調査、容器包装リサイクル法に基づく品質検査の立会い等を実施しました。		
3 事業ごみ適正処理の啓発	12,494,854			
事業ごみの家庭ごみ収集所への不適正排出、市清掃センターへの産業廃棄物混入を防止するため、ごみ搬入検査を強化し、事業ごみの適正処理及びリサイクル推進を促しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 安全衛生推進事業（西清掃事務所）			当初予算額	773,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/西清掃事務所		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 263	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会へ定期的に参加するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	773,000
			支出済額	747,653
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	25,347
			前年度支出済額	624,016
			増 減	123,637
<主な事業の成果>				
1 産業医による健康相談等		516,000	4 安全確認研修への派遣	52,990
職員の健康管理及び維持のため、産業医による健康相談・保健指導及び場内の安全パトロールを実施しました。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、安全衛生委員会を開催しました。			職員の危険防止、回避能力向上のため、安全確認研修へ年2回4名を派遣しました。	
2 労働安全衛生環境の適正化		116,283	5 収集車両の取扱研修	1,620
医薬品の購入等により、職員の労働安全衛生環境の適正化を図りました。			職員の車両取扱技術向上のため、収集車両の取扱研修を年1回実施しました。	
3 安全運転の推進		60,760		
地区安全運転管理者協会へ加入し、安全運転管理者講習や交通事故防止コンクールに参加しました。また、交通安全研修会の開催等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 安全衛生推進事業（東清掃事務所）			当初予算額	823,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/東清掃事務所		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 263	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会へ定期的に参加するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	823,000
			支出済額	785,536
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	37,464
			前年度支出済額	695,495
			増 減	90,041
<主な事業の成果>				
1 産業医による健康相談等		516,000	4 安全確認研修への派遣	51,229
職員の健康管理及び維持のため、産業医による健康相談・保健指導及び場内の安全パトロールを実施しました。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、安全衛生委員会を開催しました。			職員の危険防止、回避能力向上のため、安全確認研修へ年2回4名を派遣しました。	
2 労働安全衛生環境の適正化		156,327	5 収集車両の取扱研修	2,160
医薬品の購入等により、職員の労働安全衛生環境の適正化を図りました。			職員の車両取扱技術向上のため、収集車両の取扱研修を年1回実施しました。	
3 安全運転の推進		59,820		
地区安全運転管理者協会へ加入し、安全運転管理者講習や交通事故防止コンクールに参加しました。また、交通安全研修会の開催等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 安全衛生推進事業（西部環境センター）			当初予算額	1,812,000
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 264	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会へ定期的に参加するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,812,000
			支出済額	1,790,559
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	21,441
			前年度支出済額	26,663,260
			増 減	△ 24,872,701
<主な事業の成果>				
1 産業医による健康相談等 職員の健康管理及び維持のため、産業医による健康相談・保健指導及び場内の安全パトロールを実施しました。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、西清掃事務所と合同で安全衛生委員会を開催しました。				
2 労働安全衛生環境の適正化 1,350,739 職員の労働安全衛生環境の適正化を図るほか、安全用保護具を購入し、職員の安全及び健康の確保並びに適正な職場環境を維持しました。				
3 安全・安定操業のための法定資格取得 439,820 業務上必要な免許及び資格の取得や講習の受講をしたことにより、技術の伝承や安全意識の徹底などを図りました。 ・クレーン・デリック運転士免許取得				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 安全衛生推進事業（東部環境センター）			当初予算額	1,383,000
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 264	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会を定期的に開催するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,383,000
			支出済額	1,249,532
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	133,468
			前年度支出済額	1,271,396
			増 減	△ 21,864
<主な事業の成果>				
1 産業医による健康相談等 516,000 職員の健康管理及び維持のため、産業医による健康相談・保健指導及び場内の安全パトロールを実施しました。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、安全衛生委員会を開催しました。				
2 労働安全衛生環境の適正化 705,748 職員の労働安全衛生環境の適正化を図るほか、安全用保護具を購入し、職員の安全及び健康の確保並びに適正な職場環境を維持しました。				
3 安全・安定操業のための法定資格取得 27,784 業務上必要な免許及び資格の取得や講習の受講をしたことにより、技術の伝承や安全意識の徹底などを図りました。 ・クレーン運転のための特別教育				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 安全衛生推進事業（クリーンセンター大崎）			当初予算額	1,368,000
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター大崎		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 265	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会を定期的に開催するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,368,000
			支出済額	1,215,118
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	152,882
			前年度支出済額	1,514,993
			増 減	△ 299,875
<主な事業の成果>				
1 産業医による健康相談等 636,000		3 安全・安定操業のための法定資格取得 346,942		
職員の健康管理及び維持のため、産業医による健康相談・保健指導及び場内の安全パトロールを実施しました。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、安全衛生委員会を開催しました。		業務上必要な免許及び資格の取得や講習の受講をしたことにより、技術の伝承や安全意識の徹底などを図りました。		
2 労働安全衛生環境の適正化 232,176		(1) クレーン運転のための特別教育		
職員の労働安全衛生環境の適正化を図るほか、安全用保護具を購入し、職員の安全及び健康の確保並びに適正な職場環境を維持しました。		(2) 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習		
		(3) フォークリフト運転技能講習		
		(4) その他		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 安全衛生推進事業（大宮南部浄化センター）			当初予算額	99,000
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 265	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、職員安全衛生委員会へ定期的に参加するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	99,000
			支出済額	82,637
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	16,363
			前年度支出済額	47,960
<主な事業の成果>			増 減	34,677
1 安全衛生教育の実施 82,637 労働安全衛生に関する講習や教育を実施することにより、職員の安全衛生に関する知識と意識を向上させ、事故を防止し職場環境を適切に保ちました。 (1) 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 (2) フォークリフト運転技能講習 (3) 低圧電気取扱者安全衛生特別教育				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 安全衛生推進事業（クリーンセンター西堀）			当初予算額	209,000
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 266	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理規程に基づき、安全衛生推進委員会を定期的に開催するとともに、本庁舎等で実施している職員健康相談・保健指導の案内、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	209,000
			支出済額	189,831
			翌年度繰越額	0
			不用額	19,169
			前年度支出済額	113,590
			増減	76,241
<主な事業の成果>				
1 安全衛生教育の実施			189,831	
労働安全衛生に関する講習や教育を実施したことにより、職員の安全衛生に関する知識と意識の向上が図られ、事故を防止し適正な職場環境を維持しました。				
(1)フォークリフト運転技能講習会 (2)ショベルローダー等運転技能講習 (3)酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 (4)低圧電気取扱者安全衛生特別教育講習会 (5)特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者技能講習 (6)自由研削といしの取替え等業務に係る特別教育				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 家庭吸込下水処理対策事業（大宮南部浄化センター）			当初予算額	393,000
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 266	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 収集委託業者に対する業務指導や家庭吸込下水設置者への機能維持に関する適切な指導、啓発を行います。また、緊急時には収集業務を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	393,000
			支出済額	298,602
			翌年度繰越額	0
			不用額	94,398
			前年度支出済額	134,688
			増減	163,914
<主な事業の成果>				
1 家庭吸込下水に関する指導・啓発			298,602	
収集委託業者に対する業務指導や家庭吸込下水設置者への機能維持に関する適切な指導、啓発を行い、家庭吸込下水の外部流出を未然に防止しました。				
・家庭吸込下水収集世帯数 52件 （平成31年3月末日現在）				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 家庭吸込下水処理対策事業（クリーンセンター西堀）			当初予算額	585,000
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/1目 清掃総務費	概要(当初)P. 267	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 収集委託業者に対する業務指導や家庭吸込下水設置者への機能維持に関する適切な指導、啓発を行います。また、緊急時には収集業務を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	585,000
			支出済額	570,024
			翌年度繰越額	0
			不用額	14,976
			前年度支出済額	201,615
			増減	368,409
<主な事業の成果>				
1 家庭吸込下水に関する指導・啓発			570,024	
収集委託業者に対する業務指導や家庭吸込下水設置者への機能維持に関する適切な指導、啓発を行い、家庭吸込下水の外部流出を未然に防止しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭吸込下水収集世帯数 77件 (平成31年3月末日現在) 				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 一般廃棄物収集運搬処分事業			当初予算額	3,135,578,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課		補正予算額	△ 67,724,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 267	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 一般廃棄物処理実施計画に基づき、一般家庭から排出される一般廃棄物（可燃物・不燃物等）の適正な収集・運搬・処分業務を行い、市民の快適な生活環境の保全を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	3,067,854,000
			支出済額	3,062,117,644
			翌年度繰越額	0
			不用額	5,736,356
			前年度支出済額	3,013,914,196
			増減	48,203,448
<主な事業の成果>				
1 可燃物収集委託			2,175,970,500	
家庭から排出される「もえるごみ」の収集を委託することにより、家庭ごみの効率的な収集及び処理を行いました。				
2 不燃物収集委託			658,611,216	
家庭から排出される「もえないごみ・有害危険ごみ」の収集を委託することにより、家庭ごみの効率的な収集及び処理を行いました。				
3 粗大ごみ収集委託			177,661,080	
家庭から排出される「粗大ごみ・特定適正処理困難物」の収集を委託することにより、家庭ごみの効率的な収集及び処理を行いました。				
4 死犬猫等収集運搬・処分委託			47,299,680	
死亡した飼い犬や猫などの小動物及び飼い主不明の道路路上等で死亡していた犬や猫などの収集運搬・火葬・供養を委託により行いました。				
5 廃家電運搬業務委託			2,575,168	
収集所等に不法投棄された廃家電品（家電リサイクル法対象品目）について、清掃センターの保管場所から製造業者の指定する引取場所までの運搬を委託により行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西清掃事務所収集・管理事業			当初予算額	90,693,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/西清掃事務所		補正予算額	△ 2,411,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 268	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し、都市環境の美化及び衛生の保持を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	88,282,000
			支出済額	81,421,641
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 可燃物収集委託、節電等の実施、車両重量税減税により燃料費、光熱水費、公課費が見込みを下回ったため。また、修繕料、委託料に契約差額が生じたため。			不用額	6,860,359
			前年度支出済額	76,141,417
			増減	5,280,224
<主な事業の成果>				
1 一般廃棄物の収集運搬業務		81,421,641	[参考]	
西清掃事務所担当区域内の家庭から各ごみ収集所に排出される一般廃棄物を収集しました。			平成30年度 収集実績 (単位：t)	
[参考] 平成31年3月31日現在 担当区域内世帯数 165,370世帯 うち可燃物収集担当世帯数 46,203世帯			区分	収集量
			可燃物	17,373.60
			不法投棄	1.21
			臨時ごみ	79.43
			ふれあい収集	181.68
			小型家電	12.24
			総収集量	17,648.16
			月平均	1,447.80

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 東清掃事務所収集・管理事業			当初予算額	81,908,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/東清掃事務所		補正予算額	△ 4,620,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 268	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し、都市環境の美化及び衛生の保持を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	77,288,000
			支出済額	75,525,947
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果>			不用額	1,762,053
			前年度支出済額	72,696,110
			増減	2,829,837
<主な事業の成果>				
1 一般廃棄物の収集運搬業務		75,525,947	[参考]	
東清掃事務所担当区域内の家庭から各ごみ収集所に排出される一般廃棄物を収集しました。			平成30年度 収集実績 (単位：t)	
[参考] 平成31年3月31日現在 担当区域内世帯数 169,348世帯 うち可燃物収集担当世帯数 48,990世帯			区分	収集量
			可燃物	19,120.81
			不法投棄	12.50
			臨時ごみ	122.80
			ふれあい収集	278.68
			小型家電	11.14
			総収集量	19,545.93
			月平均	1,593.40

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大崎清掃事務所収集・管理事業			当初予算額	37,751,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/大崎清掃事務所		補正予算額	△ 2,610,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 269	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し、都市環境の美化及び衛生の保持を図ります。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	35,141,000
			支出済額	33,201,290
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	1,939,710
			前年度支出済額	29,773,550
			増 減	3,427,740
<主な事業の成果>				
1 一般廃棄物の収集運搬業務		28,321,906	2 粗大ごみ受付業務	4,879,384
大崎清掃事務所担当区域内の家庭から各ごみ収集所に排出される一般廃棄物を収集しました。			市内全域の各家庭から、一般家庭粗大ごみの収集申込みを電話受付し、各清掃事務所を介して委託業者へ収集依頼を行いました。	
[参考]			[参考]	
平成31年3月31日現在			平成30年度受付個数	74,692個
担当区域内世帯数		260,157世帯		
うち可燃物収集担当世帯数		23,034世帯		
平成30年度 収集実績		(単位：t)		
区分	収集量	月平均		
可燃物	8,723.06	726.92		
不法投棄	9.14	0.76		
臨時ごみ	93.79	7.82		
ふれあい収集	309.89	25.82		
小型家電	15.34	1.28		
総収集量	9,151.22	762.60		


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 最終処分場維持管理事業			当初予算額	228,212,000
局/部/課	環境局/施設部/環境施設管理課		補正予算額	△ 1,300,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 269	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 環境広場及びうらわフェニックスの2か所の最終処分場で、本市の焼却施設から排出された焼却灰等の一般廃棄物を安全かつ衛生的に埋立処分します。 また、環境広場、うらわフェニックスの最終処分場及び、高木第二、間宮の埋立完了地については、埋立地から排出される浸出水を浸出水処理施設で適正に処理します。その他、施設の維持管理等を行います。			流 用 額	25,000,000
			予備費充用額	0
			予算現額	251,912,000
			支出済額	244,978,911
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	6,933,089
			前年度支出済額	211,893,666
			増 減	33,085,245
<主な事業の成果>				
1 埋立処分及び浸出水の処理		94,500,000	[参考]	
焼却施設から排出された焼却灰等の埋立処分及び埋立地から排出される浸出水の適正な処理を行いました。				
2 最終処分場及び周辺の環境監視		12,269,753		
浸出水処理施設で処理した放流水のほか、最終処分場内及び埋立完了地周辺の地下水等の検査を行い、埋立地とその周辺を監視することで環境の保全を図りました。				
3 最終処分場及び埋立完了地の維持管理		138,209,158		
現在稼働中の最終処分場及び埋立完了地（高木第二、間宮、高木第一、箕輪、平林寺等）の除草、緑地管理、浸出水処理施設の修繕等の維持管理を行いました。			うらわフェニックス	


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 旧環境センター管理事業			当初予算額	677,917,000
局/部/課	環境局/施設部/環境施設管理課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 270	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 旧岩槻環境センター、クリーンセンター与野跡地など、一般廃棄物処理施設閉鎖後の管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	677,917,000
			支出済額	282,496,910
			翌年度繰越額	393,727,200
			不用額	1,692,890
			前年度支出済額	29,683,059
			増減	252,813,851
<主な事業の成果>				
1 維持管理業務		8,992,110	[参考]	
閉鎖施設を適正に維持管理していくため、植栽管理等を実施しました。				
2 旧クリーンセンター大崎第一工場解体工事等		273,504,800		
旧クリーンセンター大崎第一工場外の解体工事に着手し、工事監理業務等を実施しました。				
			旧クリーンセンター大崎第一工場	


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 桜環境センター運営管理事業			当初予算額	1,878,959,000
局/部/課	環境局/施設部/環境施設管理課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 270	前年度繰越額	7,862,000
<事業の目的・内容> 高効率で熱回収し発電等を行う熱回収施設、資源物を再資源化するリサイクルセンターのほか、環境啓発施設及び余熱体験施設を有する管理棟の維持管理運営を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,886,821,000
			支出済額	1,850,422,067
			翌年度繰越額	0
			不用額	36,398,933
			前年度支出済額	1,657,891,935
			増減	192,530,132
<主な事業の成果>				
1 維持管理運営事業		1,834,174,269	4 周辺環境整備等事業	
熱回収施設、リサイクルセンター、管理棟（環境啓発施設及び余熱体験施設）の維持管理運営業務を特別目的会社（SPC）に委託しました。			周辺環境整備の一環として設置した、桜田公園の出入口の側溝整備等を行いました。	
2 維持管理モニタリング等業務		4,723,920		
SPCの維持管理運営業務が適切に履行されているか、実施状況を定期及び随時に確認しました。 スラグ、固化灰の放射能測定や、プラスチック、PETボトルの選別状況の立会検査を行いました。				
3 処理困難ごみ等の処分		8,810,478	[参考]	
処理困難ごみである廃タイヤ等を適正に処分しました。				
			桜環境センター	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西部環境センター維持管理事業			当初予算額	1,725,091,000
局/部/課 環境局/施設部/西部環境センター			補正予算額	△ 27,000,000
款/項/目 4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費		概要(当初)P. 271	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市民の生活環境の向上を図るため、可燃・不燃ごみ等の処理及び焼却灰の熔融処理を適切に行うとともに、ごみ処理施設の性能維持及び公害等の定常的な発生防止に努めます。			流用額	△ 3,390,000
			予備費充用額	0
			予算現額	1,694,701,000
			支出済額	1,627,571,512
			翌年度繰越額	0
			不用額	67,129,488
			前年度支出済額	1,587,159,395
			増減	40,412,117
<主な事業の成果>				
1 消耗品等の購入		248,187,196	[参考] 	
焼却施設で使用する公害防止用薬品及びごみ処理施設の運転に必要な消耗品等を購入し、施設の性能を維持し、周辺の環境を保全しました。				
2 ごみ処理施設の保守管理運営		368,518,440		
建物管理を含めた、ごみ処理施設の保守管理を実施し、適正に維持管理することで、日々発生する一般廃棄物の処理を安定的に行いました。				
3 施設の性能維持及び延命化		1,010,865,876		
ごみ処理施設の老朽化した設備を整備し、施設の性能維持及び延命化を行いました。				
			西部環境センター	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西部環境センター残渣処分事業			当初予算額	133,379,000	
局/部/課 環境局/施設部/西部環境センター			補正予算額	0	
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 271	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた熔融スラグの有効利用を進めるほか、熔融施設定期整備による休炉中は焼却灰を桜環境センターに運搬し、資源化する等の再資源化処理を行います。			流用額	0	
			予備費充用額	0	
			予算現額	133,379,000	
			支出済額	107,396,604	
			翌年度繰越額	0	
<不用額の理由> 一般廃棄物の搬入量が当初計画を下回ったことから、残渣の運搬・処分量が見込みを下回ったため。			不用額	25,982,396	
			前年度支出済額	145,711,665	
			増減	△ 38,315,061	
<主な事業の成果>					
1 焼却灰の運搬・処分（資源化）		2,948,879	4 処理困難ごみ等の処分		4,491,763
灰熔融炉整備期間中に発生する焼却灰を桜環境センターに運搬し、資源化することで、最終処分率を低減しました。			処理困難ごみである廃タイヤ等を適正に処分しました。		
2 最終処分場への運搬・処分		99,243,573			
排ガス処理に使用した反応済石灰と飛灰を固化した物及びスラグ処理設備等で発生した規格外スラグを最終処分場へ運搬しました。					
3 破碎処理磁性物（鉄）の資源化処理		712,389			
粗大ごみ処理施設で選別され発生する鉄の資源化を行いました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 東部環境センター維持管理事業			当初予算額	919,497,000
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター		補正予算額	△ 15,000,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 272	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市民の生活環境の向上を図るため、可燃・不燃ごみ等の処理を適切に行うとともに、ごみ処理施設の性能維持及び公害等の定常的な発生防止に努めます。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	904,497,000
			支出済額	873,976,647
			翌年度繰越額	0
			不用額	30,520,353
			前年度支出済額	1,140,293,065
			増 減	△ 266,316,418
<主な事業の成果>				
1 消耗品等の購入		125,874,627	[参考]	
焼却施設で使用する公害防止用薬品及びごみ処理施設の運転に必要な消耗品等を購入し、施設の性能を維持し、周辺の環境を保全しました。				
2 ごみ処理施設の保守管理運営		244,530,327		
建物管理を含めた、ごみ処理施設の保守管理を実施し、適正に維持管理することで、日々発生する一般廃棄物の処理を安定的に行いました。				
3 施設の性能維持及び延命化		503,571,693		
ごみ処理施設の性能維持及び老朽化した施設の延命化のための整備を行いました。				
東部環境センター				


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 東部環境センター残渣処分事業			当 初 予 算 額 321,381,000	
局/部/課 環境局/施設部/東部環境センター		補 正 予 算 額 △ 15,000,000		
款/項/目 4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費		概要(当初)P. 272		前年度繰越額 0
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた焼却灰等をセメントの原料として資源化する等の再資源化処理を行います。				流 用 額 0
				予備費充用額 0
				予 算 現 額 306,381,000
				支 出 済 額 277,555,476
				翌年度繰越額 0
				不 用 額 28,825,524
				前年度支出済額 254,285,686
<不用額の理由> 焼却灰・ばいじんの搬出及び処分量が予想数量を下回ったため。また、処理施設が安定稼働し、一部委託業務の執行が不要となったため。				増 減 23,269,790
<主な事業の成果>				
1 焼却灰等の運搬・処分（資源化） 272,788,508		4 処理困難ごみ等の処分 953,208		
焼却炉から発生する焼却灰等をセメント等の原料として資源化し、最終処分率を低減しました。		処理困難ごみである廃タイヤ等を適正に処分しました。		
2 破碎残渣運搬（資源化） 3,813,760				
破碎残渣を桜環境センターに運搬し、熔融スラグ及びメタルとして資源化しました。				
3 破碎処理磁性物（鉄）の資源化処理				
粗大ごみ処理施設で選別し資源化された鉄を有価物として売り払いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 クリーンセンター大崎維持管理事業			当初予算額	1,255,533,000
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター大崎		補正予算額	76,595,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 273	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市民の生活環境向上を図るため、可燃・不燃ごみ等の処理を適切に行うとともに、ごみ処理施設の性能維持及び公害等の定常的な発生防止に努めます。		概要(6補)P. 9	流用額	△ 25,000,000
			予備費充用額	0
			予算現額	1,307,128,000
			支出済額	1,255,427,690
			翌年度繰越額	0
			不用額	51,700,310
			前年度支出済額	1,300,869,118
			増 減	△ 45,441,428
<主な事業の成果>				
1 消耗品等の購入		155,638,227	[参考] 	
焼却施設で使用する公害防止用薬品及びごみ処理施設の運転に必要な消耗品等を購入し、施設の性能を維持し、周辺の環境を保全しました。				
2 ごみ処理施設の保守管理運営		496,194,035		
建物管理を含めた、ごみ処理施設の保守管理を実施し、適正に維持管理することで、日々発生する一般廃棄物の処理を安定的に行いました。				
3 施設の性能維持及び延命化		603,595,428		
ごみ処理施設の性能維持及び老朽化した施設の延命化のための整備を行いました。			クリーンセンター大崎	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 クリーンセンター大崎残渣処分事業			当 初 予 算 額 325,212,000	
局/部/課 環境局/施設部/クリーンセンター大崎			補 正 予 算 額 △ 9,639,000	
款/項/目 4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費		概要(当初)P. 273	前年度繰越額 0	
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた焼却灰をセメントの原料として資源化する等の再資源化処理を行います。			流 用 額 0	
			予備費充用額 0	
			予 算 現 額 315,573,000	
			支 出 済 額 267,518,565	
			翌年度繰越額 0	
			不 用 額 48,054,435	
			前年度支出済額 261,177,512	
<不用額の理由> 一般廃棄物の搬入量が当初計画を下回ったことから、残渣の運搬・処分量が見込みを下回ったため。			増 減 6,341,053	
<主な事業の成果>				
1 焼却灰の運搬・処分（資源化） 82,291,743		4 破碎処理磁性物（鉄）の資源化処理 523,284		
焼却炉から発生する焼却灰をセメントの原料として資源化し、最終処分率を低減しました。		粗大ごみ処理施設で選別され発生する鉄の資源化を行いました。		
2 焼却灰・破碎残渣運搬（資源化） 29,312,763		5 処理困難ごみ等の処分 18,615,528		
焼却灰・破碎残渣を桜環境センターに運搬し、熔融スラグ及びメタルとして資源化しました。		処理困難ごみである廃タイヤ等を適正に処分しました。		
3 最終処分場への運搬処分 136,775,247				
焼却灰・固化灰を最終処分場へ運搬しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 用地先行取得事業特別会計繰出金（環境施設管理課）			当初予算額	15,776,000
局/部/課	環境局/施設部/環境施設管理課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 274	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 公共用地取得に伴う償還金について、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	15,776,000
			支出済額	15,775,657
			翌年度繰越額	0
			不用額	343
			前年度支出済額	15,834,761
			増減	△ 59,104
<主な事業の成果>				
1 用地先行取得事業特別会計への繰出し 15,775,657			[参考]	
高木第二最終処分場の水処理施設建替用地の先行取得に係る市債の元金償還及び利子の支払をするため、一般会計から用地先行取得事業特別会計への繰出しを行いました。			繰出金の推移	
(1) 用地先行取得事業特別会計繰出金 (元金・高木第二最終処分場) 15,554,000円			・平成25年度決算額	16,071,182円
(2) 用地先行取得事業特別会計繰出金 (利子・高木第二最終処分場) 221,657円			・平成26年度決算額	16,010,862円
			・平成27年度決算額	15,951,919円
			・平成28年度決算額	15,896,782円
			・平成29年度決算額	15,834,761円

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 用地先行取得事業特別会計繰出金（環境施設整備課）			当初予算額	14,798,000
局/部/課	環境局/施設部/環境施設整備課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/2目 塵芥処理費	概要(当初)P. 274	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 公共用地取得に伴う償還金について、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	14,798,000
			支出済額	14,797,300
			翌年度繰越額	0
			不用額	700
			前年度支出済額	14,825,832
			増減	△ 28,532
<主な事業の成果>				
1 用地先行取得事業特別会計への繰出し 14,797,300			[参考]	
サーマルエネルギーセンター建設用地取得に係る市債の元金償還及び利子の支払をするため、一般会計から用地先行取得事業特別会計への繰出しを行いました。			繰出金の推移	
(1) 用地先行取得事業特別会計繰出金 (元金・サーマルエネルギーセンター) 14,598,000円			・平成27年度決算額	121,026円
(2) 用地先行取得事業特別会計繰出金 (利子・サーマルエネルギーセンター) 199,300円			・平成28年度決算額	10,373,580円
			・平成29年度決算額	14,825,832円

(一般会計・歳出)


(単位：円)

事務事業名 し尿処理事業			当初予算額	389,481,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課		補正予算額	△ 3,151,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/3目 し尿処理費	概要(当初)P. 275	前年度繰越額	0
＜事業の目的・内容＞ 一般家庭等のし尿収集運搬及び処理業務を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	386,330,000
			支出済額	377,678,417
			翌年度繰越額	0
			不用額	8,651,583
			前年度支出済額	381,925,673
			増減	△ 4,247,256
＜主な事業の成果＞				
1 し尿収集運搬委託		364,779,682		
収集運搬を民間業者へ委託するとともに、し尿等の収集が正確かつ適正に行われるよう指導しました。				
2 し尿処理手数料の徴収		2,546,255		
し尿処理手数料の納入通知や督促状を送付しました。				
・ 発送件数 納入通知 7,129件				
督促状 2,223件				
3 利用者情報の電算管理		10,352,480		
し尿処理システムにより、利用者情報の効率的な管理を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮南部浄化センター維持管理事業			当初予算額	259,148,000
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/3目 し尿処理費	概要(当初)P. 275	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> し尿・浄化槽汚泥及び家庭吸込下水を適切に処理するため、施設の運転、日常点検及び定期整備を行い、処理水を適正な水質にして河川に放流します。 また、センターに付属する環境学習施設を管理、運営します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	259,148,000
			支出済額	252,841,757
			翌年度繰越額	0
			不用額	6,306,243
			前年度支出済額	212,519,715
			増減	40,322,042
<主な事業の成果>				
1 施設の維持管理		231,745,350	[参考]	
設備等の定期整備及び保守管理を実施し、施設を適切かつ衛生的に維持管理しました。				
2 し尿等の処理		17,950,186		
し尿の処理に必要な薬品等消耗品の購入や、放流水等の分析測定をすることで、法令基準値を遵守した適正な処理を行いました。				
3 環境学習施設の運営		3,146,221		
環境学習コーナー及び自然庭園の管理運営を行い、来館者が見学しやすい環境を整備しました。				




自然庭園（センター内に設置）



自然庭園 (センター内に設置)

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 クリーンセンター西堀維持管理事業			当初予算額	103,609,000
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀		補正予算額	△ 3,400,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/3目 し尿処理費	概要(当初)P. 276	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> し尿・浄化槽汚泥及び家庭吸込下水を適切に処理するため、施設の運転、日常点検及び定期整備を行い、処理水を適正な水質にして河川に放流します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	100,209,000
			支出済額	95,512,529
			翌年度繰越額	0
			不用額	4,696,471
			前年度支出済額	106,147,611
			増減	△ 10,635,082
<主な事業の成果>				
1 施設の維持管理		75,410,161	[参考]	
施設を適切かつ衛生的に維持管理するため、設備等の定期整備及び保守管理等を実施し、機器故障等による受入停止を起こすことなく施設の運営を行いました。				
2 し尿等の処理		20,102,368		
し尿等の処理に必要な薬品等消耗品の購入や、放流水等の分析測定をするなど、法令基準値を遵守した適正な処理を行いました。				
				
クリーンセンター西堀				


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 リサイクル推進事業			当 初 予 算 額	85,586,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/4目 リサイクル推進費	概要(当初)P. 276	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 循環型社会構築に向けたごみの減量化及び再生資源の利用促進に関する事業活動を推進します。			流 用 額	3,270,000
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	88,856,000
			支 出 済 額	70,642,762
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 団体資源回収運動に係る補助金の申請額が見込みを下回ったため。			不 用 額	18,213,238
			前年度支出済額	69,282,554
			増 減	1,360,208
<主な事業の成果>				
1 団体資源回収運動への支援		62,101,300	4 リサイクル推進及び啓発 5,208,572	
団体活動の活性化及び資源の有効利用を図るため、積極的に資源物の回収を行った市民団体に対し、補助金を交付しました。 ・補助団体数 464団体			古紙持ち去り警告看板、事業ごみの処理ガイドを作成し、リサイクルの推進を促しました。	
2 生ごみ処理容器等購入費の補助		2,966,000		
家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器等を購入した市民に対し、購入経費の一部を補助しました。 ・補助基数 269基				
3 親子リサイクル施設見学会の実施		366,890		
ごみ減量及びリサイクルの普及啓発を図るため、夏休み期間を利用して市内在住の小学生とその保護者を対象に、リサイクル工場等の見学会を4回実施しました。 ・参加者数 72組145名				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 資源分別収集運搬処理事業			当初予算額	2,080,810,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課		補正予算額	△ 50,067,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/4目 リサイクル推進費	概要(当初)P. 277	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 一般家庭から分別排出された資源物（びん、かん、ペットボトル、食品包装プラスチック、古紙類、繊維など）のリサイクルを促進するため、分別収集運搬業務と中間処理及び再資源化処分業務を行います。			流用額	△ 3,270,000
			予備費充用額	0
			予算現額	2,027,473,000
			支出済額	1,997,405,419
			翌年度繰越額	0
			不用額	30,067,581
			前年度支出済額	1,979,345,511
			増減	18,059,908
<主な事業の成果>				
1 資源物収集運搬業務委託		1,647,153,360	[参考]	
家庭から排出された資源物（びん、かん、ペットボトル、食品包装プラスチック、古紙類、繊維）の収集を委託することにより、資源物の効率的な収集を行いました。				
2 資源物中間処理業務委託		350,252,059		
家庭から排出された資源物（びん、かん、ペットボトル、食品包装プラスチック）及び事業系紙ごみの中間処理を委託することにより、資源物の効率的な処理を行いました。				
収集した資源物の選別作業の様子				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 リサイクル基金活用事業			当初予算額		71,724,000		
局/部/課		環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課		補正予算額		△ 2,101,000	
款/項/目		4款 衛生費/2項 清掃費/4目 リサイクル推進費		概要(当初)P. 277		前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> リサイクル基金を活用し、環境教育の普及、リサイクルの推進及び啓発を図ります。						流用額	0
						予備費充用額	0
						予算現額	69,623,000
						支出済額	67,317,198
						翌年度繰越額	0
						不用額	2,305,802
						前年度支出済額	65,901,433
						増減	1,415,765
<主な事業の成果>							
1 牛乳パックリサイクルによる環境教育		24,293,016		[参考]			
学校給食用牛乳パックのリサイクルを児童生徒が自ら体験し、その再生品を手にすることで、資源や環境の大切さを学んでもらうため、牛乳パックから再生されたデスクトレイとフラットファイルを配布しました。						リサイクル基金残高等の推移 (単位：円)	
2 ごみ減量及びリサイクルの啓発		7,189,723		[参考]			
環境情報誌「さいちゃんの環境通信」を年1回発行し、全戸配布するとともに、各区くらし応援室の窓口に配置することにより、ごみ減量・リサイクルを始めとする環境情報の普及啓発を行いました。						[参考]	
3 リサイクル基金積立金		35,834,459		[参考]			
「さいたま市リサイクル基金条例」に基づき、環境教育の普及、リサイクル活動の啓発・推進、ごみ減量及び資源の有効活用の推進に関する事業の経費を積み立てました。						[参考]	

年度	積立額		取崩額	年度末残高
	新規	運用利子		
26	35,656,000	86,621	32,270,511	77,945,916
27	35,787,000	135,467	36,170,195	77,698,188
28	38,092,000	10,620	35,791,921	80,008,887
29	34,470,000	28,608	33,904,753	80,602,742
30	35,823,000	11,459	33,376,951	83,060,250

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 東部リサイクルセンター維持管理事業			当初予算額	167,319,000
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/4目 リサイクル推進費	概要(当初)P. 278	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市内の家庭から分別排出された資源物のうち、缶類、びん類をそれぞれ選別処理して再資源化し、ごみの減量化を図ります。また、家庭で不用になった家具類について「リサイクル品展示販売会」を開催し、リサイクル活動の推進を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	167,319,000
			支出済額	161,455,752
			翌年度繰越額	0
			不用額	5,863,248
			前年度支出済額	161,912,783
			増減	△ 457,031
<主な事業の成果>				
1 消耗品等の購入		595,425	4 リサイクル家具の補修・展示・販売	4,373,640
資源ごみの搬出に必要な梱包資材や施設の運転に必要な消耗品等を購入し、施設の性能を維持しました。			家庭で不用になった家具類を引き取り、補修等を行い展示及び販売を行いました。	
			・販売件数 156件	
2 リサイクル施設の運転保守管理運営		151,648,512		
リサイクル処理施設の運転、保守管理運営を行いました。				
3 施設の性能維持及び延命化		4,838,175		
リサイクル処理施設の性能維持及び老朽化した施設の延命化のための整備を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 一般廃棄物処理施設整備事業（環境施設管理課）			当初予算額	1,179,000
局/部/課	環境局/施設部/環境施設管理課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	概要(当初)P. 278	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 将来にわたり適正かつ安全に安定して一般廃棄物の処理・処分を行えるように、施設整備の企画・調査・検討を行うとともに、環境への負荷の少ない循環型社会の構築を目指し、資源化率の向上、最終処分量の低減等の推進につながる廃棄物処理施設の整備計画を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,179,000
			支出済額	882,548
			翌年度繰越額	0
			不用額	296,452
			前年度支出済額	806,503
			増減	76,045
<主な事業の成果>				
1 協議会等への参加その他		882,548		
全国都市清掃会議等において、一般廃棄物の安定処理に関し、各都市と課題等の情報交換・共有を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 一般廃棄物処理施設整備事業（環境施設整備課）			当初予算額	40,059,000
局/部/課 環境局/施設部/環境施設整備課			補正予算額	△ 3,777,000
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	概要(当初)P. 279	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容>		概要(9補)P. 26	流用額	0
将来にわたり適正かつ安全に安定して一般廃棄物の処理・処分を行えるように、施設整備の企画・調査・検討を行うとともに、環境への負荷の少ない循環型社会の構築を目指し、資源化率の向上、最終処分量の低減等の推進につながる廃棄物処理施設の整備計画を行います。			予備費充用額	0
			予算現額	36,282,000
			支出済額	36,051,522
			翌年度繰越額	0
			不用額	230,478
			前年度支出済額	33,554,995
			増減	2,496,527
<主な事業の成果>				
1 サーマルエネルギーセンター整備事業 35,726,706			[参考] さいたま市内のごみ焼却施設 施設の統廃合により ●で示す3施設体制へ ■：現在稼働中施設 平成31年4月現在	
PPPアドバイザー業務において、要求水準書等を策定し、入札公告を行いました。また、整備事業敷地内の水路を移設する測量設計及び東部環境センタープラザ棟の改修設計を実施しました。				
2 研修その他 324,816				
一般廃棄物の処理に関する研修会等に参加し、各都市と課題等の情報交換・共有を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 一般廃棄物処理施設整備基金積立金			当初予算額	13,000																																
局/部/課 環境局/施設部/環境施設管理課			補正予算額	0																																
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	概要(当初)P. 279	前年度繰越額	0																																
<事業の目的・内容>			流用額	0																																
<p>一般廃棄物処理施設整備を行うため積立てを行います。</p>			予備費充用額	0																																
			予算現額	13,000																																
			支出済額	2,172																																
			翌年度繰越額	0																																
			不用額	10,828																																
			前年度支出済額	2,412																																
<主な事業の成果>			増減	△ 240																																
<p>1 一般廃棄物処理施設整備基金への積立て 2,172</p> <p>基金を金融機関に預入れたことにより生じた利子について、積立てを行いました。</p>			<p>[参考] 一般廃棄物処理施設整備基金残高等の推移 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">積立額</th><th rowspan="2">取崩額</th><th rowspan="2">年度末残高</th></tr> <tr> <th>新規</th><th>運用利子</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td><td>0</td><td>23,243</td><td>0</td><td>11,997,664</td></tr> <tr> <td>27</td><td>0</td><td>23,763</td><td>0</td><td>12,021,427</td></tr> <tr> <td>28</td><td>0</td><td>10,271</td><td>0</td><td>12,031,698</td></tr> <tr> <td>29</td><td>0</td><td>2,412</td><td>0</td><td>12,034,110</td></tr> <tr> <td>30</td><td>0</td><td>2,172</td><td>0</td><td>12,036,282</td></tr> </tbody> </table>		年度	積立額		取崩額	年度末残高	新規	運用利子	26	0	23,243	0	11,997,664	27	0	23,763	0	12,021,427	28	0	10,271	0	12,031,698	29	0	2,412	0	12,034,110	30	0	2,172	0	12,036,282
年度	積立額		取崩額	年度末残高																																
	新規	運用利子																																		
26	0	23,243	0	11,997,664																																
27	0	23,763	0	12,021,427																																
28	0	10,271	0	12,031,698																																
29	0	2,412	0	12,034,110																																
30	0	2,172	0	12,036,282																																


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西部環境センター周辺環境整備事業			当初予算額	843,000
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/2項 清掃費/5目 施設整備費	概要(当初)P. 280	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地元からの要望に基づき、搬入道路の拡幅整備を行います。			流用額	3,390,000
			予備費充用額	0
			予算現額	4,233,000
			支出済額	64,800
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 整備予定地の用地買収において、一部権利者等の同意が得られず、契約に至らなかったため。			不用額	4,168,200
			前年度支出済額	27,993,743
			増減△	27,928,943
<主な事業の成果> 1 搬入道路の整備 64,800 搬入道路の拡幅整備に向け、補償額の算定に伴う物件調査の再積算を行いました。				


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 環境活動推進事業			当初予算額	1,756,000
局/部/課	環境局/環境共生部/環境創造政策課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	概要(当初)P. 280	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 複雑・多様化する環境問題を解決し、持続可能な都市の実現に向け、環境月間等における啓発事業、環境保全標語・ポスター作品コンクール、さいたまこどもエコ検定等の環境教育・学習事業を実施します。また、「ネットワーク型環境教育拠点施設@さいたまCITY」を拡充することにより、多くの人が環境への関心を持つ機会を提供します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,756,000
			支出済額	1,512,691
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果>			不用額	243,309
			前年度支出済額	1,680,715
			増減△	168,024
1 こどもエコ検定の実施 407,336 子どもたちの環境への関心を高めるとともに、地域への愛着を深めるきっかけをつくるため、各小学校が環境教育等の状況にあわせて活用することができる、「さいたまこどもエコ検定」を実施することで、児童が自主的に学習し、行動するための機会を提供しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施学校数 38校 ・実施児童数 5,452人 (小学3年生～6年生) 				
2 環境保全標語・ポスター作品コンクールの実施 852,545 「地球の未来へ 今 私たちができること」をテーマに、市内の中学2年生を対象に標語を、小学5年生を対象にポスターを募集し、コンクールを実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・応募作品数 2,048作品 				
3 環境教育拠点施設の拡充 110,894 施設見学や環境学習会等の環境教育を実施している市内20施設(市有施設10、事業者10)について、市報やリーフレット等によるPRを実施することで、環境教育・学習の機会を提供しました。				
4 環境保全活動の普及啓発その他 141,916 6月の環境月間におけるポスターの掲示や環境保全ポスター作品コンクール特選作品の公用車への掲示等により、身近なところでの環境に配慮した行動を促しました。				
[参考] 環境保全ポスター特選作品を掲示した公用車				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 自然保護事業（環境創造政策課）			当初予算額	2,258,000
局/部/課	環境局/環境共生部/環境創造政策課		補正予算額	0
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	概要(当初)P. 281	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 今後、増加が懸念される空き家について、管理不全な状態にならないための対策を講じるとともに、管理不全な状態からの改善を図るため、所有者等に対し適正な管理のために必要な助言、指導等を行います。 また、「さいたま市空き家等対策計画」に基づき、空き家の発生予防や利活用等に取り組むなど、総合的かつ計画的な空き家等対策を推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	2,258,000
			支出済額	552,888
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,705,112
			前年度支出済額	3,043,544
			増 減	△ 2,490,656
<主な事業の成果>				
1 空き家対策の推進		552,888	[参考]	
管理不全な空き家等の所有者等に対して、空家特措法又は条例に基づく指導等を行いました。平成30年度までに特定空家等と判定した59件のうち15件については、所有者等による除却等の改善措置が行われました。 また、空き家等対策計画に基づき、空き家等の発生予防を目的としたセミナーや相談会を実施するとともに、埼玉司法書士会と協定を締結し、所有者不明・不在の空き家等への対応に向けた、法務の専門的な知識等を要する業務について協力体制を構築しました。 <ul style="list-style-type: none">・空き家等に関する相談件数 322件・セミナー及び相談会実施回数 8回				
				
啓発パンフレット				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 自然保護事業（環境対策課）			当初予算額	3,757,000
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課		補正予算額	△ 409,000
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	概要(当初)P. 281	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 様々な生きものが生息する自然環境や、市民の安全・安心、快適な生活環境を保全するため、特定外来生物及び有害鳥獣の防除、管理不全な空き地の解消に向けた対策を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	3,348,000
			支出済額	3,011,171
			翌年度繰越額	0
			不用額	336,829
			前年度支出済額	2,697,393
			増減	313,778
<主な事業の成果>				
1 特定外来生物及び有害鳥獣の防除		2,689,637	3 空き地の適正管理	
特定外来生物や有害鳥獣による生活環境や農作物等への被害に関する相談について、被害の内容に応じた防除策に関する助言や鳥獣の捕獲等を行い、被害の軽減・防止を図りました。			管理不全な空き地の所有者等に対し、条例に基づき適正管理に向けた指導等を実施しました。	
<ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物（アライグマ）相談件数 208件、捕獲頭数 400頭 ・有害鳥獣（ハクビシン等）相談件数 526件、捕獲頭数 208頭 			<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 204件 	
2 カラスの巣の撤去		249,480	4 生きものの調査の実施	
注意看板の設置のほか、繁殖期等において威嚇・攻撃による人的被害が拡大するおそれがある場合の緊急避難的な措置として、原因となるカラスの巣の撤去を実施しました。			72,054	
			市民参加型の生きものの調査を実施して市内に生息する生きものの情報を収集し、市ホームページ等で公表しました。また、調査員を対象とした研修を実施しました。	
			<ul style="list-style-type: none"> ・生きものの調査結果公表回数 244回 ・研修実施回数 3回 	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 環境政策推進事業			当初予算額	13,873,000
局/部/課	環境局/環境共生部/環境創造政策課		補正予算額	△ 1,000,000
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	概要(当初)P. 282	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 環境の保全及び創造に関する施策を推進するため、環境基本条例に基づく環境分野の総合計画である環境基本計画の進行管理を行います。環境基本計画に掲げる「望ましい環境像」の実現に向け、市民、事業者、学校、行政などが連携し、情報交換と交流の場、環境教育・学習の場を創出します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	12,873,000
			支出済額	11,992,577
			翌年度繰越額	0
			不用品額	880,423
			前年度支出済額	12,160,701
			増減	△ 168,124
<主な事業の成果>				
1 環境基本計画の推進・進行管理		2,700,000	4 他自治体等との連携	2,258,180
環境基本計画に基づく各種施策の推進・進行管理を行うとともに、本市の環境の現況、環境の保全と創造に関する取組の実施状況をまとめた、環境白書（環境基本計画年次報告書）を作成し、公表しました。			大都市環境保全主管局長会議や、九都県市首脳会議環境問題対策委員会等へ参加し、他自治体等との連携により施策を推進しました。	
2 環境マネジメントシステムの維持管理		693,090	5 環境審議会その他	2,755,850
本市独自の環境マネジメントシステムの維持管理により、環境施設における環境負荷の低減や環境に配慮した事務・事業を推進しました。			環境審議会を開催し、環境基本計画の推進・進行管理及び環境の保全並びに創造に関する施策等について審議いただきました。	
3 環境フォーラムの開催		3,585,457	局内における局筆頭課としての取りまとめを行うなど、局内業務の円滑な進行管理を行いました。	
参加団体による環境保全活動に関する発表等を通じ、情報交換、環境教育・学習の場を創出しました。				
・日時 平成30年10月26日（金）・27日（土）				
・場所 さいたま新都心駅東西自由通路				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 地球温暖化対策事業			当初予算額	124,974,000
局/部/課	環境局/環境共生部/環境創造政策課		補正予算額	△ 3,000,000
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/1目 環境対策総務費	概要(当初)P. 282	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地球温暖化対策として、温室効果ガス排出量を削減するため、市民・事業者・市の連携により、再生可能エネルギー等の利用を促進するとともに、省エネルギー化の推進を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	121,974,000
			支出済額	118,531,930
			翌年度繰越額	0
			不用品額	3,442,070
			前年度支出済額	148,589,628
			増減	△ 30,057,698
<主な事業の成果>				
1 実行計画（区域施策編）の推進		10,393,898	4 スマートホーム等の推進	103,541,000
「実行計画（区域施策編）」に基づき、市域の温室効果ガス排出量を削減するため、計画の進行管理、環境負荷低減計画制度の推進、地球温暖化対策に係る啓発活動などを行いました。			再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入を促進するため、市民及び市民共同発電事業を実施する団体に対して補助金を交付しました。	
2 実行計画（事務事業編）の推進		1,110,792	「スマートホーム推進・創って減らす」機器設置補助金 補助件数 1,814件 ・市民共同発電事業推進補助金 補助件数 1件	
「実行計画（事務事業編）」に基づき、市が行う事務・事業により排出される温室効果ガス排出量を削減するため、計画の進行管理などを行いました。				
3 新エネルギー政策の推進		3,486,240		
「新エネルギー政策」に基づき、エネルギーセキュリティの確保された低炭素なまちづくりを目指すため、市有施設における再生可能エネルギー等の利用を促進するとともに省エネルギー化の推進を図りました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 環境監視事業			当初予算額	99,275,000
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課		補正予算額	△7,173,000
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	概要(当初)P. 283	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 大気・水質等の市内の環境を監視するとともに、公害等の発生源を規制することにより、市民の良好な生活環境を確保します。			流用額	△354,000
			予備費充用額	0
			予算現額	91,748,000
			支出済額	84,626,459
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 異常水質事故等に係る緊急時の調査件数が見込みを下回ったため。また、業務委託及び備品購入費等について、入札により契約差額が生じたため。			不用額	7,121,541
			前年度支出済額	74,640,663
			増減	9,985,796
<主な事業の成果>				
1 大気汚染物質の常時監視		45,895,634	4 環境コミュニケーションの推進	140,620
大気汚染防止法に基づき、市内14か所の大気常時監視測定局で窒素酸化物、浮遊粒子状物質、PM2.5等の大気汚染状況を監視し、そのデータを一括管理することにより、大気汚染対策に活用しました。			法令に基づき、対象化学物質を取り扱う事業者からの届出又は報告(294件)を受理し、集計結果を公表しました。また、事業者が周辺住民との情報共有と相互理解を図るために開催する環境コミュニケーションを4回支援しました。	
2 アスベスト飛散防止対策の推進		7,189,420		
大気汚染防止法に基づく届出のあった建築物の解体等工事現場への全件立入検査(91件)と敷地境界での石綿等濃度の測定(84件)を実施し、解体等工事を行う事業者へ石綿飛散防止の徹底を指導しました。				
3 公害の未然防止、発生源対策		30,048,697	5 市民の公害相談への対応	1,352,088
法令に基づき、工場・事業場等の公害の発生源に対し立入検査(大気関係141件、水質関係165件)を実施し、規制基準の遵守等について指導することにより、公害の未然防止を図りました。			市民からの公害相談に対して現地調査を実施し、公害の発生源に対して適切な改善・防止策を講じるよう助言や指導を行うことにより、早期解決を図りました(相談件数532件)。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 環境保全政策推進事業			当初予算額	13,370,000
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課		補正予算額	△3,688,000
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	概要(当初)P. 283	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 現在及び将来の市民の安全かつ快適な生活環境を確保するため、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。			流用額	354,000
			予備費充用額	0
			予算現額	10,036,000
			支出済額	9,254,489
			翌年度繰越額	0
			不用額	781,511
			前年度支出済額	10,550,518
			増減	△1,296,029
<主な事業の成果>				
1 水環境プランの推進(水辺のサポート制度の推進)		240,576	4 環境影響評価制度の推進	3,389,608
市民及び企業との協働による水環境の保全・再生を図るため、「水辺のサポート制度」に加入して水辺の環境美化活動に取り組んでいる12団体に対して、清掃用具等の提供や傷害保険の加入等の支援を行いました。			環境影響評価及び事後調査に関し技術上必要な事項を調査審議するため、環境影響評価技術審議会等を開催しました(技術審議会3回、技術審議会委員会2回)。	
2 水環境プランの推進(雨水の有効利用等の促進)		1,456,000	5 エコ・モビリティ推進事業	1,266,090
雨水の有効利用の促進や水環境に対する意識の向上を図るため、雨水貯留タンクを設置した小学校で環境学習会を3回実施しました。また、雨水貯留タンクを設置した市民に対し、費用の一部を補助しました(73件)。			自動車による環境負荷を低減するため、モビリティマネジメント啓発冊子等を市内転入者約25,000人に配布しました。また、モビリティマネジメントやエコドライブの啓発イベントを6回実施しました。	
3 その他水環境プランの推進		592,984	6 九都県市首脳会議環境問題対策委員会	2,309,231
20団体が加盟する「さいたま市水環境ネットワーク」の活動として視察研修会、講演会・活動発表会及び機関誌発行等を実施しました。また、小学校の雨水貯留タンクの修繕を行いました(3基)。			九都県市で連携し、自動車から排出される大気汚染物質対策として、ディーゼル車規制、エコドライブの普及、低公害車の導入促進など、環境にやさしい自動車の利用を推進しました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 環境未来都市推進事業			当初予算額	63,673,000
局/部/課	都市戦略本部/未来都市推進部(環境局/環境共生部/環境未来都市推進課)		補正予算額	△ 3,685,000
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	概要(当初)P. 284	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 運輸部門からの二酸化炭素排出削減対策として、電気自動車（EV）普及施策「E-KIZUNA Project」等を推進するとともに、「次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業」と連携した取組を実施し、EVや燃料電池自動車（FCV）、天然ガス自動車（NGV）等の次世代自動車の普及を促進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	59,988,000
			支出済額	55,092,252
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 低公害車普及促進対策補助金について、事業者の低公害車導入台数が想定より少なかったことにより、見込みを下回ったため。			不用額	4,895,748
			前年度支出済額	56,661,278
			増減	△ 1,569,026
<主な事業の成果>				
1 充電セーフティネットの構築 2,580,070		4 E-KIZUNAサミットの開催 5,190,960		
市域に設置した充電器の維持管理を実施しました。また、浦和区役所等の急速充電器の機器入替に向けた検討を行いました。 ・市内充電器設置台数 281台（平成31年3月末）		次世代自動車普及のための広域的な都市間ネットワーク構築のため「2018E-KIZUNAサミットプレミアムさいたま」を10月31日に開催しました。		
2 需要創出とインセンティブ付与 30,198,360		5 自治体協議会への参加その他 16,022,558		
公用車にEVを率先導入するとともに、次世代自動車を導入する市民等への補助を実施しました。 ・電気自動車等普及促進対策補助金 58台 6,415,000円 ・低公害車普及促進対策補助金 40台 11,352,000円		「指定都市自然エネルギー協議会」や「イクレイ」等のネットワークを活用し、本市の取組PRや意見交換を行いました。また、市内イベント等において「COOL CHOICE」啓発事業を民間企業と連携して実施しました。		
3 地域密着型の啓発活動 1,100,304				
EVやFCVの次世代自動車を「知る・触れる・学ぶ」機会を提供するため、市内の小・中学校や高等学校等でのEV教室や、イベントでの展示を実施しました。 ・EV教室実施回数 12回（公民館実施を含む）				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業			当初予算額	164,197,000
局/部/課	都市戦略本部/未来都市推進部(環境局/環境共生部/環境未来都市推進課)		補正予算額	△ 9,797,000
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	概要(当初)P. 284	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 国から地域活性化総合特区として指定を受けた「次世代自動車・スマートエネルギー特区(第2期)」を活用し、「スマートホーム・コミュニティの普及」、「ハイパーエネルギーステーションの普及」、「低炭素型パーソナルモビリティの普及」の3つの重点事業を推進・強化し、「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する環境未来都市」の更なる向上を目指します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	154,400,000
			支出済額	136,891,400
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> ハイパーエネルギーステーション整備事業費補助金において、民間施設への事業実施予定者との協議に時間を要し、補助金の交付に至らなかったため。			不用額	17,508,600
			前年度支出済額	238,091,794
			増減	△ 101,200,394
<主な事業の成果>				
1 スマートホーム・コミュニティの普及 124,116,000		2 ハイパーエネルギーステーションの普及 1,706,400		
美園タウンマネジメント協会を通じて、「公民+学」による先進的な総合生活支援サービスを展開するとともに、高気密・高断熱性能住宅の整備、宅地の一部を共用化し、電線類地中化を図った先導的モデル街区(第2期)45戸の販売を開始しました。また、次世代自動車・スマートエネルギー特区事業の集大成となる先導的モデル街区(第3期)の検討を開始しました。		ハイパーエネルギーステーションの普及に向け、市有施設(美園北小学校)への整備を実施しました。また、浦和駒場体育館にハイパーエネルギーステーションを整備するための設計業務を行いました。		
(1) 美園タウンマネジメント協会運営委託 60,810,000円		3 低炭素型パーソナルモビリティの普及 9,720,000		
(2) 「スマートシティさいたまモデル」構築事業費補助金 63,306,000円		複合型モビリティシェアリング実証実験として、シェアリングシステムの構築及び検証を行いました。また、電動バイクを活用したモニター実証の検証や展示会等を実施しました。		
		4 (仮称)さいたま版グリーンニューディール事業の推進 1,349,000		
		既築住宅の低炭素化・住民の生活の質向上、地域経済の活性化に向け、(仮称)さいたま版グリーンニューディール事業のテストマーケティングを実施しました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 産業廃棄物対策事業		当初予算額	240,593,000
局/部/課	環境局/資源循環推進部/産業廃棄物指導課	補正予算額	△ 31,237,000
款/項/目	4款 衛生費/3項 環境対策費/2目 環境対策費	概要(当初)P. 285	
<事業の目的・内容> 産業廃棄物の適正処理及び3R（発生抑制、再使用、再生利用）を促進することにより、良好な生活環境を維持するとともに、環境への負荷が少ない循環型社会の形成を推進します。		前年度繰越額	0
		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	209,356,000
		支出済額	205,622,977
		翌年度繰越額	0
		不用額	3,733,023
		前年度支出済額	50,969,839
		増減	154,653,138
<主な事業の成果>			
1 庁内高濃度PCB廃棄物処理事業	158,295,491	4 産業廃棄物に関する市民啓発事業	298,882
庁内に保管されている高濃度PCB廃棄物（安定器その他汚染物）の処理を実施しました。 （処分量：5729.5kg）		産業廃棄物の処理や3Rについての理解を深めるため、環境学習を行う小学4年生と保護者を対象に、廃棄物処理施設等見学会を開催（開催回数：3回、参加者：44組88名）しました。	
2 産業廃棄物処理業等の許可及び許可業者指導	945,000	5 不法投棄等の防止	36,218,811
廃棄物処理法に基づき産業廃棄物処理業の許可（21件）を行いました。また、産業廃棄物処理業者等に対して立入検査（136件）を実施し、不適正処理に対しては行政処分（1件）及び改善指導（42件）を行いました。		365日切れ目のない監視パトロールを実施し（監視件数1,032件）、また、不法投棄多発地点の監視カメラ（5台更新）等を活用し、不法投棄の未然防止を図りました。	
3 産業廃棄物排出事業者への指導等	2,293,911	6 情報管理その他	7,570,882
排出事業者への立入検査（224件）や排出事業者向け講習会を開催（2回）し、産業廃棄物の適正処理、電子マニフェストの普及拡大を推進しました。		廃棄物処理法及び土砂条例に関する許可や指導内容等に関する情報をシステムによる一括管理をすることにより、適切な事業者指導を行いました。	

平成30年度 経済局決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 東日本連携拠点を核にしたビジネス交流の推進
 - ① 東日本地域の広域連携による地方創生に向け、第4回となる東日本連携・創生フォーラムを開催しました。
 - ② 東日本連携の交流拠点・情報発信拠点として、企業取引の拡大や効果的な情報発信を行う「まるまるひがしにほん（東日本連携センター）」を開設しました。
 - ③ 東日本の交流拠点都市実現のため、東日本連携の取組を通じた市内のにぎわい創出や販路拡大支援を行いました。
- (2) 広域観光周遊ルートの形成
 - ① 東日本地域の地域資源を活用した広域周遊ルートや、本市の観光資源の魅力を発信し、外国人観光客の誘致を図るため、国内外でのプロモーション等を実施しました。こうしたプロモーションの結果、平成29年度に策定したモデルコースを基に、東日本の都市を巡る旅行商品が造成されました。
 - ② 本市をはじめとし、広域周遊ルートで連携する自治体への誘客の促進を図るため、共同での東京2020大会を見据えた誘客策の協議を行いました。
- (3) 地域資源を活用したにぎわいの創出
 - ① 旧岩槻区役所敷地利用計画に基づき、にぎわいの核となるまちづくり拠点の整備に向け、にぎわい交流館いわつきの設計業務を実施しました。また、建設工事の契約を行いました。
 - ② さいたまクリテリウムなどのにぎわいが創出できる市内大型イベント等との連携事業を実施しました。
 - ③ 地元のプロスポーツチームと連携した地域経済等活性化事業を実施しました。
 - ④ 市内商業の活性化を図るため、商店街において、大宮地域にちなんだ伝統文化である盆栽を活用したイベントを実施しました。
 - ⑤ 伝統産業事業所に対し、商業施設等への出店機会を提供するなど、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の存在と魅力を広く発信しました。
 - ⑥ 市内全域を対象としたさいたまスイーツ店舗を掲載したウェブサイトの構築などを行い、さいたまスイーツのブランド化の推進及び消費の拡大を図りました。
 - ⑦ 商店会が整備する共同施設の建設、改修等の事業に対し、補助を行いました。
 - ⑧ 商店街等のにぎわいや活性化を図るために行うイベント等の事業に対し、補助を行いました。
 - ⑨ 地域と連携し土産品の開発を行い、地域資源や食文化等を生かした観光振興を図りました。
 - ⑩ 大宮盆栽のブランド強化のため、大盆栽まつり来場者をおもてなしするための関連イベント等を実施しました。
 - ⑪ 本市自慢の「食」をテーマとした情報の発信やイベントを開催し、地域の活性化やにぎわいの創出をしました。
- (4) M I C Eの推進
 - ① 公益社団法人さいたま観光国際協会等と連携し、コンベンション開催支援をはじめとしたM I C Eの誘致・促進を行いました。
- (5) 戦略的な企業誘致の推進
 - ① 財政基盤の強化、雇用機会の創出、地域経済の活性化を目的として、戦略的な企業誘致活動を展開しました。
- (6) 中小企業、成長産業の支援
 - ① 公益財団法人さいたま市産業創造財団の相談事業等を通じて、市内中小企業の経営基盤の強化、創業者育成、女性の起業等を総合的に支援しました。
 - ② 市内中小企業者及び創業者に対し、経営の安定や向上に必要な資金融資を実施しました。また、融資受付後の手続き方法の見直し等を実施することで、融資利用者の利便性向上を図りました。
 - ③ 市内中小企業の安定的な経営を支援するため、CSRに取り組む意欲のある市内中小企業を認証しました。また、勉強会や経営者向けセミナー等を開催し、認証企業への支援を行いました。
 - ④ 市内企業による新技術創出に向けた研究開発支援を行うとともに、技術普及のための情報発信や市場化支援を実施しました。
 - ⑤ 地域産業の活力を高め、事業機会の拡大を図るため、オープンイノベーションのビジネスマッチングを推進するとともに東日本地域におけるビジネス交流を促進しました。
 - ⑥ 独創性・革新性に優れた技術を持つ市内研究開発型企業を認証し、認証企業の国際競争力向上支援やイノベーション創出支援を行いました。
 - ⑦ ドイツ産業クラスターとの技術交流を中心に中小企業の高付加価値市場への参入を推進しました。
 - ⑧ 地域金融機関と連携し、アジア新市場販路開拓を目的に海外展示会への出展支援を実施しました。
 - ⑨ 医療機器関連分野における臨床ニーズとものづくり技術のマッチング、地域の医工連携人材の育成支援、市場化支援を行いました。

- ⑩ ものづくり企業の成長支援として、生産性向上支援や人材育成支援を行いました。
- ⑪ 「産学連携支援センター埼玉」を運営し、公益財団法人さいたま市産業創造財団と連携した産学マッチング支援を行いました。
- (7) 就業の推進と誰もが働きやすい環境づくり
- ① 国と協働で運営する「ワークステーションさいたま」において、国が行う職業相談・紹介と連携した就労支援や子育て世代の再就職を支援するセミナー等を実施しました。
- ② ニートの就労機会を創出するため、国と協働で運営する「地域若者サポートステーションさいたま」において、職業的自立を支援しました。
- ③ 中小企業等の人材確保を支援するため、企業PRの場の創出等によるマッチング機会の提供や、就業体験機会を設けた就労支援を実施しました。
- ④ 小・中・高校生を対象に、勤労観・職業観の醸成及び職業に関する知識や技能の習得・向上を支援しました。
- (8) 地産地消の推進、担い手の育成・確保
- ① 担い手の確保・育成のため、地域の担い手である認定農業者に対し、経営改善計画の実現に向けた支援を行いました。
- ② 農業交流施設整備に向けて、整備手法の検討を行うとともに農業交流ソフト事業を実施しました。
- ③ 将来の農業経営者の育成・確保のため、新規に農業に従事するために必要な農業の基礎及び実践的な栽培技術を修得するための研修を実施しました。
- ④ 地場産農産物料理講習会の開催、農情報ガイドブックの発行に加え、市内農産物のPRによる消費拡大、ブランド化、商品開発等の支援を通じて地産地消を推進しました。
- ⑤ 見沼田圃を農業生産や観光等に積極的に活用するため、農業者等が実施する見沼の自然や農をPRするイベントの開催や農業体験ができる観光農園等の開設を支援しました。
- (9) 食を安定的に供給するための基盤整備
- ① 卸売市場を活性化するため被災地産の物販イベントを開催しました。
- ② 安定した用水の確保や十分な排水機能の確保による農業生産性及び風水害時における水路機能等を向上させるための水路整備を実施しました。
- ③ 見沼区膝子地区を中心とした区域（膝子・横根・上野田・高畑）における土地改良事業の実施に向けた計画の策定を行いました。
- ④ 食肉中央卸売市場・と畜場及び地域経済活性化拠点を一体的に整備する（仮称）農業及び食の流通・観光産業拠点の基本計画素案について検討を行いました。

Ⅱ 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
16款	10,679,000	0	0	10,679,000	10,406,772	10,406,772	0	0
17款	0	0	0	0	570,000	570,000	0	0
18款	37,738,000	△ 11,250,000	0	26,488,000	23,153,389	23,153,389	0	0
19款	8,652,000	0	0	8,652,000	10,369,380	10,369,380	0	0
23款	12,790,058,000	1,507,809,000	0	14,297,867,000	14,297,549,775	14,297,549,775	0	0
合計	12,847,127,000	1,496,559,000	0	14,343,686,000	14,342,049,316	14,342,049,316	0	0

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
2款	85,594,000	0	0	0	85,594,000	82,306,438	0	3,287,562
5款	225,850,000	△ 24,550,000	0	0	201,300,000	197,248,585	0	4,051,415
6款	911,753,000	△ 19,209,000	65,540,000	0	958,084,000	788,732,975	67,838,400	101,512,625
7款	14,647,428,000	1,642,551,000	0	0	16,289,979,000	15,938,348,653	234,482,000	117,148,347
11款	3,000	0	0	0	3,000	0	0	3,000
合計	15,870,628,000	1,598,792,000	65,540,000	0	17,534,960,000	17,006,636,651	302,320,400	226,002,949

2 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計

＜歳入＞

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	152,331,000	0	0	152,331,000	128,527,948	128,527,948	0	0
2款	228,658,000	0	0	228,658,000	191,427,266	191,427,266	0	0
3款	11,000	0	0	11,000	7,169	7,169	0	0
合計	381,000,000	0	0	381,000,000	319,962,383	319,962,383	0	0

＜歳出＞

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	121,656,000	0	0	0	121,656,000	113,135,875	0	8,520,125
2款	258,711,000	0	0	0	258,711,000	206,826,508	0	51,884,492
3款	633,000	0	0	0	633,000	0	0	633,000
合計	381,000,000	0	0	0	381,000,000	319,962,383	0	61,037,617

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 18款 県支出金/2項 県補助金/4目 農林水産業費県補助金	当 初 予 算 額	12,345,000
歳入名称 多面的機能支援事業補助金	補 正 予 算 額	0
局/部/課 経済局/農業政策部/農業環境整備課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 多面的機能支払交付金における県補助金を収納しました。 [参考] 活動団体数15団体	予 算 現 額	12,345,000
	調 定 額	11,426,189
	収 入 済 額	11,426,189
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	10,682,351
	増 減	743,838

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/3項 貸付金元利収入/3目 労働費貸付金元利収入	当 初 予 算 額	100,550,000
歳入名称 勤労者支援資金融資貸付金元金収入	補 正 予 算 額	△ 24,550,000
局/部/課 経済局/商工観光部/労働政策課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 勤労者支援資金融資及び住宅資金融資（旧制度）に係る預託金として支出した貸付金の元金を収納しました。	予 算 現 額	76,000,000
	調 定 額	76,000,000
	収 入 済 額	76,000,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	103,600,000
	増 減	△ 27,600,000

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/3項 貸付金元利収入/4目 商工費貸付金元利収入	当 初 予 算 額	12,403,227,000
歳入名称 中小企業融資資金貸付金元金収入	補 正 予 算 額	1,576,940,000
局/部/課 経済局/商工観光部/経済政策課	繰越財源充当額	0
<主な成果> さいたま市融資制度を取り扱う市内金融機関に対して、預託金として支出した貸付金の元金を収納しました。 [参考] 埼玉縣信用金庫 3,778,202,624円 武蔵野銀行 3,062,027,011円 埼玉りそな銀行 2,135,068,765円 他22金融機関 5,004,576,568円	予 算 現 額	13,980,167,000
	調 定 額	13,979,874,968
	収 入 済 額	13,979,874,968
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	12,990,410,988
	増 減	989,463,980

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/3項 貸付金元利収入/4目 商工費貸付金元利収入	当 初 予 算 額	142,500,000
歳入名称 産学官連携推進事業資金貸付金元金収入	補 正 予 算 額	△ 51,496,000
局/部/課 経済局/商工観光部/産業展開推進課	繰越財源充当額	0
<主な成果> さいたま市産学官連携推進事業貸付金の償還金として収納しました。 [参考] 戦略的基盤技術高度化支援事業 3件	予 算 現 額	91,004,000
	調 定 額	91,004,000
	収 入 済 額	91,004,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	110,999,000
	増 減	△ 19,995,000

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 国際交流事業		当初予算額	85,594,000
局/部/課	経済局/商工観光部/観光国際課	補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/2目 国際交流費	概要(当初)P. 297	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 多文化共生社会の実現と共に、世界に開かれた都市(まち)を目指すため、日本語教室などを実施し外国人市民が暮らしやすいまちづくりを進めると共に、交流の場を創出し相互理解を促進する、多文化共生・国際交流事業を実施します。 また、市民の国際的な視野を広げ、国際感覚の醸成を図るため、訪問団の派遣・受入などにより交流を促進する、海外都市交流事業を実施します。		流 用 額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	85,594,000
		支出済額	82,306,438
		翌年度繰越額	0
		不 用 額	3,287,562
		前年度支出済額	92,252,516
		増 減	△ 9,946,078
<主な事業の成果>			
1 多文化共生・国際交流事業		78,876,080	
外国人市民への日本語教室、多言語での生活相談等の多文化共生事業を実施しました。また、国際友好フェアや外国人による日本語スピーチ大会、海外を紹介する展示や講座等の国際交流事業を実施しました。			
2 海外都市交流事業その他		3,430,358	
姉妹都市アメリカ・ピッツバーグ市へ訪問団を派遣しました。また、メキシコ・トルーカ市、アメリカ・リッチモンド市ヘスポーツ少年団を派遣しました。			


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 勤労者支援事業		当初予算額	135,541,000
局/部/課	経済局/商工観光部/労働政策課	補正予算額	△ 24,550,000
款/項/目	5款 労働費/1項 労働諸費/1目 労働諸費	概要(当初)P. 297	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 勤労者が安心して働ける労働環境の実現を図るため、労働問題等に関する正しい認識と理解の啓発や、勤労者の職場定着促進を目的とした資格取得等をサポートする講座を実施します。 また、勤労者の生活安定を図るため、必要な住宅資金等を低利で融資するほか、勤労者の福祉向上を図るために実施される事業に対し、補助を行います。		流 用 額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	110,991,000
		支出済額	110,126,367
		翌年度繰越額	0
		不 用 額	864,633
		前年度支出済額	139,584,529
		増 減	△ 29,458,162
<主な事業の成果>			
1 労働問題啓発や定着支援に資する講座の実施		9,148,680	
市内在住の求職者・勤労者及び市内事業所に従事する勤労者に対して、労働に係る諸問題に関する講座や、定着促進に資する資格取得をサポートする講座等を実施しました。			
2 勤労者支援資金融資実行に係る預託		76,000,000	
市内在住の勤労者に対し、住宅資金等を低利で融資(あっせん)する勤労者支援資金融資制度の円滑運用を図るため、融資を実行する金融機関に対し、預託を行いました。			
3 勤労者の福祉向上に資する事業への補助		23,080,000	
公益財団法人さいたま市産業創造財団勤労者福祉サービスセンターが実施する、市内中小企業等の福利厚生事業や、市内勤労者関係団体が実施する、福祉の増進及び労働条件の改善を図る事業に対し、補助を行いました。			
4 勤労者支援事業その他		1,897,687	
一人ひとりの勤労に対する意欲の向上と市内中小企業等の更なる発展を図るため、勤労者及び技能者を表彰しました。また、施設設備の維持管理を行いました。			
[参考]			
			
優良勤労者・技能者表彰式風景			


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 雇用対策推進事業			当初予算額	80,424,000
局/部/課	経済局/商工観光部/労働政策課		補正予算額	0
款/項/目	5款 労働費/1項 労働諸費/1目 労働諸費	概要(当初)P. 298	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 本市就労支援拠点施設である「ワークステーションさいたま」の運営を中心とした各種雇用対策を実施します。 また、市民の安定就労と市内中小企業の振興を図るため、ニートや子育て世代への各種就労支援を実施するとともに、中小企業等の人材確保支援を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	80,424,000
			支出済額	77,351,036
			翌年度繰越額	0
			不用額	3,072,964
			前年度支出済額	99,816,016
			増減	△ 22,464,980
<主な事業の成果>				
1 就職支援体制整備事業		29,081,844	4 雇用対策推進事業その他	15,000
「ワークステーションさいたま」において、国の職業相談・紹介と連携してキャリアコンサルティングや内職相談などを実施したほか、子育て世代をはじめ、働く意欲を持つあらゆる世代の就労支援を実施しました。			市内就労・雇用支援団体と連携し、雇用に係る情報交換・共有を行いました。	
2 ニートの就労機会の創出		8,359,574	[参考]  ワークステーションさいたま外観	
ニートの就労機会を創出するため、国と協働で運営する「地域若者サポートステーションさいたま」において、心理カウンセリング、セミナー、就業体験などの各種職業的自立支援事業を実施しました。				
3 中小企業等の人材確保支援		39,894,618		
中小企業等の人材確保を図るため、企業PRの場の創出等によるマッチング機会の提供や、就業体験機会を設けた就労支援を実施しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 産業人材育成事業			当初予算額	9,885,000
局/部/課	経済局/商工観光部/労働政策課		補正予算額	0
款/項/目	5款 労働費/1項 労働諸費/1目 労働諸費	概要(当初)P. 298	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地域経済を支える多様な産業人材の育成と活用を推進するため、市内小・中学生を対象に、実践的なビジネス体験を通じて、起業家精神や職業観の醸成を図る施策を実施します。 また、市内高校生を対象に、市内企業へのインターンシップ等を通じて、高度な知識・技術の習得や、一層の職業観・勤労観の育成を図る施策を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	9,885,000
			支出済額	9,771,182
			翌年度繰越額	0
			不用額	113,818
			前年度支出済額	9,601,762
			増減	169,420
<主な事業の成果>				
1 産業人材育成支援事業		9,191,182	[参考]  早期起業家教育事業活動風景	
市内小・中学生を対象に、実践的なビジネス体験プログラムである「早期起業家教育事業」を実施しました。また、市内高校生を対象に、市内企業へのインターンシップ等を実施しました。				
2 産業人材育成事業その他		580,000		
市内小・中学生を対象に、ものづくりの魅力を実感できる機会を提供する事業に対し、補助を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 農業政策推進事業			当初予算額	49,917,000	
局/部/課	経済局/農業政策部/農業政策課		補正予算額	△ 11,250,000	
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/3目 農業振興費	概要(当初)P. 299	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 特色ある都市農業を持続・発展させるために、さいたま市都市農業の振興に関する条例により策定した都市農業基本指針（さいたま市農業振興ビジョン）に基づき、農業経営の安定、市民・社会ニーズに対応する都市農業施策や担い手の育成・確保に対する取組を実施します。			流用額	0	
			予備費充用額	0	
			予算現額	38,667,000	
			支出済額	27,256,144	
			翌年度繰越額	0	
<不用額の理由> 農業交流施設整備事業の業務委託について、入札の結果、契約額が見込みを下回ったため。			不用額	11,410,856	
			前年度支出済額	31,493,767	
			増減	△ 4,237,623	
<主な事業の成果>					
1 都市農業担い手育成事業		1,308,311	4 人・農地プラン関連事業		6,982,000
担い手確保のため、農業制度資金利用に対する支援（新規1人）のほか、さいたま市都市農業審議会の運営（開催1回）や都市住民との協働を目的としたランドコーディネーターを育成しました（新規認定7人）。			人・農地プランに位置付けされた認定新規就農者に対して農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）による支援を実施しました（5人交付、交付額6,750,000円）。		
2 滞在型市民農園と農業交流施設の整備事業		6,437,604	5 農業政策管理事業その他		10,049,182
農業交流施設整備に向けて、整備手法を検討するとともに、機運を醸成するため、農の魅力を発信するためのソフト事業として農産物直売イベント（9回）を実施しました。			食品表示の適正化を図るため、品質表示の調査や指導（巡回調査50件、任意調査11件）を行いました。また、特定農地貸付法に基づく開設支援等も行いました。		
3 市場活性化事業		2,479,047			
卸売市場の活性化及び東日本大震災等の復興支援のため、卸売市場を利用した被災地産の物販イベントを開催しました（開催回数15回）。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 農業経営支援事業			当初予算額	75,601,000	
局/部/課	経済局/農業政策部/農業政策課		補正予算額	0	
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/3目 農業振興費	概要(当初)P. 299	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 市内の農業振興を図るため、地産地消の推進及び農業の効率的な経営の推進により、安全・安心な農産物の生産とその消費の拡大に向けた取組を支援します。			流用額	0	
			予備費充用額	0	
			予算現額	75,601,000	
			支出済額	52,174,546	
			翌年度繰越額	0	
<不用額の理由> 農業経営安定・生産向上事業及び都市農業担い手育成事業において、当初見込んだ額の申請がなかったため。			不用額	23,426,454	
			前年度支出済額	51,225,805	
			増減	948,741	
<主な事業の成果>					
1 地産地消事業		7,765,935	4 都市農業担い手育成事業		21,136,699
市内農産物の安全・安心な生産体制の整備、GAP取得の取組、PRによる消費拡大、ブランド化、商品開発等の支援を通じて地産地消を推進しました（商品開発事業所：3事業所増）。			担い手確保のため、認定農業者や農業後継者を育成、支援しました（認定農業者支援対策事業実績23件、農業後継者育成事業／自立経営支援事業実績1件）。		
2 さいたま市農業祭事業		12,575,312	5 見沼田圃を積極的に活用した体験型観光農園の推進		148,000
農業者と市民の交流を図り、農業理解を深めるため、農業祭を実施しました。			見沼田圃を農業生産や観光、レクリエーションの場として積極的に活用するため、農業者等が実施する見沼の自然や農をPRするイベントの開催、農業体験ができる観光農園や栽培収穫体験農園等を2件開設しました。		
3 農業経営安定・生産向上事業		10,548,600			
安全・安心な農産物の生産に向け、農業用機械の共同導入事業、生産団体及び各種協議会などの活動を支援しました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 水田農業経営確立対策事業			当 初 予 算 額	4,945,000
局/部/課	経済局/農業政策部/農業政策課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/3目 農業振興費	概要(当初)P. 300	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地域の需要に応じた米づくりと良好な水田環境の保全を図りながら、米の需給調整を行うとともに、消費者の期待に応える産地確立の取組を支援し、経営所得安定対策を推進します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	4,945,000
			支 出 済 額	4,550,000
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	395,000
			前年度支出済額	4,939,000
			増 減	△ 389,000
<主な事業の成果>				
1 経営所得安定対策推進事業		4,550,000		
農業経営の安定と生産力向上を図る経営所得安定対策事業の推進のため、農業再生協議会を支援しました。				
2 米の需給調整支援事業費				
需要に応じた米づくりの推進を通じて水田農業経営の安定と発展を図りました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 畜産事業			当初予算額	3,043,000	
局/部/課	経済局/農業政策部/農業政策課		補正予算額	0	
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/3目 農業振興費	概要(当初)P. 300	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 安全・安心な畜産物の需要に対応するため、防疫・公害防止・団体育成等の取組を支援し、周辺環境と調和した畜産業の振興を推進します。			流用額	0	
			予備費充用額	0	
			予算現額	3,043,000	
			支出済額	1,538,574	
			翌年度繰越額	0	
			不用額	1,504,426	
			前年度支出済額	1,208,020	
			増減	330,554	
<主な事業の成果>					
1 防疫事業		27,000	4 畜産事業その他		148,574
畜産経営における家畜伝染病を未然に防止するため、予防注射等の取組を支援しました。			畜産業の振興を図るため、政令指定都市会議への参加や家畜伝染病等発生時の迅速な対応を行いました。		
2 公害防止対策事業		463,000			
畜産公害の発生源である、家畜ふん尿による悪臭防止に向けた対策を支援しました。					
3 優良種畜導入事業		900,000			
乳質等の向上による畜産経営の安定を図るため、優良種畜の導入を支援しました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 農業環境整備事業			当初予算額	291,626,000	
局/部/課	経済局/農業政策部/農業環境整備課		補正予算額	△ 7,959,000	
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/4目 農地費	概要(当初)P. 301	前年度繰越額	65,540,000	
<事業の目的・内容> 農業振興地域整備計画に基づき、農用地等の保全と有効利用を推進します。また、農用地の高度利用と生産性を高めるため、土地基盤整備や未整備の用排水路等の整備・補修を行い、地域の農業環境整備を推進します。			流用額	0	
			予備費充用額	0	
			予算現額	349,207,000	
			支出済額	263,842,404	
			翌年度繰越額	67,838,400	
<不用額の理由> 水路整備について、現地の状況に合わせた仮設工法を実施したことや、農業基盤整備事業における県への調査負担金が減額となったため。			不用額	17,526,196	
			前年度支出済額	255,476,020	
			増減	8,366,384	
<主な事業の成果>					
1 農業用水路整備事業		136,250,400	4 多面的機能支援事業		15,235,820
農業生産性を向上させるため、水路整備を行い、安定した用水の確保、排水機能の強化及び風水害時における水路機能等の向上を図りました。			広く市民が享受している農地の有する多面的機能の維持、発揮を図るため、地域における活動団体への支援を行いました。		
2 農業用水路管理事業		92,158,956	5 農業振興地域整備事業		12,151,228
農業用水路機能を確保するため、緊急的な補修や浚渫等の維持管理を実施したほか、関連農業団体等への支援を行いました。			農業振興地域における農業施策や土地利用計画の推進を図るため、「農業振興情報システム」の情報更新や保守管理及び情勢の推移等による計画変更を行いました。		
3 農業基盤整備事業		8,046,000			
さいたま中央地区（見沼区膝子地区等）について、ほ場の大区画化や、水路整備による安定した用排水機能の確保を図ることができる土地改良事業の実施に向けた調査、計画の策定を行いました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 農業者トレーニングセンター管理運営事業			当初予算額	54,404,000
局/部/課	経済局/農業政策部/農業者トレーニングセンター		補正予算額	0
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/5目 農業園芸センター費	概要(当初)P. 301	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 苗木生産の技術指導や各種農業施設の活用により、地域農業の振興及び農家経営の安定化を図ります。また、市民の「農」に関する多様なニーズに対応するため、農業と市民の交流の場を設け、農コミュニティを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	54,404,000
			支出済額	50,634,660
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 燃料費において、重油の消費量が見込みを下回ったため。また、光熱水費が見込みを下回ったため。			不用額	3,769,340
			前年度支出済額	49,188,207
			増減	1,446,453
<主な事業の成果>				
1 農業施設の貸出し管理及び農業振興事業		41,367,340	[参考]	
農業研修施設、生産温室等の貸出し管理と栽培技術指導を行いました。				
2 催事・講座・相談事業		9,267,320		
多面的な農業の振興を目的とした各種催事、市民園芸講座を実施しました。				
				
アグリフェスタ				
		園芸植物園展示温室		



農業者トレーニングセンター



アグリフェスタ



園芸植物園展示温室


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼グリーンセンター管理運営事業			当 初 予 算 額	103,523,000
局/部/課	経済局/農業政策部/見沼グリーンセンター		補 正 予 算 額	0
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/5目 農業園芸センター費	概要(当初)P. 302	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 農業振興を目的に、野菜・果樹等の試作栽培・展示、優良種苗の増殖・普及、土壌診断、援農ボランティアの育成を行うほか、市民の「農」に関する多様なニーズに対応するため、市民農園の貸出し、体験教室等を実施します。さらに、市民の森・見沼グリーンセンターの各施設の維持・貸出しを行います。			流 用 額	△ 123,000
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	103,400,000
			支 出 済 額	97,958,115
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	5,441,885
<不用額の理由> 暖冬の影響により見沼グリーンセンター展示温室の重油使用量が見込みを下回ったため。			前年度支出済額	94,333,361
			増 減	3,624,754
<主な事業の成果>				
1 市民の森・見沼グリーンセンターの管理運営 52,117,896		4 市民への農コミュニティの推進 8,372,460		
施設を適切に管理運営するため、会議室等の貸出し、施設の整備点検及び清掃、並びに芝生広場等の維持管理を行いました。		市民の農業への理解を促進するため、市民農園の貸出し、親子農業体験教室及び援農ボランティア講座を開催しました。		
2 農業振興 7,443,776		5 春の園芸まつり（花と緑の祭典）の開催 5,412,204		
優良種苗の増殖、普及、試作栽培及び果樹栽培の技術向上に向けた講習会等を実施しました。また、グローバルGAPの認証を取得しました。		農業振興を目的に生産者と市民のふれあいの場としてイベントを実施しました。 ・開催日 平成30年5月3日・4日 ・来場者 約55,000人（2日間）		
3 新農業ビジネス振興事業 4,091,779		6 農村広場（春おか広場）の管理運営 20,520,000		
I T農業設備での試作試験を行い、栽培技術の確立と施設の周知を図りました。		指定管理者制度を活用し、施設の維持管理・運営を、適切に行いました。 ・指定管理者 株式会社クリーン工房		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼グリーンセンター施設整備事業			当初予算額	4,332,000
局/部/課	経済局/農業政策部/見沼グリーンセンター		補正予算額	0
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/5目 農業園芸センター費	概要(当初)P. 302	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 見沼グリーンセンター本館、市民の森、指導農場及び春おか広場に係る施設の保全管理を行います。			流用額	123,000
			予備費充用額	0
			予算現額	4,455,000
			支出済額	4,228,794
			翌年度繰越額	0
			不用額	226,206
<主な事業の成果> 1 見沼グリーンセンター及び春おか広場の施設修繕 4,228,794			前年度支出済額	267,724,683
			増減	△ 263,495,889
適切な施設運営及び市民に安全・安心な施設を提供するため、施設修繕等を行いました。			[参考] 	
			改修した盆栽園フェンス	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮花の丘農林公苑管理運営事業			当初予算額	94,032,000
局/部/課	経済局/農業政策部/見沼グリーンセンター		補正予算額	0
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/5目 農業園芸センター費	概要(当初)P. 303	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 都市農業に対する理解を深めるとともに、地域農業の振興及びふるさと環境の創設を図り、また、四季折々の花々を咲かせ、市民の憩いの場・安らぎの場を提供するとともに、公苑利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう維持管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	94,032,000
			支出済額	94,031,672
			翌年度繰越額	0
			不用額	328
			前年度支出済額	94,031,672
			増減	0
<主な事業の成果>				
1 大宮花の丘農林公苑の管理運営			94,031,672	[参考]
指定管理者制度を活用し、施設の維持管理・運営を、適切に行いました。 ・指定管理者 公益財団法人さいたま市公園緑地協会				
[参考]				
施設の貸出実績				
	利用日数	利用件数	利用人数	
緑のふるさとセンター	345日	871件	14,209人	



新たに植栽したネモフィラ

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮花の丘農林公苑施設整備事業			当初予算額	1,672,000
局/部/課	経済局/農業政策部/見沼グリーンセンター		補正予算額	0
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/5目 農業園芸センター費	概要(当初)P. 303	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 大宮花の丘農林公苑、緑のふるさとセンター及び花の食品館に係る施設の保全管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,672,000
			支出済額	1,090,800
			翌年度繰越額	0
			不用額	581,200
			前年度支出済額	20,049,691
			増減	△ 18,958,891
<主な事業の成果>				
1 大宮花の丘農林公苑施設整備			1,090,800	[参考]
大宮花の丘農林公苑内の柵及び親水広場の床面を修繕しました。				



修繕を実施した親水広場

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計繰出金			当初予算額	228,658,000
局/部/課	経済局/農業政策部/農業政策課		補正予算額	0
款/項/目	6款 農林水産業費/1項 農業費/6目 市場及びと畜場費	概要(当初)P. 304	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計に対して、特別会計の歳入不足を補うために、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	228,658,000
			支出済額	191,427,266
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 牛の処理頭数の減少に伴う電力費の減及び特定部位等の処分委託料の減により、事業費が見込みを下回り、これに伴い当初見込んだ繰出額を下回ったため。			不用額	37,230,734
			前年度支出済額	166,279,800
			増減	25,147,466
<主な事業の成果> 1 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計への繰出し 191,427,266 食肉中央卸売市場及びと畜場の運営について、その安定的な運営を行うため、必要な経費の一部について一般会計から繰出しを行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 商工施策管理事業			当初予算額	64,725,000
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	151,948,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/1目 商工総務費	概要(当初)P. 304	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 局・部・課、区役所及び関係団体との調整等の各種事務や施策立案に必要な調査・発信を行い、商工施策の円滑な推進を図ります。 また、にぎわい交流館いわつきは、令和2年2月22日の岩槻人形博物館との同時開館を予定しているため、建設工事の契約を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	216,673,000
			支出済額	62,985,519
			翌年度繰越額	151,948,000
<主な事業の成果>			不用額	1,739,481
			前年度支出済額	29,522,413
			増減	33,463,106
1 地域経済動向調査業務 2,365,200 市内の経済動向、企業経営動向を把握し、適切かつ効果的な施策推進の基礎資料とするとともに、地域内企業の経営判断の参考資料として役立てていただくため、市内事業者を対象にアンケート調査を実施しました。				
2 さいたま市けんてーウェブサイト運営業務 1,801,440 市内にある数多くの地域資源をクイズ形式によりネット上で公開・情報発信し、本市への集客強化・PRを推進するため、さいたま市けんてーウェブサイト運営しました。				
3 (仮称) 農業及び食の流通・観光産業拠点(地域経済活性化拠点)整備事業 24,732,000 (仮称) 農業及び食の流通・観光産業拠点の整備に向け、食肉中央卸売市場と連携し、基本計画素案について検討を行いました。				
4 にぎわい交流館いわつき整備事業 31,517,640 旧岩槻区役所敷地利用計画に基づき、にぎわいの核となるまちづくり拠点の整備を進めるため、設計業務を実施しました。 また、建設工事の契約を行いました。				
5 局・部・課内庶務その他 2,569,239 局・部・課内の連絡調整や事務遂行に当たり、必要な庶務を行いました。 また、市内の経済関係団体や指定都市の経済所管課等と連絡調整を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 商工会議所補助事業			当初予算額	65,000,000
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 305	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> さいたま商工会議所が行う事業のうち、市内商工業の振興を目的とし、本市の商工業関連施策の充実に結び付く事業に対し、その経費の一部について補助金を交付します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	65,000,000
			支出済額	62,326,726
			翌年度繰越額	0
			不用額	2,673,274
			前年度支出済額	64,653,860
			増減	△ 2,327,134
<主な事業の成果>				
1 さいたま商工会議所に対する補助			62,326,726	
商工会議所が行う中小企業相談所の運営、中小企業の経営指導等に対し、その経費の一部について補助を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 中小企業支援事業			当初予算額	241,944,000
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 305	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 中小企業の経営基盤強化、販路開拓や創業支援のため、公益財団法人さいたま市産業創造財団と連携し、相談対応、個別支援、セミナー等による総合的支援を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	241,944,000
			支出済額	207,234,616
			翌年度繰越額	0
			不用額	34,709,384
			前年度支出済額	225,713,926
			増減	△ 18,479,310
<主な事業の成果>				
1 さいたま市産業創造財団への補助			206,086,682	[参考]
公益財団法人さいたま市産業創造財団と連携し、創業希望者等に対し、窓口相談やセミナー等を行ったほか、ビジネスプランコンテストを刷新し、地域一体での創業者支援を実施しました。 また、中小企業者に対し、成長支援や経営基盤強化に向け、金融機関と連携した専門家派遣や起業家プログラムを実施し、地域経済活性化に努めました。				
2 きらりと光る産業技術表彰、九都県市合同商談会その他			1,147,934	
首都圏企業の優れた技術を表彰する「九都県市のきらりと光る産業技術表彰」の運営を行いました。 また、合同商談会参加企業の広域的取引のきっかけづくりや販路開拓支援を行いました。				



世界を変える起業家ビジコン最終審査会の様子

(一般会計・歳出)


(単位：円)

事務事業名 中小企業資金融資事業			当初予算額	12,443,700,000																													
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	1,576,940,000																													
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 306	前年度繰越額	0																													
<事業の目的・内容> 市内において事業を営む中小事業者及び創業者に対し、経営の安定及び向上に必要な資金の融資あっせんを行い、中小企業の振興を図ります。		概要(12補)P. 21	流用額	0																													
			予備費充用額	0																													
			予算現額	14,020,640,000																													
			支出済額	14,017,903,232																													
			翌年度繰越額	0																													
			不用額	2,736,768																													
			前年度支出済額	13,022,532,923																													
			増減	995,370,309																													
<主な事業の成果>																																	
1 融資実行に係る預託		13,979,874,968	3 中小企業融資システム管理		5,659,345																												
中小企業資金融資の円滑な運用を図るため、融資を実行した金融機関に対して預託を行いました。			中小企業資金融資事業を実施するために必要な融資システムの運用管理を行いました。																														
<table><tr><th>融資名</th><th>件数(件)</th><th>金額(千円)</th></tr><tr><td>中小企業中口資金融資</td><td>88</td><td>1,177,650</td></tr><tr><td>中小企業小口資金融資</td><td>20</td><td>127,630</td></tr><tr><td>中小企業セーフティネット資金融資</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>中小企業経営力強化資金</td><td>34</td><td>711,298</td></tr><tr><td>中小企業経営力向上支援資金融資</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>創業支援資金融資</td><td>49</td><td>309,700</td></tr><tr><td>緊急特別資金融資</td><td>467</td><td>5,277,350</td></tr><tr><td>合計</td><td>658</td><td>7,605,728</td></tr></table> <small>※件数は受付決定件数、金額は受付決定金額を記載</small>			融資名	件数(件)	金額(千円)	中小企業中口資金融資	88	1,177,650	中小企業小口資金融資	20	127,630	中小企業セーフティネット資金融資	0	0	中小企業経営力強化資金	34	711,298	中小企業経営力向上支援資金融資	0	0	創業支援資金融資	49	309,700	緊急特別資金融資	467	5,277,350	合計	658	7,605,728	4 中小企業融資制度の周知			116,648
融資名	件数(件)	金額(千円)																															
中小企業中口資金融資	88	1,177,650																															
中小企業小口資金融資	20	127,630																															
中小企業セーフティネット資金融資	0	0																															
中小企業経営力強化資金	34	711,298																															
中小企業経営力向上支援資金融資	0	0																															
創業支援資金融資	49	309,700																															
緊急特別資金融資	467	5,277,350																															
合計	658	7,605,728																															
			中小企業融資制度の周知を図るため、融資制度のパンフレット等を作成しました。																														
2 代位弁済補填金		18,699,870	5 中小企業資金融資に関する相談・受付			13,552,401																											
埼玉県信用保証協会との損失補償契約に基づき、保証債務の履行によって生じる代位弁済金額の一部を、補填金として埼玉県信用保証協会に支払いました。			公益財団法人さいたま市産業創造財団と連携し、中小企業資金融資に関する相談・受付等の業務を行いました。																														

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 計量事務事業			当初予算額	5,271,000
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 306	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 消費者の利益保護を図るため、計量法に基づき、特定計量器の定期検査、商品量目等の立入検査及び適正計量管理事務所等への指導・監督を行います。また、計量制度の理解を深めるための普及啓発を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	5,271,000
			支出済額	4,514,180
			翌年度繰越額	0
			不用額	756,820
			前年度支出済額	4,347,873
			増減	166,307
<主な事業の成果>				
1 計量器検査業務		4,514,180	[参考]	
計量販売等の取引・証明に使用するはかりの定期検査（区ごとに2年に1回、平成30年度は、桜区、浦和区、南区、緑区、中央区）を実施しました。				
[参考]				
検査実績				
検査機関	検査戸数（戸）	検査個数（個）		
さいたま市	398	930		
指定定期検査機関（委託分）	344	1,015		
合 計	742	1,945		



はかりの定期検査

(一般会計・歳出)

(単位：円)


事務事業名 産業振興会館管理運営事業			当初予算額	15,283,000
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 307	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地域産業の振興及び中小企業の育成を図るため、産業振興会館の利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、諸設備等の維持管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	15,283,000
			支出済額	12,983,770
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 光熱水費及び通信運搬費において支出の見込みを下回ったため。また、修繕料において施設の緊急的修繕の発生が少なかったため。			不用額	2,299,230
			前年度支出済額	10,572,008
			増減	2,411,762
<主な事業の成果>				
1 産業振興会館の維持管理		12,983,770	[参考]	
清掃、警備及び各設備の維持管理等について業務委託を活用し、適切に管理運営を行いました。				
・利用実績 1,953件				
・利用人数 50,725人				



産業振興会館外観

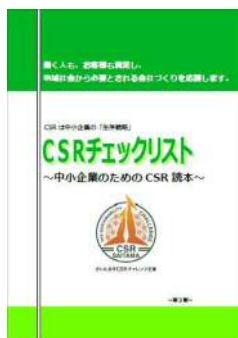

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 産業文化センター管理運営事業			当初予算額	139,563,000
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 307	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市内産業の振興、市民文化の向上及び福祉の増進を図るため、産業文化センターの利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、諸設備等の維持管理を行います。 なお、指定期間の満了に伴い、令和元年度以降の指定管理者との協定を締結する必要があることから、債務負担行為の設定を行いました。		概要(12補)P. 27	流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	139,563,000
			支出済額	130,413,920
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 舞台設備修繕において、入札額が当初の見込みを下回ったため。			不用額	9,149,080
			前年度支出済額	28,209,000
			増減	102,204,920
<主な事業の成果>				
1 産業文化センター管理運営		130,413,920	[参考]	
産業文化センターの施設の維持管理・運営を、指定管理者を活用し、適切に行いました。				
また、指定管理者に建物、その附属設備等の経年劣化等の状況を適宜把握させ、安心・安全な施設管理を行いました。				
<ul style="list-style-type: none">指定管理者 毎日興業・首都圏建物サービス協同組合JV施設利用実績（自主事業を除く） 1,071件 69,856人自主事業実績 58教室 15,703人				
				
			産業文化センター外観	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 CSR活動促進事業			当初予算額	16,437,000
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 308	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> CSR（企業の社会的責任）に取り組む市内中小企業等を認証することで、CSR活動の促進を図り、市内中小企業の安定的な存続を支援します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	16,437,000
			支出済額	15,694,732
			翌年度繰越額	0
			不用額	742,268
			前年度支出済額	13,642,000
			増減	2,052,732
<主な事業の成果>				
1 CSR推進会議の開催		226,000	[参考]	
市が行うCSR施策の推進及び事業者によるCSRの取組拡大を図るため、「さいたま市CSR推進会議」を3回開催しました。				
2 CSRチェックリスト等の発行		348,732		
CSRチェックリストのほか、CSRチャレンジ企業認証制度のごあんないを新たに作成し、制度理解・周知の推進を行いました。				
3 CSRチャレンジ企業認証・認証企業支援		15,120,000		
CSRに取り組む意欲があり、かつ一定の基準を満たす市内中小企業等をさいたま市CSRチャレンジ企業として認証し、支援を行いました。				
			左図：さいたま市CSRチェックリスト（第3版） 右図：さいたま市CSRチャレンジ企業認証制度のごあんない	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 広域連携推進事業			当初予算額	311,842,000
局/部/課	経済局/商工観光部/経済政策課		補正予算額	△ 6,556,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 308	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 新幹線6路線の結節点という拠点性を生かし、東日本地域の地方創生を成し遂げるため、交流人口の拡大や経済活動促進のための事業を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	305,286,000
			支出済額	278,064,957
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 東日本連携センター整備に係る改修工事において、入札額が当初の見込みを下回ったため。			不用額	27,221,043
			前年度支出済額	83,706,144
			増減	194,358,813
<主な事業の成果>				
1 東日本連携・創生フォーラムの事業			10,682,494	[参考]
東日本の自治体との連携による地域活性化・地方創生に向けた意見交換を行うため「東日本連携・創生フォーラム」を開催しました。また、フォーラムでの協議をもとに、地方創生に資する事業を実施しました。				
2 東日本連携センター整備事業			237,275,640	
交通の結節点である本市の立地特性を生かして、東日本地域との広域連携により、交流人口の拡大や経済活動促進を図るため、地方創生の拠点として、「まるまるひがしにほん（東日本連携センター）」を開設しました。				
3 東日本の商材の販路拡大事業			30,106,823	
地域活性化並びに地方創生に向け、東日本地域の特産品等を活用したまちなかにぎわい創出及び市内事業者と東日本の生産者のマッチングによる取引拡大を支援しました。				
				まるまるひがしにほん外観 (東日本連携センター)


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 企業誘致等推進事業		当初予算額	266,932,000
局/部/課	経済局/商工観光部/産業展開推進課	補正予算額	△ 6,312,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 309	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 「さいたま市企業誘致基本方針」に基づき、本市の優位性を生かした企業誘致活動を実施し、財政基盤の強化、雇用機会の創出、地域経済の活性化を図ります。 また、市内立地企業の継続と計画的な企業誘致を図るため、官民連携による新たな産業集積拠点を創出します。			0
			流用額
			0
			予備費充用額
			0
			予算現額
			260,620,000
			支出済額
			170,553,980
			翌年度繰越額
			82,534,000
			不用額
			7,532,020
			前年度支出済額
			196,060,881
			増減
			△ 25,506,901
<主な事業の成果>			
1 戦略的な企業誘致活動の推進		13,619,934	
金融機関等と連携し、本市のビジネス環境の情報発信、企業訪問等により、積極的な企業誘致活動を実施して12社の立地を実現するとともに、立地企業に対して行政手続等のワンストップサービス支援を行いました。			
2 産業立地促進補助金等の交付		155,602,000	
本市が戦略的に誘致活動を進めている次世代成長産業などの本社機能又は研究開発機能を立地した企業に対して補助を行いました。			
3 立地企業に対する経済波及効果の検証		540,000	
積極的な企業誘致の結果、立地した企業が本市の地域経済に波及する効果を試算しました。			
4 産業集積拠点創出事業			
新たな産業集積拠点の創出に向けて、可能性等調査業務を発注し、調査・検討を行いました。関係行政機関との調整に不測の日数を要したため、予算を繰越しました。			
5 地域工業の活性化支援その他		792,046	
市内工業団地のコミュニティ事業に対する振興支援等を行いました。			

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 イノベーション推進事業		当初予算額	10,462,000
局/部/課	経済局/商工観光部/産業展開推進課	補正予算額	△ 1,992,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 309	前年度繰越額
<事業の目的・内容> さいたま市における研究開発型企業の集積とイノベーションの創出を図るため市内企業の研究開発と実証実験の取組を支援します。			0
			流用額
			0
			予備費充用額
			0
			予算現額
			8,470,000
			支出済額
			7,320,643
			翌年度繰越額
			0
			不用額
			1,149,357
			前年度支出済額
			10,255,608
			増減
			△ 2,934,965
<主な事業の成果>			
1 イノベーション技術創出支援		3,644,000	
市内企業の新技術研究開発・実証実験支援を実施しました。			
・研究開発支援 3件			
・実証実験支援 1件			
2 イノベーション技術普及推進		3,676,643	
さいたま発イノベーション技術の普及に向けて、情報発信、市場開拓、事業化支援などを実施しました。			
・展示会出展 2回			
		[参考]	
			
		「第23回高度技術・技能展 おおた工業フェア」出展	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 新産業育成支援事業		当初予算額	143,759,000
局/部/課	経済局/商工観光部/産業展開推進課	補正予算額	△ 2,828,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 310	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 地域に集積する研究開発型ものづくり企業に対し、企業認証支援、国際技術交流推進、医療ものづくり都市構想推進などにより、競争力強化や海外市場の開拓、新規事業分野の開拓につながる支援を実施します。			0
			流用額
			0
			予備費充用額
			0
			予算現額
			140,931,000
			支出済額
			139,598,449
			翌年度繰越額
			0
			不用額
			1,332,551
			前年度支出済額
			128,965,192
			増減
			10,633,257
<主な事業の成果>			
1 さいたま市研究開発型企業認証支援事業 26,732,460		4 さいたまものづくりプラットフォーム事業 21,264,460	
独創性・革新性に優れた技術を持つ市内研究開発型企業を認証し、認証企業の国際競争力向上やイノベーション創出支援を実施しました。 ・企業の認証 継続認証7社 新規認証2社		ものづくり中小企業の課題解決を目指す生産性向上支援、企業間マッチング、人材育成など次世代高度ものづくり企業への成長支援を実施しました。 ・ビジネスマッチング機会の創出 3回	
2 国際技術交流推進事業 27,456,731		5 海外新市場開拓支援事業 10,009,498	
ドイツ産業クラスターとの技術交流を中心に、中小企業の高付加価値市場への参入を推進しました。 ・ドイツ展示会出展1回、人材育成1回、ミッション派遣1回、有識者及び有力企業招聘2回		地域金融機関のノウハウやネットワークを活用し、アジア新市場での新たな販路開拓を行おうとする市内ものづくり企業への支援を実施しました。 ・シンガポール展示会出展 1回	
3 さいたま医療ものづくり都市構想推進事業 54,135,300			
臨床ニーズとものづくり技術のマッチング促進、人材開発支援、市場化支援を行い、ものづくり企業の医療機器関連分野への新規参入・事業拡大を推進しました。 ・人材開発プログラム 12コマ			

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 産学連携推進事業		当初予算額	173,538,000
局/部/課	経済局/商工観光部/産業展開推進課	補正予算額	△ 51,496,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 310	前年度繰越額
<事業の目的・内容> イノベーション創出による産業競争力の強化を実現するため、市内企業の産学連携を推進します。			0
			流用額
			0
			予備費充用額
			0
			予算現額
			122,042,000
			支出済額
			121,893,921
			翌年度繰越額
			0
			不用額
			148,079
			前年度支出済額
			145,093,663
			増減
			△ 23,199,742
<主な事業の成果>			
1 産学連携支援センター埼玉の運営 10,062,742		3 研究開発資金の貸付け 91,004,000	
産学連携活動の総合支援センター「産学連携支援センター埼玉」を埼玉県と共同で運営しました。 ・産学連携相談 325件 ・産学交流の促進及びマッチング支援 63件		国の競争的資金等獲得による産学共同研究を支援する研究開発資金の一時貸付けを実施しました。 ・戦略的基盤技術高度化支援事業 3件	
2 産学連携推進支援 13,975,659		4 高度ものづくり人材育成支援 6,851,520	
市の中小企業支援センターである公益財団法人さいたま市産業創造財団を中心に産学マッチング支援を実施しました。 ・さいたま市研究開発人材高度化タスクフォース事業 3件		市内理工系大学と連携して市内企業の試作開発に資する人材育成支援プログラムを実施しました。 ・高度ものづくり人材育成支援プログラム 2件	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 産業交流推進事業			当初予算額	22,500,000
局/部/課	経済局/商工観光部/産業展開推進課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 311	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地域産業の活力を高め、広く事業機会の拡大を図るため、オープンイノベーションのビジネスマッチングを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	22,500,000
			支出済額	22,163,131
			翌年度繰越額	0
			不用額	336,869
			前年度支出済額	22,100,697
			増減	62,434
<主な事業の成果>				
1 産業交流展の開催 22,163,131 [参考]				
さいたま商工会議所、公益財団法人さいたま市産業創造財団と共同して、「BIZ SAITAMAさいたま市産業交流展2018」を開催しました。				
[参考] BIZ SAITAMAさいたま市産業交流展2018開催結果 <ul style="list-style-type: none"> ・会期 平成30年11月20日(火)、21日(水) ・会場 ソニックシティ ・技術ニーズ提示企業 98社 ・展示商談会参加企業 205社 ・商談 593件 ・展示商談会来場者 1,188人 			 	
			 	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 商工業振興事業			当初予算額	33,620,000
局/部/課	経済局/商工観光部/商業振興課		補正予算額	△ 517,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 311	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市内の商工業の振興のため、伝統産業活性化事業やさいたまスイーツ等プロモーション事業を実施するとともに、商工業団体に対し、補助を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	33,103,000
			支出済額	31,121,110
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,981,890
			前年度支出済額	26,873,225
			増減	4,247,885
<主な事業の成果>				
1 伝統産業活性化事業 7,352,277			4 鉄道ふれあいフェア開催事業 12,999,960 「鉄道文化」「鉄道のまち大宮」を広くPRするとともに、地域経済の振興を図るため、鉄道事業者との共同イベントを大宮駅周辺で実施しました。	
2 さいたまスイーツ等プロモーション事業 5,566,752			5 岩槻人形協同組合補助事業 2,303,297 岩槻人形協同組合が行う事業に対し、補助を行いました。	
3 公衆浴場支援事業その他 2,898,824 一般公衆浴場及び埼玉県公衆浴場業生活衛生同業組合さいたま支部が行う設備近代化事業等に対し、補助を行いました。 ・補助件数 19件				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 商店街振興事業		当初予算額	156,195,000
局/部/課	経済局/商工観光部/商業振興課	補正予算額	△ 14,451,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 312	
<事業の目的・内容> 商業等振興審議会において、本市における商業等の振興に関する重要な施策を審議するとともに、商店街等の活性化やにぎわいの創出を図るため、各種補助を行います。		前年度繰越額	0
		流 用 額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	141,744,000
		支出済額	129,042,627
		翌年度繰越額	0
		不 用 額	12,701,373
<不用額の理由> 商店街活性化推進補助事業及び商店街環境整備補助事業において、補助申請額が見込みを下回ったため。		前年度支出済額	127,463,432
		増 減	1,579,195
<主な事業の成果>			
1 商店街活性化推進補助事業その他 25,167,376 商店街の活性化及びまちなかのにぎわいを創出する事業に対し、補助を行いました。 また、商業等振興審議会を開催し、本市における商業等の振興に関する重要な施策について審議しました。		4 大型イベント等と連動した商店街支援事業 63,845,875 さいたまクリテリウムやさいたま国際マラソンなどのにぎわいが創出できる市内大型イベント開催時に、商店街の活性化を図るための連携事業を実施しました。	
2 商店街環境整備補助事業 13,854,000 商店会が整備する共同施設の建設、改修等の事業に対し、補助を行いました。 ・補助件数 17件		5 スポーツチームと連携した地域経済活性化事業 5,691,760 地元のプロスポーツチームと連携した地域経済等活性化事業を実施しました。	
3 商店街街路灯等電気料補助事業 15,519,000 商店会が維持管理している街路灯などの照明施設の電気料金に対し、補助を行いました。 ・補助件数 113件		6 文化芸術を活用した商業振興事業 4,964,616 市内商業の活性化を図るため、商店街において、「大盆栽まつり」などのイベントと連動して、大宮地域にちなんだ伝統文化である盆栽を活用したイベントを実施しました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大規模小売店舗立地事務事業		当初予算額	577,000
局/部/課	経済局/商工観光部/商業振興課	補正予算額	△ 104,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/2目 商工振興費	概要(当初)P. 312	
<事業の目的・内容> 大規模小売店舗立地法に基づく大規模小売店舗設置者からの届出に対して、審議会における専門的知識をもつ学識経験者の答申を踏まえ、意見・勧告を行います。		前年度繰越額	0
		流 用 額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	473,000
		支出済額	339,640
		翌年度繰越額	0
		不 用 額	133,360
<主な事業の成果>		前年度支出済額	311,282
		増 減	28,358
<主な事業の成果>			
1 大規模小売店舗立地審議会の運営 339,640 大規模小売店舗立地に係る周辺地域における生活環境の保持のため、適切な配慮に関する事項について審議しました。 ・届出受理件数 33件 ・意見審議件数 3件 ・審議会開催件数 3件			

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 観光団体運営補助事業			当初予算額	368,875,000
局/部/課	経済局/商工観光部/観光国際課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/3目 観光費	概要(当初)P. 313	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 各種団体等に対し、イベント開催経費や、大宮盆栽をはじめとする本市の地域資源のPR等に要する経費の一部を補助することにより、本市の観光事業の振興及び観光団体の育成を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	368,875,000
			支出済額	368,118,470
			翌年度繰越額	0
			不用額	756,530
			前年度支出済額	448,224,807
			増減	△ 80,106,337
<主な事業の成果>				
1 さいたま観光国際協会事業補助金		295,878,902	4 地域のまつり等補助金	48,561,470
本市の観光振興事業等を担う団体である公益社団法人さいたま観光国際協会に対する補助を通じて、各種観光事業や観光資源の広報事業等を実施しました。			本市が有する文化・伝統・地域資源等を活用し、市内外からの誘客を図ることができるまつりやイベントを実施する団体に対し、開催経費の一部を補助しました。	
2 さいたまるしえ事業		16,759,098		
本市自慢の「食」をテーマとした情報の発信やイベントを実施し、地域の活性化や観光振興を図りました。				
3 未来に向けた盆栽文化の継続・発展		6,919,000		
大宮盆栽のブランド強化に向けた取組を実施する団体に対し経費の一部を補助することで、本市の魅力ある盆栽の振興を図りました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 さいたま市花火大会事業			当初予算額	108,000,000
局/部/課	経済局/商工観光部/観光国際課		補正予算額	0
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/3目 観光費	概要(当初)P. 313	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市民にふれあいの場を提供するとともに、市民の交流と親睦を目的として花火大会を開催しているさいたま市花火大会実行委員会に対し、事業運営費の一部についての補助を行います。 また、政令指定都市移行15周年を祝う花火大会の事業運営費の一部についても補助を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	108,000,000
			支出済額	106,772,908
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,227,092
			前年度支出済額	51,000,000
			増減	55,772,908
<主な事業の成果>				
1 さいたま市花火大会の実施		53,000,000	[参考]	
市内3会場で実施した花火大会の運営経費の一部を補助しました。			【開催日】 大和田公園会場 平成30年7月30日 大間木公園会場 平成30年8月11日 岩槻文化公園会場 平成30年8月18日 入込客数 225,000人 (3会場合計)	
2 政令指定都市15周年記念花火大会事業		53,772,908	【政令指定都市15周年記念花火大会】	
政令指定都市移行15周年を市民とともに祝い、一体感を醸成することを目的とし、従来の3会場とは別に花火大会を開催しました。			開催日 平成30年10月13日 会場 荒川総合運動公園他 入込客数 150,000人	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 観光推進対策事業			当初予算額	59,205,000
局/部/課	経済局/商工観光部/観光国際課		補正予算額	△ 2,081,000
款/項/目	7款 商工費/1項 商工費/3目 観光費	概要(当初)P. 314	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 各種観光団体や東日本連携都市と連携しながら、市内の観光資源等を国内外に積極的にPRすることにより、本市への誘客を促進し、地域経済の活性化を図ります。また、開催地域への高い経済効果をもたらすMICEの誘致活動を展開します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	57,124,000
			支出済額	49,302,122
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 外国人観光客受入環境整備及び誘致促進補助金において申請金額が見込みを下回ったこと等のため。			不用額	7,821,878
			前年度支出済額	47,636,340
			増減	1,665,782
<主な事業の成果>				
1 東日本連携広域周遊ルート事業		1,172,452	4 地域資源や食文化を活用した観光振興事業	151,498
東日本地域への観光客誘致や認知度向上に向け、東京2020大会開催を見据えた誘客策について、東日本連携都市と協議を行いました。			地域と連携し土産品の開発を行い、地域資源や食文化等を生かした観光振興を図りました。	
2 インバウンド促進事業		14,801,024	5 未来に向けた盆栽文化の継続・発展	6,999,048
広域周遊ルートや本市の観光資源の魅力を発信し、外国人観光客の誘致を図るため、国内外でのプロモーション活動を実施しました。また、こうした結果から旅行商品が造成されました。			大宮盆栽のブランド強化のため、大盆栽まつり来場者をおもてなしするための関連イベント等を実施しました。	
3 MICE推進事業		15,911,716	6 観光PRその他	10,266,384
公益社団法人さいたま観光国際協会等と連携し、コンベンション開催支援をはじめとしたMICEの誘致・促進を行いました。			本市の観光資源の魅力を市内外に広く発信するため、観光PR事業をはじめ、各種観光誘客キャンペーン等を実施しました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 災害復旧費（農業環境整備課）			当初予算額	3,000
局/部/課	経済局/農業政策部/農業環境整備課		補正予算額	0
款/項/目	11款 災害復旧費/1項 農林水産施設災害復旧費/1目 農林水産施設災害復旧費	概要(当初)P. 314	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 災害時における農業施設等の復旧を速やかに行うことにより、農業生産基盤の維持を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	3,000
			支出済額	0
			翌年度繰越額	0
			不用額	3,000
			前年度支出済額	0
			増減	0
<主な事業の成果>				
1 災害時における農業施設等の復旧				
災害時において、農業施設等の復旧を円滑に行い、農業被害を最小限に留めるために計上しましたが、平成30年度中の予算執行はありませんでした。				

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計			当 初 予 算 額	15,721,000
款/項/目	1款 使用料及び手数料/1項 使用料/1目 食肉市場費使用料		補 正 予 算 額	0
歳入名称	市場使用料		繰越財源充当額	0
局/部/課	経済局/農業政策部/食肉中央卸売市場・と畜場		予 算 現 額	15,721,000
<主な成果> さいたま市食肉中央卸売市場業務規程施行規則に基づく、市場使用料として収納しました。 [参考] 市場使用料＝卸売金額の1,000分の2			調 定 額	12,403,044
			収 入 済 額	12,403,044
			不 納 欠 損 額	0
			収 入 未 済 額	0
			前年度収入済額	12,535,392
			増 減	△ 132,348

種別内訳 (売上金額)			
種別	頭数 (頭)	重量 (kg)	金額 (円)
牛	9,682		3,895,185,878
豚	55,214		1,951,510,859
子牛	39		2,129,025
馬	0		0
子馬	1		159,879
輸入肉		118,619.4	108,285,189
部分肉		52,911.2	53,722,429
副生物			190,531,722
合計	64,936	171,530.6	6,201,524,981

※ 副生物は、牛・豚の内臓、原皮、その他です。

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計			当 初 予 算 額	2,990,000
款/項/目	1款 使用料及び手数料/1項 使用料/1目 食肉市場費使用料		補 正 予 算 額	0
歳入名称	施設使用料		繰越財源充当額	0
局/部/課	経済局/農業政策部/食肉中央卸売市場・と畜場		予 算 現 額	2,990,000
<主な成果> さいたま市食肉中央卸売市場業務規程施行規則に基づく、市場施設使用料として収納しました。			調 定 額	2,995,464
			収 入 済 額	2,995,464
			不 納 欠 損 額	0
			収 入 未 済 額	0
			前年度収入済額	2,898,404
			増 減	97,060

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計			当 初 予 算 額	100,677,000
款/項/目	1款 使用料及び手数料/1項 使用料/2目 と畜場費使用料		補 正 予 算 額	0
歳入名称	と畜場使用料		繰越財源充当額	0
局/部/課	経済局/農業政策部/食肉中央卸売市場・と畜場		予 算 現 額	100,677,000
<主な成果> さいたま市と畜場条例施行規則に基づく、と畜場使用料として収納しました。			調 定 額	85,854,556
			収 入 済 額	85,854,556
			不 納 欠 損 額	0
			収 入 未 済 額	0
			前年度収入済額	81,283,690
			増 減	4,570,866

種別内訳			
種別	1頭当たりの使用料 (円)	頭数 (頭)	金額 (円)
牛	4,129	9,624	39,737,496
豚	普通	838	50,829
	大買	1,205	2,848
計		53,677	46,026,542
子牛	2,242	40	89,680
馬	2,725	0	0
子馬	838	1	838
合計		63,342	85,854,556

※ 豚の枝肉重量が、100kg未満のものを「普通」、100kg以上のものを「大買」と呼称しております。

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計			当 初 予 算 額	7,000
款/項/目	1款 使用料及び手数料/2項 手数料/1目 と畜場費手数料		補 正 予 算 額	0
歳入名称	証明発行手数料		繰越財源充当額	0
局/部/課	経済局/農業政策部/食肉中央卸売市場・と畜場		予 算 現 額	7,000
<主な成果> 出荷者に対して、証明発行手数料として収納しました。			調 定 額	9,900
			収 入 済 額	9,900
			不 納 欠 損 額	0
			収 入 未 済 額	0
			前年度収入済額	7,500
			増 減	2,400

会計名 食肉中央卸売市場及びと畜場事業特別会計		当初予算額	381,000,000
局/部/課	経済局/農業政策部/食肉中央卸売市場・と畜場	補正予算額	0
概要(当初)P. 315		前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 食肉の公正かつ安定的な取引の確保と流通過程の合理化を図り、安全で安心な食肉を安定的に供給し続けるため、施設整備や流通環境の変化に柔軟に対応できる市場として、公共的、社会的使命を果たします。		流 用 額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	381,000,000
		支出済額	319,962,383
		翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 牛の処理頭数の減少に伴う、電力費の減及び特定部位等の処分委託料の減のため。		不 用 額	61,037,617
		前年度支出済額	288,628,629
		増 減	31,333,754
<主な事業の成果>			
[1款：食肉市場費]		113,135,875	
(1) 市場施設修繕 ・大動物枝肉殺菌送り装置交換修繕 ・最終沈殿槽汚泥返送ポンプ交換修繕 老朽化した施設機器を交換・修繕することで、安定した市場運用を実現しました。			
(2) 市場施設等保守管理委託 市場の施設設備の維持管理を行いました。			
(3) その他委託 ・(仮称)農業及び食の流通・観光産業拠点整備・運営方針検討業務 食肉中央卸売市場・と畜場及び地域経済活性化拠点を一体的に整備する(仮称)農業及び食の流通・観光産業拠点の基本計画素案について検討を行いました。			
[2款：と畜場費]		206,826,508	
(1) と畜場施設修繕 ・大動物ダンプローラー修繕 老朽化して汚染源となるおそれのある設備を修繕することで、安定したと畜場運用を実現しました。			
(2) と畜場施設等保守管理委託 と畜場の施設設備の維持管理を行いました。			
[3款：予備費]			
不測の事態に備え計上しましたが、支出しませんでした。			

(※ 職員人件費については、P. 478に掲載しています。)

平成30年度 都市局決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 東日本の対流拠点都市にふさわしい都市機能の充実・強化を図るまちづくりを推進
 - ① 東日本中枢都市としての競争力を強化するため、大宮駅グランドセントラルステーション化構想の策定・推進を図るとともに、大宮駅の機能高度化、交通基盤の整備及び駅周辺のまちづくりの事業化に向けた検討等を行い、(仮称) GCSプラン骨子案を取りまとめました。
 - ② 大宮駅東口のリーディングプロジェクトである大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業を推進しました。
 - ③ 県都の玄関口にふさわしい街並みを実現するため、浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業及び浦和西口停車場線(県庁通り)の整備を推進しました。
- (2) 風格や賑わいを創出させる魅力あるまちづくりを推進
 - ① 浦和東部・岩槻南部地域整備推進事業において、まちのブランド力を高める都市環境の形成に向けた河川空間活用や街並み誘導等を検討・検証するための都市デザイン推進業務等を実施しました。
 - ② 与野本町駅周辺地区まちづくり事業において、地域が主体となる協議会を支援するとともに、地域住民等と協働で、本町通りのまちづくりに関する取組を実施しました。
- (3) 災害に強い都市環境整備を効率的・効果的に推進
 - ① 防災を明確に意識した都市づくりのために、災害リスクの改善・軽減に向けた施策を検討するとともに、災害リスクの高い地区において地域住民が主体となった取組を推進しました。
 - ② 施行中の組合施行土地区画整理事業に対して補助金を交付し、災害に強い都市基盤整備を実施しました。
 - ③ 岩槻駅西口土地区画整理事業において、岩槻駅西口の商業活性化と潤いのある住環境を形成するため、建物等の移転や道路などの基盤整備を実施しました。
- (4) 誰もが使いやすく移動しやすい交通環境を形成するまちづくりを推進
 - ① 「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはひと～」に基づき、「人と環境にやさしい安全で元気な自転車のまち さいたま」の実現に向けた取組を推進しました。
 - ② 七里駅周辺地域の利便性や安全性の向上を図るため、七里駅橋上駅舎化及び南北自由通路の整備に向けた取組を推進しました。
- (5) さいたま市らしい豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑の空間の創出を推進
 - ① 市民の憩い、レクリエーションの場となる身近な公園を整備するとともに、さいたま新都心の広域防災・医療拠点を補完する「さいたま新都心公園」の供用を開始しました。
 - ② オープン型・クローズ型緑地の保全事業、緑地保全ボランティア活動の推進等により、良好な自然環境を有する緑地の保全を推進しました。

II 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位: 円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
15款	166,000	0	0	166,000	2,808,505	2,808,505	0	0
16款	250,872,000	△ 3,629,000	0	247,243,000	258,154,642	258,148,179	0	6,463
17款	4,932,680,000	△ 1,226,534,000	1,920,462,362	5,626,608,362	5,621,438,562	2,944,030,805	0	2,677,407,757
19款	195,201,000	△ 8,402,000	0	186,799,000	158,257,772	158,257,772	0	0
20款	200,000,000	0	0	200,000,000	200,130,000	200,130,000	0	0
21款	3,000,000,000	0	0	3,000,000,000	2,000,000,000	2,000,000,000	0	0
23款	8,644,756,000	△ 1,175,066,000	0	7,469,690,000	7,478,708,703	7,464,202,881	0	14,505,822
合計	17,223,675,000	△ 2,413,631,000	1,920,462,362	16,730,506,362	15,719,498,184	13,027,578,142	0	2,691,920,042

<歳出>

(単位: 円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
8款	37,914,775,000	△ 3,305,970,000	6,150,038,245	0	40,758,843,245	31,128,933,308	8,411,362,320	1,218,547,617
合計	37,914,775,000	△ 3,305,970,000	6,150,038,245	0	40,758,843,245	31,128,933,308	8,411,362,320	1,218,547,617

2 用地先行取得事業特別会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	31,424,000	0	0	31,424,000	30,508,486	30,508,486	0	0
2款	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0
3款	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0
合計	31,426,000	0	0	31,426,000	30,508,486	30,508,486	0	0

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	31,426,000	0	0	0	31,426,000	30,508,486	0	917,514
合計	31,426,000	0	0	0	31,426,000	30,508,486	0	917,514

※ P. 66を参照

3 大宮駅西口都市改造事業特別会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	2,000	0	0	2,000	2,383,082	2,383,082	0	0
2款	176,000,000	△ 76,000,000	96,350,000	196,350,000	196,350,000	103,350,000	0	93,000,000
3款	886,695,000	△ 19,761,000	0	866,934,000	810,602,290	810,602,290	0	0
4款	1,000	0	68,243,837	68,244,837	68,243,837	68,243,837	0	0
5款	2,000	0	0	2,000	60	60	0	0
6款	403,300,000	△ 89,300,000	110,900,000	424,900,000	326,200,000	326,200,000	0	0
合計	1,466,000,000	△ 185,061,000	275,493,837	1,556,432,837	1,403,779,269	1,310,779,269	0	93,000,000

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	983,976,000	△ 178,807,000	275,493,837	0	1,080,662,837	793,220,146	229,983,348	57,459,343
2款	481,330,000	△ 6,254,000	0	0	475,076,000	475,075,775	0	225
3款	694,000	0	0	0	694,000	0	0	694,000
合計	1,466,000,000	△ 185,061,000	275,493,837	0	1,556,432,837	1,268,295,921	229,983,348	58,153,568

4 東浦和第二土地区画整理事業特別会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	181,000	0	0	181,000	276,850	276,850	0	0
2款	406,450,000	△ 126,835,000	60,980,000	340,595,000	340,595,000	291,415,000	0	49,180,000
3款	5,400,000	21,823,000	0	27,223,000	29,126,276	29,126,276	0	0
4款	1,004,767,000	△ 42,631,000	0	962,136,000	930,646,023	930,646,023	0	0
5款	1,000	0	6,145,280	6,146,280	6,145,280	6,145,280	0	0
6款	1,000	0	0	1,000	10,280	10,280	0	0
7款	358,200,000	△ 48,100,000	54,800,000	364,900,000	248,700,000	248,700,000	0	0
合計	1,775,000,000	△ 195,743,000	121,925,280	1,701,182,280	1,555,499,709	1,506,319,709	0	49,180,000

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	1,108,126,000	△ 193,913,000	121,925,280	0	1,036,138,280	819,301,310	168,639,967	48,197,003
2款	666,190,000	△ 1,830,000	0	0	664,360,000	664,358,432	0	1,568
3款	684,000	0	0	0	684,000	0	0	684,000
合計	1,775,000,000	△ 195,743,000	121,925,280	0	1,701,182,280	1,483,659,742	168,639,967	48,882,571

5 浦和東部第一特定土地区画整理事業特別会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	1,000	344,000	0	345,000	462,000	462,000	0	0
2款	395,827,000	△ 269,095,000	185,268,000	312,000,000	312,000,000	283,123,000	0	28,877,000
3款	555,714,000	△ 555,714,000	0	0	0	0	0	0
4款	799,056,000	412,909,000	0	1,211,965,000	1,086,537,306	1,086,537,306	0	0
5款	1,000	0	88,625,409	88,626,409	88,625,409	88,625,409	0	0
6款	1,000	6,000	0	7,000	24,025	24,025	0	0
7款	458,400,000	△ 316,400,000	249,700,000	391,700,000	290,200,000	290,200,000	0	0
合計	2,209,000,000	△ 727,950,000	523,593,409	2,004,643,409	1,777,848,740	1,748,971,740	0	28,877,000

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	1,374,002,000	△ 724,577,000	523,593,409	0	1,173,018,409	842,609,777	133,555,720	196,852,912
2款	834,657,000	△ 3,373,000	0	0	831,284,000	831,283,243	0	757
3款	341,000	0	0	0	341,000	0	0	341,000
合計	2,209,000,000	△ 727,950,000	523,593,409	0	2,004,643,409	1,673,893,020	133,555,720	197,194,669

6 南与野駅西口土地区画整理事業特別会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	250,000	0	0	250,000	306,871	306,871	0	0
2款	5,000	0	0	5,000	67,150	67,150	0	0
3款	534,750,000	△ 236,950,000	129,945,500	427,745,500	430,000,500	322,195,500	0	107,805,000
4款	380,693,000	△ 13,432,000	0	367,261,000	327,558,525	327,558,525	0	0
5款	1,000	0	56,482,537	56,483,537	56,482,537	56,482,537	0	0
6款	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0
7款	451,300,000	△ 152,100,000	103,600,000	402,800,000	281,400,000	281,400,000	0	0
合計	1,367,000,000	△ 402,482,000	290,028,037	1,254,546,037	1,095,815,583	988,010,583	0	107,805,000

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	1,258,849,000	△ 400,900,000	290,028,037	0	1,147,977,037	864,859,016	242,493,000	40,625,021
2款	107,247,000	△ 1,582,000	0	0	105,665,000	105,663,567	0	1,433
3款	904,000	0	0	0	904,000	0	0	904,000
合計	1,367,000,000	△ 402,482,000	290,028,037	0	1,254,546,037	970,522,583	242,493,000	41,530,454

7 指扇土地地区画整理事業特別会計

＜歳入＞

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	626,000	0	0	626,000	759,846	759,846	0	0
2款	5,000	0	0	5,000	125,150	125,150	0	0
3款	194,150,000	△ 53,601,000	60,145,000	200,694,000	200,694,000	145,999,000	0	54,695,000
4款	1,000	3,970,000	0	3,971,000	3,681,078	3,681,078	0	0
5款	330,316,000	△ 29,752,000	0	300,564,000	259,128,009	259,128,009	0	0
6款	1,000	0	48,410,045	48,411,045	48,410,045	48,410,045	0	0
7款	1,000	0	0	1,000	995,995	995,995	0	0
8款	258,900,000	△ 57,000,000	65,300,000	267,200,000	160,400,000	160,400,000	0	0
合計	784,000,000	△ 136,383,000	173,855,045	821,472,045	674,194,123	619,499,123	0	54,695,000

＜歳出＞

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	730,068,000	△ 135,000,000	173,855,045	0	768,923,045	504,738,355	208,993,662	55,191,028
2款	53,046,000	△ 1,383,000	0	0	51,663,000	51,662,106	0	894
3款	886,000	0	0	0	886,000	0	0	886,000
合計	784,000,000	△ 136,383,000	173,855,045	0	821,472,045	556,400,461	208,993,662	56,077,922

8 江川土地地区画整理事業特別会計

＜歳入＞

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	48,000	0	0	48,000	770,103	770,103	0	0
2款	1,000	2,903,000	0	2,904,000	3,095,777	3,095,777	0	0
3款	130,947,000	△ 2,903,000	0	128,044,000	119,037,769	119,037,769	0	0
4款	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0
5款	3,000	0	0	3,000	6,169	6,169	0	0
合計	131,000,000	0	0	131,000,000	122,909,818	122,909,818	0	0

＜歳出＞

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	114,509,000	0	0	0	114,509,000	106,674,686	0	7,834,314
2款	16,236,000	0	0	0	16,236,000	16,235,132	0	868
3款	255,000	0	0	0	255,000	0	0	255,000
合計	131,000,000	0	0	0	131,000,000	122,909,818	0	8,090,182

9 大門下野田特定土地地区画整理事業特別会計

＜歳入＞

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1款	1,000	5,000	0	6,000	12,300	12,300	0	0
2款	139,997,000	△ 32,363,000	0	107,634,000	104,254,341	104,254,341	0	0
3款	1,000	0	9,000	10,000	9,000	9,000	0	0
4款	1,000	0	0	1,000	980	980	0	0
5款	48,000,000	0	92,200,000	140,200,000	100,700,000	100,700,000	0	0
合計	188,000,000	△ 32,358,000	92,209,000	247,851,000	204,976,621	204,976,621	0	0

＜歳出＞

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
1款	183,636,000	△ 30,900,000	92,209,000	0	244,945,000	148,193,958	78,944,000	17,807,042
2款	4,297,000	△ 1,458,000	0	0	2,839,000	2,838,663	0	337
3款	67,000	0	0	0	67,000	0	0	67,000
合計	188,000,000	△ 32,358,000	92,209,000	0	247,851,000	151,032,621	78,944,000	17,874,379

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/1項 使用料/7目 土木使用料	当 初 予 算 額 108,576,000
歳入名称 自動車駐車場使用料	補 正 予 算 額 0
局/部/課 都市局/都市計画部/自転車まちづくり推進課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 岩槻駅東口公共駐車場使用料及び北与野駅北口地下駐車場使用料として収納しました。	予 算 現 額 108,576,000
	調 定 額 110,697,730
	収 入 済 額 110,697,730
	不 納 欠 損 額 0
	収 入 未 済 額 0
	前年度収入済額 111,478,285
	増 減 △ 780,555

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 17款 国庫支出金/2項 国庫補助金/4目 土木費国庫補助金	当 初 予 算 額 1,268,330,000
歳入名称 社会資本整備総合交付金	補 正 予 算 額 △ 580,803,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/区画整理支援課	繰越財源充当額 370,036,362
<主な成果> 組合施行等土地区画整理事業に対する国庫補助金として、補助率5.5/10、1/2及び1/3で交付されました。	予 算 現 額 1,057,563,362
	調 定 額 1,057,563,362
	収 入 済 額 896,345,605
	不 納 欠 損 額 0
	収 入 未 済 額 161,217,757
	前年度収入済額 1,204,946,998
	増 減 △ 308,601,393

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 17款 国庫支出金/2項 国庫補助金/4目 土木費国庫補助金	当 初 予 算 額 1,700,822,000
歳入名称 社会資本整備総合交付金	補 正 予 算 額 △ 211,750,000
局/部/課 都市局/都心整備部/大宮駅東口まちづくり事務所	繰越財源充当額 1,474,871,000
<主な成果> 氷川緑道西通線整備推進事業に対する国庫補助金として、補助率1/2で交付されました。また、大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業に対する国庫補助金として、補助率1/2で交付されました。	予 算 現 額 2,963,943,000
	調 定 額 2,963,905,000
	収 入 済 額 1,641,865,000
	不 納 欠 損 額 0
	収 入 未 済 額 1,322,040,000
	前年度収入済額 743,119,000
	増 減 898,746,000

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/3項 貸付金元利収入/5目 土木費貸付金元利収入	当 初 予 算 額 7,246,610,000
歳入名称 土地区画整理組合貸付金元金収入	補 正 予 算 額 △ 484,946,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/区画整理支援課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 土地区画整理組合に対する貸付金を回収しました。 [参考]	予 算 現 額 6,761,664,000
	調 定 額 6,761,664,000
	収 入 済 額 6,761,664,000
	不 納 欠 損 額 0
	収 入 未 済 額 0
	前年度収入済額 7,665,264,000
	増 減 △ 903,600,000

地区名	金額	地区名	金額
丸ヶ崎	429,020,000円	台・一ノ久保特定	0円
大間木水深特定	0円	大和田特定	230,954,000円
大門第二特定	2,289,000,000円	内谷・会ノ谷特定	405,000,000円
土呂農住特定	217,200,000円	大谷口・太田窪	846,000,000円
風渡野南特定	330,000,000円	中川第一特定	155,690,000円
蓮沼下特定	451,400,000円	七里駅北側特定	78,000,000円
大門上・下野田特定	777,000,000円	島町西部	552,400,000円

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市計画推進事業（都市総務課）			当初予算額	5,932,000		
局/部/課 都市局/都市計画部/都市総務課			補正予算額	0		
款/項/目 8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費			概要(当初)P. 325	前年度繰越額	0	
<div><事業の目的・内容></div> <div>局内及び部内各業務の総合調整を行い、都市計画行政を推進します。</div>					流用額	335,000
					予備費充用額	0
					予算現額	6,267,000
					支出済額	5,740,409
					翌年度繰越額	0
					不用額	526,591
					前年度支出済額	4,509,073
増減					1,231,336	
<div><主な事業の成果></div> <div>1 各種協議会や研修会への参加に伴う負担金 595,600</div> <div>都市における各種課題に関する調査、研究、情報収集や交換を行うための協議会、研修会に参加しました。</div> <div>2 都市計画の管理運営 3,395,209</div> <div>局内、部内における各業務の総合調整を行い、都市計画事務の円滑な推進と運営等を行いました。</div> <div>3 環境空間整備推進事業 1,749,600</div> <div>東北・上越新幹線の両側に確保されている環境空間の現状等を踏まえ、土地利用方針の見直しの検討を行いました。</div>						

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市計画推進事業（都市計画課）				当 初 予 算 額 65,788,000	
局/部/課		都市局/都市計画部/都市計画課		補 正 予 算 額 0	
款/項/目		8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費		概要(当初)P. 325	
<事業の目的・内容> 都市計画に関する各種構想や計画等の策定、調査等を行うことで、都市計画行政を推進します。				前年度繰越額 0	
				流 用 額 0	
				予備費充用額 0	
				予 算 現 額 65,788,000	
				支 出 済 額 60,984,874	
<不用額の理由> 委託料等について、入札により請負差金が生じたため。				翌年度繰越額 0	
				不 用 額 4,803,126	
				前年度支出済額 59,088,844	
				増 減 1,896,030	
<主な事業の成果>					
1 都市計画審議会の運営		618,408	4 都市計画調査等業務		26,562,816
都市計画審議会を3回開催し、市が決定する都市計画に関する事項等について審議を行いました。			都市計画基礎調査結果を踏まえ第8回区域区分見直しに向けた調査・研究や都市計画基本図等の修正を行いました。		
2 都市計画道路見直し事業		10,666,720	5 事務費その他		5,608,530
都市計画道路の見直し候補となった路線について、関係権利者の合意形成を図り、都市計画変更の手続きを進めました。			都市計画に関する会議への参加や車両等の賃借を行いました。		
3 地域地区・地区計画の策定、調査等業務		17,528,400			
地域地区及び地区計画の決定・変更に係る調査業務等を行いました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 参加型まちづくり支援事業				当 初 予 算 額 3,552,000	
局/部/課		都市局/都市計画部/都市総務課		補 正 予 算 額 0	
款/項/目		8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費		前年度繰越額 0	
<事業の目的・内容> 市民のまちづくりに対する興味や関心を呼び起こすとともに、自らが参加することへの「きっかけ」づくりを提供するため、まちづくり広報誌等の発行やホームページでの情報提供等を通して、市民参加意識の醸成を図り、都市づくりの基本理念である「市民と行政の協働」を推進します。				概要(当初)P. 326	
				流 用 額 △ 335,000	
				予備費充用額 0	
				予 算 現 額 3,217,000	
				支 出 済 額 3,099,600	
				翌年度繰越額 0	
				不 用 額 117,400	
				前年度支出済額 4,158,000	
				増 減 △ 1,058,400	
<主な事業の成果>					
1 広報誌等の発行		3,099,600			
市民と行政の協働によるまちづくりの取組や市民活動の状況、都市局からの情報等を掲載内容としたまちづくり広報誌「korekara」等を発行しました。					
[参考] 発行部数 各20,000部 (自治会回覧用チラシ 各41,500部) 第28号：平成30年10月発行 第29号：平成31年 2月発行					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市開発基金積立金				当初予算額	7,157,000
局/部/課 都市局/都市計画部/都市総務課				補正予算額	△ 4,664,000
款/項/目 8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費		概要(当初)P. 326		前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市街地開発事業及び都市施設整備に係る資金を積み立てるために設置された基金に対して、積立てを行います。				流用額	0
				予備費充用額	0
				予算現額	2,493,000
				支出済額	476,493
				翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 運用利率が想定利率より低く、利子収入が当初見込みを下回ったため。				不用額	2,016,507
				前年度支出済額	358,557
				増 減	117,936
<主な事業の成果>					
1 都市開発基金への積立て		476,493		[参考]	
寄附金を受け入れるとともに、基金を金融機関に預入れたこと等により生じた利子について、積立てを行いました。					
都市開発基金残高等の推移 (単位：円)					
年度	積立額		取崩額	年度末残高	
	新規	運用利子			
26	0	3,908,473	0	7,149,500,735	
27	120,000	3,538,385	0	7,153,159,120	
28	0	959,383	0	7,154,118,503	
29	40,000	318,557	0	7,154,477,060	
30	130,000	346,493	2,000,000,000	5,154,953,553	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市環境改善推進事業（都市総務課）			当 初 予 算 額	12,285,000
局/部/課	都市局/都市計画部/都市総務課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 327	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 大規模な災害が発生したときに起こり得る被害を防止・軽減するため、防災都市づくりに取り組むとともに、被災後の迅速な都市復興が可能となるような災害に強い都市構造の実現に向けたまちづくりを推進します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	12,285,000
			支 出 済 額	10,947,614
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	1,337,386
			前年度支出済額	8,823,728
			増 減	2,123,886
<主な事業の成果>				
1 防災都市づくり計画推進事業		10,713,600		
防災を明確に意識した都市づくりのために、災害リスクの改善・軽減に向けた施策を検討するとともに、災害リスクの高い地区において地域住民が主体となった取組を推進しました。				
2 負担金その他		234,014		
都市防災推進協議会における負担金及び会議に出席するための旅費を支出しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市環境改善推進事業（開発調整課）					当初予算額	388,000
局/部/課	都市局/都市計画部/開発調整課				補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 327			前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地震や豪雨等により宅地が大規模かつ広範囲に被災した場合、被災宅地危険度判定士が被害の発生状況を迅速かつ的確に把握して、被災した宅地の危険度を判定することにより、二次災害を防止し、住民の安全を図ります。					流用額	0
					予備費充用額	0
					予算現額	388,000
					支出済額	363,476
					翌年度繰越額	0
					不用額	24,524
					前年度支出済額	384,478
					増減	△ 21,002
<主な事業の成果>						
1 被災宅地危険度判定士の養成		83,890				
被災宅地危険度判定制度の普及、啓発活動を行い、新たに25名の被災宅地危険度判定士を養成しました。						
また、被災宅地危険度判定士の技術向上のための研修会を2回実施しました。						
2 被災宅地危険度判定活動		279,586				
被災宅地危険度判定活動が円滑に機能できるよう判定資機材の購入を行いました。						

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市計画情報システム作成事業			当初予算額	9,923,000
局/部/課	都市局/都市計画部/都市計画課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 328	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 都市計画変更及び各種情報の変化等に伴い、都市計画情報を更新することで、最新の情報提供を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	9,923,000
			支出済額	8,042,341
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,880,659
			前年度支出済額	9,408,888
			増減	△ 1,366,547
<主な事業の成果>				
1 都市計画情報システム業務		8,042,341		
「都市計画窓口支援システム」及び「都市計画決定図書閲覧システム」の運用、保守管理、並びに「さいたま市地図情報」の情報更新を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 屋外広告物適正化推進事業			当 初 予 算 額	8,864,000	
局/部/課	都市局/都市計画部/都市計画課		補 正 予 算 額	0	
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 328	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の許可、屋外広告業の登録、違反広告物については是正指導、簡易除却等を行うとともに、キャンペーンや市民ボランティア組織による違反広告物の撤去制度等により屋外広告物の適正化を推進します。			流 用 額	0	
			予備費充用額	0	
			予 算 現 額	8,864,000	
			支 出 済 額	8,408,345	
			翌年度繰越額	0	
			不 用 額	455,655	
			前年度支出済額	7,733,858	
			増 減	674,487	
<主な事業の成果>					
1 屋外広告物適正化		205,200	4 違反広告物の簡易除却業務		7,766,631
屋外広告物条例に基づき、屋外広告物許可及び屋外広告業登録事務を行いました。また、屋外広告物の管理に関する周知を行いました。			違反広告物の簡易除却や必要な是正指導を行いました。		
2 簡易除却ボランティアの活動支援		385,720			
簡易除却ボランティアの登録や保険の加入等、ボランティア活動に必要な支援を行いました。					
3 屋外広告物に関する調査研究		50,794			
協議会・研修会等へ参加し、屋外広告物に関する調査研究を行いました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市景観形成推進事業				当初予算額	3,890,000
局/部/課	都市局/都市計画部/都市計画課			補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 329		前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> さいたま市景観計画に基づく景観誘導や景観意識の高揚を図るための啓発を行い、良好な都市景観形成を推進します。				流用額	0
				予備費充用額	0
				予算現額	3,890,000
				支出済額	3,197,277
				翌年度繰越額	0
				不用額	692,723
				前年度支出済額	2,815,802
				増減	381,475
<主な事業の成果>					
1 景観審議会の運営		146,588	景観審議会を1回開催し、景観重要樹木の指定について審議を行いました。		
2 景観法に基づく行為の届出事務及び景観啓発		41,236			
一定規模以上の建築物の新築等について、法による行為の届出により、景観計画に基づく景観誘導を行いました。また、市民の活動支援や景観重要樹木の指定等を行い、市民の景観に対する意識啓発を図りました。					
3 景観形成に関する調査研究		3,009,453	良好な都市景観を形成するため、誘導手段に関する調査検討を行いました。また、協議会・研修会等へ参加し景観形成の推進のための調査研究を行いました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 交通政策事業			当初予算額	47,699,000
局/部/課	都市局/都市計画部/交通政策課		補正予算額	△ 1,920,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 329	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 自動車に過度に依存しない交通体系の実現に向け、さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画に基づき、計画の立案や各種施策等を推進します。 また、東京都市圏交通計画協議会に参加し、総合的な都市交通計画を推進するため、人や物の流れに関する基礎調査を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	45,779,000
			支出済額	43,457,505
			翌年度繰越額	0
			不用額	2,321,495
			前年度支出済額	43,436,972
<不用額の理由> 委託料について、入札による請負差金等が生じたため。			増	20,533
			減	
<主な事業の成果>				
1 地域公共交通施策検討調査		6,570,400	4 さいたまカーフリーデーの実施その他 6,043,505	
地域公共交通協議会において、地域公共交通網形成計画素案の検討を行いました。また、東西交通大宮ルートにおける課題について検討しました。			自動車に過度に依存しない交通体系の実現に向け「車の使い方」を市民と行政と一緒に考えるための周知啓発と、快適で賑わいのある歩行空間を創出するイベントを行いました。	
2 東京都市圏パーソントリップ調査		26,059,600		
東京都市圏交通計画協議会において、10年に1回実施しているパーソントリップ調査について、本体調査を行いました。				
3 都市交通戦略推進管理		4,784,000		
「さいたま市都市交通戦略」に基づく事業の進行管理を行いました。また、今後のモビリティ・マネジメントの展開に関する検討を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 交通バリアフリー推進事業			当初予算額	132,393,000
局/部/課	都市局/都市計画部/交通政策課		補正予算額	△ 600,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 330	前年度繰越額	30,000,000
<事業の目的・内容> 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」及び本市のバリアフリー基本構想に基づき、交通結節点である市内鉄道駅等のバリアフリー化を推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	161,793,000
			支出済額	69,861,082
			翌年度繰越額	90,000,000
			不用額	1,931,918
			前年度支出済額	129,076,616
			増 減	△ 59,215,534
<主な事業の成果>				
1 バリアフリー基本構想推進管理		6,656,000	「さいたま市バリアフリー基本構想」に位置づけた重点整備地区における特定事業の進行管理を行いました。 また、基本構想の見直しに向けた検討を行いました。	
2 東京2020大会に向けた浦和美園駅ホームドア等設備補助事業		21,666,000		
東京2020大会に向けて、鉄道事業者による浦和美園駅ホームドア設置費用について、補助要綱に基づき補助しました。				
3 交通バリアフリー化設備等設置事業その他		41,539,082	鉄道事業者による交通バリアフリー化設備等の整備費用について、補助要綱に基づき補助しました。また、吉野原駅等の利用者の調査を行い、駅のバリアフリー化手法について検討を行いました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 バス対策事業				当初予算額	410,347,000
局/部/課	都市局/都市計画部/交通政策課			補正予算額	△ 27,593,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 330		前年度繰越額	1,450,000
<事業の目的・内容> 市民に身近な公共交通であるバスについて、利用環境整備や利用促進を図るため、各種事業の推進を図ります。また、市民・運行事業者・市が協働し、交通空白地区・交通不便地区等を対象とした地域公共交通の導入及び運行について、持続可能な地域公共交通となるよう検討します。				流用額	0
				予備費充用額	0
				予算現額	384,204,000
				支出済額	240,802,748
				翌年度繰越額	97,912,512
				不用額	45,488,740
				前年度支出済額	5,978,112,729
<不用額の理由> コミュニティバス等運行事業費補助について、補助金交付額が見込みを下回ったため。				増	減 △ 5,737,309,981
<主な事業の成果>					
1 コミュニティバス等の導入及び改善支援		15,249,600	4 ノンステップバス導入促進事業費補助		1,200,000
「コミュニティバス等導入ガイドライン」に基づき、コミュニティバス等の導入及び改善検討の支援を行いました。			ノンステップバスの導入に係る費用の一部をバス事業者に補助しました。		
2 長距離バスターミナルの暫定整備		34,722,000	5 コミュニティバス乗降場の環境改善		1,220,400
長距離バスターミナルについて、暫定整備に関する実施設計を行うとともに、大型バス駐車場整備工事等に着手しました。			交通結節点である市内鉄道駅の駅前広場に設置されたコミュニティバスの乗降場について、利用促進・利便性向上のため、上家の設置工事に着手しました。		
3 コミュニティバス等運行事業費補助		137,638,381	6 コミュニティバス等車両購入費補助等その他		50,772,367
コミュニティバス及び乗合タクシーの運行に対する経費の一部を事業者に補助しました。			コミュニティバス等の車両購入に対する費用を事業者に補助しました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 自転車駐車場整備事業			当初予算額	10,000,000
局/部/課	都市局/都市計画部/自転車まちづくり推進課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 331	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 自転車駐車場を整備することにより、自転車利用者の利便性の向上及び駅前広場の良好な環境を図ること等を目的に、市内各駅周辺地区において整備予定の自転車駐車場に関する調査、建設工事、民間事業者の自転車等駐車場整備費に対する補助金交付等を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	10,000,000
			支出済額	1,080,000
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 自転車等駐車場補助金について、補助金交付額が見込みを下回ったため。			不用額	8,920,000
			前年度支出済額	3,040,000
			増減	△ 1,960,000
<主な事業の成果> 1 民営自転車等駐車場建設補助金交付事業 1,080,000 自転車利用者の利便性向上を図るため、市内1施設の自転車駐車場設置者に対して、建設補助金を交付しました。				
・与野駅 新設1施設 収容台数 54台				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 自転車駐車場管理事業			当初予算額	282,327,000
局/部/課	都市局/都市計画部/自転車まちづくり推進課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 331	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 自転車利用者の利便性の向上及び駅前広場の良好な環境を図ること等を目的に設置している市営自転車駐車場の管理運営を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	282,327,000
			支出済額	240,902,681
			翌年度繰越額	8,000,000
<不用額の理由> 自転車駐車場施設修繕について、入札価格が予定価格を下回ったため。			不用額	33,424,319
			前年度支出済額	271,802,102
			増減	△ 30,899,421
<主な事業の成果> 1 自転車駐車場施設修繕 174,074,400 公共施設マネジメントアクションプランに従い、計画的修繕として、東大宮駅東口自転車駐車場階段設備修繕、大和田駅南自転車駐車場外駐輪施設設備修繕等を行いました。				
2 自転車駐車場用地・機器賃借 30,072,007 自転車等駐車場用地及び監視カメラを賃借しました。				
3 自転車等駐車場管理負担金及び修繕積立金 23,216,794 自転車等駐車場の管理に係る負担金及び修繕積立金を支出しました。				
			4 施設等保守管理 13,539,480	
自転車等駐車場の管理に係る経費として保守管理等委託料、光熱水費等を支出しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 自動車駐車場管理事業			当初予算額	381,800,000
局/部/課	都市局/都市計画部/自転車まちづくり推進課		補正予算額	△ 2,610,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 332	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 自動車利用者の利便性の向上、駅前広場の良好な環境を図ること等を目的に設置している市営自動車駐車場の管理運営を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	379,190,000
			支出済額	359,550,099
			翌年度繰越額	8,464,000
			不 用 額	11,175,901
			前年度支出済額	376,796,240
			増 減	△ 17,246,141
<主な事業の成果>				
1 自動車駐車場施設修繕		39,242,880	4 北与野駅北口地下駐車場改修設計	
公共施設マネジメントアクションプランに従い、計画的修繕として、武蔵浦和駅東駐車場管理システム修繕、北与野駅北口地下駐車場トイレ修繕等を行いました。			北与野駅北口地下駐車場の機械式駐車設備の老朽化に伴う改修に合わせて、利用しやすさの向上や効率的な運営に資する改修を計画的に行うための改修設計に着手しました。	
2 施設等保守管理		134,573,794		
岩槻駅東口公共駐車場及び北与野駅北口地下駐車場に係る光熱水費、保険料、保守管理委託料を支出しました。				
3 自動車駐車場管理費及び修繕積立金		185,733,425		
自動車駐車場の管理に係る負担金及び修繕積立金を支出しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 放置自転車対策事業			当初予算額	270,852,000
局/部/課	都市局/都市計画部/自転車まちづくり推進課		補正予算額	△ 42,382,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 332	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> さいたま市自転車等放置防止条例に基づき、駅前広場、道路その他公共の場所における歩行者等の通行の安全を確保し、市民の良好な生活環境を保持するため、自転車及び原付バイクの放置防止対策に係る放置監視業務、撤去業務、返還業務、売却等の処分その他これらに付随する業務を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	228,470,000
			支出済額	224,813,391
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	3,656,609
			前年度支出済額	243,719,704
			増 減	△ 18,906,313
<主な事業の成果>				
1 放置自転車等監視業務		100,996,416	4 放置自転車対策事業管理業務	44,641,863
市内各駅周辺の放置禁止区域に自転車等放置監視員を配置し、自転車等の放置防止の啓発、自転車駐車場への案内及び誘導を行いました。			自転車保管所等の施設維持管理、その他の放置自転車対策に関する業務を行いました。	
2 放置自転車等撤去業務		54,298,944		
駅前広場、道路等の公共の場所に放置された自転車等の撤去を行いました。				
3 撤去自転車等返還業務		24,876,168		
撤去した放置自転車等を自転車保管所で保管し、撤去手数料の徴収と併せ、利用者への返還を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 自転車政策事業			当初予算額	59,597,000
局/部/課	都市局/都市計画部/自転車まちづくり推進課		補正予算額	△ 10,318,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 333	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 自転車を利用しやすい環境が整っている本市の特徴を生かし、自転車のまちづくりを積極的に推進していくため、「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはひと～」に基づき、「人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま」の実現のための各施策を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	49,279,000
			支出済額	43,455,081
			翌年度繰越額	4,170,000
			不用額	1,653,919
			前年度支出済額	61,220,411
			増減	△ 17,765,330
<主な事業の成果>				
1 ぷらっとライドさいくろ事業		4,946,400	4 自転車ネットワーク整備計画の中間見直し	
サイクリング環境の充実を図るため、大宮駅及びさいたま新都心駅周辺におけるサイクリングマップを作成しました。また、さいたま市サイクルパーク構想の策定に向けた基礎調査を行いました。			平成29年度に実施した調査検討結果を踏まえ、平成26年4月に策定した「さいたま市自転車ネットワーク整備計画」の中間見直しに着手しました。	
2 サイクルフェスタの開催		19,311,795	5 その他	
「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはひと～」に掲げる本市の自転車政策の取組や自転車の魅力等を広く効果的に発信するため、サイクルフェスタを開催しました。			自転車のまちづくりを推進するための協議会の運営、さいたまはひとの普及啓発など、その他の自転車政策業務を行いました。	
3 3人乗り自転車安全利用推進事業		17,187,049		
自転車利用の推進、子ども・子育て支援の充実、自転車の安全利用の啓発のため、3人乗り電動アシスト自転車等の貸出しを行う「子育てパパ・ママ自転車アシストプロジェクト」を推進しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 開発行為等許認可事業			当初予算額	7,608,000
局/部/課	都市局/都市計画部/開発調整課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 333	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 無秩序な宅地開発を防止するため、都市計画法に基づく許認可事務、開発行為の手続に関する条例の運用等を行うことにより、良好な都市環境の確保に努めます。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	7,608,000
			支出済額	6,638,890
			翌年度繰越額	0
			不用額	969,110
			前年度支出済額	6,504,199
			増減	134,691
<主な事業の成果>				
1 都市計画法に基づく許認可等事務		2,589,366	4 開発許可地理情報システム等の運用保守	
開発行為許可申請等の書類を審査し、許可等の処分を行いました。また、開発許可の工事完了時には完了検査を行い、検査済証の交付等所要の手続を行いました。 [参考] 許可等件数 920件			開発許可地理情報システムの運用保守と検査済証等の電子化を行いました。	
2 開発に関する基準等の運用管理その他		712,031		
都市計画法に基づく開発行為の許可に係る基準等の制定、改廃を行いました。また、開発許可の手続き等に係る手引書を製本しました。 [参考] 印刷部数 200部				
3 開発審査会事務		266,880		
開発審査会を4回開催しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 土地売買届出審査事業			当 初 予 算 額		527,000				
局/部/課		都市局/都市計画部/開発調整課		補 正 予 算 額		0			
款/項/目		8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費		概要(当初)P. 334		前年度繰越額	0		
<事業の目的・内容> 国土利用計画法に基づき一定規模（市街化区域2,000㎡、市街化調整区域5,000㎡）以上の土地売買について、利用目的審査及び地価動向を把握することにより、適正かつ合理的な土地利用の確保を図ります。また、投機的な土地取引の防止を図ります。						流 用 額	0		
						予備費充用額		0	
						予 算 現 額		527,000	
						支 出 済 額		443,476	
						翌年度繰越額		0	
						不 用 額		83,524	
						前年度支出済額		424,131	
						増 減	19,345		
<主な事業の成果>									
1 土地利用審査会事務		99,540		4 地価公示・地価調査		3,540			
適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、土地利用審査会を1回開催しました。				土地取引動向の的確な把握に努め、地価高騰の防止や投機的な土地取引の抑制を図るため、地価公示及び地価調査の幹事会等に参加しました。					
2 土地売買等の届出審査		289,358							
土地売買等の届出について利用目的の審査を実施しました。 [参考] 国土利用計画法第23条の届出 69件									
3 「土地月間」等の広報活動		51,038							
国が中心に実施する「土地の日」、「土地月間」の広報活動の一環として、地価に関する情報について、パネル展示、市報及びホームページへの掲載、ポスターの掲示等を実施しました。									

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 用地先行取得事業特別会計繰出金（都市公園課）			当初予算額	31,424,000
局/部/課	都市局/都市計画部/都市公園課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/1目 都市計画総務費	概要(当初)P. 334	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 公共用地取得に伴う償還金について、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	31,424,000
			支出済額	30,508,486
			翌年度繰越額	0
			不用額	915,514
			前年度支出済額	30,622,791
			増減	△ 114,305
<主な事業の成果>				
1 用地先行取得事業特別会計への繰出し		30,508,486	[参考] 繰出金の推移	
公共用地先行取得に伴う償還金について、一般会計から繰出しを行いました。			・平成25年度決算額 516,601,120円 ・平成26年度決算額 328,160,487円 ・平成27年度決算額 30,849,364円 ・平成28年度決算額 30,742,732円 ・平成29年度決算額 30,622,791円	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市整備事務事業（まちづくり総務課）			当初予算額	145,672,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/まちづくり総務課		補正予算額	△ 5,373,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 335	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> まちづくり推進部内の連絡調整、取りまとめ業務及び都市整備関連外郭団体への支援・指導を行うとともに、所管する市有床等の普通財産の管理を行います。			流用額	10,000
			予備費充用額	0
			予算現額	140,309,000
			支出済額	139,890,177
			翌年度繰越額	0
			不用額	418,823
			前年度支出済額	65,505,687
			増減	74,384,490
<主な事業の成果>				
1 所管普通財産の市有床等の管理		139,191,015		
市街地再開発事業による市有床等の管理を行いました。				
2 事務費その他		699,162		
職員研修の旅費、一般事務用消耗品費、協議会会費等を支出しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市整備事務事業（市街地整備課）			当初予算額	7,098,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/市街地整備課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 335	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 土地区画整理事業、市街地再開発事業等に関する指導、国庫補助金の調整、認可等を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	7,098,000
			支出済額	6,366,990
			翌年度繰越額	0
			不用額	731,010
			前年度支出済額	6,021,770
			増減	345,220
<主な事業の成果>				
1 社会資本総合整備計画策定等業務		4,298,400		
国の社会資本整備総合交付金交付要綱に基づき、社会資本総合整備計画の策定等を行いました。				
2 事務費その他		2,068,590		
職員研修の旅費、一般事務用消耗品、研修会参加負担金等を支出しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 まちづくり支援・団体育成事業			当初予算額	22,463,000	
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/まちづくり総務課		補正予算額	△ 2,626,000	
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 336	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> まちづくりセミナーの開催、まちづくり専門家の派遣、まちづくり支援補助金の交付により市民の自主的なまちづくり活動を支援します。また、土地区画整理事業の長期未着手地区を対象に、都市計画の見直しと基盤整備の推進を目指します。			流用額	△ 10,000	
			予備費充用額	0	
			予算現額	19,827,000	
			支出済額	18,706,349	
			翌年度繰越額	0	
			不用額	1,120,651	
			前年度支出済額	15,984,846	
			増	減	2,721,503
<主な事業の成果>					
1 まちづくりセミナーの開催		3,078,000	4 まちづくり支援制度の検討		4,665,600
住民参加のまちづくりについての市民意識の向上及び地域のまちづくりリーダーの育成を目的に、まちづくりセミナーを3日間開催しました。			地域の良好な環境やまちの価値を維持向上させるまちづくり活動の推進に向けて、具体的な支援内容等を示した市民向けのまちづくりガイドを作成しました。		
2 まちづくり専門家の派遣		60,000	5 土地区画整理事業の長期未着手地区の見直し		5,055,642
まちづくり活動を行うグループの集会や研究会等にまちづくり専門家を延べ2回派遣しました。			土地区画整理事業の長期未着手地区である大門地区を対象に、市民と協働で作成したまちづくり方針に基づき、地区計画の作成及び合意形成に向けて、住民主体で組織されたまちづくり協議会の支援を行いました。		
3 まちづくり支援補助金の交付		1,977,820	6 事務費その他		3,869,287
市街地の計画的な整備の推進を目的として活動している6団体に対して、勉強会の開催、広報紙の発行、計画の作成等に必要となる費用の一部を補助しました。			事業用地を適切に維持・管理するとともに、事業の円滑な運営と推進を図るため、旅費、一般事務消耗品費等を支出しました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 まちづくり推進事業（まちづくり総務課）			当初予算額	11,637,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/まちづくり総務課		補正予算額	△ 2,484,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 336	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランに基づき、本市の地域拠点である与野本町駅周辺地区のまちづくり事業を推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	9,153,000
			支出済額	8,256,801
			翌年度繰越額	0
			不用額	896,199
			前年度支出済額	6,710,664
			増減	1,546,137
<主な事業の成果>				
1 与野本町駅周辺地区まちづくり事業		8,067,827		
まちづくりマスタープランに掲げたプロジェクト推進のため、中央区役所周辺のゾーニング案の作成等を行うとともに、与野本町駅周辺の利便性を向上させる基本的な考え方（案）の取りまとめ等を行いました。				
2 事務費その他		188,974		
事業の円滑な推進と運営を図るため、旅費、一般事務用消耗品費等を支出しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 まちづくり推進事業（与野まちづくり事務所）			当初予算額	225,610,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/与野まちづくり事務所		補正予算額	△ 158,946,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 337	前年度繰越額	31,500,000
<事業の目的・内容> 南与野駅西口土地区画整理事業と連携し、地区界を縦断的に跨ぐ南与野駅南通り線を一体整備することにより、周辺地域における生活環境の向上に寄与します。また、本市の地域拠点である与野本町駅周辺地区のまちづくり事業を推進するとともに、地域が主体となる協議会のまちづくり活動を支援します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	98,164,000
			支出済額	75,772,755
			翌年度繰越額	15,500,000
			不用額	6,891,245
<不用額の理由> 南与野駅南通り線において、用地買収面積が当初見込みを下回ったため。			前年度支出済額	113,560,924
			増減	△ 37,788,169
<主な事業の成果> 1 南与野駅西口地区周辺のまちづくり 65,296,878 南与野駅南通り線整備に伴う区画整理地区外の事業用地確保のため、土地評価及び建物等調査を実施し、建物等移転補償及び公有財産の取得（土地414㎡）を行いました。				
2 与野本町駅周辺地区まちづくり事業 10,475,877 与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランに位置付けているリーディングプロジェクトの実現に向けて、地域が主体となる協議会を支援するとともに、本町通りのまちづくりに関する取組として、歩行者等の安全性を高める交通社会実験に向けた実施計画を作成しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 まちづくり推進事業（岩槻まちづくり事務所）			当初予算額	13,025,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/岩槻まちづくり事務所		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 337	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 本市の副都心である岩槻駅周辺地区のまちづくり事業を推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	13,025,000
			支出済額	12,917,431
			翌年度繰越額	0
			不用額	107,569
<主な事業の成果> 1 岩槻歴史街道事業 12,917,431 岩槻歴史街道事業に位置付けた裏小路のまちなみづくりの実現に向けて、地元協議会の運営を支援し、住民等と協働で「裏小路まちなみづくりの指針」の運用を開始しました。また、裏小路のみちづくりの事業化に向けた検討を行い、「裏小路みちづくり整備方針（素案）」を作成しました。			前年度支出済額	10,584,948
			増減	2,332,483

(一般会計・歳出)


(単位：円)

事務事業名 七里駅舎改修事業			当初予算額	36,152,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/区画整理支援課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 338	前年度繰越額	11,000,000
<事業の目的・内容> 七里駅の橋上駅舎化及び自由通路の整備を進め、地域の利便性や安全性の向上を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	47,152,000
			支出済額	9,608,158
			翌年度繰越額	36,134,000
			不用額	1,409,842
			前年度支出済額	3,967
			増減	9,604,191
<主な事業の成果>				
1 橋上駅舎基本設計業務		9,590,400	[参考] 	
橋上駅舎・自由通路の基本設計や概算工事費の算出を実施しました。				
2 橋上駅舎実施設計業務				
橋上駅舎・自由通路の実施設計に着手しました。				
3 事務費その他		17,758		
鉄道事業者及び関係機関との連絡調整、事務遂行のため、必要な事務費を支出しました。				

七里駅イメージ図

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大和田駅北口周辺まちづくり推進事業			当初予算額	19,133,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/区画整理支援課		補正予算額	△ 19,127,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 338	前年度繰越額	12,636,000
<事業の目的・内容> 大和田駅北口周辺の駅前広場や都市計画道路の整備を進め、地域の利便性や安全性の向上を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	12,642,000
			支出済額	8,996,400
			翌年度繰越額	0
			不用額	3,645,600
			前年度支出済額	0
			増減	8,996,400
<主な事業の成果>				
1 北口駅前広場及び周辺街路測量・基本設計業務		8,996,400	[参考] 	
北口駅前広場及び周辺街路の整備を推進するため、測量・基本設計を実施しました。				
2 事務費その他				
関係機関との協議において、事務費が発生しなかったため、未執行となりました。				

事業施行位置図

(一般会計・歳出)

(単位：円)


事務事業名 西大宮駅周辺まちづくり推進事業			当初予算額	455,608,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/日進・指扇周辺まちづくり事務所		補正予算額	△ 243,626,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 339	前年度繰越額	7,400,160
<事業の目的・内容> 西大宮駅を核とする良好な市街地の形成を図るため、駅周辺の整備と交通課題の改善を実施します。また、大宮西部特定土地区画整理事業の協定書に基づき都市再生機構への分担金を支出します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	219,382,160
			支出済額	196,754,191
			翌年度繰越額	19,451,400
			不用額	3,176,569
			前年度支出済額	916,345,566
			増減	△ 719,591,375
<主な事業の成果>				
1 都市再生機構施行の土地区画整理事業の支援			100,310,000	[参考]
土地区画整理事業に関する調整を行うとともに、事業への分担金を支出しました。				
2 アクセス道路整備			2,376,000	
指扇土地区画整理事業と併せて「地区外アクセス道路」の整備に向けた手続きを進め、関係機関協議、用地測量等を実施しました。				
3 事務所維持管理経費及び西大宮駅関連用地管理等			94,068,191	
日進・指扇周辺まちづくり事務所の維持、管理等に必要な経費を支出しました。				

西大宮駅周辺位置図

西大宮駅周辺位置図

(一般会計・歳出)


(単位：円)

事務事業名 日進駅周辺まちづくり推進事業			当初予算額	110,970,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/日進・指扇周辺まちづくり事務所		補正予算額	△ 20,000,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 339	前年度繰越額	105,161,000
<事業の目的・内容> 日進駅の橋上化による北口開設をはじめとする地域の生活環境の改善と本市の副都心にふさわしい都市機能の導入を図るため、地域住民との協働によるまちづくりを行います。また、日進駅南口駅前広場、日進七夕通りの美装化、南北地区の狭あい道路整備等を行い、安全・安心なまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	196,131,000
			支出済額	80,214,151
			翌年度繰越額	79,879,000
			不用額	36,037,849
			前年度支出済額	55,097,170
<不用額の理由> 日進七夕通りの電線共同溝整備における既存埋設物の移設費用が当初の見込みを下回ったため。			増	減
			25,116,981	
<主な事業の成果>				
1 日進駅南北地区のまちづくり		73,130,000	[参考] 	
日進七夕通りの道路実施設計に着手しました。また、七夕通り整備後におけるまちづくりルールの策定や地域の活性化に向け、地元権利者と検討するためのワークショップを行いました。				
2 事業用地管理		6,595,460		
事業用地及び七夕通りを安全かつ適正に維持管理するため、修繕、草刈等を行いました。				
3 事務費その他		488,691	七夕通り美装化完成イメージ図	
事業の円滑な推進と運営を図るための旅費等を支出しました。				

七夕通り美装化完成イメージ図

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西浦和駅周辺まちづくり推進事業			当初予算額	6,800,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/浦和西部まちづくり事務所		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 340	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 長期未着手地区である西浦和第一土地区画整理事業を見直すとともに、西浦和駅周辺の特性に応じたまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,800,000
			支出済額	5,994,000
			翌年度繰越額	0
			不用額	806,000
			前年度支出済額	3,747,600
			増減	2,246,400
<主な事業の成果>				
1 西浦和駅周辺まちづくりの推進		5,994,000	[参考]	
地元が主体となる協議会を支援するとともに、地域住民等と西浦和駅周辺のまちづくりの検討を協働で行いました。				
2 市有地維持管理				
西浦和地区の市有地の維持管理を行いました。				
				
			西浦和第一地区位置図	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都心整備推進事業			当初予算額	1,708,000
局/部/課	都市局/都心整備部/都心整備課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 340	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 部内の連絡調整、取りまとめ等を行い、都心地区の魅力あるまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,708,000
			支出済額	1,346,826
			翌年度繰越額	0
			不用額	361,174
			前年度支出済額	1,329,838
			増減	16,988
<主な事業の成果>				
1 都心整備推進事業		1,346,826		
部内の連絡調整及び事務遂行に当たり、必要な庶務(旅費、消耗品の購入等)を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 さいたま新都心賑わい創出事業			当初予算額	373,101,000
局/部/課	都市局/都心整備部/都心整備課		補正予算額	△ 36,531,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 341	前年度繰越額	135,868,400
<事業の目的・内容> さいたま新都心地区において、都市施設を適正に管理するほか、さいたま新都心まちづくりボランティア及びさいたま新都心まちづくり推進協議会の活動を支援するとともに、さいたま新都心将来ビジョンの実現に向けた取組を行います。また、地域のにぎわいづくりや地域価値をさらに高めるため、地元主体のエリアマネジメントを推進します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	472,438,400
			支出済額	254,435,165
			翌年度繰越額	127,510,400
<不用額の理由> 北袋町1丁目地区の鉄塔移設について、移転補償費が当初の見込みを下回ったため。			不 用 額	90,492,835
			前年度支出済額	375,294,219
			増 減	△ 120,859,054
<主な事業の成果>				
1 都市施設の適正な管理		102,953,003	4 さいたま新都心まちづくり推進協議会の活動支援等	9,932,950
安全で快適なまちづくりを推進するため、歩行者デッキやさいたま新都心西口駅前広場等の施設修繕や巡回警備により適正な維持管理を行いました。また、さいたま新都心駅前大型映像装置の改修に着手しました。			地域価値を高め持続可能なまちづくりを実現するため、エリアマネジメント導入に向けた支援を行いました。また、さいたま新都心まちづくり推進協議会に対して負担金を支出しました。	
2 ふれあいプラザの管理運営		9,854,644		
全ての人が安心して快適に活動するためのまちづくりの拠点として、さいたま新都心ふれあいプラザの管理運営を行うとともに、さいたま新都心まちづくりボランティアの活動支援を行いました。				
3 さいたま新都心将来ビジョン推進事業		131,694,568		
さいたま新都心将来ビジョンに掲げる目標である「広域的な安心・安全を担うまち」として北袋町1丁目土地区画整理事業関係道路の電線共同溝及び道路の整備を行いました。				


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業（氷川参道対策室）			当初予算額	50,756,000
局/部/課	都市局/都心整備部/氷川参道対策室(都心整備課氷川参道対策室)		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 341	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 歴史・文化的資産であり、都心部に残された貴重な緑の空間である氷川参道の歩行者環境を将来にわたり引き継ぐため、地元まちづくり協議会との協働作業による並木の保全、交通問題への対応を図りながら歩行者専用化を目指します。また、平成ひろば等の継続利用に関する検討を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	50,756,000
			支出済額	31,029,576
			翌年度繰越額	18,797,000
<主な事業の成果>			不 用 額	929,424
			前年度支出済額	17,846,634
			増 減	13,182,942
<主な事業の成果>				
1 氷川参道歩行者専用化事業		20,086,717	4 氷川参道並木の管理保全	1,000,000
氷川参道の歩行者専用化に向けて、検討協議会の開催、地域住民、関係機関等との意見交換や協議を行いました。また、交通運用の変更に伴う関連施設等の工事に着手しました。			氷川参道並木の保護を目的に地元まちづくり協議会と協働で、並木敷きへの低木植栽を実施しました。また、指定緑地所有者へ補助金を交付しました。	
2 平成ひろば等の継続利用に関する検討		5,616,000		
平成ひろば及び周辺道路の継続利用について、関係権利者等との調整を図るため、氷川参道の一部区間の測量を行いました。				
3 市民との協働によるまちづくりの推進		4,326,859		
氷川参道を中心とした「市民参加型のまちづくり」を推進するため、地元まちづくり協議会が行う参道の低木植栽活動や並木の保全管理に関するワークショップ等を支援しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業（東日本交流拠点整備課）			当初予算額	126,901,000
局/部/課 都市局/都心整備部/東日本交流拠点整備課			補正予算額	△ 2,029,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 342	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 大宮駅周辺地域戦略ビジョンのターミナル街区におけるまちづくりの具体化を図るため、大宮駅グランドセントラルステーション化構想を策定し、大宮駅の駅前広場を中心とした交通基盤整備、駅前広場に隣接した街区のまちづくり、乗換改善等を含めた駅機能の更なる高度化を一体的に推進することにより、東日本の玄関口である大宮、ひいてはさいたま市のプレゼンス向上を目指します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	124,872,000
			支出済額	84,838,043
			翌年度繰越額	39,333,400
			不用額	700,557
			前年度支出済額	87,118,152
			増減	△ 2,280,109
<主な事業の成果>				
1 大宮駅グランドセントラルステーション化構想推進事業		84,838,043	[参考]	
大宮駅グランドセントラルステーション化構想の実現具体化に向けて、平成30年度は大宮グランドセントラルステーション推進会議を3回、基盤整備推進部会を6回、まちづくり推進部会を6回開催するとともに、オープン会議、出前講座、オープンハウス、ニュースの発行、シンポジウムなど市民への情報提供を積極的に実施しながら、（仮称）GCSプラン骨子案を取りまとめました。				
				
			駅改良後、銀座通り北側から南側を望むイメージ図	

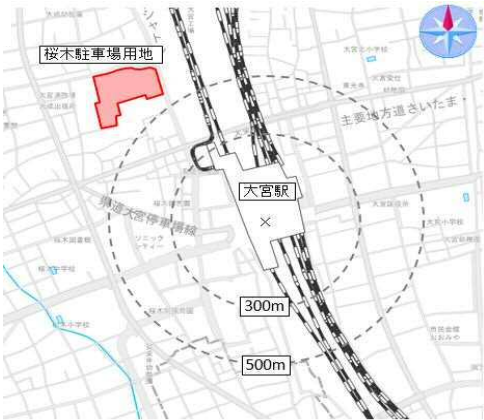
(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業（大宮駅東口まちづくり事務所）			当初予算額	7,479,428,000
局/部/課 都市局/都心整備部/大宮駅東口まちづくり事務所			補正予算額	△ 601,511,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 342	前年度繰越額	3,136,971,000
<事業の目的・内容> 大宮駅周辺地域戦略ビジョンは、大宮駅周辺地域を政令指定都市さいたま市の「顔」にふさわしい地域にしていくことを目的としたまちづくり計画です。ビジョンで掲げた将来像である「東日本の顔となるまち」「おもてなし、あふれるまち」「氷川の杜、継ぐまち」の実現に向け、各種事業を推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	10,014,888,000
			支出済額	6,627,695,237
			翌年度繰越額	3,339,781,012
			不用額	47,411,751
			前年度支出済額	2,409,581,946
			増減	4,218,113,291
<主な事業の成果>				
1 大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業 4,537,802,000 市街地再開発組合の工事に係る施設建築物工事等の費用の一部を補助しました。		4 大宮駅東口公共施設再編推進事業 9,882,000 「大宮駅東口周辺公共施設再編／公共施設跡地活用全体方針」に基づき、地区ごとに立ち上げるプロジェクトチームで具体的な検討を行うとともに、官民連携事業の導入に向けた調査・検討を行いました。		
2 氷川緑道西通線整備推進事業その他 2,018,239,411 氷川緑道西通線の南区間で道路整備工事等を実施したほか、北区間で用地買収、補償及び物件調査等を行いました。		5 アーバンデザインセンター大宮運営事業 35,665,363 「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」の実現に向け、産・官・民・学がオープンかつフラットにまちづくりを推進するアーバンデザインセンター大宮の運営を支援しました。		
3 大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業その他 19,210,016 大宮駅周辺地域戦略ビジョンの優先的プロジェクトである「おもてなしまち再生」を推進するために、地元まちづくり団体の活動支援等を行いました。		6 大宮駅東口駅前おもてなし公共施設維持管理事業 6,896,447 大宮駅東口駅前おもてなし公共施設の適正な維持管理を行いました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 桜木駐車場用地活用事業			当初予算額	10,237,000
局/部/課	都市局/都心整備部/東日本交流拠点整備課		補正予算額	△ 3,710,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費	概要(当初)P. 343	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 桜木駐車場用地の更なる有効活用を図ることにより、地域の防災性を確保するとともに多様な人々の交流とにぎわいの創出並びに街を訪れる人々が憩い安らげる空間の創出を実現し、もって東日本の中枢都市としてのプレゼンスとブランド力を高め、地域の活性化につなげます。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,527,000
			支出済額	5,511,442
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,015,558
			前年度支出済額	34,860,141
			増減	△ 29,348,699
<主な事業の成果>				
1 桜木駐車場用地活用推進業務		5,511,442	[参考]	
MICE機能に限定することなく東日本の対流拠点形成に資する適切な活用方法とその実現方策の検討として、企業意識調査等を実施するなど「桜木駐車場用地活用方針素案」について検討するとともに、第五地区のまちづくりとの連携や用地の一時活用等について検討しました。				
				
			市営桜木駐車場用地位置図	


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮駅西口まちづくり推進事業			当 初 予 算 額 2,760,662,000	
局/部/課 都市局/都心整備部/大宮駅西口まちづくり事務所		補 正 予 算 額 △ 163,482,000		
款/項/目 8款 土木費/4項 都市計画費/2目 都市整備費		概要(当初)P. 343		
<事業の目的・内容> 大宮駅西口の未整備地区については、狭あい道路の解消や居住環境の向上などの課題があり、「防災性の向上」、「商業環境の向上」が求められておりますが、これらの課題を解決するために、各地区の特性を生かしたまちづくりに資する実現可能な基盤整備の方針を検討します。			前年度繰越額 143,985,809	
			流 用 額 0	
			予備費充用額 0	
			予 算 現 額 2,741,165,809	
			支 出 済 額 290,062,677	
			翌年度繰越額 2,443,898,840	
			不 用 額 7,204,292	
<主な事業の成果>			前年度支出済額 266,166,527	
			増 減 23,896,150	
1 大宮駅西口第三地区まちづくり推進事業 238,294,769			4 大宮駅西口第五地区まちづくり推進事業 17,755,200	
大宮駅西口第3-B地区第一種市街地再開発事業及び大宮駅西口第3-A・D地区第一種市街地再開発事業に係る費用を補助しました。また、都市計画道路桜木1号線外の道路詳細設計等を行いました。			市有地等の活用と連携を図りながら、第五地区のまちづくりについて検討しました。	
2 大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業 13,143,600			5 事務所維持管理 11,597,788	
大宮駅周辺地域戦略ビジョンの推進・具体化に向けた、安全で快適に利用できる道路空間の整備について、関係者との調整を実施しました。			大宮駅西口まちづくり事務所の維持管理に必要な経費を支出しました。	
3 都市計画道路上落合桜木線整備外事業 9,271,320				
大宮駅西口第四土地区画整理事業の進捗に合わせ上落合桜木線を整備するため、用地買収に向けた建物調査等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 鉄道高架推進事業		当初予算額	20,763,000
局/部/課	都市局/都心整備部/浦和駅周辺まちづくり事務所	補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/3目 街路事業費	概要(当初)P. 344	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 浦和駅周辺の鉄道を高架化することにより、鉄道により分断されていた浦和駅周辺の東西市街地の一体化、均衡ある発展を図ります。 また、浦和駅から西口バスターミナルへの円滑な移動経路を確保するため、浦和駅東西連絡通路と西口中ノ島地下道とを接続する浦和駅中ノ島地下通路の整備を行います。			82,112,000
			流用額
			0
			予備費充用額
			0
			予算現額
			102,875,000
<不用額の理由> 平成27年度から平成30年度に施工した浦和駅中ノ島地下通路整備工事について、請負差金等が生じ、これを平成30年度に精算したため。			支出済額
			26,266,261
			翌年度繰越額
			0
			不用額
			76,608,739
<主な事業の成果> 1 鉄道高架化事業 8,283,577 [参考] 浦和駅周辺鉄道高架化事業に係る道路修繕工事等を行いました。			前年度支出済額
			486,637,492
			増減△ 460,371,231
2 浦和駅中ノ島地下通路整備事業 17,982,684 平成30年3月16日に供用開始した地下通路について、用地処理、復旧工事、精算を行いました。			
		浦和駅中ノ島地下通路	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市公園等管理事業		当初予算額	3,003,550,000
局/部/課	都市局/都市計画部/都市公園課	補正予算額	9,963,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/4目 公園費	概要(当初)P. 344	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 都市公園等の管理運営、修繕、取得用地の維持管理を行うとともに、民間児童遊園地の整備等に対する助成を行います。			0
		概要(12補)P. 22・31・32	流用額
			0
			予備費充用額
			0
			予算現額
			3,013,513,000
<主な事業の成果> 1 都市公園等の管理 447,604,313 公園施設の修繕、改修、備品購入等、適正な維持管理を行いました。			支出済額
			2,964,696,477
			翌年度繰越額
			13,186,800
			不用額
			35,629,723
2 指定管理者による管理運営 2,428,904,000 指定管理者制度により、都市公園の管理運営を行いました。			前年度支出済額
			2,966,874,058
3 公園予定地の管理その他 88,188,164 公園予定地の維持管理や民間児童遊園地への助成等を行いました。			増減△ 2,177,581

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市公園等整備事業			当初予算額	1,620,343,000	
局/部/課 都市局/都市計画部/都市公園課			補正予算額	57,267,000	
款/項/目 8款 土木費/4項 都市計画費/4目 公園費		概要(当初)P. 345	前年度繰越額	303,035,677	
＜事業の目的・内容＞ 都市化により野外レクリエーションの場が減少する中で、緑に囲まれた安全な遊び場や市民のための運動場を提供し、併せて災害時の避難場所となる公園を整備します。		概要(9補)P. 25	概要(12補)P. 32	流用額 予備費充用額	0 0
				予算現額	1,980,645,677
				支出済額	1,869,212,092
				翌年度繰越額	86,553,280
				不用額	24,880,305
				前年度支出済額	1,299,101,901
				増減	570,110,191
＜主な事業の成果＞					
1 身近な公園整備事業		1,550,693,202	4 与野中央公園整備事業		48,339,895
市民の憩いやレクリエーションの場を創出する都市公園の適正な配置・整備に向け、公園の不足する地域を重点に、歩いて行ける身近な公園の整備を推進しました。			市街地における緑に囲まれた市民の憩いや運動の場となる総合公園の整備に向けて、用地取得等を行いました。		
2 (仮称) セントラルパーク整備事業		19,685,397	5 公園施設の新設・改修その他		119,775,560
見沼田圃の自然・歴史・文化を次世代に引き継ぐとともに、広域的な防災拠点の整備に向けて、環境影響評価を実施しました。			既存公園の長寿命化、利便性向上を図るため、上落合北公園トイレ改修工事をはじめ、公園施設の新設や改修等を行いました。		
3 見沼通船堀公園整備事業		130,718,038			
国指定史跡の見沼通船堀と周辺の斜面林を取り込み、見沼田圃の環境に調和した歴史と自然に触れ合える総合公園の整備に向けて、用地取得等を行いました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 緑化推進事業			当初予算額	54,115,000	
局/部/課 都市局/都市計画部/みどり推進課			補正予算額	△ 3,249,000	
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/5目 緑化推進費	概要(当初)P. 345	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 市街地における緑を創出するため、多様な手法により緑化を推進するとともに、緑化啓発事業等の実施により市民の緑に対する意識の高揚を促進し、市民との協働による緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進します。			流用額	0	
			予備費充用額	0	
			予算現額	50,866,000	
			支出済額	44,607,963	
			翌年度繰越額	0	
			不用額	6,258,037	
			前年度支出済額	43,043,816	
<不用額の理由> 記念樹贈呈事業及び（公財）さいたま市公園緑地協会が行う生け垣助成事業に係る申請件数が見込みを下回ったため。			増	1,564,147	
			減		
<主な事業の成果>					
1 民有地の緑化推進		10,574,675	4 緑化啓発イベントの開催その他		2,400,184
記念樹の贈呈や建築物の屋上、壁面及び道路に面する敷地の緑化に係る経費の一部を助成するなど、民有地の緑化を推進しました。			シビックグリーンさいたまや、さくらそう品評会等を実施し、市民の緑に対する意識の醸成を図りました。		
2 緑のカーテン事業の実施		2,005,690	[参考]		
公共施設及び家庭や事業所などにおける緑のカーテン事業の取組を推進し、ヒートアイランドの緩和、省エネルギーの促進を図りました。					
3 花いっぱい運動の推進		29,627,414			
市民花壇の維持管理や花苗の配布等の支援を行い、花いっぱい運動を推進しました。					市民花壇（北区）

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 指定緑地等設置・保全事業			当初予算額	544,004,000
局/部/課 都市局/都市計画部/みどり推進課			補正予算額	△ 98,158,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/5目 緑化推進費	概要(当初)P. 346	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 都市緑地法及びみどりの条例に基づき、自然緑地等の維持管理及び整備、保存緑地に対する補助金の交付等を行うことで、市内に残る良好な自然環境を有する緑地の保全を推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	445,846,000
			支出済額	438,805,436
			翌年度繰越額	0
			不用額	7,040,564
			前年度支出済額	353,134,714
			増減	85,670,722
<主な事業の成果>				
1 オープン型緑地の保全事業		354,872,473	4 みどりの祭典の実施	3,466,319
特別緑地保全地区や自然緑地、市民緑地等のオープン型緑地の維持管理、整備を行いました。			緑に関する啓発活動として「みどりの祭典」を実施しました。	
			[参考]	
2 クローズ型緑地の保全事業		79,878,910		
保存緑地等のクローズ型緑地の維持管理に対して補助金を交付しました。				
3 緑地保全ボランティア活動の推進		587,734		
みどり愛護会等の緑地保全ボランティア活動に対して、保全活動に必要な物品の支給等の支援を行いました。			さいたましみどりの祭典	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 生産緑地関係事業			当初予算額	6,573,000
局/部/課 都市局/都市計画部/みどり推進課			補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/5目 緑化推進費	概要(当初)P. 346	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市街化区域内にある農地を重要な緑として保全することを目的として、生産緑地地区に係る事務手続を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,573,000
			支出済額	6,004,800
			翌年度繰越額	0
			不用額	568,200
			前年度支出済額	8,370,000
			増減	△ 2,365,200
<主な事業の成果>				
1 生産緑地地区に係る事務		6,004,800		
生産緑地法に基づき、土地所有者の申出等による生産緑地地区の指定及び解除にかかる都市計画手続等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼田圃の保全・活用・創造事業			当初予算額	48,636,000
局/部/課	都市局/都市計画部/見沼田圃政策推進室（みどり推進課見沼田圃政策推進室）		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/5目 緑化推進費	概要(当初)P. 347	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 首都圏に残された貴重な大規模緑地空間である見沼田圃を保全・活用・創造するため、「さいたま市見沼田圃基本計画」で定めた見沼田圃づくりの基本方針に沿って、農・歴史・文化・観光・交流等に係る諸施策を積極的に推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	48,636,000
			支出済額	34,431,677
			翌年度繰越額	5,179,480
			不用額	9,024,843
			前年度支出済額	33,393,474
<不用額の理由>			増減	1,038,203
工事請負費について、設計の見直しにより執行見込額を下回ったため。また、委託料について、入札により請負差金が生じたため。				

<主な事業の成果>**1 見沼田圃基本計画の推進と新たな活用 34,431,677 [参考]**

見沼田圃の様々な地域資源を積極的に活用し、農地・緑地の保全・再生や地域の活性化を図るため、ガイドブックやホームページによる情報発信、見沼散策の拠点となる広場の整備に向けて地盤改良等を行う工事請負契約の締結、見沼田圃の新たな交流の場である「見沼・さぎ山交流ひろば」の運営支援等を実施し、見沼田圃基本計画を推進しました。



見沼・さぎ山交流ひろばの活動
(見沼たんぼクリーンウォーク)

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 市街地再開発推進事業（浦和西部まちづくり事務所）			当初予算額	14,447,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/浦和西部まちづくり事務所		補正予算額	△ 4,662,000
款/項/目	8款 土木費/5項 市街地再開発事業費/1目 市街地再開発事業費	概要(当初)P. 347	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 本市の副都心に位置付けられている武蔵浦和駅周辺地区（約30ha）について、市街地再開発等によるまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	9,785,000
			支出済額	8,356,045
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,428,955
			前年度支出済額	8,798,056
			増減	△ 442,011

<主な事業の成果>**1 武蔵浦和駅周辺地区まちづくり推進事業 2,106,000 [参考]**

武蔵浦和駅第7-1街区のまちづくり方策を検討・整理し、地権者を対象としたまちづくり勉強会を開催しました。

2 事務所、都市施設の維持管理 6,250,045

浦和西部まちづくり事務所等の維持管理を行いました。



武蔵浦和駅周辺図

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 市街地再開発推進事業（浦和駅周辺まちづくり事務所）			当初予算額	108,851,000
局/部/課	都市局/都心整備部/浦和駅周辺まちづくり事務所		補正予算額	△ 90,415,000
款/項/目	8款 土木費/5項 市街地再開発事業費/1目 市街地再開発事業費	概要(当初)P. 348	前年度繰越額	26,473,360
<事業の目的・内容> 都市基盤の整備を推進するための浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業、浦和駅西口停車場線の整備工事や事業用地の取得、補償等を実施し、都心としての形成を進めます。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	44,909,360
			支出済額	38,799,722
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 工事及び委託等において、入札により請負差金が生じたため。			不用額	6,109,638
			前年度支出済額	150,392,497
			増減	△ 111,592,775
<主な事業の成果> 1 浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業 64,800 [参考] 浦和駅西口南高砂地区市街地再開発組合に対して助言・支援を行いました。				
				
2 浦和西口停車場線街路整備事業 29,118,965 都市計画道路浦和西口停車場線（県庁通り）を整備するため、事業用地の取得、補償等を行いました。				
3 事務所の維持管理 9,615,957 浦和駅周辺まちづくり事務所の維持管理に必要な経費を支出しました。				
浦和駅西口南高砂地区完成イメージ図				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 組合施行等土地区画整理支援事業			当初予算額 14,642,629,000				
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/区画整理支援課		補正予算額 △ 1,977,653,000				
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 348	前年度繰越額 2,081,018,536				
<事業の目的・内容> 土地区画整理組合に対し、補助金の交付及び事業資金の貸付けを行い、土地区画整理事業を促進し、健全な市街地の形成を図ります。			流用額 0				
			予備費充用額 0				
			予算現額 14,745,994,536				
			支出済額 12,484,191,308				
			翌年度繰越額 1,917,286,796				
			不用額 344,516,432				
			前年度支出済額 13,770,741,619				
			増 減 △ 1,286,550,311				
<主な事業の成果>							
1 組合施行等土地区画整理事業 5,702,181,252		[参考]					
14土地区画整理組合に対し補助金を交付し、土地区画整理事業を促進しました。		<組合施行地区一覧表>					
		平成30年度末見込み					
		地区名	面積	進捗率	地区名	面積	進捗率
		丸ヶ崎	29.1ha	84.1%	台・一ノ久保特定	16.0ha	91.2%
		大間木水深特定	28.1ha	97.8%	大和田特定	50.6ha	42.8%
		大門第二特定	76.3ha	54.4%	内谷・会ノ谷特定	13.5ha	85.9%
		土呂農住特定	11.1ha	56.7%	大谷口・太田窪	28.2ha	44.5%
		風渡野南特定	13.7ha	95.7%	中川第一特定	38.4ha	23.1%
		蓮沼下特定	23.6ha	93.2%	七里駅北側特定	32.0ha	23.4%
		大門上・下野田特定	36.3ha	88.9%	島町西部	40.0ha	52.7%
2 土地区画整理組合への事業資金貸付け 6,761,664,000							
12土地区画整理組合に対し、事業資金の貸付けを行い、土地区画整理事業を促進しました。							
3 事務所及び用地の管理 20,346,056							
組合区画整理事業推進事務所及び用地を適正に管理しました。							

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 浦和東部・岩槻南部地域整備推進事業			当初予算額	96,779,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所		補正予算額	△ 18,800,000
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 349	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 本市の副都心としてふさわしい都市機能の向上、まちのブランドの差別化に向けて埼玉スタジアム周辺都市デザイン推進業務等を行い、「公民+学」による連携・協働による河川空間活用や交通環境改善、街並み誘導等を図ることにより、良好な市街地を整備し、まちのブランド力を高める都市環境の形成を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	77,979,000
			支出済額	56,923,530
			翌年度繰越額	16,308,000
<不用額の理由> 所有する事業用地の除草業務について、範囲の見直しや請負差金により委託料が見込みを下回ったため。			不用額	4,747,470
			前年度支出済額	7,710,800,463
			増減	△ 7,653,876,933
<主な事業の成果> 1 埼玉スタジアム周辺都市デザイン推進業務等の実施 13,937,616			[参考] 	
2 歩道整備工事の実施その他 42,985,914 所有する事業用地の除草・柵修繕等適正な維持管理を行いました。			事業施行位置図	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 東浦和第二地区まちづくり推進事業			当初予算額	3,176,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/東浦和まちづくり事務所		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 349	前年度繰越額	3,000,000
<事業の目的・内容> 東浦和第二土地区画整理事業と連携し、中尾地区の水害を防止する調整池及び区画整理地内に接続する道路の整備を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,176,000
			支出済額	5,056,720
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果> 1 第二調整池付帯施設設計業務 3,049,920 第二調整池付帯施設の詳細設計を行いました。			不用額	1,119,280
			前年度支出済額	13,631,600
			増減	△ 8,574,880
2 区12-1号線接続道路工事 2,006,800 区12-1号線に接道する道路の整備を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 与野駅西口土地区画整理事業			当 初 予 算 額 69,958,000	
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/与野まちづくり事務所		補 正 予 算 額 0	
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 350	前年度繰越額 0	
<事業の目的・内容> 健全かつ良好な居住環境を持つ市街地を造成するため、区画道路等の公共施設の整備改善を図ります。			流 用 額 0	
			予備費充用額 0	
			予 算 現 額 69,958,000	
			支 出 済 額 65,015,907	
			翌年度繰越額 0	
<不用額の理由> 換地・測量業務において、仮換地指定箇所が当初見込みを下回ったため。			不 用 額 4,942,093	
			前年度支出済額 49,844,452	
			増 減 15,171,455	
<主な事業の成果>				
1 業務委託の実施 8,101,629		4 事務費その他 1,842,065		
移転補償に伴う建物等調査積算業務、換地設計修正業務等を実施しました。		土地区画整理事業に伴う事務、審議会の開催等を行いました。		
[参考]				
事業計画				
2 公共施設整備の実施 8,727,949		事業認可 昭和44年3月25日		
土地区画整理事業の推進に向けた造成工事等を実施しました。		事業期間 昭和43年度～令和7年度		
		施行面積 8.26ha		
		進捗率※ 79.4%		
		総事業費 約137億円		
※進捗率は平成30年度末現在				
3 建物等移転補償の実施 46,344,264				
土地区画整理事業の進捗に伴い、建物等の移転補償を実施しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 岩槻駅西口土地区画整理事業			当初予算額	414,881,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/岩槻まちづくり事務所		補正予算額 △	102,798,000
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 350	前年度繰越額	38,426,303
<事業の目的・内容> 岩槻駅西口地区は、岩槻駅の西側に隣接していながらも、駅西口の未開設や道路等の公共施設の未整備により、駅前という立地が生かされていなかったため、都市計画道路、区画道路等の整備を行い、商業の活性化と潤いのある住環境の形成を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	350,509,303
			支出済額	243,345,870
			翌年度繰越額	44,016,400
<不用額の理由> 補償費において、権利者との交渉に不測の日数を要し、建物等移転補償契約ができなかったことにより執行見込額を下回ったため。			不用額	63,147,033
			前年度支出済額	413,697,836
			増減 △	170,351,966
<主な事業の成果>				
1 建物等移転補償の実施		164,223,361	4 工事負担金その他 11,404,595	
土地区画整理事業の進捗に伴い、移転を要する建物等の補償を行いました。			水道布設工事の負担金を支出するとともに、土地区画整理事業に伴う事務、審議会の開催等を行いました。	
2 道路整備等工事の実施		41,087,926	[参考]	
土地区画整理事業の進捗に伴い、区画道路築造、造成等の工事を行いました。			事業計画	
3 業務委託等の実施		26,629,988	事業認可 平成9年4月1日	
境堀周辺排水路外詳細設計、建物物件調査積算等の業務を行いました。			事業期間 平成9年度～令和9年度	
			施行面積 11.58ha	
			進捗率※ 79.4%	
			総事業費 約119億円	
			※進捗率は平成30年度末現在	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮駅西口都市改造事業特別会計繰出金			当初予算額	886,695,000
局/部/課	都市局/都心整備部/大宮駅西口まちづくり事務所		補正予算額	△ 19,761,000
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理事業/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 351	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 大宮駅西口第四地区において、土地区画整理事業による都市基盤整備を行うため、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	866,934,000
			支出済額	810,602,290
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 建物調査等の委託料及び水道管敷設工事負担金等が見込みを下回ったため。			不用額	56,331,710
			前年度支出済額	750,077,173
			増減	60,525,117
<主な事業の成果>				
1 大宮駅西口都市改造事業特別会計への繰出し 810,602,290 大宮駅西口第四地区について土地区画整理事業による都市基盤整備を行うため、一般会計から繰出しを行いました。			[参考] 繰出金の推移 ・平成25年度決算額 896,900,645円 ・平成26年度決算額 1,014,282,703円 ・平成27年度決算額 978,841,083円 ・平成28年度決算額 1,037,725,423円 ・平成29年度決算額 750,077,173円	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 東浦和第二土地区画整理事業特別会計繰出金			当初予算額	1,004,767,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/東浦和まちづくり事務所		補正予算額	△ 42,631,000
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理事業/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 351	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 東浦和第二土地区画整理事業を推進するため、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	962,136,000
			支出済額	930,646,023
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果> 1 東浦和第二土地区画整理事業特別会計への繰出し 930,646,023 東浦和第二土地区画整理事業の推進に要する諸経費について、一般会計から繰出しを行いました。			不用額	31,489,977
			前年度支出済額	847,727,657
			増減	82,918,366
<主な事業の成果>				
1 東浦和第二土地区画整理事業特別会計への繰出し 930,646,023 東浦和第二土地区画整理事業の推進に要する諸経費について、一般会計から繰出しを行いました。			[参考] 繰出金の推移 ・平成25年度決算額 589,366,005円 ・平成26年度決算額 806,745,890円 ・平成27年度決算額 822,890,454円 ・平成28年度決算額 889,759,901円 ・平成29年度決算額 847,727,657円	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 浦和東部第一特定土地区画整理事業特別会計繰出金			当初予算額	783,341,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所		補正予算額	412,909,000
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 352	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 浦和東部第一特定土地区画整理事業を推進するため、一般会計から繰出しを行います。		概要(2補)P. 14	流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,196,250,000
			支出済額	1,070,822,306
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 擁壁設置工事等の工事請負費及び排水管布設工事負担金が見込みを下回ったため。			不用額	125,427,694
			前年度支出済額	225,896,092
			増減	844,926,214
<主な事業の成果>				
1 浦和東部第一特定土地区画整理事業特別会計への繰出し 1,070,822,306		[参考]		
浦和東部第一特定土地区画整理事業の推進に要する諸経費について、一般会計から繰出しを行いました。		繰出金の推移		
		・平成25年度決算額	1,378,074,951円	
		・平成26年度決算額	1,513,378,795円	
		・平成27年度決算額	691,309,100円	
		・平成28年度決算額	1,524,578,211円	
		・平成29年度決算額	225,896,092円	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 南与野駅西口土地区画整理事業特別会計繰出金			当初予算額	380,693,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/与野まちづくり事務所		補正予算額	△ 13,432,000
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 352	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 南与野駅西口土地区画整理事業を推進するため、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	367,261,000
			支出済額	327,558,525
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 工事請負費、上水道施設設置工事負担金及び中断補償に伴う補償費が見込みを下回ったため。			不用額	39,702,475
			前年度支出済額	366,018,577
			増減	△ 38,460,052
<主な事業の成果>				
1 南与野駅西口土地区画整理事業特別会計への繰出し		327,558,525	[参考]	
南与野駅西口土地区画整理事業の推進に要する諸経費について、一般会計から繰出しを行いました。			繰出金の推移	
			・平成25年度決算額 396,767,820円	
			・平成26年度決算額 355,798,566円	
			・平成27年度決算額 352,597,370円	
			・平成28年度決算額 314,967,792円	
			・平成29年度決算額 366,018,577円	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 指扇土地区画整理事業特別会計繰出金			当初予算額	330,316,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/日進・指扇周辺まちづくり事務所		補正予算額	△ 29,752,000
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 353	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 指扇土地区画整理事業を推進するため、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	300,564,000
			支出済額	259,128,009
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 工事費について、入札による請負差金が生じたため。また、電線共同溝引込管等設備設置業務及び水道管敷設工事負担金が見込みを下回ったため。			不用額	41,435,991
			前年度支出済額	222,018,429
			増減	37,109,580
<主な事業の成果>				
1 指扇土地区画整理事業特別会計への繰出し 259,128,009			[参考]	
指扇土地区画整理事業の推進に要する諸経費について、一般会計から繰出しを行いました。			繰出金の推移	
			・平成25年度決算額	
			156,456,317円	
			・平成26年度決算額	
			259,708,399円	
			・平成27年度決算額	
			231,419,559円	
			・平成28年度決算額	
			249,537,081円	
			・平成29年度決算額	
			222,018,429円	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 江川土地区画整理事業特別会計繰出金			当初予算額	130,947,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/岩槻まちづくり事務所		補正予算額	△ 2,903,000
款/項/目	8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費	概要(当初)P. 353	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 江川土地区画整理事業を推進するため、一般会計から繰出しを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	128,044,000
			支出済額	119,037,769
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 行政財産使用料、証明手数料等が当初見込みを上回ったため。また、工事費において、工事の変更や入札による請負差金により執行見込額を下回ったため。			不用額	9,006,231
			前年度支出済額	391,583,673
			増減	△ 272,545,904
<主な事業の成果>				
1 江川土地区画整理事業特別会計への繰出し 119,037,769			[参考]	
江川土地区画整理事業の推進に要する諸経費について、一般会計から繰出しを行いました。			繰出金の推移	
			・平成25年度決算額	
			499,805,792円	
			・平成26年度決算額	
			515,431,500円	
			・平成27年度決算額	
			548,767,598円	
			・平成28年度決算額	
			397,636,201円	
			・平成29年度決算額	
			391,583,673円	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大門下野田特定土地区画整理事業特別会計繰出金			当 初 予 算 額 139,997,000	
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所			補 正 予 算 額 △ 32,363,000	
款/項/目 8款 土木費/6項 土地区画整理費/1目 土地区画整理費		概要(当初)P. 354	前年度繰越額 0	
<div>＜事業の目的・内容＞</div> <div>大門下野田特定土地区画整理事業を推進するため、一般会計から繰出しを行います。</div>			流 用 額 0	
			予備費充用額 0	
			予 算 現 額 107,634,000	
			支 出 済 額 104,254,341	
			翌年度繰越額 0	
			不 用 額 3,379,659	
			前年度支出済額 40,346,283	
			増 減 63,908,058	
＜主な事業の成果＞				
1 大門下野田特定土地区画整理事業特別会計への繰出し 104,254,341			[参考]	
大門下野田特定土地区画整理事業の推進に要する諸経費について、一般会計から繰出しを行いました。			繰出金の推移	
			・平成26年度決算額 40,402,108円	
			・平成27年度決算額 58,983,880円	
			・平成28年度決算額 49,784,692円	
			・平成29年度決算額 40,346,283円	

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	大宮駅西口都市改造事業特別会計	当 初 予 算 額	176,000,000
款/項/目	2款 国庫支出金/1項 国庫補助金/1目 土地区画整理事業費国庫補助金	補 正 予 算 額	△ 76,000,000
歳入名称	土地区画整理事業費補助金	繰越財源充当額	96,350,000
局/部/課	都市局/都心整備部/大宮駅西口まちづくり事務所	予 算 現 額	196,350,000
<主な成果> 大宮駅西口第四土地区画整理事業に対する補助金として、補助率5.5/10及び1/2で交付されました。		調 定 額	196,350,000
		収 入 済 額	103,350,000
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	93,000,000
		前年度収入済額	262,525,000
		増 減	△ 159,175,000

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	大宮駅西口都市改造事業特別会計	当 初 予 算 額	886,695,000
款/項/目	3款 繰入金/1項 一般会計繰入金/1目 一般会計繰入金	補 正 予 算 額	△ 19,761,000
歳入名称	一般会計繰入金	繰越財源充当額	0
局/部/課	都市局/都心整備部/大宮駅西口まちづくり事務所	予 算 現 額	866,934,000
<主な成果> 事業経費に充当するため、一般会計から繰り入れました。		調 定 額	810,602,290
		収 入 済 額	810,602,290
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	750,077,173
		増 減	60,525,117

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	大宮駅西口都市改造事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目	4款 繰越金/1項 繰越金/1目 繰越金	補 正 予 算 額	0
歳入名称	前年度繰越金	繰越財源充当額	68,243,837
局/部/課	都市局/都心整備部/大宮駅西口まちづくり事務所	予 算 現 額	68,244,837
<主な成果> 決算剰余金について、繰越金として受け入れました。		調 定 額	68,243,837
		収 入 済 額	68,243,837
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	274,031,308
		増 減	△ 205,787,471

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	大宮駅西口都市改造事業特別会計	当 初 予 算 額	403,300,000
款/項/目	6款 市債/1項 市債/1目 都市改造事業債	補 正 予 算 額	△ 89,300,000
歳入名称	都市改造事業債	繰越財源充当額	110,900,000
局/部/課	都市局/都心整備部/大宮駅西口まちづくり事務所	予 算 現 額	424,900,000
<主な成果> 大宮駅西口第四土地区画整理事業の財源として、市債を借り入れました。		調 定 額	326,200,000
		収 入 済 額	326,200,000
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	964,200,000
		増 減	△ 638,000,000

会計名 大宮駅西口都市改造事業特別会計		当初予算額	1,466,000,000
局/部/課	都市局/都心整備部/大宮駅西口まちづくり事務所	補正予算額	△ 185,061,000
概要(当初)P. 355	概要(2補)P. 25	前年度繰越額	275,493,837
<事業の目的・内容> 大宮駅西口第四地区は、大宮駅西口に位置しながらも都市基盤整備が立ち遅れ、狭あい道路による交通の混乱、建物の老朽化による防災上の不安などの諸問題を抱えています。そこで、これらを解消し、都心地区にふさわしい魅力あるまちづくりを目指すため、土地区画整理事業による都市基盤整備を行います。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	1,556,432,837
		支出済額	1,268,295,921
		翌年度繰越額	229,983,348
		不用額	58,153,568
		前年度支出済額	2,186,451,423
		増減	△ 918,155,502

<主な事業の成果>

[1款：事業費] 793,220,146

- (1) 土地区画整理管理事務事業
事務所の運営や審議会の会議に要する経費を支出しました。
- (2) 大宮駅西口第四土地区画整理事業
・建物等移転補償7件、中断移転補償42件を実施しました。
・区7-1号線外の道路整備工事等を実施しました。
・建物調査積算業務及び調査測量業務等を実施しました。

[参考]

事業計画

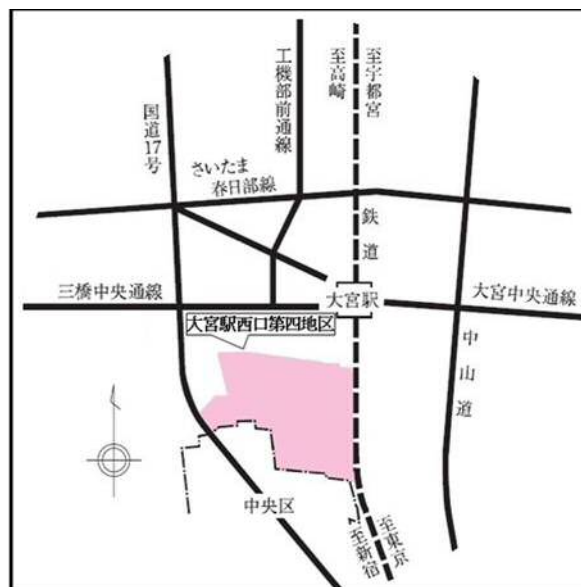
事業認可	平成7年5月19日
事業期間	平成7年度～令和5年度
施行面積	9.68ha
進捗率※	88.8%
総事業費	約229億円

※進捗率は平成30年度末現在

[2款：公債費] 475,075,775

- (1) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の元金を償還するため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。
- (2) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の利子を支払うため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

事業施行位置図



(※ 職員人件費については、P. 478に掲載しています。)

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 東浦和第二土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	406,450,000
款/項/目 2款 国庫支出金/1項 国庫補助金/1目 土地区画整理事業費国庫補助金	補 正 予 算 額	△ 126,835,000
歳入名称 土地区画整理事業費補助金	繰越財源充当額	60,980,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/東浦和まちづくり事務所	予 算 現 額	340,595,000
<主な成果> 東浦和第二土地区画整理事業に対する補助金として、補助率5.5/10及び1/2で交付されました。	調 定 額	340,595,000
	収 入 済 額	291,415,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	49,180,000
	前年度収入済額	292,720,000
	増 減	△ 1,305,000

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 東浦和第二土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	5,400,000
款/項/目 3款 事業収入/1項 事業収入/1目 保留地売渡代金	補 正 予 算 額	21,823,000
歳入名称 保留地売渡代金	繰越財源充当額	0
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/東浦和まちづくり事務所	予 算 現 額	27,223,000
<主な成果> 東浦和第二土地区画整理事業地内の保留地（12件）を売却しました。	調 定 額	29,126,276
	収 入 済 額	29,126,276
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	30,792,948
	増 減	△ 1,666,672

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 東浦和第二土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	1,004,767,000
款/項/目 4款 繰入金/1項 一般会計繰入金/1目 一般会計繰入金	補 正 予 算 額	△ 42,631,000
歳入名称 一般会計繰入金	繰越財源充当額	0
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/東浦和まちづくり事務所	予 算 現 額	962,136,000
<主な成果> 事業経費に充当するため、一般会計から繰り入れました。	調 定 額	930,646,023
	収 入 済 額	930,646,023
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	847,727,657
	増 減	82,918,366

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 東浦和第二土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	358,200,000
款/項/目 7款 市債/1項 市債/1目 土地区画整理事業債	補 正 予 算 額	△ 48,100,000
歳入名称 土地区画整理事業債	繰越財源充当額	54,800,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/東浦和まちづくり事務所	予 算 現 額	364,900,000
<主な成果> 東浦和第二土地区画整理事業の財源として、市債を借り入れました。	調 定 額	248,700,000
	収 入 済 額	248,700,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	244,200,000
	増 減	4,500,000

会計名 東浦和第二土地区画整理事業特別会計		当初予算額	1,775,000,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/東浦和まちづくり事務所	補正予算額	△ 195,743,000
概要(当初)P.	356	概要(2補)P.	26
<事業の目的・内容> 東浦和第二土地区画整理事業地内76.72haにおいて、土地区画整理事業により、地区内で進行している無秩序な市街地化を防止し、災害に強いまちづくりを目指し、公共施設の整備と宅地の利用増進を図ります。		前年度繰越額	121,925,280
		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	1,701,182,280
		支出済額	1,483,659,742
		翌年度繰越額	168,639,967
		不用額	48,882,571
		前年度支出済額	1,442,841,598
		増減	40,818,144

<主な事業の成果>

[1款：事業費] 819,301,310

- (1) 土地区画整理管理事務事業
事務所の運営と審議会、評価員の会議等を行いました。
- (2) 東浦和第二土地区画整理事業
- ・物件移転補償（建物・工作物等）を実施しました。
 - ・道路整備工事を実施しました。
 - ・建物等調査を実施しました。
 - ・上水道施設設置負担金を支出しました。

[参考]

事業計画

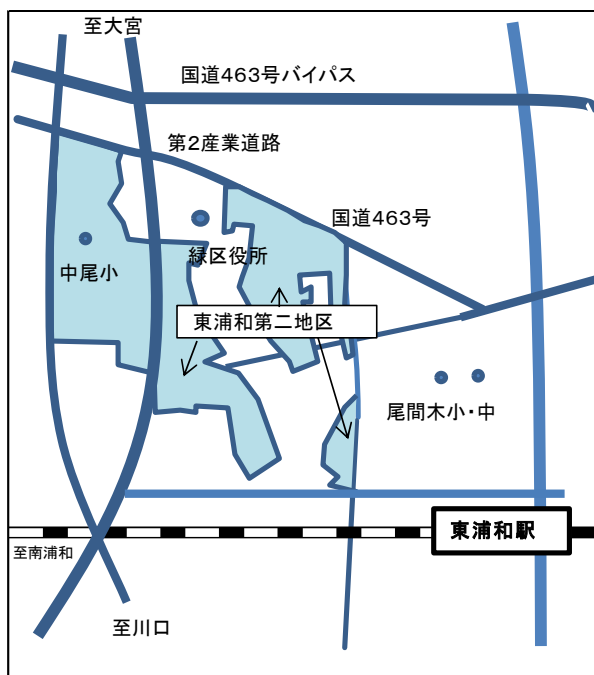
事業認可	平成10年12月15日
事業期間	平成10年度～令和12年度
施行面積	76.72ha
進捗率※	49.6%
総事業費	約251億円

※進捗率は平成30年度末現在

[2款：公債費] 664,358,432

- (1) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の元金を償還するため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。
- (2) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の利子を支払うため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

事業施行位置図



(※ 職員人件費については、P. 478に掲載しています。)

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 浦和東部第一特定土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目 1款 使用料及び手数料/1項 手数料/1目 証明手数料	補 正 予 算 額	344,000
歳入名称 証明手数料	繰越財源充当額	0
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	予 算 現 額	345,000
<主な成果> 浦和東部第一特定土地区画整理事業における証明書発行手数料として収納しました。	調 定 額	462,000
	収 入 済 額	462,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	160,500
	増 減	301,500

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 浦和東部第一特定土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	395,827,000
款/項/目 2款 国庫支出金/1項 国庫補助金/1目 土地区画整理事業費国庫補助金	補 正 予 算 額 △	269,095,000
歳入名称 土地区画整理事業費補助金	繰越財源充当額	185,268,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	予 算 現 額	312,000,000
<主な成果> 浦和東部第一特定土地区画整理事業に対する補助金として、補助率5.5/10及び1/2で交付されました。	調 定 額	312,000,000
	収 入 済 額	283,123,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	28,877,000
	前年度収入済額	282,044,000
	増 減	1,079,000

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 浦和東部第一特定土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	783,341,000
款/項/目 4款 繰入金/1項 一般会計繰入金/1目 一般会計繰入金	補 正 予 算 額	412,909,000
歳入名称 一般会計繰入金	繰越財源充当額	0
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	予 算 現 額	1,196,250,000
<主な成果> 事業経費に充当するため、一般会計から繰り入れました。	調 定 額	1,070,822,306
	収 入 済 額	1,070,822,306
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	225,896,092
	増 減	844,926,214

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 浦和東部第一特定土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	458,400,000
款/項/目 7款 市債/1項 市債/1目 土地区画整理事業債	補 正 予 算 額 △	316,400,000
歳入名称 土地区画整理事業債	繰越財源充当額	249,700,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	予 算 現 額	391,700,000
<主な成果> 浦和東部第一特定土地区画整理事業の財源として、市債を借り入れました。	調 定 額	290,200,000
	収 入 済 額	290,200,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	258,300,000
	増 減	31,900,000

会計名 浦和東部第一特定土地区画整理事業特別会計		当初予算額	2,209,000,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	補正予算額	△ 727,950,000
概要(当初)P. 357	概要(2補)P. 26	前年度繰越額	523,593,409
<事業の目的・内容> 埼玉高速鉄道線浦和美園駅西口周辺の55.88haの区域を対象に、本市の副都心にふさわしい良好な市街地の整備を行うため、土地区画整理事業により道路・公園等の都市基盤施設を整備・改善し、駅周辺の商業・業務機能の集積を図るとともに、豊かな自然環境と調和した魅力ある住環境を形成することを目的とします。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	2,004,643,409
		支出済額	1,673,893,020
		翌年度繰越額	133,555,720
<不用額の理由> 擁壁設置工事等の工事請負費及び配水管布設工事負担金が見込みを下回ったため。		不用額	197,194,669
		前年度支出済額	1,988,029,521
		増減	△ 314,136,501

<主な事業の成果>

[1款：事業費] 842,609,777

- (1) 土地区画整理管理事務事業
事務所の運営、審議会の会議等を行いました。
- (2) 浦和東部第一特定土地区画整理事業
- 道路や擁壁の設計業務や建物等調査積算業務等を行いました。
 - 整地工事、道路築造工事等を実施しました。
 - 土地区画整理事業の施行に必要な、建物や立竹木の移転に対し補償を実施しました。

[参考]

事業計画

事業認可	平成13年3月27日
事業期間	平成12年度～令和8年度
施行面積	55.88ha
進捗率※	80.6%
総事業費	約223億円

※進捗率は平成30年度末現在

[2款：公債費] 831,283,243

- (1) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の元金を償還するため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。
- (2) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の利子を支払うため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

事業施行位置図



(※ 職員人件費については、P. 478に掲載しています。)

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	南与野駅西口土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	534,750,000
款/項/目	3款 国庫支出金/1項 国庫補助金/1目 土地区画整理事業費国庫補助金	補 正 予 算 額	△ 236,950,000
歳入名称	土地区画整理事業費補助金	繰越財源充当額	129,945,500
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/与野まちづくり事務所	予 算 現 額	427,745,500
<主な成果> 南与野駅西口土地区画整理事業に対する補助金として、補助率5.5/10及び1/2で交付されました。		調 定 額	430,000,500
		収 入 済 額	322,195,500
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	107,805,000
		前年度収入済額	193,837,500
		増 減	128,358,000

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	南与野駅西口土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	380,693,000
款/項/目	4款 繰入金/1項 一般会計繰入金/1目 一般会計繰入金	補 正 予 算 額	△ 13,432,000
歳入名称	一般会計繰入金	繰越財源充当額	0
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/与野まちづくり事務所	予 算 現 額	367,261,000
<主な成果> 事業経費に充当するため、一般会計から繰り入れました。		調 定 額	327,558,525
		収 入 済 額	327,558,525
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	366,018,577
		増 減	△ 38,460,052

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	南与野駅西口土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目	5款 繰越金/1項 繰越金/1目 繰越金	補 正 予 算 額	0
歳入名称	前年度繰越金	繰越財源充当額	56,482,537
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/与野まちづくり事務所	予 算 現 額	56,483,537
<主な成果> 決算剰余金について、繰越金として受け入れました。		調 定 額	56,482,537
		収 入 済 額	56,482,537
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	18,566,000
		増 減	37,916,537

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	南与野駅西口土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	451,300,000
款/項/目	7款 市債/1項 市債/1目 土地区画整理事業債	補 正 予 算 額	△ 152,100,000
歳入名称	土地区画整理事業債	繰越財源充当額	103,600,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/与野まちづくり事務所	予 算 現 額	402,800,000
<主な成果> 南与野駅西口土地区画整理事業の財源として、市債を借り入れました。		調 定 額	281,400,000
		収 入 済 額	281,400,000
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	153,100,000
		増 減	128,300,000

会計名 南与野駅西口土地区画整理事業特別会計		当初予算額	1,367,000,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/与野まちづくり事務所	補正予算額	△ 402,482,000
概要(当初)P. 358	概要(2補)P. 27	前年度繰越額	290,028,037
<事業の目的・内容> 南与野駅西口地区において、「豊かな緑に囲まれた公園のようなまち」をまちづくりのテーマに、人と環境に配慮した質の高い駅前広場や都市計画道路等の都市基盤を有する良好な市街地形成を図ります。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	1,254,546,037
		支出済額	970,522,583
		翌年度繰越額	242,493,000
		不用額	41,530,454
		前年度支出済額	675,094,390
		増減	295,428,193

<主な事業の成果>

[1款：事業費] 864,859,016

(1) 土地区画整理事務事業

事務所の運営等を行いました。

(2) 南与野駅西口土地区画整理事業

- ・建物等移転補償11件を実施しました。
- ・道路整備工事及び造成工事を実施しました。
- ・工事設計業務、建物調査積算業務等を行いました。

[2款：公債費] 105,663,567

(1) 公債管理特別会計繰出金

事業に対する市債の元金を償還するため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

(2) 公債管理特別会計繰出金

事業に対する市債の利子を支払うため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

[参考]

事業計画

事業認可	平成7年8月8日
事業期間	平成7年度～令和5年度
施行面積	14.67ha
進捗率※	78.2%
総事業費	約117億円

※進捗率は平成30年度末現在

事業施行位置図



(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 指扇土地地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	194,150,000
款/項/目 3款 国庫支出金/1項 国庫補助金/1目 土地地区画整理事業費国庫補助金	補 正 予 算 額	△ 53,601,000
歳入名称 土地地区画整理事業費補助金	繰越財源充当額	60,145,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/日進・指扇周辺まちづくり事務所	予 算 現 額	200,694,000
<主な成果> 指扇土地地区画整理事業に対する補助金として、補助率5.5/10及び1/2で交付されました。	調 定 額	200,694,000
	収 入 済 額	145,999,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	54,695,000
	前年度収入済額	143,823,000
	増 減	2,176,000

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 指扇土地地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目 4款 事業収入/1項 事業収入/1目 保留地売渡代金	補 正 予 算 額	3,970,000
歳入名称 保留地売渡代金	繰越財源充当額	0
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/日進・指扇周辺まちづくり事務所	予 算 現 額	3,971,000
<主な成果> 指扇土地地区画整理事業地内の保留地（3件）を売却しました。	調 定 額	3,681,078
	収 入 済 額	3,681,078
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	5,899,760
	増 減	△ 2,218,682

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 指扇土地地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	330,316,000
款/項/目 5款 繰入金/1項 一般会計繰入金/1目 一般会計繰入金	補 正 予 算 額	△ 29,752,000
歳入名称 一般会計繰入金	繰越財源充当額	0
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/日進・指扇周辺まちづくり事務所	予 算 現 額	300,564,000
<主な成果> 事業経費に充当するため、一般会計から繰り入れました。	調 定 額	259,128,009
	収 入 済 額	259,128,009
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	222,018,429
	増 減	37,109,580

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 指扇土地地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	258,900,000
款/項/目 8款 市債/1項 市債/1目 土地地区画整理事業債	補 正 予 算 額	△ 57,000,000
歳入名称 土地地区画整理事業債	繰越財源充当額	65,300,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/日進・指扇周辺まちづくり事務所	予 算 現 額	267,200,000
<主な成果> 指扇土地地区画整理事業の財源として、市債を借り入れました。	調 定 額	160,400,000
	収 入 済 額	160,400,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	148,900,000
	増 減	11,500,000

会計名 指扇土地区画整理事業特別会計		当初予算額	784,000,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/日進・指扇周辺まちづくり事務所	補正予算額	△ 136,383,000
概要(当初)P. 359	概要(2補)P. 27	前年度繰越額	173,855,045
<事業の目的・内容> 指扇地区において、土地区画整理事業により道路・公園等の公共施設の整備・改善を行い、災害に強い安全で快適なまちづくりを目指して、西大宮駅を核とする新たな市街地の形成を図ります。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	821,472,045
		支出済額	556,400,461
		翌年度繰越額	208,993,662
<不用額の理由> 工事費について、入札による請負差金が生じたため。また、電線共同溝引込管等設備設置業務及び水道管敷設工事負担金が見込みを下回ったため。		不用額	56,077,922
		前年度支出済額	584,232,662
		増減	△ 27,832,201

<主な事業の成果>

[1款:事業費] 504,738,355

(1) 土地区画整理管理事務事業

事務所の運営、審議会・評価員の会議等を行いました。

(2) 指扇土地区画整理事業

- ・工事の設計、移転補償調査、用地管理業務等を実施しました。
- ・雨水管布設工事、電線共同溝整備工事、整地工事水道管敷設工事等を実施しました。
- ・土地区画整理事業に係る建物等移転補償を実施しました。

[参考]

事業計画

事業認可	平成17年10月11日
事業期間	平成17年度～令和11年度
施行面積	29.86ha
進捗率※	30.4%
総事業費	約116億円

※進捗率は平成30年度末現在

[2款:公債費] 51,662,106

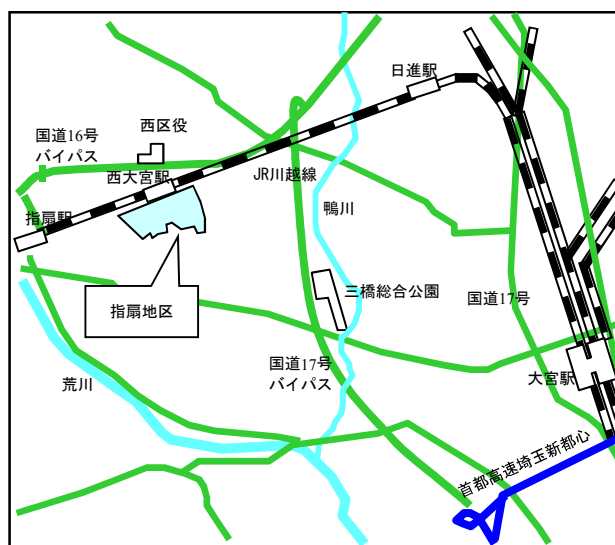
(1) 公債管理特別会計繰出金

事業に対する市債の元金を償還するため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

(2) 公債管理特別会計繰出金

事業に対する市債の利子を支払うため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

事業施行位置図



(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	江川土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	47,000
款/項/目	1款 使用料及び手数料/1項 使用料/1目 行政財産使用料	補 正 予 算 額	0
歳入名称	行政財産使用料	繰越財源充当額	0
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/岩槻まちづくり事務所	予 算 現 額	47,000
<主な成果> 行政財産の目的外使用に対する使用料として収納しました。		調 定 額	493,803
		収 入 済 額	493,803
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	547,263
		増 減	△ 53,460

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	江川土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目	1款 使用料及び手数料/2項 手数料/1目 証明手数料	補 正 予 算 額	0
歳入名称	証明手数料	繰越財源充当額	0
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/岩槻まちづくり事務所	予 算 現 額	1,000
<主な成果> 江川土地区画整理事業における証明書発行手数料として収納しました。 [参考] 有料分 (300円/枚) 921件 無料分 (公用請求等含む。) 10件 合計 931件		調 定 額	276,300
		収 入 済 額	276,300
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	225,600
		増 減	50,700

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	江川土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目	2款 事業収入/1項 事業収入/1目 保留地売渡代金	補 正 予 算 額	2,903,000
歳入名称	保留地売渡代金	繰越財源充当額	0
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/岩槻まちづくり事務所	予 算 現 額	2,904,000
<主な成果> 江川土地区画整理事業地内の保留地 (2件) を売却しました。		調 定 額	3,095,777
		収 入 済 額	3,095,777
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	889,200
		増 減	2,206,577

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名	江川土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	130,947,000
款/項/目	3款 繰入金/1項 一般会計繰入金/1目 一般会計繰入金	補 正 予 算 額	△ 2,903,000
歳入名称	一般会計繰入金	繰越財源充当額	0
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/岩槻まちづくり事務所	予 算 現 額	128,044,000
<主な成果> 事業経費に充当するため、一般会計から繰り入れました。		調 定 額	119,037,769
		収 入 済 額	119,037,769
		不 納 欠 損 額	0
		収 入 未 済 額	0
		前年度収入済額	391,583,673
		増 減	△ 272,545,904

会計名 江川土地区画整理事業特別会計		当初予算額	131,000,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/岩槻まちづくり事務所	補正予算額	0
概要(当初)P. 360	概要(2補)P. 28	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 江川地区は、岩槻区北部及び東部の土地区画整理事業地区と西部の既成市街地に囲まれた、区の中央部（東武野田線の北側）に位置しています。 本地区では土地区画整理事業により、岩槻駅、東岩槻駅を中心とした既成市街地と一体化した良好な市街地の形成を図ります。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	131,000,000
		支出済額	122,909,818
		翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 舗装修繕工事費について、工事の変更や入札による請負差金が生じたことにより執行見込額を下回ったため。		不用額	8,090,182
		前年度支出済額	435,928,623
		増減	△ 313,018,805

<主な事業の成果>

[1款：事業費] 106,674,686

- (1) 土地区画整理管理事務事業
事務所の運営、審議会の開催等を行いました。
- (2) 江川土地区画整理事業
- ・ 工事に伴う道路設計、土地区画整理審議会委員の改選に伴う選挙人名簿作成等の業務を行いました。
 - ・ 都市計画道路南辻新曲輪線の舗装修繕等の工事を行いました。

[参考]

事業計画

事業認可	昭和63年7月22日
事業期間	昭和63年度～令和6年度
施行面積	79.30ha
進捗率※	90.0%
総事業費	約195億円

※進捗率は平成30年度末現在

[2款：公債費] 16,235,132

- (1) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の元金を償還するため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。
- (2) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の利子を支払うため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

事業施行位置図



(※ 職員人件費については、P. 478に掲載しています。)

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 大門下野田特定土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目 1款 使用料及び手数料/1項 手数料/1目 証明手数料	補 正 予 算 額	5,000
歳入名称 証明手数料	繰越財源充当額	0
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	予 算 現 額	6,000
<主な成果> 大門下野田特定土地区画整理事業における証明書発行手数料として収納しました。	調 定 額	12,300
	収 入 済 額	12,300
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	900
	増 減	11,400

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 大門下野田特定土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	139,997,000
款/項/目 2款 繰入金/1項 一般会計繰入金/1目 一般会計繰入金	補 正 予 算 額	△ 32,363,000
歳入名称 一般会計繰入金	繰越財源充当額	0
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	予 算 現 額	107,634,000
<主な成果> 事業経費に充当するため、一般会計から繰り入れました。	調 定 額	104,254,341
	収 入 済 額	104,254,341
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	40,346,283
	増 減	63,908,058

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 大門下野田特定土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	1,000
款/項/目 3款 繰越金/1項 繰越金/1目 繰越金	補 正 予 算 額	0
歳入名称 前年度繰越金	繰越財源充当額	9,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	予 算 現 額	10,000
<主な成果> 決算剰余金について、繰越金として受け入れました。	調 定 額	9,000
	収 入 済 額	9,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	530,000
	増 減	△ 521,000

(特別会計・歳入)

(単位：円)

会 計 名 大門下野田特定土地区画整理事業特別会計	当 初 予 算 額	48,000,000
款/項/目 5款 市債/1項 市債/1目 土地区画整理事業債	補 正 予 算 額	0
歳入名称 土地区画整理事業債	繰越財源充当額	92,200,000
局/部/課 都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	予 算 現 額	140,200,000
<主な成果> 大門下野田特定土地区画整理事業の財源として、市債を借り入れました。	調 定 額	100,700,000
	収 入 済 額	100,700,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	87,100,000
	増 減	13,600,000

会計名 大門下野田特定土地区画整理事業特別会計		当初予算額	188,000,000
局/部/課	都市局/まちづくり推進部/浦和東部まちづくり事務所	補正予算額	△ 32,358,000
概要(当初)P. 361	概要(2補)P. 28	前年度繰越額	92,209,000
<事業の目的・内容> 埼玉高速鉄道線浦和美園駅西口の南側に位置する3.60haの区域を対象に、本市の副都心にふさわしい良好な市街地の整備を行うため、土地区画整理事業により道路・公園等の都市基盤施設を整備・改善し、魅力ある住環境の形成を図ることを目的とします。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	247,851,000
		支出済額	151,032,621
		翌年度繰越額	78,944,000
<不用額の理由> 建物等調査積算業務等の委託料及び盛土造成工事等の工事請負費が見込みを下回ったため。		不用額	17,874,379
		前年度支出済額	127,969,143
		増減	23,063,478

<主な事業の成果>

[1款:事業費] 148,193,958

- (1) 土地区画整理管理事務事業
事務所の運営等を行いました。
- (2) 大門下野田特定土地区画整理事業
・補償に伴う調査・積算業務や事業用地除草等業務を行いました。
・盛土造成工事を実施しました。

[参考]

事業計画

事業認可	平成26年3月3日
事業期間	平成25年度～令和7年度
施行面積	3.60ha
進捗率※	26.6%
総事業費	約17億円

※進捗率は平成30年度末現在

[2款:公債費] 2,838,663

- (1) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の元金を償還するため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。
- (2) 公債管理特別会計繰出金
事業に対する市債の利子を支払うため、公債管理特別会計へ繰出しを行いました。

事業施行位置図



(※ 職員人件費については、P. 478に掲載しています。)

平成30年度 建設局決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 市民生活・経済活動を支える都市基盤の整備
 - ① 広域幹線道路・市内幹線道路の整備を進めました。
 - ② 区域線未整備地区の整備を進めました。
 - ③ 計画的に下水道の整備を進めました。
- (2) 都市基盤の戦略的維持管理の実施
 - ① 舗装や道路附属物などの損傷個所の修繕を実施しました。
 - ② 予防保全の取組として、橋りょうの長寿命化や下水道施設の老朽化対策を実施しました。
 - ③ 老朽化した市営住宅の計画的な建替えを実施しました。
- (3) 安心・安全を提供する都市基盤の整備
 - ① 市街地における歩行空間の確保、都市防災対策、都市景観の向上や良好な住空間の形成のため、無電柱化を進めました。
 - ② 浸水被害を軽減するため、雨水貯留施設や河川の整備を進めました。
 - ③ 地震防災対策強化のため、民間住宅及び建築物の耐震化に対する助成を実施しました。
- (4) 市民生活環境を向上させる都市基盤の整備
 - ① 暮らしの道路、スマイルロード整備を進めました。
 - ② 歩行者等の安全な通行を確保するため、幹線道路等において歩道整備を進めました。
 - ③ 自転車が安全で快適に通行できる環境整備を進めました。

II 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
15款	319,005,000	△ 17,299,000	14,760,000	316,466,000	176,627,766	169,175,128	0	7,452,638
16款	1,839,857,000	0	0	1,839,857,000	1,854,853,716	1,817,021,493	754,508	37,115,015
17款	3,840,967,000	△ 2,463,982,000	444,396,000	1,821,381,000	1,797,187,000	1,228,520,000	0	568,667,000
18款	210,248,000	△ 56,079,000	0	154,169,000	76,534,386	76,534,386	0	0
19款	40,841,000	△ 212,000	0	40,629,000	47,463,394	47,463,394	0	0
23款	3,692,000	0	0	3,692,000	16,327,457	13,925,891	0	2,401,900
合計	6,254,610,000	△ 2,537,572,000	459,156,000	4,176,194,000	3,968,993,719	3,352,640,292	754,508	615,636,553

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
8款	35,161,757,000	△ 4,905,291,000	6,857,345,174	0	37,113,811,174	27,573,461,217	7,780,351,561	1,759,998,396
11款	2,000	0	0	0	2,000	0	0	2,000
合計	35,161,759,000	△ 4,905,291,000	6,857,345,174	0	37,113,813,174	27,573,461,217	7,780,351,561	1,760,000,396

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 15款 分担金及び負担金/1項 負担金/2目 土木費負担金	当 初 予 算 額	35,000,000
歳入名称 さいたま新都心共同溝管理費負担金	補 正 予 算 額	0
局/部/課 建設局/土木部/道路環境課	繰越財源充当額	0
<主な成果> さいたま新都心地区に埋設されている共同溝の入溝者より、管理費負担金として収納しました。	予 算 現 額	35,000,000
	調 定 額	35,249,850
	収 入 済 額	35,249,850
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	40,531,817
	増 減	△ 5,281,967

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/1項 使用料/7目 土木使用料	当 初 予 算 額	1,091,887,000
歳入名称 道路占用料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 建設局/土木部/土木総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 道路占用料として収納しました。 [参考] 電気事業者 802件 電話事業者 693件 ガス事業者 3,309件 一 般 1,883件 合 計 6,687件	予 算 現 額	1,091,887,000
	調 定 額	1,095,552,647
	収 入 済 額	1,095,546,734
	不 納 欠 損 額	5,913
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	1,131,634,681
	増 減	△ 36,087,947

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/1項 使用料/7目 土木使用料	当 初 予 算 額	651,174,000
歳入名称 市営住宅使用料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 建設局/建築部/住宅政策課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 市営住宅等の使用料として収納しました。 [参考] 平成30年度管理戸数 公営住宅 2,643戸 改良住宅 12戸 市民住宅 15戸	予 算 現 額	651,174,000
	調 定 額	660,266,204
	収 入 済 額	623,121,259
	不 納 欠 損 額	748,595
	収 入 未 済 額	36,433,650
	前年度収入済額	615,194,977
	増 減	7,926,282

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 17款 国庫支出金/2項 国庫補助金/4目 土木費国庫補助金	当 初 予 算 額	1,515,250,000
歳入名称 社会資本整備総合交付金（都市局）	補 正 予 算 額	△ 1,279,232,000
局/部/課 建設局/土木部/道路計画課	繰越財源充当額	116,192,000
<主な成果> 市が実施した街路事業に対する補助金で、補助率1/2、5.5/10で交付されました。	予 算 現 額	352,210,000
	調 定 額	352,210,000
	収 入 済 額	249,954,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	102,256,000
	前年度収入済額	268,928,000
	増 減	△ 18,974,000

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 土木積算システム管理事業			当初予算額	71,384,000
局/部/課	建設局/技術管理課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	概要(当初)P. 371	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 土木及び下水道工事の設計積算業務において、効率化・迅速化を図るため、市全体で統一した単価・歩掛等を用いた電算システムの運用管理を行います。 また、設計積算業務を円滑に行うために、単価表・積算基準等の作成、改訂、データ管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	71,384,000
			支出済額	71,220,117
			翌年度繰越額	0
			不用額	163,883
			前年度支出済額	63,266,201
増減				7,953,916
<主な事業の成果>				
1 土木・下水道積算システムの管理・運用		36,661,728	4 その他	530,792
積算業務の効率化・迅速化を図るため、電算システムを運用管理しました。			業務に伴う書籍の購入や職員の出張旅費等を支出しました。	
2 建設資材等の価格調査		25,346,363		
工事費の積算に用いる資材単価を、より実勢に近いものとするため、市場調査を行いました。				
3 単価表・積算基準等の作成		8,681,234		
市として統一した設計単価表や積算基準等を作成し、工事発注課所に配布しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 営繕積算システム管理事業			当初予算額	9,804,000
局/部/課	建設局/技術管理課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	概要(当初)P. 371	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 建築及び設備工事の設計積算業務において、効率化・迅速化を図るため、市全体で統一した単価・歩掛等を用いた電算システムの運用管理を行います。 また、設計積算業務を円滑に行うために、単価表・積算基準等の作成、改訂、データ管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	9,804,000
			支出済額	8,309,976
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,494,024
			前年度支出済額	7,481,178
増減				828,798
<主な事業の成果>				
1 営繕積算システムの管理・運用		4,058,268	4 その他	272,286
積算業務の効率化・迅速化を図るため、電算システムを運用管理しました。			業務に伴う書籍の購入や職員の出張旅費等を支出しました。	
2 建設資材等の価格調査		3,650,400		
工事費の積算に用いる資材単価を、より実勢に近いものとするため、市場調査を行いました。				
3 単価表・積算基準等の作成		329,022		
市として統一した設計単価表や積算基準等を作成し、工事発注課所に配布しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 技術基準・技術管理事業			当初予算額	22,889,000
局/部/課	建設局/技術管理課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	概要(当初)P. 372	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 組織全体の技術管理体制を確立するために、公共工事における施工体制の適正化、公共工事の品質確保の促進に関する施策の推進、建設副産物対策及び建設部門情報化の推進等に取り組みます。 また、各種協議会・団体等への対応、技術基準・技術管理全般についての事業等を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	22,889,000
			支出済額	22,523,390
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	365,610
			前年度支出済額	29,336,473
			増 減	△ 6,813,083
<主な事業の成果>				
1 建設部門情報化の推進		20,940,768	4 その他	1,014,158
建設部門の情報化(CALS/EC)を推進するため、CALS/EC業務支援システム、CADシステムの運用保守を行うとともに、研修等による支援を行いました。			各種研修会開催に伴う講師への報償金や業務に伴う事務用消耗品費等を支出しました。	
2 優秀建設工事業者表彰		309,264		
公共工事の品質確保の促進を図るため、特に優秀な成績で市発注工事を完成させた受注業者を表彰しました。				
3 公共工事の適正な施工体制の確保等		259,200		
適正な施工体制の確保に資する施策、公共工事の品質確保の促進に関する施策及び技術基準・技術管理全般に関する施策を展開しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 営繕事務事業(営繕課)			当初予算額	4,215,000
局/部/課	建設局/建築部/営繕課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	概要(当初)P. 372	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 学校、保育園、公民館、消防庁舎等の市有施設の建築・改修工事等に関する設計、積算、工事監理等を実施します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	4,215,000
			支出済額	3,108,466
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	1,106,534
			前年度支出済額	3,731,489
			増 減	△ 623,023
<主な事業の成果>				
1 建築工事の設計、積算及び工事監理業務		3,108,466		
市有施設の新増改築、改修等に関する建築工事の設計、積算及び工事監理の業務を実施しました。				
なお、当該予算は事業執行の需用費等であり、各業務の予算は所管課にて計上し、執行しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 営繕事務事業（保安全管理課）			当初予算額	1,826,000
局/部/課	建設局/建築部/保安全管理課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	概要(当初)P. 373	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市有建築物の計画的な予防保全を推進するとともに耐震化を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,826,000
			支出済額	1,300,482
			翌年度繰越額	0
			不用額	525,518
			前年度支出済額	1,055,777
			増減	244,705
<主な事業の成果>				
1 市有建築物の計画的な予防保全の推進			1,272,482	
公共施設マネジメント計画に係る躯体の健全性調査、大規模改修及び中規模修繕に関する設計並びに工事を実施しました。 なお、当該予算は事業執行の需用費等であり、各業務の予算は所管課にて計上し、執行しました。				
2 市有建築物の耐震化の推進			28,000	
市有建築物耐震化実施計画の進行管理を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 営繕事務事業（設備課）			当初予算額	2,657,000
局/部/課	建設局/建築部/設備課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/1目 土木総務費	概要(当初)P. 373	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 学校、保育園、公民館、消防庁舎等の市有施設の建設・改修工事等に関する建築設備の設計、積算、工事監理等を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	2,657,000
			支出済額	1,939,934
			翌年度繰越額	0
			不用額	717,066
			前年度支出済額	1,577,693
			増減	362,241
<主な事業の成果>				
1 建築設備工事の設計、積算及び工事監理業務			1,939,934	
市有施設の建設・改修に関する建築設備工事の設計業務、積算業務及び工事監理業務を実施しました。 なお、当該予算は事業執行の需用費等であり、各業務の予算は所管課にて計上し、執行しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 建築総務事務事業			当 初 予 算 額	581,359,000
局/部/課 建設局/建築部/建築総務課			補 正 予 算 額 △	275,530,000
款/項/目	8款 土木費/1項 土木管理費/2目 建築指導費	概要(当初)P. 374	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 建築に係る環境への負荷の軽減、バリアフリーに配慮した人にやさしい秩序のある都市を形成するとともに、建築物の耐震化の促進など安全で安心なまちづくりを促進します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	305,829,000
			支 出 済 額	256,566,950
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 既存建築物耐震補強等助成事業、民間建築物吹付けアスベスト除去等事業及び狭あい道路拡幅整備事業における助成件数が、当初の見込みを下回ったため。			不 用 額	49,262,050
			前年度支出済額	308,784,440
			増 減 △	52,217,490
<主な事業の成果>				
1 既存建築物耐震補強等助成事業		185,648,567	2 民間建築物吹付けアスベスト除去等事業 11,554,000	
昭和56年以前の旧耐震基準により建築され、現行の耐震基準に適合しない民間の住宅及び多数の者が利用する建築物等(以下、特定建築物等)の耐震化に必要な費用の一部を助成するとともに啓発活動を実施しました。			アスベストが含有されているおそれのある吹付け材の分析調査、吹付けアスベストの除去等に係る費用の一部を助成しました。	
・木造住宅耐震診断員派遣事業 実施件数 392件			助成件数 分析調査 1件、除去等工事 1件	
・既存建築物耐震補強等助成			3 狭あい道路拡幅整備事業 51,859,000	
(耐震診断) 戸建住宅 31件、共同住宅等 4件			建築に伴い後退した用地を市に寄附する場合の測量、分筆に係る費用の一部を助成しました。	
特定建築物等 7件			寄附件数 395件 寄附面積 5,855.75㎡	
(耐震補強設計) 戸建住宅 27件、共同住宅等 1件			4 附属機関の運営その他 7,505,383	
特定建築物等 1件			建築基準法の規定に基づく建築審査会をはじめとする附属機関の会議を開催し、建築総務事務事業を実施するために必要な消耗品の購入、会議・研修への出席等を行いました。	
(耐震補強工事) 戸建住宅 48件				
(建替え工事) 戸建住宅 94件、共同住宅等 1件				
特定建築物等 1件				
・耐震シェルター等設置助成 3件				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 建築確認事務事業			当 初 予 算 額 7,862,000	
局/部/課 建設局/建築部/建築行政課			補 正 予 算 額 0	
款/項/目 8款 土木費/1項 土木管理費/2目 建築指導費		概要(当初)P. 374	前年度繰越額 0	
<事業の目的・内容> 建築基準法に基づく建築物、昇降機などの建築設備の建築確認審査、検査業務を実施します。			流 用 額 0	
			予備費充用額 0	
			予 算 現 額 7,862,000	
			支 出 済 額 7,555,783	
			翌年度繰越額 0	
			不 用 額 306,217	
			前年度支出済額 7,265,796	
			増 減 289,987	
<主な事業の成果>				
1 建築確認等台帳の整備 3,859,488		3 建築物等の中間検査、完了検査 1,553,307		
建築行政共用データベースシステムにより、建築確認等台帳の整備を行いました。		以下のとおり、検査を行いました。		
2 建築物等の確認申請の審査 2,142,988		以下完了検査済証・中間検査合格証交付件数 (単位: 件)		
以下のとおり、審査を行いました。				
<確認申請> (単位: 件)				
区 分	建 築 物	建築設備	工 作 物	合 計
受付件数	81	5	21	107
確認件数	84	5	13	102
<計画通知> (単位: 件)				
区 分	建 築 物	建築設備	工 作 物	合 計
受付件数	16	31	4	51
適合件数	19	28	4	51

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 建築行政事務事業				当 初 予 算 額 29,893,000	
局/部/課		建設局/建築部/建築行政課		補 正 予 算 額 △ 2,300,000	
款/項/目		8款 土木費/1項 土木管理費/2目 建築指導費		概要(当初)P. 375	
<事業の目的・内容> 建築基準法に基づく許可、認定に関する業務及び区域等の指定に関する業務のほか、既存建築物における定期報告に係る改善指導、防災査察等による指導業務を実施します。 また、建築基準法に係る道路調書、道路図の整備・更新を行います。				前年度繰越額 0	
				流 用 額 0	
				予備費充用額 0	
				予 算 現 額 27,593,000	
				支 出 済 額 24,768,044	
				翌年度繰越額 0	
				不 用 額 2,824,956	
<不用額の理由> 特殊建築物等定期報告指導業務において、報告件数が当初の見込みを下回ったため。				前年度支出済額 26,914,738	
				増 減 △ 2,146,694	
<主な事業の成果>					
1 特殊建築物等の定期報告		9,911,513		3 建築基準法に基づく許認可等事務その他 4,203,843	
建築基準法において、特殊建築物等の適正な維持管理のために定期報告制度が定められており、その報告等に係る手続きを行いました。				建築基準法に基づく許可等をはじめとする事務全般に要する経費等を支出しました。	
<特殊建築物等定期報告件数> (単位：件)					
区 分	建 築 物	建築設備	防火設備	昇降機等	合 計
報告件数	929	2,302	350	8,436	12,017
2 道路台帳システムの整備		10,652,688			
建築基準法に基づく道路の指定・廃止等に係る更新情報を道路図及び道路調書に反映し、指定道路情報管理システムの運用管理を行いました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 道路管理事業（土木総務課）			当 初 予 算 額	885,824,000
局/部/課 建設局/土木部/土木総務課			補 正 予 算 額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/1目 道路橋りょう総務費	概要(当初)P. 375	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 道路法第28条に基づく道路の管理事務として、市道の延長、幅員、面積等の測量を実施し、道路台帳の整備を行います。 また、道路台帳の閲覧、道路の占用許可、境界確認等、市民に密着した窓口業務を実施することにより、市民への正確な情報提供や道路管理の適正化を推進します。			流 用 額	0
			予 備 費 充 用 額	0
			予 算 現 額	885,824,000
			支 出 済 額	874,820,271
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	11,003,729
			前年度支出済額	876,592,081
			増 減	△ 1,771,810
<主な事業の成果>				
1 区域線整備推進事業		398,001,600		
市が管理する道路及び水路と、民地との境界線（区域線）の整備を行いました。				
平成30年度実施面積 611ha				
累計実施済面積 14,908ha				
2 道路管理業務		476,818,671		
市道の延長、幅員、面積等の測量を実施し、道路台帳の整備を行いました。また、道路台帳の閲覧などの窓口業務実施に伴うパソコン機器等の賃貸料や、道路賠償責任保険料等を負担しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 道路管理事業（道路環境課）			当初予算額	14,200,000
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/1目 道路橋りょう総務費	概要(当初)P. 376	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 整備済の道路側溝の種類、流下方向を整理した台帳図を整備に合わせて修正することにより、最新の状況を把握し、窓口での問合せ等の業務に活用します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	14,200,000
			支出済額	13,356,996
			翌年度繰越額	0
			不用額	843,004
			前年度支出済額	13,367,796
			増減	△ 10,800
<主な事業の成果>				
1 道路管理事業			13,356,996	
窓口での問合せ等に対応するため、道路側溝台帳の修正を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 道路橋りょう事務事業			当初予算額	7,386,000
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/1目 道路橋りょう総務費	概要(当初)P. 376	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 車両の賃借料や消耗品費等、日常業務を行う上で必要となる経常的な庶務経費です。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	7,386,000
			支出済額	6,202,439
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,183,561
			前年度支出済額	5,724,857
			増減	477,582
<主な事業の成果>				
1 道路橋りょう事務			6,202,439	
現地調査に使用する車両の賃借及び事務を行うため必要となる事務用品等を購入しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 私有舗装等整備助成事業			当初予算額	50,000,000
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/1目 道路橋りょう総務費	概要(当初)P. 377	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市道として認定することが困難な私有の舗装、排水施設等の整備を行う者に対して、費用の一部を助成し、市民の生活環境の向上を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	50,000,000
			支出済額	42,320,000
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 申請者との調整に不測の時間を要し、年度内に工事が完了せず、助成に至らなかったため。			不用額	7,680,000
			前年度支出済額	49,417,000
			増減	△ 7,097,000
<主な事業の成果> 1 私有舗装等整備助成事業 42,320,000 私有の舗装や排水施設の整備に要する費用の助成を21件実施しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 道路維持事業			当初予算額 5,632,277,000	
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		補正予算額 74,686,000	
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/2目 道路維持費	概要(当初)P. 377	前年度繰越額 900,301,091	
<事業の目的・内容> 道路パトロールや市民からの通報に基づき、舗装や道路附属物などの損傷箇所を修繕することにより、安心・安全で快適な道路環境を維持します。 また、スマイルロード整備事業においては、沿道の方々からの申請に基づき道路の整備を進めます。 なお、工事の施工時期の平準化のため、債務負担行為の設定を行いました。		概要(12補)P. 27・33	概要(2補)P. 13	流用額 0
		予備費充用額 0		
		予算現額 6,607,264,091		
		支出済額 5,682,076,527		
		翌年度繰越額 869,313,088		
		不用額 55,874,476		
		前年度支出済額 5,405,747,769		
増 減 276,328,758				
<主な事業の成果>				
1 スマイルロード整備事業		2,329,902,761		
生活道路等において、沿道の方々からの申請に基づき、道路用地の寄附や買収を伴わない舗装・側溝の整備を実施しました。				
2 道路修繕事業		3,352,173,766		
道路パトロールや市民からの通報に基づき、舗装や道路附属物などの損傷箇所を修繕しました。 また、降雪等の災害発生時に道路パトロール等の緊急対応を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 県臨時地方道償還金負担金			当初予算額	570,000,000
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費	概要(当初)P. 378	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 平成15年の政令指定都市移行に伴い、埼玉県から移譲された道路に係る臨時地方道整備事業債（一般分）の元金償還金の一部を負担します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	570,000,000
			支出済額	570,000,000
			翌年度繰越額	0
			不用額	0
			前年度支出済額	570,000,000
			増減	0
<主な事業の成果>				
1 県償還金負担金			570,000,000	
埼玉県との事務引継書に基づき、県から移譲された国県道に係る県償還金の一部を負担しました。				
1 償還期間 20年（平成15年～令和4年度）				
2 償還総額 19,426,000,000円 （旧岩槻市分1,076,000,000円を含む）				
(1) 償還実施分（平成15年～30年度） 17,946,000,000円				
(2) 償還予定額（令和元年～令和4年度） 1,480,000,000円				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 道路整備事業			当初予算額	1,118,572,000
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費	概要(当初)P. 378	前年度繰越額	184,860,587
<事業の目的・内容> 道路幅員が4メートル未満の道路においては、消防・救急などの緊急活動の妨げとなるほか、道路排水の悪い箇所があるなど様々な問題を抱えています。これらの問題に対処するため、沿道の方々からの申請に基づき、道路用地の寄附を受けて行う暮らしの道路整備事業により生活道路の整備を進めます。なお、工事の施工時期の平準化のため、債務負担行為の設定を行いました。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,303,432,587
			支出済額	881,284,333
			翌年度繰越額	388,564,520
			不用額	33,583,734
			前年度支出済額	751,767,246
			増減	129,517,087
<主な事業の成果>				
1 暮らしの道路整備事業			677,111,792	
幅員が4メートル未満の生活道路について、沿道の方々からの申請に基づき、道路後退用地の寄附を受けて整備を実施しました。				
2 道路整備事業			204,172,541	
道路環境の向上を図るため、拡幅が必要な道路の設計委託、工事、用地補償・物件補償等を行いました。				
・市道40408号線（西区、大宮区） 外				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 道路管理事業（道路計画課）			当初予算額	60,692,000
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課		補正予算額	△ 6,000,000
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費	概要(当初)P. 379	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 国県道及び基幹的市道の整備を推進するための一般事務経費です。また、取得事業用地の維持管理及び暫定整備を行うものです。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	54,692,000
			支出済額	51,333,771
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 用地買収において、交渉が難航し買収に至らず、維持管理費が当初見込みを下回ったため。			不用額	3,358,229
			前年度支出済額	38,516,705
			増減	12,817,066
<主な事業の成果> 1 事業用地維持管理 51,333,771 取得した事業用地の草刈・舗装・防護柵等の設置を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 道路新設改良事業			当初予算額	3,564,451,000
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課		補正予算額	△ 1,268,162,000
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費	概要(当初)P. 379	前年度繰越額	1,388,295,246
<事業の目的・内容> 国県道及び基幹的市道の交通基盤となる幹線道路網を整備推進し、計画的に道路の新設及び道路拡幅改良を行う路線整備事業です。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	3,684,584,246
			支出済額	2,216,801,424
			翌年度繰越額	1,168,593,032
<不用額の理由> 道路新設改良事業における用地買収において、交渉が難航し、買収に至らず、当初見込みを下回ったため。			不用額	299,189,790
			前年度支出済額	1,915,972,006
			増減	300,829,418
<主な事業の成果> 1 道路整備マネジメント 27,216,000 効果的かつ効率的な道路整備を進めるために必要な調査等を行いました。				
2 広域幹線道路整備 1,357,153,607 一般国道463号越谷浦和バイパスほか3路線において、設計委託、工事、用地補償・物件補償等を行いました。				
3 市内幹線道路整備 832,431,817 主要地方道川口上尾線（東町交差点）ほか10路線において、設計委託、工事、用地補償・物件調査等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 国直轄道路事業負担金			当初予算額	600,000,000
局/部/課	建設局/土木部/広域道路推進室(道路計画課)		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費	概要(当初)P. 380	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 道路法第50条等の規定により、国土交通省が直轄で施行する道路事業（新設、改築等）に対する負担金です。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	600,000,000
			支出済額	364,333,333
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 国土交通省の実施する事業の進捗が、当初の見込みを下回ったため。			不用額	235,666,667
			前年度支出済額	341,666,666
			増減	22,666,667
<主な事業の成果> 1 国直轄道路事業負担金 364,333,333 直轄道路事業負担金として、一般国道17号新大宮上尾道路ほか、さいたま市内の直轄国道の改築に係る経費の地方負担金を支出しました（国道16号、国道17号）。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 首都高速道路整備出資金			当初予算額	76,000,000
局/部/課	建設局/土木部/広域道路推進室(道路計画課)		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/3目 道路新設改良費	概要(当初)P. 380	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法等に基づく、首都高速道路株式会社が施行する有料道路事業（新大宮上尾道路）に伴う出資金です。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	76,000,000
			支出済額	76,000,000
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果> 1 首都高速道路整備出資金 76,000,000 首都高速道路株式会社が施行する有料道路事業（新大宮上尾道路）に伴う出資金を支出しました。			不用額	0
			前年度支出済額	12,500,000
			増減	63,500,000

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 橋りょう維持事業				当初予算額	1,956,427,000
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			補正予算額	69,300,000
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/4目 橋りょう維持費	概要(当初)P. 381		前年度繰越額	748,178,549
<事業の目的・内容>	概要(12補)P. 29	概要(2補)P. 14	概要(2補追)P. 9	流用額	0
<p>震災時における道路ネットワークを確保するために橋りょう耐震補強工事を行うことにより、橋りょうの機能を維持し、安心して安全な道路環境の確保を図ります。また、橋りょうの老朽化による維持管理費の縮減のために策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、修繕を実施します。</p> <p>なお、工事の施工時期の平準化のため、債務負担行為の設定を行いました。</p>				予備費充用額	0
				予算現額	2,773,905,549
				支出済額	1,868,887,904
				翌年度繰越額	850,698,365
				不用額	54,319,280
				前年度支出済額	1,248,438,799
				増減	620,449,105
<主な事業の成果>					
1 橋りょう耐震化事業		899,765,005			
<p>震災時における道路ネットワークを確保するため、緊急輸送道路にある橋りょうについて、橋脚の耐震補強及び桁の落橋防止対策を実施しました。</p> <p>・神明跨線橋（主要地方道川口上尾線：北区）外</p>					
2 橋りょう長寿命化修繕事業		969,122,899			
<p>老朽化による損傷のある橋りょうについて、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、対策工事を実施しました。</p> <p>・羽根倉橋（一般国道463号：桜区）外</p> <p>また、橋りょうの健全度を把握するため、橋りょう点検を実施しました。</p>					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 橋りょう整備事業			当初予算額	196,311,000
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/2項 道路橋りょう費/5目 橋りょう新設改良費	概要(当初)P. 381	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 河川に架かる橋りょうについては、河川計画が事業化された際に、河川改修断面に合わせて架替えが必要となることから、河川管理者と協議を行い、計画の進捗にあわせた整備事業を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	196,311,000
			支出済額	104,284,806
			翌年度繰越額	91,644,000
			不用額	382,194
			前年度支出済額	26,676,000
			増減	77,608,806
<主な事業の成果>				
1 橋りょう架替え事業		104,284,806		
橋りょう架替え事業の実施に向けて、事業用地の取得を行いました。				
・ 田原橋（一般県道蒲生岩槻線：岩槻区）				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 交通安全施設整備事業			当 初 予 算 額 3,004,787,000	
局/部/課 建設局/土木部/道路環境課		補 正 予 算 額 △ 703,330,000		
款/項/目 8款 土木費/2項 道路橋りょう費/6目 交通安全施設整備費		概要(当初)P. 382		前年度繰越額 1,000,930,144
＜事業の目的・内容＞		概要(12補)P. 29	概要(2補追)P. 10	流 用 額 0
歩行者等の安全な通行を確保するため、幹線道路の歩道整備、主要駅周辺の無電柱化を実施します。また、踏切内の歩行空間整備を行う踏切改良、警察と連携し生活道路の安全対策を行うゾーン30の推進、自転車ネットワーク整備計画に基づく自転車通行環境整備等により、安全かつ快適な道路空間の確保を進めます。なお、工事の施工時期の平準化のため、債務負担行為の設定を行いました。				
＜不用額の理由＞		予備費充用額 0		
交通安全施設整備事業における用地買収において、交渉が難航し、買収物件が当初見込みを下回ったため。		予 算 現 額 3,302,387,144		
		支 出 済 額 1,629,863,024		
		翌年度繰越額 1,467,589,030		
		不 用 額 204,935,090		
		前年度支出済額 1,873,059,214		
		増 減 △ 243,196,190		
＜主な事業の成果＞				
1 歩道等整備事業 979,676,932		4 ゾーン30整備事業 89,363,200		
幹線道路等における歩道整備を行い、安心安全な歩行空間の確保を行いました。 ・一般国道122号（岩槻区）外		警察による最高時速30キロメートルの速度規制と、道路管理者による環境整備を組み合わせ、速度抑制対策を行いました。 ・南区太田窪地区 外8地区		
2 自転車通行環境整備事業 154,760,800		5 無電柱化等推進事業 397,009,824		
自転車安全で快適に走行できる通行環境の整備を行いました。 ・主要地方道川口上尾線（北区）外		市街地における歩行空間の確保、都市防災対策や都市景観の向上を図るため、電線共同溝の整備を行いました。 ・一般県道鴻巣桶川さいたま線（大宮区）外		
3 踏切改良事業 9,052,268				
狭あいな踏切について歩行空間を確保するため、拡幅整備に向けた用地取得を行いました。 ・JR東北本線盆栽踏切（北区）				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 河川事務事業（土木総務課）			当 初 予 算 額	2,437,000
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/1目 河川総務費	概要(当初)P. 382	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 河川事業の管理運営を円滑に処理するための事務経費です。 河川賠償責任保険に関する事務、河川事業の促進を図るための協議会に関する事務を行います。			流 用 額	0
			予 備 費 充 用 額	0
			予 算 現 額	2,437,000
			支 出 済 額	2,435,970
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	1,030
			前年度支出済額	2,215,070
			増 減	220,900
<主な事業の成果>				
1 河川事務事業		2,435,970		
・ 河川賠償責任保険に関する事務 水路延長 1,335km 遊水池面積 190,398㎡				
・ 埼玉県河川協会の運営に関する事務負担金 治水、利水に関する方策を考究し河川の認識を深め、河川事業の促進を期することを目的とする協会の運営費を負担しました。				
・ 県南治水促進期成同盟会の運営に関する事務負担金 県南7市の荒川左岸、中川右岸流域における水害の防除に寄与することを目的とする同盟会の運営費を負担しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 河川事務事業（河川課）			当 初 予 算 額	3,663,000
局/部/課	建設局/土木部/河川課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/1目 河川総務費	概要(当初)P. 383	前年度繰越額	0
＜事業の目的・内容＞ 河川事業を円滑に処理するための事務経費です。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	3,663,000
			支 出 済 額	2,785,345
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	877,655
			前年度支出済額	2,556,477
			増 減	228,868
＜主な事業の成果＞				
1 各種協議会に係る負担金、旅費等		452,172		
各種協議会に係る負担金、業務に伴う職員の出張旅費等を支出しました。				
2 事務事業推進に係る消耗品費、資料印刷費等		2,333,173		
事務事業推進に係る消耗品費、資料印刷費等を支出しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 河川維持管理事業			当 初 予 算 額	764,706,000
局/部/課	建設局/土木部/河川課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/1目 河川総務費	概要(当初)P. 383	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 治水安全度を確保するため、河川・水路の草刈、浚渫等を行い、ポンプ施設の維持管理を行います。 また、緊急水害時において、ポンプ、土のう等を設置します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	764,706,000
			支 出 済 額	752,589,790
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	12,116,210
			前年度支出済額	725,199,231
			増 減	27,390,559
<主な事業の成果>				
1 河川草刈及び浚渫業務		469,332,439		
良好な河川環境を保つため、草刈り及び浚渫を行いました。				
2 施設保守管理業務		140,745,939		
水害時に備え、ポンプ施設の維持管理を行いました。				
3 補修工事等		142,511,412		
水路の補修工事や転落防止用の柵の設置等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 水辺環境整備事業			当 初 予 算 額	9,229,000
局/部/課	建設局/土木部/河川課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/1目 河川総務費	概要(当初)P. 384	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 生物と人間が共生できる豊かな自然と河川浄化を市民にアピールするため、水辺環境の維持管理を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	9,229,000
			支 出 済 額	8,820,232
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	408,768
			前年度支出済額	8,434,638
			増 減	385,594
<主な事業の成果>				
1 ホタル飼育施設維持管理業務		5,829,101		
ホタル飼育施設の維持管理業務を行いました。				
2 準用河川鴻沼川浄化施設維持管理業務		2,991,131		
準用河川鴻沼川に設置されている浄化施設の維持管理業務を行いました。				

(一般会計・歳出)

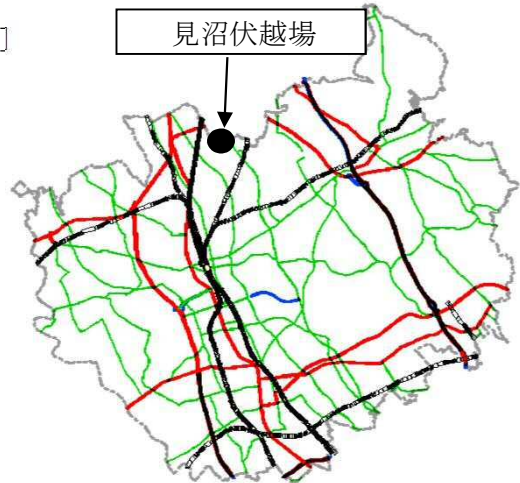
(単位：円)

事務事業名 河川改修事業			当初予算額	2,050,923,000	
局/部/課	建設局/土木部/河川課		補正予算額	△ 55,617,000	
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/2目 河川改良費	概要(当初)P. 384	前年度繰越額	734,717,560	
<事業の目的・内容>		概要(12補)P. 30	流用額	0	
浸水被害を軽減し、流域の市民の安全を守るため、川幅の拡幅及び川底の掘り下げ等により改修を進め、1時間当たり30～50mmの雨量に対応する整備を行います。また、都市化の著しい流域における雨水流出量の増大等に対応するため、流域内の小・中学校及び公園に貯留浸透施設の設置を進め、治水安全度の向上を目指します。なお、工事の施工時期平準化のため債務負担行為を設定しました。			予備費充用額	0	
			予算現額	2,730,023,560	
			支出済額	1,813,068,899	
			翌年度繰越額	872,128,155	
			不用額	44,826,506	
			前年度支出済額	2,235,592,904	
			増減	△ 422,524,005	
<主な事業の成果>					
1 準用河川改修事業		636,236,747	4 流域貯留浸透事業		56,314,600
浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図るため、準用河川の整備を行いました。 ・準用河川新川、準用河川油面川排水機場 外			総合的な治水対策の一環として、公共施設に降った雨を一時貯留させる施設の工事と設計を行いました。 ・精進場公園（工事）、松原東公園（設計）		
2 普通河川改修事業		845,154,737			
浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図るため、普通河川の整備を行いました。 ・普通河川宝来川、滝沼排水路 外					
3 高沼用水路整備事業		275,362,815			
高沼用水路の水路や護岸などの水辺環境整備を行い、市民と連携しながら、市民の憩いの場となる親水性の高い水辺空間づくりを推進しました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 都市下水路維持管理事業			当初予算額	299,689,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課		補正予算額	△ 4,100,000
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/3目 都市下水路費	概要(当初)P. 385	前年度繰越額	18,000,000
<事業の目的・内容> 都市下水路施設の機能管理の充実を図るため、維持管理事業を実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	313,589,000
			支出済額	148,497,179
			翌年度繰越額	162,000,000
			不用額	3,091,821
			前年度支出済額	25,715,912
			増減	122,781,267
<主な事業の成果> 1 施設保守管理事業 7,420,379 [参考] 都市下水路施設の機能を保つため、芝川都市下水路見沼伏越場の維持管理を行いました。 (1) 施設運転、保守管理、清掃、除草等 (2) 芝川警戒メール運用・保守管理 2 芝川都市下水路見沼伏越場改修事業 141,076,800 芝川都市下水路周辺の浸水被害軽減に向け、芝川都市下水路見沼伏越場の改修工事を実施しました。				



(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 排水路維持管理事業			当初予算額	322,397,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課		補正予算額	△ 8,100,000
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/3目 都市下水路費	概要(当初)P. 385	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市街化区域内の排水路を良好な状態に保つための適切な維持管理を実施し、良好な環境及び市民の安心安全を確保します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	314,297,000
			支出済額	305,218,104
			翌年度繰越額	0
			不用額	9,078,896
			前年度支出済額	319,132,129
			増減	△ 13,914,025
<主な事業の成果> 1 施設保守管理事業 302,831,448 排水路の機能を保つため維持管理を行いました。 (1) 施設修繕、保守管理 (2) 排水路清掃除草等 (3) 排水路補修工事 2 笹目川浄化施設維持管理負担金 2,386,656 埼玉県と本市の相互協力により、笹目川浄化施設の維持管理を行うため負担金を支出しました。 (負担割合) さいたま市 39.4% 埼玉県 60.6%				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 芝川都市下水路維持管理負担金			当初予算額	7,794,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/3目 都市下水路費	概要(当初)P. 386	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 桶川市を起点とし、上尾市・本市を流下する芝川都市下水路の維持管理を三市の共同事業で行うことによる負担金です。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	7,794,000
			支出済額	7,794,000
			翌年度繰越額	0
			不用額	0
			前年度支出済額	7,794,000
			増減	0
<主な事業の成果>				
1 芝川都市下水路維持管理負担金			7,794,000	
三市共同で芝川都市下水路の維持管理を行うための負担金を支出しました。				
(負担割合) さいたま市 18%				
上尾市 62%				
桶川市 20%				




(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 南下新井汚水処理場使用料賦課徴収事業			当初予算額	892,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/4目 排水処理費	概要(当初)P. 386	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 南下新井汚水処理場に係る使用料の賦課徴収事務を、水道料金の徴収業務と一元化して実施するため、水道局に対して本使用料の徴収経費等を負担します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	892,000
			支出済額	687,486
			翌年度繰越額	0
			不用額	204,514
			前年度支出済額	692,254
			増減	△ 4,768
<主な事業の成果>				
1 使用料賦課徴収業務委託			687,486	
南下新井汚水処理場利用者から使用料を徴収するため、水道局と連携し、使用料の賦課徴収を行いました。				
[参考]				
・調定件数 現年度分 2,307件				
過年度分 30件				
・収納件数 現年度分 2,292件				
過年度分 21件				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 南下新井汚水処理場維持管理事業			当初予算額	15,998,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課(下水処理センター)		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/3項 河川費/4目 排水処理費	概要(当初)P. 387	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 南下新井汚水処理場は、岩槻区南部の大字南下新井地区及び大字黒谷地区の一部(12.3ha)を処理区域とする、し尿処理施設です。この施設を適切に維持管理することにより、区域内住民の健全な公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	15,998,000
			支出済額	14,582,662
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,415,338
			前年度支出済額	185,448,228
			増減	△ 170,865,566
<主な事業の成果>				
1 施設維持管理事業		14,582,662	[参考]	
処理施設の運営及び維持管理を行いました。 (1) 汚水処理場維持管理業務委託 (2) 汚泥運搬業務委託 [参考] 平成30年度実績 ・処理人口 859人 ・日平均処理水量 360m ³ ・年間処理水量 131,284m ³				
				
			管理棟	最終沈殿池
				
			曝気槽	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 街路管理事業(土木総務課)			当初予算額	6,393,000
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/3目 街路事業費	概要(当初)P. 387	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 街路事業のために先行取得した用地や代替地の管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,393,000
			支出済額	4,921,710
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,471,290
			前年度支出済額	5,521,599
			増減	△ 599,889
<主な事業の成果>				
1 先行取得用地及び代替地の管理		4,921,710		
先行取得用地及び代替地の管理を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 街路管理事業（道路計画課）			当初予算額	144,325,000
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/3目 街路事業費	概要(当初)P. 388	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 街路事業を整備推進するための一般事務経費です。また、取得事業用地の維持管理及び暫定整備を行うものです。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	144,325,000
			支出済額	136,057,533
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 用地買収において、交渉が難航し買収に至らず、維持管理費が当初見込みを下回ったため。			不用額	8,267,467
			前年度支出済額	139,600,157
			増減	△ 3,542,624
<主な事業の成果> 1 事業用地維持管理 136,057,533 取得した事業用地の舗装、防護柵等の設置を行う等暫定的な整備を実施しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 街路整備事業			当初予算額	7,328,275,000
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課		補正予算額	△ 2,593,549,000
款/項/目	8款 土木費/4項 都市計画費/3目 街路事業費	概要(当初)P. 388	前年度繰越額	1,882,061,997
<事業の目的・内容> 都市計画道路の整備を積極的に進めることにより、市内の交通渋滞の緩和や快適な市民生活と円滑な都市活動を確保し、物流の効率化や市街地の活性化等を目的とします。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,616,787,997
			支出済額	4,070,877,993
			翌年度繰越額	1,898,752,371
<不用額の理由> 街路整備事業における用地買収において、交渉が難航し、買収に至らず、当初見込みを下回ったため。			不用額	647,157,633
			前年度支出済額	3,614,146,290
			増減	456,731,703
<主な事業の成果> 1 道路整備マネジメント 70,480,800 効果的かつ効率的な道路整備を進めるために必要な調査等を行いました。				
2 広域幹線道路整備 2,471,982,357 産業道路ほか3路線において、設計委託、工事、用地補償・物件補償等を行いました。				
3 市内幹線道路整備 1,528,414,836 田島大牧線ほか6路線において、設計委託、工事、用地補償・物件調査等を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 市営住宅維持管理事業			当初予算額	539,319,000
局/部/課	建設局/建築部/住宅政策課		補正予算額	△ 2,949,000
款/項/目	8款 土木費/7項 住宅費/1目 住宅管理費	概要(当初)P. 389	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 住宅に困窮する市民に対して、良質で低廉な家賃の住宅を安定的に供給するために、募集から住宅及び付帯設備まで適切に維持管理を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	536,370,000
			支出済額	530,467,014
			翌年度繰越額	0
			不用額	5,902,986
			前年度支出済額	537,560,710
			増減	△ 7,093,696
<主な事業の成果>				
1 市営住宅維持管理業務		416,917,014		
市営住宅等の入居者募集や入居者管理、建物修繕工事等を管理代行制度及び指定管理者制度を活用し、効率的に行いました。				
・市営住宅（低所得者向け） 2,655戸				
・市民住宅（中堅所得者向け） 15戸				
2 公営住宅借上事業		113,550,000		
住宅に困窮する低額所得者に転貸するため、独立行政法人都市再生機構より賃貸住宅を借り上げました。				
・西本郷住宅（北区本郷町） 60戸				
・本郷町団地（北区本郷町） 62戸				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 住宅政策推進事業			当初予算額	6,510,000
局/部/課	建設局/建築部/住宅政策課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/7項 住宅費/1目 住宅管理費	概要(当初)P. 389	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 住生活基本法により策定した「さいたま市住生活基本計画」に基づく住宅施策を推進し、市民の住生活の安定の確保と向上を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,510,000
			支出済額	4,746,040
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,763,960
			前年度支出済額	4,148,850
			増減	597,190
<主な事業の成果>				
1 分譲マンションヒアリング調査の実施		3,944,160	4 住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業	
旧耐震設計（昭和56年以前）の分譲マンションの耐震化や適正な管理運営を促進するため、分譲マンションを訪問し、耐震化等に向けた相談・支援を実施しました。			住宅確保要配慮者専用賃貸住宅における家賃債務保証料の補助を行うものですが、申請がありませんでした。	
2 分譲マンションの適正管理の支援		374,200		
埼玉県マンション居住支援ネットワークにおいて、県内自治体、NPO法人、専門家団体、公益企業団体等と連携し、分譲マンションに関する適切な情報提供及び普及啓発を行いました。				
3 「さいたま市住宅ガイド」の作成		427,680		
各所管の住宅に関する施策を集約したガイドブックを作成し、情報を一元的に提供しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 優良住宅等推進事業			当初予算額	8,113,000
局/部/課	建設局/建築部/住宅政策課		補正予算額	0
款/項/目	8款 土木費/7項 住宅費/1目 住宅管理費	概要(当初)P. 390	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 優良な民間住宅の供給を推進するため、事業者からの長期優良住宅や低炭素建築物等の認定及び普及・促進を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	8,113,000
			支出済額	4,994,045
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 長期優良住宅建築等計画及び低炭素建築物新築等計画の認定について、民間評価機関等への委託を必要とする申請がなかったため。			不用額	3,118,955
			前年度支出済額	5,868,559
			増減	△ 874,514
<主な事業の成果>				
1 高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助		4,866,000	4 低炭素建築物新築等計画の認定	39,882
高齢者が安心して居住できるものとして本市が認定した3団地35戸に居住する入居者のうち、収入が一定の基準以下の方に対し、負担軽減のため、家賃の一部を助成しました。			建築主や分譲事業者からの低炭素建築物新築等計画の認定申請を受付し、認定基準への適合等について認定審査を行いました。	
2 浸水住宅改良資金貸付事業				
浸水から住宅を防ぐ改良工事に必要な資金を金融機関を通じて融資する制度ですが、申請がありませんでした。				
3 長期優良住宅建築等計画の認定		88,163		
建築主や分譲事業者からの長期優良住宅建築等計画の認定申請を受付し、認定基準への適合等について認定審査を行いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 市営住宅建替事業			当初予算額	334,533,000
局/部/課	建設局/建築部/住宅政策課		補正予算額	△ 87,080,000
款/項/目	8款 土木費/7項 住宅費/2目 住宅建設費	概要(当初)P. 390	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 市営住宅は昭和30年代後半から40年代にかけて建設された住宅が多く存在しており、建物の老朽化が進行していることから、安心して暮らせる住まいづくりを推進するため、老朽化が顕著と認められる市営住宅について計画的な建て替えを実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	247,453,000
			支出済額	232,130,461
			翌年度繰越額	11,069,000
<主な事業の成果>			不用額	4,253,539
			前年度支出済額	1,242,685,974
			増減	△ 1,010,555,513
<主な事業の成果>				
1 市営道祖土戸崎団地建替		200,642,400	4 市営住宅建替規模検討業務	4,968,000
道祖土戸崎団地の建て替えに向け、既存住宅(72戸)の解体工事を実施しました。			昭和55年度までに建築した住宅を建て替えた場合、各住宅の建て替え想定整備戸数の検討を実施しました。	
2 市営浮谷住宅建替		20,089,200	5 負担金その他	361,689
浮谷住宅(1〜6号棟)の建て替えを実施するため、基本・実施設計業務及び地質調査業務を実施しました。			公共住宅整備事業の円滑な推進を図るために負担金等を支払いました。	
3 市営峰岸住宅建替		6,069,172		
峰岸住宅建設工事による損傷家屋等の復旧費積算業務の実施及び損傷家屋等の補償金を支払いました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 下水道事業会計繰出金			当 初 予 算 額	4,847,745,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課		補 正 予 算 額	△ 42,560,000
款/項/目	8款 土木費/8項 公共下水道費/1目 公共下水道費	概要(当初)P. 391	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 下水道事業における公費負担分（雨水処理費等）を一般会計で負担することにより、下水道事業を進展させることができます。			流 用 額	0
			予 備 費 充 用 額	0
			予 算 現 額	4,805,185,000
			支 出 済 額	4,753,928,784
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	51,256,216
			前年度支出済額	4,743,002,151
			増 減	10,926,633
<主な事業の成果>				
1 下水道事業会計への負担		4,753,928,784	[参考] 繰出金の推移 ・平成25年度決算額 6,728,718,526円 ・平成26年度決算額 4,581,248,638円 ・平成27年度決算額 4,777,379,389円 ・平成28年度決算額 4,773,208,137円 ・平成29年度決算額 4,743,002,151円	
下水道事業における公費負担分（雨水処理費等）を支出しました。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 災害復旧費（河川課）			当 初 予 算 額	2,000
局/部/課	建設局/土木部/河川課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	11款 災害復旧費/2項 土木施設災害復旧費/1目 土木施設災害復旧費	概要(当初)P. 391	前年度繰越額	0
＜事業の目的・内容＞ 大規模災害発生時に土木施設の復旧を速やかに行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	2,000
			支 出 済 額	0
			翌年度繰越額	0
			不 用 額	2,000
			前年度支出済額	0
			増 減	0
＜主な事業の成果＞				
1 大規模災害発生時における土木施設の復旧				
大規模災害は発生しませんでした。				

平成30年度 西区決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 安全で、安心して暮らせるまちづくり
 - ① 区民からの要望や職員パトロールにより、道路、河川等緊急修繕及び交通安全施設の修繕を実施しました。
 - ② 自治会長など地域の防災リーダー及び区民を対象とした「防災研修会」を平成30年7月4日に埼玉県看護協会研修センターで開催しました。
 - ③ 自治会・地域防犯団体との協働による「防犯のつどい」を平成30年11月15日に西部文化センターで開催しました。
- (2) 活力あるまちづくり
 - ① 郷土意識の醸成と地域の連携を深めるため、「西区ふれあいまつり」を平成30年11月10日に三橋総合公園で開催しました。
 - ② 地域資源である荒川サイクリングロードや河川敷を活用して、健康づくりやスポーツ振興を図るため、「西来るフェスタ」を平成31年3月16日に開催しました。
 - ③ 区の花「アジサイ」をPRするため、指扇駅自由通路ショーケースに、区民が出品したアジサイの作品を展示しました。
 - ④ 区民参加によるまちづくりを推進するため、区民会議を8回開催しました。また、市民活動ネットワーク連絡会を3回開催し、区民会議の協議内容や登録団体の活動状況など情報交換を行いました。
- (3) みんなでやさしく支え合うまちづくり
 - ① 西区子育て支援ネットワーク協議会との協働により、「西区子育て応援フェア」を平成30年9月8日に西部文化センターで開催しました。
 - ② 子育てしやすいまちにするため、子育て支援ネットワーク協議会において、子育て支援情報を共有し、外部講師を招いて支援策の研究を2回行いました。
 - ③ 障害者・支援者のネットワーク形成を推進するため、「西区障害者・支援者ネットワークフェア」を平成30年11月14日に西部文化センターで開催しました。
 - ④ 健康寿命の延伸・健康づくりをテーマとした「西区健幸フェスティバル」を平成30年10月19日に植水公民館、10月29日に馬宮公民館、11月27日に西部文化センターで開催しました。
- (4) 明るい区役所づくり
 - ① 区民にとって親しみやすい区役所を目指し、区役所市民ホールを活用したロビーコンサートを平成30年9月20日及び12月20日に開催しました。
 - ② 明るい区役所づくりを推進するため、職員の接遇研修を2回実施しました。

II 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
16款	132,000	0	0	132,000	137,530	137,530	0	0
19款	2,300,000	0	0	2,300,000	2,318,762	2,318,762	0	0
23款	327,000	0	0	327,000	351,922	351,922	0	0
合計	2,759,000	0	0	2,759,000	2,808,214	2,808,214	0	0

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
2款	263,122,000	△ 4,967,000	0	0	258,155,000	253,219,912	0	4,935,088
合計	263,122,000	△ 4,967,000	0	0	258,155,000	253,219,912	0	4,935,088

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/1項 使用料/1目 総務使用料	当 初 予 算 額	132,000
歳入名称 行政財産使用料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 西区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 行政財産の目的外使用料として収納しました。 [参考] A T M設置 95,424円 広告パネル設置 23,856円 電柱設置 16,950円 郵便差出箱設置 1,300円	予 算 現 額	132,000
	調 定 額	137,530
	収 入 済 額	137,530
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	135,730
	増 減	1,800

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 19款 財産収入/1項 財産運用収入/1目 財産貸付収入	当 初 予 算 額	2,300,000
歳入名称 財産貸付収入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 西区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 市有財産の一時貸付料として収納しました。 [参考] 広告付き地図案内板 759,086円 自動販売機 881,676円 自動証明写真機 289,200円 デジタルサイネージ 388,800円	予 算 現 額	2,300,000
	調 定 額	2,318,762
	収 入 済 額	2,318,762
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	2,267,847
	増 減	50,915

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	137,000
歳入名称 施設光熱水費等負担金	補 正 予 算 額	0
局/部/課 西区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 施設の光熱水費等負担金として収納しました。 [参考] A T M電気料 35,571円 広告付き地図案内板電気料 3,088円 自動販売機電気料 71,048円 自動証明写真機電気料 16,555円 デジタルサイネージ電気料 9,797円 建物総合損害共済保険料 395円	予 算 現 額	137,000
	調 定 額	136,454
	収 入 済 額	136,454
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	114,372
	増 減	22,082

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	54,000
歳入名称 電力売払収入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 西区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 太陽光発電電力の売払金として収納しました。 [参考] 太陽光発電電力売払 80,000円	予 算 現 額	54,000
	調 定 額	80,000
	収 入 済 額	80,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	68,200
	増 減	11,800

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西区役所管理事業（くらし応援室）			当初予算額	6,587,000
局/部/課	西区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 399	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 来庁者の用件・問合せ等に対し、的確・迅速・丁寧な案内を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,587,000
			支出済額	6,586,560
			翌年度繰越額	0
			不用額	440
			前年度支出済額	6,586,560
			増減	0

<主な事業の成果>

1 西区役所総合案内事業 6,586,560 [参考]

来庁者の用件・問合せに関する区役所及び関係各課への担当窓口案内を行いました。また、情報公開コーナーにおける行政資料の整理、閲覧、貸出し及び行政資料等の有償、無償の頒布を行いました。



西区役所総合案内

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西区役所管理事業（総務課）			当初予算額	76,396,000
局/部/課	西区役所/区民生活部/総務課		補正予算額	△ 4,967,000
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 399	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区行政の拠点である区役所庁舎の維持管理及び区政の円滑な運営を行います。			流用額	△ 666,000
			予備費充用額	0
			予算現額	70,763,000
			支出済額	69,139,932
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,623,068
			前年度支出済額	70,256,648
			増減	△ 1,116,716

<主な事業の成果>

1 区役所庁舎等維持管理事業 68,524,418 [参考]

区役所を適切に維持管理するため、施設の整備点検、清掃、警備等の業務委託や修繕等を行いました。



西区役所

2 区役所の事務経費 615,514

職員の研修旅費や一般事務消耗品等の区役所運営に係る経費を支出しました。

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西区まちづくり推進事業（くらし応援室）			当初予算額	154,323,000
局/部/課	西区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 400	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区民が安全・安心で暮らしやすい生活環境を保持するため、生活に身近な道路の緊急修繕や道路照明灯・道路反射鏡等の交通安全施設の修繕等を行います。			流用額	666,000
			予備費充用額	0
			予算現額	154,989,000
			支出済額	154,690,627
			翌年度繰越額	0
			不用額	298,373
			前年度支出済額	161,936,951
			増減	△ 7,246,324
<主な事業の成果>				
1 土木緊急修繕等事業		107,756,075	4 交通安全啓発その他	782,033
道路の緊急的な修繕及び下水道の清掃を行いました（262件）。			交通事故防止を図るため、大宮西警察署や関係団体等との協働により、交通安全啓発等を行いました。 区内小学校2校においてヒヤリハットマップを作成し児童に配布しました。	
2 交通安全施設維持管理事業		42,809,495	5 公衆便所維持管理事業	
交通事故防止や路上犯罪の予防を図るため、道路照明灯、道路反射鏡等の修繕を行いました（1,655件）。 ・道路照明灯、公衆街路灯…1,487件 ・道路反射鏡、路面表示等…168件			修繕は発生しませんでした。	
3 衛生害虫駆除事業		3,343,024		
安全かつ快適な区民生活が送れるよう、アシナガバチ等の危害を及ぼす害虫の巣を駆除しました（307件）。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西区まちづくり推進事業（総務課）			当初予算額	2,742,000
局/部/課	西区役所/区民生活部/総務課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 400	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区民が親しみやすい明るい区役所づくりを推進するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりに向けた取組を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	2,742,000
			支出済額	2,169,634
			翌年度繰越額	0
			不用額	572,366
			前年度支出済額	2,943,967
			増減	△ 774,333
<主な事業の成果>				
1 区長マニフェスト策定事業その他		549,613	4 職員育成事業	96,800
区長マニフェストを策定し、まちづくりの方向性など区政運営の考え方と主な取組を公表するとともに、前年度の区長マニフェスト評価書を作成しました。			親しみやすく、利用しやすい明るい区役所づくりを推進するため、職員の接遇研修等を実施しました。	
2 防犯啓発事業		959,732		
防犯意識の向上を図るため、自治会・地域防犯団体との協働により「防犯のつどい」を開催しました（参加者229人）。				
3 防災啓発事業		563,489		
地域防災力の強化を図るため、自治会長など地域の防災リーダー及び区民を対象とした「防災研修会」を実施しました（参加者130人）。				


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西区まちづくり推進事業（コミュニティ課）		当初予算額	20,915,000
局/部/課	西区役所/区民生活部/コミュニティ課	補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 401	前年度繰越額
<事業の目的・内容> 西区の地域資源や特色を生かした魅力あるまちづくりを推進するとともに、区民がふれあう機会をつくり、区の魅力向上に向けた各種取組を推進します。 また、区民との協働によるまちづくりを進めるため、市民活動ネットワーク等への支援を行います。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	20,915,000
		支出済額	18,544,076
		翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 区民会議・市民活動ネットワーク活動支援業務及び西区プロモーションビデオ作成業務の契約額が見込みを下回ったため。		不用額	2,370,924
		前年度支出済額	17,857,717
		増減	686,359
<主な事業の成果>			
1 西区ふれあいまつり	7,013,275	4 西来るフェスタ	3,250,305
郷土意識の醸成と地域の連帯を深めるため、ふれあいまつりを開催しました（来場者数約28,000人）。		西区の地域資源である荒川サイクリングロードや河川敷を活用して、健康づくりやスポーツ振興を図るため、自転車イベントを開催しました（参加型サイクルイベント参加者376人）。	
2 ウォーキング講習会	89,266	5 区PR等事業	1,817,225
区民の健康づくり、仲間づくりに役立てるとともに、ウォーキングの実践として区内を歩き、西区の魅力再発見につなげるため、ウォーキング講習会を開催しました（参加者61人）。		観光スポットや飲食、購買など、西区の「いいところ」を一冊にまとめた「西区地域情報誌」（1,000部）や、「西区プロモーションビデオ」を作成し、区民や西区への来訪者に対し情報発信を行いました。	
3 区民会議の運営及び市民活動の支援	2,522,692	6 大宮アルディージャ支援事業その他	3,851,313
区民会議（8回開催）、市民活動ネットワーク連絡会（3回開催）及び登録団体の活動を支援しました。		大宮アルディージャと協働で、西区の子どもたちを対象にサッカー教室を開催しました（参加者79人）。また、明るい区役所づくりのため、区役所市民ホールでロビーコンサートを開催しました（来場者数300人）。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西区まちづくり推進事業（支援課）		当初予算額	1,692,000	
局/部/課	西区役所/健康福祉部/支援課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 401	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 西区内の子育て支援団体で組織する「西区子育て支援ネットワーク協議会」と協働して、子育て家庭を応援し、子育てしやすいまちづくりを推進します。 また、障害者や支援者等が抱える問題や悩みの軽減を図るため、当事者同士のネットワーク作りを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,692,000
			支出済額	1,660,117
			翌年度繰越額	0
			不用額	31,883
			前年度支出済額	1,383,117
			増減	277,000
<主な事業の成果>				
1 西区子育て応援フェア		1,021,387	[参考] 	
子育て家庭を応援するため、子育て支援情報の提供や育児相談を行う「西区子育て応援フェア」を開催しました（来場者数約900人）。				
2 子育て支援ネットワーク協議会推進事業		238,730		
「子育てしやすいまち」にするため、子育て支援ネットワーク協議会の会議（4回開催）で子育て支援情報を共有し、外部講師を招いて支援策の研究（2回開催）を行いました。				
3 障害者・支援者ネットワーク推進事業		400,000		
障害者とその支援者等が情報を共有出来るネットワーク形成を推進するため、「西区障害者・支援者ネットワークフェア」を開催しました（来場者数約300人）。				

西区子育て応援フェア

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 西区まちづくり推進事業（高齢介護課）			当初予算額	467,000
局/部/課	西区役所/健康福祉部/高齢介護課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 402	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 高齢者の健康寿命の延伸や健康づくりへの支援を図り、高齢者が住み慣れた地域で生き生きと生活できる取組を推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	467,000
			支出済額	428,966
			翌年度繰越額	0
			不用額	38,034
			前年度支出済額	375,088
			増減	53,878

<主な事業の成果>
1 西区健幸フェスティバル 428,966

[参考]

健康寿命の延伸・健康づくりをテーマとした講演会や脳活トレーニング教室、また、認知症を正しく理解してもらうため、寸劇を交えた啓発講座を開催しました（参加者149人）。



西区健幸フェスティバル

平成30年度 北区決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 安全・安心なまちづくり
 - ① 区民が安全に安心して暮らせる生活環境を保持するため、道路の緊急修繕等を実施しました。
 - ② 道路照明灯や道路反射鏡等の交通安全施設の修繕を実施しました。
 - ③ 区内の交通安全上危険な箇所について、歩行者・自動車・自転車等に注意を促す看板の設置等を行いました。
 - ④ 防犯に関する意識の向上を図るため、関係機関と協力して「北区防犯デー」や「北区夏休み防犯フェア」を開催しました。
- (2) だれもが健幸で元気に暮らせるまちづくり
 - ① 区民の健康増進を図る機会を提供するため、ウォーキングイベントやウォーキング教室を開催しました。
- (3) 子育て楽しいまちづくり
 - ① 保育施設等の紹介・入所相談、子育て情報の提供や児童のためのあそびの広場を実施しました。
- (4) ふれあい・協働のまちづくり
 - ① 地域の連帯を一層深めるため、地域の方々と組織された実行委員会とともに北区民まつりと北区文化まつりを開催しました。
 - ② 区民会議の運営や市民活動ネットワーク登録団体の活動を支援しました。
 - ③ 子どもたちの健全育成や交流を促進するため、大宮アルディージャと連携し、少年少女サッカー教室及び親子サッカー教室を開催しました。
 - ④ 子どもたちの健全育成や交流を促進するため、女子プロ野球チーム埼玉アストライアと連携し、野球教室を開催しました。

II 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
16款	233,000	0	0	233,000	320,364	320,364	0	0
23款	18,229,000	0	0	18,229,000	17,152,642	17,152,642	0	0
合計	18,462,000	0	0	18,462,000	17,473,006	17,473,006	0	0

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
2款	253,726,000	0	0	0	253,726,000	247,597,345	0	6,128,655
合計	253,726,000	0	0	0	253,726,000	247,597,345	0	6,128,655

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/1項 使用料/1目 総務使用料	当 初 予 算 額	233,000
歳入名称 行政財産使用料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 北区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 北区役所庁舎の行政財産目的外使用料として収納しました。 [参考] A T M設置 (2台) 232,992円 パネル広告設置 (3枠) 87,372円	予 算 現 額	233,000
	調 定 額	320,364
	収 入 済 額	320,364
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	312,912
	増 減	7,452

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	614,000
歳入名称 施設光熱水費等負担金	補 正 予 算 額	0
局/部/課 北区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 北区役所庁舎内及び土呂駅東口多言語対応型地図案内板の施設光熱水費等負担金として収納しました。 [参考] 建物共済分担金 485円 光熱水使用料負担金 484,157円	予 算 現 額	614,000
	調 定 額	484,642
	収 入 済 額	484,642
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	461,225
	増 減	23,417

(一般会計・歳入)


(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	17,615,000
歳入名称 その他雑入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 北区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 収入印紙売りさばき分、パネル広告料等を収納しました。 [参考] 収入印紙売りさばき分 14,880,350円 収入印紙売払手数料 627,846円 パネル広告料 365,544円 多言語対応型地図案内板広告掲載料 388,800円 公衆電話使用料 16,660円 多言語対応型デジタルサイネージ貸付料 388,800円	予 算 現 額	17,615,000
	調 定 額	16,668,000
	収 入 済 額	16,668,000
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	16,805,073
	増 減	△ 137,073

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 北区役所管理事業（くらし応援室）			当初予算額	6,540,000
局/部/課	北区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 408	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 来庁者の用件・問い合わせ等に対し、的確・迅速・丁寧な案内を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,540,000
			支出済額	6,539,400
			翌年度繰越額	0
			不用額	600
			前年度支出済額	6,539,400
			増減	0
<主な事業の成果>				
1 区役所総合案内事業		6,539,400	[参考]	
来庁者に対し、担当窓口を的確・迅速・丁寧に案内するとともに、婚姻・出生・住宅の新築をされた市民の方に記念樹を交付しました。また、情報公開コーナーにおいて、行政資料等の整理、閲覧、貸出し及び有償又は無償の頒布を行いました。				



北区役所総合案内

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 北区役所管理事業（総務課）			当 初 予 算 額	36,397,000
局/部/課	北区役所/区民生活部/総務課		補 正 予 算 額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 408	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 窓口サービスの向上を目指し、区行政の拠点である区役所庁舎の維持管理等を行います。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	36,397,000
			支 出 済 額	33,256,426
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 光熱水費について、当初の見込みを下回ったため。			不 用 額	3,140,574
			前年度支出済額	33,499,840
			増 減	△ 243,414
<主な事業の成果>				
1 区役所庁舎等維持管理事業		14,556,715	[参考] 	
区の行政の拠点である北区役所庁舎の適切な維持管理等を行いました。				
2 区役所の事務経費		1,360,551		
職員の研修旅費や消耗品費等の区役所運営に係る事務経費を支出しました。				
3 収入印紙の売りさばき経費		17,339,160		
プラザノース内にあるさいたま地方法務局証明書交付窓口において、登記事項証明書等を取得する市民の利便性向上を図るため、収入印紙の売りさばきを行いました。			プラザノース（北区役所）	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 北区まちづくり推進事業（くらし応援室）			当初予算額	189,386,000
局/部/課	北区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 409	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 身近な生活環境を保持するため、道路の緊急修繕や道路照明灯・道路反射鏡等の交通安全施設の修繕、衛生害虫駆除等を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	189,386,000
			支出済額	189,199,338
			翌年度繰越額	0
			不用額	186,662
			前年度支出済額	189,132,623
			増減	66,715
<主な事業の成果>				
1 土木緊急修繕等事業		146,032,472	4 交通安全啓発事業その他	1,738,673
道路の緊急的な修繕や下水道の取付管の清掃等を行いました(214件)。			交通安全の啓発活動及び歩行者・自動車・自転車等に注意を促す看板の設置等を行いました(74件)。	
2 交通安全施設維持管理事業		39,264,125	5 公衆便所維持管理事業	372,348
道路照明灯(806件)・道路反射鏡(111件)・路面表示(20件)の修繕を行いました。			日進駅南口、宮原駅東口・西口公衆便所の緊急的な修繕を行いました(7件)。	
3 衛生害虫駆除事業		1,791,720		
危害を及ぼすアシナガバチ等の巣の駆除を行いました(175件)。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 北区まちづくり推進事業（総務課）			当初予算額	1,786,000
局/部/課	北区役所/区民生活部/総務課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 409	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 住民参加のまちづくりをスローガンとし、区民との協働による北区の個性を生かしたまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,786,000
			支出済額	1,490,602
			翌年度繰越額	0
			不用額	295,398
			前年度支出済額	1,623,663
			増減	△ 133,061
<主な事業の成果>				
1 区長マニフェスト策定事業		205,534	[参考]	
北区の個性を生かしたまちづくりを推進するため、区長マニフェストを策定し、また区長マニフェスト評価書を作成しました。				
2 防犯啓発事業		1,279,020		
7月1日(犯罪のない日)を「北区防犯デー」と定め、防犯講演会及び区内一斉パトロールを実施するとともに、8月9日に「北区夏休み防犯フェア」を開催しました。				
3 北区文化資源表彰事業		6,048		
大盆栽まつりの市民盆栽展及び大宮日進七夕まつりの装飾コンクールにおいて、北区長賞としてそれぞれ表彰盾を贈呈しました。				



北区防犯デー
(区内一斉パトロール)

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 北区まちづくり推進事業（コミュニティ課）			当初予算額	18,417,000
局/部/課	北区役所/区民生活部/コミュニティ課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 410	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 住民参加のまちづくりをスローガンとし、区民との協働による北区の個性を生かしたまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	18,417,000
			支出済額	16,215,763
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 北区ガイドブックの印刷製本費及び北区区民会議・北区市民活動ネットワーク活動支援業務における委託料が見込みを下回ったため。			不用額	2,201,237
			前年度支出済額	16,119,673
			増減	96,090
<主な事業の成果>				
1 区民まつり開催事業		6,924,429	4 文化まつり開催事業	2,904,870
郷土意識の醸成及び地域の連帯を一層深めるため、北区民まつりを開催しました（来場者数：約51,000人）。			区民の日頃の文化活動の発表の場を設けるとともに、地域の連帯を一層深めるため、北区文化まつりを開催しました（来場者数：約12,000人）。	
2 ウォーキング・ジョギング推進事業		788,640	5 スポーツのまちづくり推進事業	1,055,660
区民の健康増進を図る機会を提供するため、ウォーキングイベントやウォーキング教室を開催しました。			大宮アルディージャと連携し、少年少女サッカー教室及び親子サッカー教室を開催しました。また、女子プロ野球チーム埼玉アストライアと連携し、野球教室を開催しました。	
3 区民会議運営・市民活動支援事業		3,203,635	6 区民との協働その他	1,338,529
区民会議の運営（会議6回開催）及び市民活動ネットワーク登録団体の活動（交流会1回開催、団体活動PR等）を支援するとともに、登録団体へ補助金を交付し、団体が実施するまちづくり事業を支援しました。			北区パフォーマンス隊を結成し、大宮アルディージャのホームゲーム等でよさこいソーラン踊りを披露しました。また、盆栽をデザインした缶バッジを配布し、北区の地域資源である「盆栽文化」を周知しました。	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 北区まちづくり推進事業（支援課）			当初予算額	1,200,000
局/部/課	北区役所/健康福祉部/支援課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 410	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 幼稚園及び保育施設の紹介や保育施設入所相談をととして「子育てが楽しいまち」のイメージの醸成を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,200,000
			支出済額	895,816
			翌年度繰越額	0
<主な事業の成果> 1 北区子育て応援フェア実施事業			不用額	304,184
			前年度支出済額	1,733,656
			増減	△ 837,840
平成30年10月6日（土）にプラザノースギャラリー他で保育施設を紹介するブースなどを展示し、約1,250人の来場がありました。			<div data-bbox="1002 1650 1241 1998" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="935 2002 1321 2033" data-label="Caption"> 北区子育て応援フェアポスター </div>	

平成30年度 大宮区決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 安全・安心できれいなまちづくり
 - ① 防犯意識の向上と犯罪認知件数減少のため、安全・安心のつどい、自転車盗難防止キャンペーン、振り込め詐欺被害防止事業等を実施しました。
 - ② 環境美化意識の向上を図り、ごみのないきれいなまちづくりを推進するため、大宮駅周辺の清掃活動を実施しました。
 - ③ 大宮駅・北大宮駅・大宮公園駅の駅前に花や緑を植栽しました。
- (2) 区の生活環境の向上を目指したまちづくり
 - ① 街路灯などの防犯施設やカーブミラーなどの交通安全施設の適切な維持管理を実施しました。
 - ② 生活環境の維持に柔軟かつ迅速に対応するため、道路緊急修繕等を実施しました。
- (3) 区の特性に応じ、地域資源を生かしたまちづくり
 - ① 大宮区散策マップを増刷するとともに、魅力発見ツアーを実施しました。
 - ② 鉄道博物館のナイトミュージアムを活用し、大宮の歴史や文化に触れることのできる総合的なイベントを実施しました。
 - ③ 大宮二十景絵画コンクールなど、大宮二十景の啓発を実施しました。
 - ④ 大宮区の郷土づくりとコミュニティ意識の醸成のため、地域主体、区民参加型の大宮区民ふれあいフェアほか、地域資源を活用した各種イベントを実施しました。
- (4) 健康でいきいき元気なまちづくり
 - ① 地域の将来を担う子どもたちの社会参画を推進するため、子どもがつくるまち「ミニ大宮」を大宮ソニックシティで開催しました。
- (5) 区民との協働によるまちづくり
 - ① 区の事業や地域課題について協議する区民会議を開催し、また、区の魅力あるまちづくりを推進する市民活動団体を支援しました。
- (6) おもてなしの心で対応するまちづくり
 - ① 市公共サインガイドラインに基づき、既存の公共サインの管理・更新を行うほか、道路に設置されているトランスボックスへのラッピング装飾を実施しました。

II 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
16款	2,348,000	0	0	2,348,000	1,381,322	573,064	0	808,258
19款	2,320,000	0	0	2,320,000	2,321,677	2,321,677	0	0
23款	3,381,000	0	0	3,381,000	4,703,248	3,463,946	0	1,239,302
合計	8,049,000	0	0	8,049,000	8,406,247	6,358,687	0	2,047,560

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
2款	317,825,000	△ 20,174,000	0	0	297,651,000	284,818,409	0	12,832,591
合計	317,825,000	△ 20,174,000	0	0	297,651,000	284,818,409	0	12,832,591

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/1項 使用料/1目 総務使用料	当 初 予 算 額	2,348,000
歳入名称 行政財産使用料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 大宮区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 区役所敷地内の行政財産の目的外使用料として収納しました。 [参考] ・調定件数 9件 ・収入済件数 8件 ・収入未済件数 1件	予 算 現 額	2,348,000
	調 定 額	1,381,322
	収 入 済 額	573,064
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	808,258
	前年度収入済額	2,349,547
	増 減	△ 1,776,483

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 19款 財産収入/1項 財産運用収入/1目 財産貸付収入	当 初 予 算 額	2,248,000
歳入名称 財産貸付収入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 大宮区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 区役所内の土地・建物の貸付料として収納しました。 [参考] ・自動販売機設置事業者公募による貸付料 1,239,036円 ・大宮区役所プレハブ棟行政財産貸付料 232,113円 ・広告付き地図案内板設置場所貸付料 388,800円 ・タッチパネル式多言語対応型デジタルサイネージ設置場所貸付料 388,800円	予 算 現 額	2,248,000
	調 定 額	2,248,749
	収 入 済 額	2,248,749
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	2,314,036
	増 減	△ 65,287

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	1,242,000
歳入名称 施設光熱水費等負担金	補 正 予 算 額	0
局/部/課 大宮区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 施設光熱水費等負担金として収納しました。 [参考] ・調定件数 134件 ・収入済件数 133件 ・収入未済件数 1件	予 算 現 額	1,242,000
	調 定 額	2,528,934
	収 入 済 額	1,289,632
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	1,239,302
	前年度収入済額	1,097,176
	増 減	192,456

(一般会計・歳入)


(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	2,127,000
歳入名称 その他雑入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 大宮区役所/区民生活部/地域商工室 (総務課地域商工室)	繰越財源充当額	0
<主な成果> その他雑入として収納しました。 [参考] ・公共サイン広告料及び電気料 2,143,486円	予 算 現 額	2,127,000
	調 定 額	2,143,486
	収 入 済 額	2,143,486
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	1,862,166
	増 減	281,320

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮区役所管理事業（くらし応援室）			当初予算額	12,755,000
局/部/課	大宮区役所/くらし応援室		補正予算額	△ 2,550,000
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 416	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 来庁者の用件・問合せ等に対し、的確・迅速・丁寧な案内を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	10,205,000
			支出済額	10,204,920
			翌年度繰越額	0
			不用額	80
			前年度支出済額	10,368,000
			増減	△ 163,080
<主な事業の成果>				
1 区役所総合案内事業		10,204,920	[参考]	
(1) 来庁者の用件・問合せに関する区役所及び本庁関係各課等への案内を行いました。				
(2) 区民課窓口申請書類等の記載方法・申請手順に係る案内を行いました。				
(3) 情報公開コーナーにおける行政資料の整理、閲覧及び貸出しや行政資料等の有償又は無償の頒布を行いました。				
(4) 有償行政資料等の売上金に関する管理業務等を行いました。				




大宮区役所総合案内

大宮区役所総合案内

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮区役所管理事業（総務課）			当 初 予 算 額	159,028,000
局/部/課	大宮区役所/区民生活部/総務課		補 正 予 算 額	△ 17,624,000
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 416	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 大宮区の行政の拠点である大宮区役所庁舎等を適切に維持・管理し、来庁者の安全を確保するとともに、市民生活に密着した各種サービスを提供します。			流 用 額	0
			予備費充用額	0
			予 算 現 額	141,404,000
			支 出 済 額	131,537,110
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 節電に努め、光熱水費を抑えられたため、及び、電話料金や施設等保守管理委託料が見込みを下回ったため。			不 用 額	9,866,890
			前年度支出済額	134,662,128
			増 減	△ 3,125,018
<主な事業の成果>				
1 区役所庁舎等の維持管理		129,782,050	[参考]	
区役所の維持管理のため、警備・清掃等の業務委託や施設修繕等を通して、来庁者や職員に安全で快適な区役所環境を提供しました。				
2 区役所の事務経費		1,755,060		
職員の研修旅費や一般事務消耗品費等を執行しました。				



大宮区役所庁舎

大宮区役所庁舎


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮区まちづくり推進事業（くらし応援室）			当初予算額	120,897,000
局/部/課	大宮区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 417	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 大宮区の個性を生かしたまちづくりを推進するため、官民協働による環境美化活動を行います。 また、安全・安心な生活環境の維持・整備のため、道路等の緊急修繕、道路照明灯・道路反射鏡等の交通安全施設の修繕、衛生害虫の駆除相談、公衆便所の維持管理などを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	120,897,000
			支出済額	119,941,686
			翌年度繰越額	0
			不用額	955,314
			前年度支出済額	119,821,257
<主な事業の成果>			増減	120,429
1 土木緊急修繕等事業		78,883,618	4 交通安全啓発事業その他	1,611,351
道路の緊急的な修繕等を93件行いました。			交通安全啓発用等消耗品費、交通安全啓発用印刷製本費、旅費、コピー機使用料及び賃借料を執行しました。	
2 交通安全施設維持管理事業		35,876,697	5 公衆便所維持管理事業	1,024,995
道路照明施設、道路反射鏡、路面表示等の修繕を行いました。			区内の公衆トイレの修繕等を行いました。	
・道路照明施設 557件			・新都心駅東口トイレ 2件	
・道路反射鏡、路面表示等 113件			・大門町トイレ 9件	
3 衛生害虫駆除事業		2,016,605	6 安全まちづくり推進事業	528,420
ハチの巣の駆除を行いました。			大宮アルディージャ、民間企業等との協働により清掃活動を12回実施しました。	
・アシナガバチ、ミツバチ等 149件				

(一般会計・歳出)


(単位：円)

事務事業名 大宮区まちづくり推進事業（総務課）			当初予算額	3,267,000
局/部/課	大宮区役所/区民生活部/総務課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 417	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区民との連携を図り、大宮区の個性を生かしたまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	3,267,000
			支出済額	3,037,345
			翌年度繰越額	0
			不用額	229,655
			前年度支出済額	3,032,195
<主な事業の成果>			増減	5,150
1 区長マニフェスト策定事業		284,461	[参考]	
平成30年度区長マニフェスト（3,000部）及び平成29年度区長マニフェスト評価書（300部）を作成し、大宮区が取り組んでいるまちづくりについて周知を行いました。				
2 防犯啓発事業		2,752,884		
大宮区安全なまちづくり協議会と連携し、各種防犯啓発事業を実施しました。				
・大宮区安全・安心のつどい		717人参加		
・自転車盗難防止啓発事業		14回実施		
・青色防犯パトロール		242回実施		
・放置自転車防止活動		12回実施		

安全・安心のつどい

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮区まちづくり推進事業（地域商工室）			当 初 予 算 額	947,000	
局/部/課	大宮区役所/区民生活部/地域商工室（総務課地域商工室）		補 正 予 算 額	0	
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 418	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 市民及び来訪者の利便性向上を図るため、市公共サインガイドラインに基づき設置した歩行者系公共サインの整備、維持管理及びトランスボックスへのラッピング装飾を行います。			流 用 額	0	
			予備費充用額	0	
			予 算 現 額	947,000	
			支 出 済 額	946,080	
			翌年度繰越額	0	
			不 用 額	920	
			前年度支出済額	827,280	
			増	減	118,800
<主な事業の成果>					
1 大宮区サイン整備事業		946,080	[参考]		
市民及び来訪者に観光・公共施設、イベント等を案内するため、市公共サインガイドラインに基づく「わかりやすいおもてなしのあるまち」の実現に向けたサイン整備を行いました。					
(1) 大宮区内の地域の観光資源をPRするため、さいたま新都心駅東口駅前周辺のトランスボックスへラッピング装飾を施しました。 (新設5基) 622,080円					
(2) 既存案内板の地図面の更新を行いました。 (17基) 324,000円					
					
一の鳥居付近のトランスボックスラッピング装飾					

(一般会計・歳出)


(単位：円)

事務事業名 大宮区まちづくり推進事業（コミュニティ課）			当初予算額	20,398,000	
局/部/課	大宮区役所/区民生活部/コミュニティ課		補正予算額	0	
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 418	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 区の個性を生かしたまちづくりを推進するため、区民会議の運営・支援や区民まつり等の区の独自事業、区広報誌の編集等を行います。 また、区内におけるコミュニティの活性化や魅力あるまちづくりを進めるため、市民活動ネットワーク等への支援を行います。			流用額	0	
			予備費充用額	0	
			予算現額	20,398,000	
			支出済額	18,618,678	
			翌年度繰越額	0	
			不用額	1,779,322	
			前年度支出済額	18,093,560	
			増減	525,118	
<主な事業の成果>					
1 区民ふれあい推進事業		7,525,315	4 ふるさとづくり事業（大宮魅力発見散策事業を除く）		6,356,211
区民間の交流や地域の特徴、文化を知る機会を創出し、ふるさと意識の醸成やコミュニティづくりを促進するため、地域主体・区民参加型の「区民ふれあいフェア」を開催しました。			区の地域資源を活用し、鉄道のまち、サッカーのまち、大宮二十景等の啓発やイベントを実施しました。また、市報さいたま大宮区版の編集を行いました。		
2 大宮魅力発見散策事業		416,836	5 花と緑のまちづくり推進事業		455,017
区の魅力を紹介するため、区内4コースの構成により作成したマップに基づき散策会を開催しました。			区民、ボランティア団体等との協働により、区内の駅周辺4か所の花壇を花や緑でいっぱいにしました。		
3 区民会議運営・市民活動ネットワーク支援		3,865,299			
区の事業や地域課題を協議する区民会議の運営を行うとともに、区内におけるコミュニティの活性化や魅力あるまちづくりを進めるため、市民活動ネットワークへの支援を行いました。					

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 大宮区まちづくり推進事業（支援課）			当初予算額	533,000
局/部/課	大宮区役所/健康福祉部/支援課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 419	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 遊びをとおして、体力、運動能力、学力、判断力、コミュニケーション力など「子どもに必要な力」を磨くことで、子どもの自己肯定感を育て、まちづくりへの参画意識を醸成します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	533,000
			支出済額	532,590
			翌年度繰越額	0
			不用額	410
			前年度支出済額	532,590
			増減	0
<主な事業の成果>				
1 ミニ大宮の開催		532,590	[参考]	
子どもがつくるまち「ミニ大宮」を大宮ソニックシティで実施しました。				



「ミニ大宮」の様子

平成30年度 見沼区決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 生活しやすい安全・安心なまちづくり
 - ① 身近な生活基盤となる道路の損傷箇所を発見し、迅速かつ確実に修繕しました。
 - ② 公衆街路灯のLED化、道路反射鏡、路面表示の修繕や交通安全啓発看板の設置を行いました。
- (2) 「健幸」でいきいき暮らせるまちづくり
 - ① 生活習慣病予防のため、若い世代から運動習慣が身につくよう、体組成測定を取り入れた親子で参加するランニング教室「親子でトライ！！らんらん♪ランニング」を開催しました。
 - ② 子育て中の区民が「食育」の観点から家族の食生活や地域の農産物などを再確認し、参加者同士がふれあいながら楽しく食事をする「ふれあいCafeみぬま」を開催しました。
 - ③ 豊かな自然や歴史・文化などの地域資源に触れることで区への愛着を深め、楽しみながら歩くことで、健康増進を図るウォーキングイベント「見沼区花めぐりウォーキング」を開催しました。
- (3) 防災・防犯のまちづくり
 - ① 地域防災力の向上のため、防災講演会や防災に係る啓発活動を実施しました。
 - ② 防犯の意識啓発や知識習得のため、防犯講演会や自治会・地域防犯団体との協働による地域防犯活動を実施しました。
- (4) 区の特色を生かしたふれあいのあるまちづくり
 - ① 世代や地域を超えて区民がふれあい、交流する場となる「見沼区ふれあいフェア」を開催しました。
 - ② 児童たちに地域への愛着を持たせるとともに、スポーツを通じた参加者間の交流促進を図るため、「見沼区少年少女サッカー教室」を開催しました。
 - ③ 季節の花で彩られた庭園等を紹介する「見沼区オープンガーデン」を開催し、地域のコミュニティづくりを推進しました。
 - ④ 区内の駅やその周辺などの花壇に、地域ボランティア団体や区民の方々との協働で花植えを行い、花と緑のまちづくりを推進しました。
 - ⑤ 文化活動を通じた区民の交流を促進するため、芸能発表や作品展示の場となる「見沼区文化まつり」を開催しました。

II 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
16款	247,000	0	0	247,000	241,757	241,757	0	0
19款	1,431,000	0	0	1,431,000	1,850,660	1,850,660	0	0
23款	883,000	0	0	883,000	1,194,178	1,194,178	0	0
合計	2,561,000	0	0	2,561,000	3,286,595	3,286,595	0	0

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
2款	312,017,000	△ 5,400,000	0	0	306,617,000	302,462,678	0	4,154,322
合計	312,017,000	△ 5,400,000	0	0	306,617,000	302,462,678	0	4,154,322

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/1項 使用料/1目 総務使用料	当 初 予 算 額	247,000
歳入名称 行政財産使用料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 見沼区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 行政財産目的外使用料として収納しました。 [参考] A T M機器設置使用料 135,144円 食堂使用料 80,131円 パネル公告掲出場所使用料 25,032円 ポスト使用料 1,300円 電線支柱使用料 150円	予 算 現 額	247,000
	調 定 額	241,757
	収 入 済 額	241,757
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	247,960
	増 減	△ 6,203

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 19款 財産収入/1項 財産運用収入/1目 財産貸付収入	当 初 予 算 額	1,431,000
歳入名称 財産貸付収入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 見沼区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 行政財産貸付料として収納しました。 [参考] 広告付き地図案内板設置事業に係る貸付料 759,086円 自動販売機の設置に係る貸付料 585,444円 区役所タッチパネル式広告付き多言語対応型 デジタルサイネージ設置事業に係る貸付料 388,800円	予 算 現 額	1,431,000
	調 定 額	1,733,330
	収 入 済 額	1,733,330
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	1,682,415
	増 減	50,915

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	515,000
歳入名称 施設光熱水費等負担金	補 正 予 算 額	0
局/部/課 見沼区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 区役所庁舎等の光熱水費等負担金として収納しました。 [参考] 食堂光熱水費負担金 655,758円 自動販売機電気料負担金 135,812円 A T M機電気料負担金 30,031円 広告付き地図案内板等電気料負担金 14,297円 建物損害保険料負担金 378円	予 算 現 額	515,000
	調 定 額	836,276
	収 入 済 額	836,276
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	659,976
	増 減	176,300


(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	318,000
歳入名称 その他雑入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 見沼区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 公衆電話使用料等として収納しました。 [参考] パネル広告料 243,696円 公衆電話使用料 30,700円 ふれあいC a f e みぬま参加費 15,700円 拾得物取得金 5,000円	予 算 現 額	318,000
	調 定 額	295,096
	収 入 済 額	295,096
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	294,436
	増 減	660

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼区役所管理事業（くらし応援室）			当初予算額	6,701,000
局/部/課	見沼区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 425	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 来庁者の用件・問合せ等に対し、的確・迅速・丁寧な案内を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,701,000
			支出済額	6,700,992
			翌年度繰越額	0
			不用額	8
			前年度支出済額	6,700,992
			増減	0
<主な事業の成果>				
1 見沼区役所総合案内事業		6,700,992	[参考]	
来庁者の用件・問合せを受け、担当課（室）へ案内するとともに、情報公開コーナーにおける行政資料の整理、閲覧及び貸出し並びに行政資料等の有償又は無償の頒布を行いました。 また、婚姻・出生・住宅の新築に伴う記念樹の交付を行いました。				
			見沼区役所総合案内	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼区役所管理事業（総務課）			当初予算額	86,509,000
局/部/課	見沼区役所/区民生活部/総務課		補正予算額	△ 5,400,000
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 425	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区行政の拠点である区役所庁舎の適切な維持管理等を行います。			流用額	△ 1,233,000
			予備費充用額	0
			予算現額	79,876,000
			支出済額	78,075,953
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,800,047
			前年度支出済額	76,305,309
			増減	1,770,644
<主な事業の成果>				
1 見沼区役所管理事業		77,741,802	[参考]	
区役所庁舎を適切に維持管理するため、警備、清掃及び設備管理等を行い、来庁者に快適な区役所環境を提供しました。				
			見沼区役所	
2 区役所の事務経費		334,151		
消耗品など、区役所の管理・運営に係る経費を支出しました。				


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼区まちづくり推進事業（くらし応援室）			当初予算額	201,699,000
局/部/課	見沼区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 426	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区民の満足度アップを図るため、生活に身近な道路等の緊急修繕、道路照明灯、道路反射鏡や路面表示等の交通安全施設の修繕などを行います。			流用額	1,233,000
			予備費充用額	0
			予算現額	202,932,000
			支出済額	202,582,169
			翌年度繰越額	0
			不用額	349,831
			前年度支出済額	215,963,077
			増減	△ 13,380,908
<主な事業の成果>				
1 土木緊急修繕事業 148,534,879 安全・安心なまちづくりのため、道路等の破損した箇所の緊急修繕等を行いました（290件）。		4 交通安全啓発活動事業その他 1,091,920 警察署、交通指導員、地域の交通安全団体等と連携し、交通安全に関する啓発活動を実施（20回）しました。		
2 交通安全施設維持管理事業 47,964,319 道路照明灯等（2,122件）、道路反射鏡・路面表示等（158件）の修繕を行いました。		5 公衆便所維持管理事業 1,451 東大宮駅公衆便所の緊急修繕等の維持管理を行いました。		
3 衛生害虫駆除事業 4,989,600 ハチの巣の駆除を行いました（511件）。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼区まちづくり推進事業（総務課）			当初予算額	1,843,000
局/部/課	見沼区役所/区民生活部/総務課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 426	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 災害に強いまちづくり、犯罪の少ないまちづくりを区民との協働により推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,843,000
			支出済額	1,615,848
			翌年度繰越額	0
			不用額	227,152
			前年度支出済額	1,791,312
			増 減	△ 175,464
<主な事業の成果>				
1 区長マニフェスト策定事業 450,597		4 ふれあいC a f eみぬま事業 199,800		
区政の運営方針や区の主な取組などを公表する、平成30年度区長マニフェストを策定するとともに、平成29年度区長マニフェスト評価書を作成しました。		参加者同士のふれあい、食育を通じての家族の食生活や地域の農産物などを再確認する、ふれあいC a f eみぬまを見沼区役所を会場に3回開催しました。		
2 防犯啓発活動事業 524,623		[参考]		
パトロールの効果的な実施方法などについての防犯講演会「効果的な防犯パトロール～自分のまちは自分で守る」を開催しました。また、自治会や地域の防犯団体と協働し、区内4箇所で防犯啓発活動を実施しました。				
3 防災啓発活動事業 440,828				
「災害時要配慮者への地域のサポート」をテーマに防災講演会を開催し、地域防災力の向上を図りました。また、区内4箇所で、防災に関する啓発品を配布し、災害に対する日頃の備えを呼びかけました。		ふれあいC a f eみぬま		



ふれあいC a f eみぬま


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼区まちづくり推進事業（コミュニティ課）			当初予算額	14,833,000	
局/部/課	見沼区役所/区民生活部/コミュニティ課		補正予算額	0	
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 427	前年度繰越額	0	
＜事業の目的・内容＞ 区民との協働を進め、区の個性を生かしたまちづくりを推進します。			流用額	0	
			予備費充用額	0	
			予算現額	14,833,000	
			支出済額	13,092,393	
			翌年度繰越額	0	
			不用額	1,740,607	
			前年度支出済額	13,222,060	
			増減	△ 129,667	
＜主な事業の成果＞					
1 見沼区ふれあいフェア		6,296,729	4 見沼区少年少女サッカー教室事業		574,068
区民まつりである「見沼区ふれあいフェア」を11月10日（土）に開催し、約25,000人の来場がありました。24団体のステージ出演や、69ブースの出店（展）など、区民が世代や地域を超えて交流しました。			11月23日（祝）に見沼区少年少女サッカー教室を開催し、区内の小学生114人が参加しました。基本的な技術の向上やスポーツを通じた参加者間の交流促進を図ることができました。		
2 見沼区ウォーキング事業		86,876	5 見沼区オープンガーデン事業		443,625
地域資源である花農家やコスモス畑など、自然の魅力を感じられる「見沼区花めぐりウォーキング」を10月に開催し、51人が参加しました。歩くことで参加者の交流と心身のリフレッシュにつなげることができました。			「見沼区オープンガーデン」を4月と5月に開催し、4日間で延べ約4,800人の来場がありました。区内22か所の協力者（個人16件、団体6件）や来場者が、花と庭を通じて地域での交流を深めることができました。		
3 区民会議の運営及び市民活動支援事業		2,004,033	6 見沼区花と緑のまちづくり推進事業その他		3,687,062
「高齢者にやさしいまちづくり」を協議テーマに区民会議を6回開催し、協議報告書を区長に提出しました。市民活動ネットワークの交流会を5回、まつりを1回開催したほか、団体への事業補助（4事業）を行いました。			区民や団体と協働し、年2回（春・秋）、区内7か所で花苗を植栽しました。また、「見沼区文化まつり」を2月に開催したほか、「シンボル絵画展」で区の花・鳥・蝶・木をPRするなど、数々の事業等を実施しました。		

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 見沼区まちづくり推進事業（保健センター）			当初予算額	432,000
局/部/課	見沼区役所/健康福祉部/保健センター		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 427	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 生活習慣病予防のため、若い世代から運動習慣が身につくよう、ウォーキングコースを活用したランニング教室を開催します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	432,000
			支出済額	395,323
			翌年度繰越額	0
			不用額	36,677
			前年度支出済額	313,200
<主な事業の成果>			増減	82,123
1 親子でトライ！！らんらん♪ランニング事業		395,323	[参考]	
小学1～4年生の親子を対象に、大宮武道館と堀崎中央公園内（ジョギング・ウォーキングコース）を会場に10月28日（日）に開催しました。40組84名が参加し、体組成測定、講義及び実技や子ども向けプログラムを取り入れたランニング教室を行いました。				
生活習慣の振り返りや体を動かすことの楽しさや重要性を印象づけ、運動に取り組むきっかけづくりとすることができました。				
			親子でトライ！！らんらん♪ランニング	

平成30年度 中央区決算概要

I 主要事業の取組

- (1) 区民との協働によるまちづくり
 - ① 区民相互のふれあいと連帯感及び郷土意識の醸成を図るため、区民・団体との協働により「中央区区民まつり」を2日間開催しました。
 - ② 区民会議を開催し、「中央区の再生」を大テーマに掲げ、「地域での支え合い」を小テーマに定めて協議を行いました。
 - ③ 身近な場所に花が感じられる機会を創出するため、区内団体・施設との協働によりプランターへの植栽や、イベント開催時に花苗や種の配布を行いました。
 - ④ 区内の82団体で構成される中央区コミュニティ協議会が行う事業への支援を行いました。
- (2) 交流（ふれあい）が育む「健幸」なまちづくり
 - ① 区民の健康増進と区内の魅力発見を図るため、区内で活動する団体と連携し、ウォーキングコースを活用したウォーキングイベントを開催しました。
 - ② 高齢者がいつまでも元気で自分らしく暮らしていくことができるよう、体組成計による測定会、栄養の講演会や運動の体験会を実施する「食生活と運動でパワーアップ!健幸講座」を開催しました。
- (3) 安全・安心なまちづくり
 - ① 区民の安全・安心を確保するため、道路等の緊急修繕を行いました。
 - ② 交通事故防止及び交通の円滑化を図るため、街路灯、道路反射鏡等の維持管理などを行いました。
 - ③ 地域の安全・安心を守るため、区内の各団体で構成される中央区防犯協議会と連携を図り、講演会を開催するとともに、区民まつり等において啓発活動を行いました。
 - ④ 災害に対する意識の向上と区内の防災力の強化のため、区内の自主防災組織を中心とした情報交換の場を設けて防災関係団体と連携を図るとともに、講演会等を開催しました。
 - ⑤ 障害のある方が区内で安心して暮らせるよう、障害福祉サービス事業所等との連携体制を構築し、支援の専門性を高める会議や研修会を実施しました。
- (4) にぎわいのあるまちづくり
 - ① アートストリートエリア内に、彩の国さいたま芸術劇場で公演されたシェイクスピア・シリーズ出演者の手形レリーフを設置するとともに解説板を改修しました。
 - ② 区内に点在する地域文化・アートを活用し、区民等で構成される「バラのまち中央区アートフェスタ実行委員会」が開催するコンサート等のアートイベントへの支援を行いました。
 - ③ 地域資源である区の花バラのPRのため、バラの写真コンクールを実施し応募された写真について表彰を行い、入選作品を区役所ロビーに展示しました。
 - ④ 地域でバラを育て咲かせる環境づくりと人材育成のためにバラの手入れ講習会を実施しました。
- (5) 区民に親しまれる明るい区役所づくり
 - ① 総合案内窓口において、来庁者の要件・問合せ等に的確・迅速・丁寧な案内を実施するとともに、情報公開コーナーにおける行政資料等の整理、閲覧案内などを行いました。
 - ② 芸術や観光資源をPRするため、食堂棟に区民ギャラリーを開設し、中央区美術家協会の協力による絵画展や、さいたまクリテリウム等の区内で開催されたイベント等の写真展を実施しました。
 - ③ 明るい区役所づくりと区民満足度向上のため、区役所に婚姻届を提出した方へ記念写真を撮影し、プレゼントするサービスを提供しました。また、窓口案内板の多言語化を実施しました。
- (6) 保健センターの移転
 - ① 中央区役所保健センターを区役所別館に移転するため、執務室改修工事の設計業務を行いました。

II 歳入・歳出の状況

1 一般会計

<歳入>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充当額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
16款	275,000	0	0	275,000	380,571	380,571	0	0
19款	1,089,000	0	0	1,089,000	1,097,124	1,097,124	0	0
23款	1,724,000	0	0	1,724,000	1,699,128	1,699,128	0	0
合計	3,088,000	0	0	3,088,000	3,176,823	3,176,823	0	0

<歳出>

(単位：円)

	当初予算額	補正予算額	前年度 繰越額	流・充用額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額
2款	310,033,000	△ 5,783,000	0	0	304,250,000	293,859,589	0	10,390,411
合計	310,033,000	△ 5,783,000	0	0	304,250,000	293,859,589	0	10,390,411

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 16款 使用料及び手数料/1項 使用料/1目 総務使用料	当 初 予 算 額	270,000
歳入名称 行政財産使用料	補 正 予 算 額	0
局/部/課 中央区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 区役所庁舎等の目的外使用料として収納しました。 [参考] A T M設置 54,000円 食堂使用 94,417円 電話柱等設置 8,276円 自動販売機設置 123,456円 テレビジョン撮影 84,297円	予 算 現 額	270,000
	調 定 額	364,446
	収 入 済 額	364,446
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	307,714
	増 減	56,732

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 19款 財産収入/1項 財産運用収入/1目 財産貸付収入	当 初 予 算 額	759,000
歳入名称 財産貸付収入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 中央区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 区役所庁舎における広告付き地図案内板等の設置による財産貸付収入として収納しました。 [参考] 広告付き地図案内板設置 378,000円 多言語対応型デジタルサイネージ設置 388,800円	予 算 現 額	759,000
	調 定 額	766,800
	収 入 済 額	766,800
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	693,441
	増 減	73,359

(一般会計・歳入)

(単位：円)

款/項/目 19款 財産収入/1項 財産運用収入/1目 財産貸付収入	当 初 予 算 額	330,000
歳入名称 財産貸付収入	補 正 予 算 額	0
局/部/課 中央区役所/健康福祉部/保健センター	繰越財源充当額	0
<主な成果> 保健センター内における自動販売機の設置による財産貸付収入として収納しました。 [参考] 自動販売機設置場所一時貸付 330,324円	予 算 現 額	330,000
	調 定 額	330,324
	収 入 済 額	330,324
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	330,324
	増 減	0

(一般会計・歳入)


(単位：円)

款/項/目 23款 諸収入/6項 雑入/4目 雑入	当 初 予 算 額	1,075,000
歳入名称 施設光熱水費等負担金	補 正 予 算 額	0
局/部/課 中央区役所/区民生活部/総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 区役所庁舎等の光熱水費負担金及び損害保険料を収納しました。 [参考] A T M電気料負担金 77,850円 食堂光熱水費負担金 901,930円 自動販売機電気料負担金 64,495円 多言語対応型デジタルサイネージ電気料負担金 5,496円 広告付き地図案内板電気料負担金 2,360円 各種損害保険料負担金 3,603円	予 算 現 額	1,075,000
	調 定 額	1,055,734
	収 入 済 額	1,055,734
	不 納 欠 損 額	0
	収 入 未 済 額	0
	前年度収入済額	984,170
	増 減	71,564

(一般会計・歳出)

(単位：円)


事務事業名 中央区役所管理事業（くらし応援室）			当初予算額	9,357,000
局/部/課	中央区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 434	前年度繰越額	0
＜事業の目的・内容＞ 来庁者の用件・問合せ等に対し、的確・迅速・丁寧な案内を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	9,357,000
			支出済額	7,487,640
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,869,360
			前年度支出済額	5,785,200
			増減	1,702,440
＜主な事業の成果＞				
1 区役所総合案内事業		7,487,640	[参考]	
来庁者の用件・問合せ等に関する区役所及び本庁各課（室）への案内を行いました。また、情報公開コーナーにおける行政資料等の整理、閲覧案内、貸出し、有償又は無償の頒布を行いました。				



中央区役所総合案内


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 中央区役所管理事業（総務課）			当初予算額	125,032,000
局/部/課	中央区役所/区民生活部/総務課		補正予算額	△ 5,783,000
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 434	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区行政の拠点である区役所庁舎の維持管理等を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	119,249,000
			支出済額	115,566,303
			翌年度繰越額	0
			不用額	3,682,697
			前年度支出済額	109,149,236
			増減	6,417,067
<主な事業の成果>				
1 区役所庁舎等維持管理事業		111,778,003	[参考] 	
快適な庁舎環境づくりのため、清掃、警備、各設備の保守・点検などを行いました。また、庁舎の維持管理のため、施設の修繕等を行いました。				
2 区役所の事務経費		440,300		
職員の研修旅費や区役所運営に係る消耗品等の事務経費を支出しました。				
3 中央区役所保健センター移転事業		3,348,000		
区民の利便性向上を目的とし、中央区役所保健センターを区役所別館（児童相談所跡地）に移転するため、執務室改修工事の設計業務を行いました。				
			中央区役所本館（左）・別館（右）	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 中央区役所管理事業（保健センター）			当初予算額	31,729,000
局/部/課	中央区役所/健康福祉部/保健センター		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/1目 区政総務費	概要(当初)P. 435	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区民の生涯にわたる健康づくりの拠点である保健センター施設の維持管理等を行い、誰もが安全・安心に利用できるようにします。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	31,729,000
			支出済額	29,917,384
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,811,616
			前年度支出済額	30,362,125
			増減	△ 444,741
<主な事業の成果>				
1 施設の運営及び維持管理		29,917,384	[参考]	
保健センター施設の運営及び維持管理（保守・修繕等）を行いました。				
				
			中央区役所保健センター	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 中央区まちづくり推進事業（くらし応援室）			当初予算額	114,837,000
局/部/課	中央区役所/くらし応援室		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 435	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区民満足度の向上を図るため、道路等の修繕、交通安全施設（街路灯、道路反射鏡等）の維持管理などを行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	114,837,000
			支出済額	114,775,119
			翌年度繰越額	0
			不用額	61,881
			前年度支出済額	114,766,527
			増減	8,592
<主な事業の成果>				
1 土木緊急修繕事業		81,516,437	4 交通安全啓発事業その他	987,453
区民の安全・安心を確保するため、道路等の緊急修繕を行いました（137件）。			交通事故防止及び区民生活の安全を守るため、浦和西警察署、関係団体等と啓発活動を行いました（24回、延べ人数861人）。	
2 交通安全施設維持管理事業		31,645,466	5 愛犬カード交付事業	3,683
区民の交通事故防止及び交通の円滑化を図るため、街路灯、道路反射鏡等の維持管理などを行いました（街路灯・球切れ474件、器具交換100件、道路反射鏡修繕29件、路面表示等9件）。			区内に住む犬の飼い主の方に、飼育マナーの向上並びに登録及び狂犬病予防接種の推進のため、手作りのカードの交付を行いました（21件）。また、愛犬カードをお持ちの方を対象に、愛犬講習会を開催しました。	
3 衛生害虫駆除事業		622,080		
区民の安全を確保するため、ハチの巣の撤去依頼に迅速に対応し、関係機関と連携して衛生害虫駆除を行いました（アシナガバチ59件、ミツバチ4件、巣の確認調査2件）。				

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 中央区まちづくり推進事業（総務課）			当初予算額	6,080,000
局/部/課	中央区役所/区民生活部/総務課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 436	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地域の安全・安心を守るため、関係団体との連携を強化し、啓発事業等を実施することで防犯意識の向上や防災力の強化を図ります。 また、地域資源を生かした観光の推進等により魅力あるまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	6,080,000
			支出済額	5,102,925
			翌年度繰越額	0
			不用額	977,075
			前年度支出済額	4,382,973
<主な事業の成果>			増減	719,952
1 区長マニフェスト策定事業		277,473	4 観光団体特別支援事業	3,107,238
区の個性を生かしたまちづくりを推進するため、区長マニフェストを5,000部作成し、中央区の取組を発信しました。また、前年度区長マニフェスト評価書を1,500部作成し、取組への評価をまとめ、公表しました。			歴史、文化芸術等の地域資源を生かした区内観光を推進するため、区内で活動する観光団体（4団体）への支援を行いました。	
2 防犯啓発事業		1,111,698	5 区民ギャラリー事業	146,321
安全・安心なまちづくりのため、区内の各団体から構成される中央区防犯協議会と連携を図り、年2回の講演会や啓発活動を行ったほか、青色防犯パトロールを週3回実施し、区民の防犯意識の向上を図りました。			「芸術のまち中央区」を広く周知するとともに、区民が足を運びやすい明るい区役所を作るため、食堂棟とロビーにおいて区内の地域資源等を生かした絵画展や写真展等年間11のテーマによる展示を行いました。	
3 地域防災力向上事業		139,455	6 明るい区役所づくり推進事業	320,740
地域の安全・安心を守るため、区内の自主防災組織を中心に情報交換の場を3回設け、防災関係団体との連携を図るとともに、区民まつりに防災ブースを出展し区民の災害に対する意識向上を図りました。			明るい区役所づくりと区民の満足度向上のため、区役所に婚姻届を提出した方へ記念写真を撮影・プレゼントするサービスを234組の方に提供しました。また、窓口案内板の多言語化等に取り組みしました。	


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 中央区まちづくり推進事業（コミュニティ課）			当初予算額	22,904,000
局/部/課	中央区役所/区民生活部/コミュニティ課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 436	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 区民会議や市民活動ネットワーク登録団体と連携を図り、区民との協働を進め、区の個性を生かしたまちづくりを推進します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	22,904,000
			支出済額	20,919,252
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,984,748
			前年度支出済額	20,481,025
<主な事業の成果>			増減	438,227
1 区民まつり事業		9,607,234	4 花de植花夢（ウェルカム）まちづくり事業	975,818
区民相互のふれあいと連帯感及び郷土意識の醸成を図るため、11月10日（土）、11日（日）に中央区役所周辺にて区民まつりを開催し、アンケート調査で81.5%の方より満足したとの回答をいただきました。			身近な場所に花が感じられる機会を創出するため、区内団体・施設との協働によりプランターへの植栽の実施や、イベント開催時に花苗や種の配布などを延べ23回行いました。	
2 ふるさとウォーキング事業		315,679	5 アートストリート事業	1,848,279
区民の健康増進と区への愛着を深めるため、3月2日（土）に125名が参加して、区内約8kmのコースを歩くウォーキングイベントを開催し、アンケート調査で87%の方より満足したとの回答をいただきました。			芸術のまちとしてのイメージアップを図るため、たつみ通り南側歩道に彩の国さいたま芸術劇場のシェイクスピア・シリーズ出演者の手形レリーフを2基設置するとともに解説板を改修しました。	
3 区民会議の運営事業		1,757,644	6 コミュニティ協議会事業その他	6,414,598
第8期区民会議では、「中央区の再生」を大テーマに掲げ、平成30年度は、小テーマ「地域での支え合い」について6回協議し、29年度協議した小テーマ「防災」と併せ最終的な協議報告書を作成し区長に提出しました。			・中央区コミュニティ協議会事業 2,049,304円 ・中央区活性化等推進事業 164,000円 ・バラのまち中央区アートフェスタ事業 3,497,878円 ・その他 703,416円	


(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 中央区まちづくり推進事業（支援課）			当初予算額	43,000
局/部/課	中央区役所/健康福祉部/支援課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 437	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 障害福祉サービス事業所相互の情報交換を実施する連絡会及び専門家による研修会を開催し、事業所が研鑽を積み、提供するサービスの向上を促すことにより、障害のある方が差別や虐待とは無縁で、自分が望む暮らしができるまちづくりを目指します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	43,000
			支出済額	42,944
			翌年度繰越額	0
			不用額	56
			前年度支出済額	42,950
			増減	△ 6
<主な事業の成果>				
1 中央区みんなで支えるネットワーク事業			42,944	[参考]
地域で起きる問題や業務上の悩みを解決するため、障害福祉サービス事業所等のネットワークを構築し、専門家による専門性の高い研修や、情報交換のための連絡会を年3回開催しました。				
			ネットワーク事業連絡会	

(一般会計・歳出)

(単位：円)

事務事業名 中央区まちづくり推進事業（高齢介護課）			当初予算額	51,000
局/部/課	中央区役所/健康福祉部/高齢介護課		補正予算額	0
款/項/目	2款 総務費/5項 区政振興費/2目 区民まちづくり推進費	概要(当初)P. 437	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 今後、中央区でも高齢者人口の増加が見込まれる中で、健康寿命の延伸を図り、高齢者がいつまでも元気で自分らしく暮らしていくことができる地域を目指すため、高齢者の健康の維持を進めるにあたり必要となる知識を高める講座を開催します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	51,000
			支出済額	48,022
			翌年度繰越額	0
			不用額	2,978
			前年度支出済額	0
			増減	48,022
<主な事業の成果>				
1 食生活と運動でパワーアップ！健幸講座			48,022	[参考]
体組成計による測定会、栄養についての講演会や簡単にできる運動の体験会を実施する「食生活と運動でパワーアップ！健幸講座」を12月13日（木）に開催し、アンケート満足度で98%と高い評価をいただきました。				
			食生活と運動でパワーアップ！健幸講座の様子	